

平成27年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業成果一覧

平成28年8月26日

那覇市	1	嘉手納町	153
宜野湾市	26	北谷町	159
石垣市	33	北中城村	163
浦添市	45	中城村	169
名護市	55	西原町	175
糸満市	61	与那原町	183
沖縄市	69	南風原町	188
豊見城市	79	渡嘉敷村	201
うるま市	86	座間味村	203
宮古島市	95	粟国村	207
南城市	100	渡名喜村	210
国頭村	107	南大東村	212
大宜味村	112	北大東村	215
東村	115	伊平屋村	217
今帰仁村	118	伊是名村	223
本部町	123	久米島町	227
恩納村	129	八重瀬町	232
宜野座村	133	多良間村	242
金武町	137	竹富町	245
伊江村	141	与那国町	251
読谷村	146		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	H24 ~ H33	個性的な本市の伝統工芸品を国内外にアピールするため、イベントや宣伝等を行うとともに、本市工芸品を展示・販売・体験できる那覇市伝統工芸館の機能強化を行う。	・イベント 各800人 ・企画展 各1200人(平成25年:837人) ・伝統工芸館販売場環境改善	・イベント 平均125人 ・企画展 平均1,708人 ・伝統工芸館販売場環境改善完了		
1	2	プラネタリウム番組開発等事業	H24 ~ H27	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、沖縄独自の番組の制作及び有名番組を賃借し投影を行い、観覧者数を増やす。	プラネタリウム年間観覧者数27,000人 (基準値:平成23年 22,255人)	プラネタリウム年間観覧者数22,080人		
1	3	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ~ H33	観光案内所を運営する那覇市観光協会に対し、英語、中国語、韓国語の話せるスタッフを配置するための支援を行う。	外国人観光客の案内所の利用者:年間8,500人 (基準:平成25年度7,472人)	外国人観光客の案内所の利用者:年間13,912人 (基準:平成25年度7,472人)		
1	4	バス停上屋整備事業	H24 ~ H28	観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。	バス停上屋設置率:90%(45/50基)		繰	
1	5	交流オアシス整備事業	H24 ~ H29	観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース(交流スペース)の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。	交流スペース設置率:29%(6/21箇所)		繰	
1	6	歴史散歩道整備事業	H24 ~ H32	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、歴史的な由来のある散歩道を調査選定し、路面改良、道路緑化・美化を行う。	歴史散歩道設置率:60%(5,560/9,760m)		繰	
1	7	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ~ H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。	道路美化整備率:48%(20/41路線) ただし、剪定除草は含んでいない。 路線全体の整備が完了したものが対象。 天久安里線の中央分離帯緑化整備率:58%(0.94km / 1.6km)	道路美化整備率:48% 天久安里線の中央分離帯緑化整備率:58%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	8		ベランダ緑化推進事業	H24 ～ H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのブーゲンビレアの苗等の配布を行う。	講習会参加者数:70世帯以上	講習会参加者数:78世帯	
1	9		花いっぱい運動推進事業	H24 ～ H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための種子、草花苗等の配布を行う。	1年を通して花壇を花でいっぱいにするべく花壇の年間管理をしている通り沿いの近隣住民等に対し、満足度調査を行う。 ・満足度:70%	・満足度:91.7%	
1	10		桜の名所づくり事業	H24 ～ H29	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、平成24年度実施の桜の育成環境調査に基づき、那覇、首里、真和志、小禄地域に桜の名所となる公園を整備する。 なお、今年度は、首里地区を整備する。	桜の植栽計画:全体本数 177本 H25年度末:桜の植栽率(実績)約67.8% H27年度末:桜の植栽率(予定)約75.0%	桜の植栽計画:全体本数 177本に対し H27年度末:桜の植栽率(予定)84.0%	
1	11		デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。	・年間の枯損本数を5本未満にする。 (平成25年度枯損数6本)	・年間の枯損本数を5本未満にした。	
1	12		那覇爬龍船競漕振興事業	H24 ～ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「爬龍船競漕」を実施している那覇爬龍船振興会への事業支援を行う。	那覇ハーリー来場者数:200,000人 (基準値:平成23年 192,000人)	那覇ハーリー来場者数:210,000人	
1	13		那覇大綱挽振興事業	H24 ～ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会への事業支援を行う。	「那覇大綱挽」来場者数:280,000人 (基準値:平成26年 273,000人)	「那覇大綱挽」来場者数:275,000人	
1	14		琉球王朝祭り首里振興事業	H24 ～ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会への事業支援を行う。	琉球王朝祭り首里観客動員数:80,000人 (基準値:平成23年 55,000人)	琉球王朝祭り首里観客動員数:84,000人	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	15		首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ H33	本行列を本市の重要な観光資源として活用し、観光振興・観光誘客を図るため、「琉球王朝絵巻行列」を開催している首里城祭実行委員会への事業支援を行う。	琉球王朝絵巻行列観客動員数:33,000人 (基準値:平成26年 33,000人)	琉球王朝絵巻行列観客動員数:35,000人	
1	16		プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ H33	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数 8,000人/日 (平成24年度 5,796人/日)	読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数 7,013人/日	
1	17		プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ H33	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	・読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数 8,000人/日 (平成24年度 5,796人/日) ・来場者満足度80%以上	・読売巨人軍那覇キャンプ一日平均見学者数 7,013人/日 ・来場者満足度82.2%	
1	18		マチグラーのにぎわい事業	H24 ～ H33	ひやみかちマチグラー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントなどを開催し、当該地域を活性化させる	集客目標:36,000人(1ヶ月4,000人×9ヶ月)	集客目標:55,776人	
1	19		国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ H33	本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である那覇市国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。	トランジットマイル開催時の通行者数 :20,500人/日(平成25年度:18,000人/日)	トランジットマイル開催時の通行者数 :21,902人/日	
1	20		一万人エイサー踊り隊推進事業	H24 ～ H33	伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。	一万人エイサー踊り隊来場者数:94,000人 (県外22,000人、県内72,000人) (平成25年 93,000人(県内外合計))	一万人エイサー踊り隊来場者数:6,5000人	未
1	21		那覇まちまーい推進事業	H24 ～ H33	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。	那覇まちまーいへの参加者数:12,000人 (平成25年 9,244人)	那覇まちまーいへの参加者数:16,054人	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	22	歴史博物館企画展事業	H24 ~ H33	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。	歴史博物館来館者数:17,000人 (基準値:平成23年度14,746人)	歴史博物館来館者数:14,971人		
1	23	観光イベント安全確保事業	H24 ~ H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」における雑踏警備を専門会社に委託する。	・那覇ハーリー来場者数:210,000人 (平成26年 117,000人) ・「那覇大綱挽」来場者数:280,000人 (平成26年 273,000人) ・琉球王朝祭り首里来場者数:80,000人 (平成26年 85,000人)	・那覇ハーリー来場者数:210,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数:275,000人 ・琉球王朝祭り首里来場者数:84,000人		
1	24	公衆無線LANサービス提供モデル事業	H24 ~ H29	国際通り等の主要観光スポットにおいて、外国人等観光客を対象に公衆無線LANサービスを提供し、国際観光都市としての魅力向上を図る。	H27年度WiFi目標接続数 420,000回(月平均) 平成26年月平均415,396回	H27年度WiFi目標接続数 平均68.7万回/月		
1	25	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ~ H33	国際通りに位置する「那覇てんぷすビジョン」を活用し、観光プロモーション映像等の放映、イベント中継、パブリックビューイング、にぎわい創出イベント等を実施する。	視聴者測定システムによる集計数 15,600人 (月平均) 平成26年実績 14,673人(月平均)	視聴者測定システムによる集計数 9,438人 (月平均)	未	
1	26	景観まちづくり推進事業	H24 ~ H33	『亜熱帯庭園都市』那覇の個性をいかした美しい景観まちづくりと地域(観光)資源である那覇らしい風景の保全、再生、創出を図り、景観形成を促進するため、首里歴史エリア等において、よりよい景観形成を図るための具体的方策の手法を検討するための基礎調査等を行う。 また、「那覇市屋外広告物適正化推進計画」を推進するため、当該計画の位置付けられた施策を実施するための基礎調査等を行う。	・首里地区及び壺屋地区において、屋外広告物等の誘導案の作成。 ・屋外広告物適正化推進計画を推進するための規制・誘導手法案の作成。	・首里地区及び壺屋地区において、屋外広告物等の誘導案の作成完了 ・屋外広告物適正化推進計画を推進するための規制・誘導手法案の作成完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	28	首里金城町無電柱化推進事業	H25 ~ H31	王朝時代の佇まいを今に伝える貴重な首里金城町において、当該地域の石畳や石垣などの魅力を高め、更なる観光客等の誘客を図るため、当該地域の無電柱化を実施していく。平成27年度は無電柱化の実現に必要な用地の取得(地上機器設置箇所等)を行う。	電線類等無電柱化率:20%(370/1,850m) ・配線計画図の作成に係る用地取得		緑	
1	29	歴史散歩道関連整備事業(下水道マンホール等設置)	H25 ~ H29	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、歴史的な由来のある散歩道を調査選定し、路面改良、道路緑化・美化を行う「歴史散歩道整備事業」と一体的に、景観等に配慮した下水道マンホール等の設置を行う。	整備率80% (H27累計延長5.4km÷H29計画総延長6.7km)		緑	
1	30	外国人観光客受入整備事業	H26 ~ H33	外国人観光客増加に伴う観光関連事業所への外国人対応職員の派遣(英語、中国語、韓国語)、クルーズ船入港時の臨時観光案内所開設等の事業を行う。	・サポート要員の派遣により、観光案内した観光客数を把握する。 ・サポート要員を派遣した店舗数:50店舗 ・語学講座受講生の数:延550人	・把握した ・61店舗 ・延451人		
1	33	マチグラー総合案内所事業	H26 ~ H33	牧志公設市場雑貨部1階に設置された案内所を利用して、中心商店街(マチグラー)を訪れる観光客などの来街者へ向けて、当該地域の情報を集約し、名所や魅力を効果的に発信する。	案内所利用者数:約12,000人以上/年度 (平成26年月平均1,000人程度)	案内所利用者数:19,225人/年度		
1	34	観光客に快適な都市環境創出事業	H26 ~ H28	市内の観光地周辺(国際通り、若狭海浜公園周辺等)に生息する飼い主のいない猫の不妊去勢手術を実施し、繁殖の抑制を図ることにより、糞尿被害、道路上の轢死等の環境衛生上の問題を軽減し、もって観光客に快適な都市環境を創出する。	飼い主のいない猫の不妊去勢手術実施数 オス100匹 メス100匹	飼い主のいない猫の不妊去勢手術実施数 オス112匹 メス106匹		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	35		バリアフリー改装補助事業	H26 ~ H30	障がい者や高齢者が観光を楽しむためには事前にインターネットで観光地の観光施設や宿泊施設、飲食施設のバリアフリーマップの情報収集が不可欠である。これらの多様化した要求に応じ、満足させる観光地を目指すには、既存の施設をバリアフリー化することによって、集客力をより高め、沖縄観光の発展を図る。	・観光客を含めた来店者の満足度の向上(来店者(使用者)からの意見を聴取し効果を検証する)	・観光客を含めた来店者の満足度の向上が聞き取りされた	
1	36		第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ~ H31	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグラーの良さを活かした地域観光に寄与する中核施設として、第一牧志公設市場の再整備を推進する。	・再整備後のビジョン(具体的整備方針)の明確化。		繰
1	37		第70期本因坊戦七番勝負那覇市開催関連事業	H27	第70期本因坊戦七番勝負(第2局)を世界遺産「識名園」で開催し、対局記念イベント事業を通して市民文化の振興を図る共に市内の世界遺産のPRに繋げる。	・識名園入園者数: 86,000人(基準: 平成25年度実績82,030人)	・識名園入園者数: 70,333人 / 年	
1	39		那覇三大祭り支援事業	H27 ~ H33	那覇三大祭りにおける会場設営経費の支援等を行うことにより、祭りの円滑な実施を図る。	・那覇ハーリー来場者数: 210,000人(平成26年 117,000人) ・「那覇大綱挽」来場者数: 280,000人(平成26年 273,000人) ・琉球王朝祭り首里来場者数: 80,000人(平成26年 85,000人)	・那覇ハーリー来場者数: 210,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数: 275,000人 ・琉球王朝祭り首里来場者数: 84,000人	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	40		観光宣伝誘致強化事業	H24 ~ H33	観光情報の発信力を強化するため、市長トップセールスやイベント会場等におけるPRブースの設置などの県外観光PR業務を実施するとともに、本市宿泊客へのアンケートを「那覇市の観光統計 - 観光客の声 - 」としてまとめ、観光客誘致強化のための課題を明らかにする。	・県外観光PR 那覇市PRブース来場者数 1,500人×2都市 ・県外現地メディアを活用したパブリシティ効果 2メディア(媒体)×2都市 ・観光施策の評価・検証のための基礎資料の整備	・県外観光PR 那覇市PRブース来場者数 2,500人×2都市 ・県外現地メディアを活用したパブリシティ効果 名古屋9媒体、鹿児島6媒体 ・観光施策の評価・検証のための基礎資料の整備完了	
1	41		観光イベント等映像発信事業	H25 ~ H33	クルーズ船で訪れる観光客及び祭り・イベント会場の観光客向けに、移動式車載大型ビジョンを活用し、本市の観光情報を発信する。	・クルーズ船の那覇港寄港数:65隻 (基準値:平成25年度実績61隻) ・クルーズ船による来客数:81,250人 (基準値:平成25年度実績76,457人、1隻平均1,250人) ・読売巨人軍那覇キャンプー日平均見学者数:8,000人/日(基準値:平成24年度5,796人/日)	・クルーズ船の那覇港寄港数:144隻 ・クルーズ船による来客数:210,268人 ・読売巨人軍那覇キャンプー日平均見学者数:7,013人/日	
1	42		観光情報サイト強化支援事業	H27	(一社)那覇市観光協会の発信する那覇市観光情報サイトである「那覇ナビ」の、全面リニューアルを支援し、観光情報発信の充実・強化を図る。	・那覇市観光情報発信及び観光ニーズ等の把握の強化 (参考) リニューアル後の1日あたりページビュー数3,800 (基準:平成25年度3,557)	・那覇市観光情報発信及び観光ニーズ等の把握の強化完了	
1	43		外国人観光客誘客促進事業	H27 ~ H33	平成26年度より那覇クルーズターミナルビルが供用を開始し、年間のクルーズ船寄港数も順調に増加している。クルーズ船寄港時に、歓迎セレモニーや臨時観光案内所を設置するなどの活動を行う「那覇クルーズ促進連絡協議会」を支援し、外国人観光客の満足度を高め、リピーターを含め新たな観光客の受入増を目指す。	・クルーズ船の観光客受入体制の強化 ・船会社への満足度調査の実施(満足度:60%) (船会社へアンケートを実施)	・クルーズ船の観光客受入体制の強化 ・船会社への満足度調査の実施 観光案内75% 歓迎演舞100%	
1	44		亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業	H27 ~ H29	観光都市にふさわしい観光サービスの環境改善に向け、「人にやさしい道づくり」や「誰もが移動しやすい観光サービス道路の整備等」につなげていくための基礎調査を行う。	人にやさしい道づくり等の整備に向けた条件整理 本基礎調査結果を、今後の道路事業(ハード交付金、ソフト交付金、単独費)へと繋げる。	人にやさしい道づくり等の整備に向けた条件整理完了	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	45	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ~ H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、波の上ビーチシャワー棟の整備および観光地周辺公園の緑化と美化を行う。	・波の上ビーチシャワー棟を完成させる ・公園トイレ整備や植栽整備により苦情件数を50%減少させ満足度を上げる。(平成25年度34件)	・波の上ビーチシャワー棟を完成させた ・公園トイレ整備や植栽整備により苦情件数減少達成できた		
1	46	めんそーれ観光キックオフイベント事業	H27	国際通り周辺地域における迷惑行為の是正に向けた取組を、行政と民間が連携して開始するに際し、市民等への周知を図るためのキックオフイベントやアピール行進等を実施する。	・良好な観光環境の維持に向けた市民等の機運の醸成 ・迷惑行為は是正についての周知	・良好な観光環境の維持に向けた市民等の機運の醸成がなされた。 ・迷惑行為は是正についての周知がなされた。		
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ~ H33	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催を行う。	・市魚マグロイベント来場者数28,000人(基準値:平成24年20,000人) ・高校生の食育教室参加生徒:90人(基準値:平成25年75人) ・泊いゆまちの売上高18億円程度(基準値:平成24年度16.3億円)	・市魚マグロイベント来場者数53,100人 ・高校生の食育教室参加生徒:58人 ・泊いゆまちの売上高13.5億円程度		
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ~ H33	本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を行う。	漁船の近代化を推進する事によって、操業の安全の確保、就労環境の改善(就労期間の延長)が見込まれ、漁業従事者数(60歳以上100名)の維持確保。	漁業従事者数(60歳以上):102名		
2	3	地産地消推進事業	H24 ~ H33	本市産業の振興発展を図るため、地産地消コーディネーターを活用して伝統野菜の生産拡大や沖縄伝統野菜のPR活動及び啓蒙活動や利用推進に向け学校給食の需要と地元野菜供給とのマッチングを行う。	・学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類):33%(事業開始前H23年度:26.2%) ・沖縄伝統野菜のPR活動及び啓蒙活動(生産者を学校に招いて出前授業の開催):5校で実施 ・地元野菜PRおよび地産地消推進パンフレット配布:4,000部	・学校給食における地場産物の使用する割合(野菜類):28%(事業開始前H23年度:26.2%) ・沖縄伝統野菜のPR活動及び啓蒙活動(生産者を学校に招いて出前授業の開催):5校で実施 ・地元野菜PRおよび地産地消推進パンフレット配布:4,000部		
2	4	ワッター野菜がジョートーサー事業	H24 ~ H28	本市産業の振興発展を図るため、那覇の伝統野菜の保存・普及および地元の農家がつくった沖縄の伝統野菜のPR活動及び啓蒙活動や亜熱帯農作物の加工品販売を促進する事業である。	・地元野菜を活用した食材提案会参加者数:100人(基準値:平成24年度64人)	・地元野菜を活用した食材提案会参加者数:155人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	5	外国人漁業研修生受入推進事業	H26 ~ H33	市内漁業協同組合が行う外国人漁業研修生受入事業に対し費用の一部を支援する。	マグロ漁の操業漁船45隻の確保維持。 (基準値:平成25年度45隻)	マグロ漁の操業漁船:47隻		
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ~ H33	本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外へ販路拡大する取り組みに対して支援を行う。	助成対象期間内における活動目標の16社の商談件数及び成約件数: 商談件数150件 成約件数15件(商談件数に対する成約率10%を目標としている)	商談件数111件 成約件数6件	未	
3	2	那覇の物産展事業	H24 ~ H33	本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の地場産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためPRして、産業の振興を行う。	物産展の売上額:1,232万円 (対前年度売上額の5%増) H25年度売上額:1,174万円	物産展の売上額:2,777万円		
3	3	沖縄の産業まつり事業	H25 ~ H33	沖縄の産業まつりで本市の地場産品コーナーを確保し、本市の地場産品の販路拡大を図るとともに、那覇市長賞(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)の受賞企業に対し、その商品のPR活動を支援する。	出展業者売上見込額 350万円 (H26実績3,576,653円)	出展業者売上額 322万円		
3	4	企業誘致活動サポート事業	H24 ~ H33	本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。	誘致企業:沖縄振興特別措置法、沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる情報通信関連産業、国際物流関連産業等の成長産業分野に属する企業:2社以上(前年度実績2社)	沖縄振興特別措置法、沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる情報通信関連産業、国際物流関連産業等の成長産業分野に属する誘致企業数:0社	未	
3	5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ~ H33	市内の中小企業の育成と人材育成による経営基盤強化を図るため、経営者等30社(各社1~2名、最大60人程度)を対象に、県外・海外への販路拡大のノウハウ等を学ぶ講座を3回程度実施する。	・経営者・中堅人材等の育成を考える中小企業の参加:30社 ・講座の参加者60名	・経営者・中堅人材等の育成を考える中小企業の参加:38社 ・講座の参加者54名		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	6	頑張るマチグラー支援事業	H25 ~ H33	那覇市の中心商店街の活性化に向けた事業を行う団体等の創意工夫による積極的な取組み、提案事業を支援し、観光客及び多くの地元客を呼び戻し、賑わいの創出を図る。	・中心市街地の活性化に向けた取組の増加: H26年度から40%増加 (H26:7件 H27:10件) ・中心商店街の平日歩行者通行量 113,997人 (H26年度平日歩行者通行量 112,712人) H33年(7年後)をH26年の8%アップとしていることから、年1.14%アップとしている。	・中心市街地の活性化に向けた取組の増加: H26年度から100%増加 (H26:7件 H27:14件) ・中心商店街の平日歩行者通行量 124,936人		
4	1	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ~ H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	地盤改良及びランプウェイ基礎工の完了		繰	
4	2	臨港道路浦添線無電柱化事業	H27 ~ H28	那覇港浦添ふ頭地区の臨港道路浦添線において、観光立県沖縄のウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりに向けて、無電柱化を行う。	実施設計の完了		繰	
5	1	なはし就職なんでも相談センター運営事業	H24 ~ H33	市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数:100人 H25実績91人就職	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数:102人		
5	2	企業立地雇用施策基本指針策定事業	H26 ~ H27	本市雇用環境の改善、雇用施策の充実のため、平成26年度の調査結果を受け、社会的に流動的な雇用情勢に対応する中期的な実施計画を策定する。計画の策定に当たっては、審議会等の外部組織を立ち上げ、策定に向けた審議を行う。	・企業立地雇用施策に関する中期的な実施計画の策定	・企業立地雇用施策に関する中期的な実施計画の策定完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	3	ひとり親等職業自立支援モデル事業	H27	就労が困難なひとり親家庭の親等を雇用した事業主に対し、常用雇用に結びつけるための就労支援の手段として、速やかにトライアル雇用から常用雇用への移行を促し、モデル事業として実施する。	トライアル雇用から常用雇用への移行を促す環境を整備し、H28年度以降の効果的な事業実施に向けて情報収集を行う。	トライアル雇用から常用雇用への移行を促す環境を整備し、H28年度以降の効果的な事業実施に向けて情報収集を行った。		
5	4	生き生き人材育成支援施設整備事業	H26 ~ H30	観光産業分野等で活躍できる人材の育成を図るとともに、地域住民と在住外国人との交流、地域づくりやまちづくりの活動を支援するための拠点施設を整備する。	・実施設計等に向けた条件整備の完了		繰	
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したチーム・ティーチング形式等での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A: -1.3%(H24~H26平均: -1.6%)	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率との差) 小学校算数A: +5.0%		
6	2	小学校英語指導員配置事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員を小学校各校に配置し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合: 32%(H26実績: 30%)	英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合: 47%		
6	3	中学校英語指導員配置事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通じたコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合: 32%(H26実績: 30%)	英語能力判定テストにおける英検4級レベルの生徒割合: 47%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	4		特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ~ H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各学校へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	・支援児童生徒数: 300人 ・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A: -1.3%(H24~H26平均: -1.6%) 中学校数学A: -5.4%(H24~H26平均: -6.7%)	・支援児童生徒数: 530人 ・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率との差) 小学校算数A: +5.0% 中学校数学A: -4.2%	
6	5		特別支援教育充実事業(幼稚園)	H24 ~ H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	・園児の安全性、教育の公平性の確保、子どもの環境適応能力の向上 ・対象児童数: 164人	・園児の安全性、教育の公平性の確保、子どもの環境適応能力の向上が達成された。 ・対象児童数: 184人	
6	6		特別支援教育充実事業(幼稚園預かり保育)	H24 ~ H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。	・園児の安全性、教育の公平性の確保、子どもの環境適応能力の向上 ・対象児童数: 98人	・園児の安全性、教育の公平性の確保、子どもの環境適応能力の向上が達成された。 ・対象児童数: 124人	
6	7		発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成の為、又教育の振興を目的に、特別な支援が必要な児を乳幼児期から健診等を通して早期に把握し、健診後の発達相談や親子教室、育児教室等の事業実施を通して療育へつなげ、その後の幼稚園・学校が実施している特別支援教育へつなげる等の連携をはかりながら切れ目のない支援を行う。	乳幼児健診後の精神発達面のフォロー数: 578人 (平成25年度: 194人)	乳幼児健診後の精神発達面のフォロー数: 256人	未
6	8		預かり保育推進事業(ソフト交付金)	H25 ~ H34	教育課程に係る教育時間の終了後に行う午後の預かり保育へつなげる教育活動で、各幼稚園の預かり保育指導員1名を臨時職員とし午前中から配置することで、きめ細かに安心安全な保育を実施する。	・午前から午後へ保育活動の連続性の確保 ・対象児童数: 1635人	・午前から午後へ保育活動の連続性の確保 ・対象児童数: 1,749人	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	9		学習支援室(ていんぼう)事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒及び過卒生を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。	・高等学校進学率：98.0% (平成25年度実績は97.3%)	・高等学校進学率：97.7%	
6	10		学習ボランティア支援事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A：-1.3%(H24~H26平均：-1.6%) 中学校数学A：-5.4%(H24~H26平均：-6.7%)	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率との差) 小学校算数A：+5.0% 中学校数学A：-4.2%	
6	11		自立支援教室(きら星学級)事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、遊び・非行傾向等の不登校で学校内では対応が難しい児童生徒に対し、体験学習等を通じた支援を行い登校復帰を促す。	・中学生の不登校に占める 遊び・非行傾向の割合：25.0% (平成25年度実績は30.1%)	・中学生の不登校に占める 遊び・非行傾向の割合：32.4%	
6	12		教育相談支援事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を全小中学校に配置し、不登校及び不登校傾向の児童生徒や保護者の相談・支援に取り組む。	・小学生の不登校率：0.45% ・中学生の不登校率：3.15% (平成25年度実績小学生は0.52%、 " 中学生は3.57%)	・小学生の不登校率：0.41% ・中学生の不登校率：3.35%	
6	13		メンタルヘルスカウンセリング事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、不登校等の様々な悩みを持つ児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談・支援を行う。	・小学生の不登校率：0.45% ・中学生の不登校率：3.15% (平成25年度実績小学生は0.52%、 " 中学生は3.57%)	・小学生の不登校率：0.41% ・中学生の不登校率：3.35%	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	14	青少年旗頭事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。	旗頭フェスタに参加した児童生徒数:1,230人 (H26実績・参加児童生徒数:945人)	旗頭フェスタに参加した児童生徒数:816人	未	
6	15	街頭指導事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応に取り組む。	・青少年の深夜徘徊補導人数:11,000人 (平成25年実績は13,659人)	・青少年の深夜徘徊補導人数:5,544人		
6	16	生徒サポーター派遣事業	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、学校内教育支援室等を設置して、「あそび・非行」傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む。	・中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合:25.0%(H25実績:30.1%)	・中学生の不登校に占める遊び・非行傾向の割合:32.4%		
6	17	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、支援を行う。	大会等派遣児童生徒数(年間):385人	大会等派遣児童生徒数(年間):368人		
6	18	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、支援を行う。	大会等派遣児童生徒数(累計):500人	大会等派遣児童生徒数(累計):396人		
6	19	離島等自然体験学習事業 自然教室	H24 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。	・自然体験活動を実施した児童生徒数:3,100人 ・全国学力・学習状況調査(基本的生活習慣、規範意識項目)で前年度ポイントを下回らないこと (小学校:H25:84%、H26:85%)	・自然体験活動を実施した児童生徒数:2,708人 ・全国学力・学習状況調査(基本的生活習慣、規範意識項目)で前年度ポイントを下回った(80%)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	20	小学校施設環境整備事業(冷房設置)	H24 ~ H29	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。	・平成27年度の冷房機の整備によって、学習環境の改善が見込まれる児童数:約800人 ・市内小学校36教室への整備による冷房機設置教室の整備率:86% 92%	・平成27年度の冷房機の整備によって、学習環境の改善がなされた児童数:780人 ・市内小学校36教室への整備による冷房機設置教室の整備率:86% 90%		
6	21	中学校施設環境整備事業(冷房設置)	H24 ~ H28	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。	・平成27年度の冷房機の整備によって、学習環境の改善が見込まれる生徒数:約200人 ・市内中学校6教室への整備による冷房機設置教室の整備率:93% 99%	・平成27年度の冷房機の整備によって、学習環境の改善がなされた生徒数:190人 ・市内中学校6教室への整備による冷房機設置教室の整備率:93% 99%		
6	22	小学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ~ H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	・全体計画の進捗率:40%	・全体計画の進捗率:40%		
6	23	中学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ~ H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	・全体計画の進捗率:40%	・全体計画の進捗率:40%		
6	24	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ~ H33	学力調査、満足度調査を小学校で実施し、調査結果の分析を基にした基礎資料を得て、教師や児童生徒の学習への取組の強化を図り、指導法や学習効果を高めるため調査研究を実施する。	・小学校第2学年第4学年の児童の実態、課題の把握 ・学力調査結果で全国平均を超える学校数:20校	・小学校第2学年第4学年の児童の実態、課題の把握がなされた。 ・学力調査結果で全国平均を超える学校数:20校以上を達成した		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	25	那覇市小中一貫教育推進事業	H27 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、義務教育9年間を連続した期間ととらえ、一貫性のあるカリキュラムで学習指導・生活指導を行う小中一貫教育を導入することにより、中学校入学時の不安を解消し、義務教育9年間を修了するにふさわしい学力の育成、児童生徒の豊かな人間性・社会性の育成を図る。	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A: -1.3%(H24~H26平均: -1.6%) 中学校数学A: -5.4%(H24~H26平均: -6.7%) ・小中学校の不登校率 小学校: 0.45%(H25: 0.52%) 中学校: 3.15%(H25: 3.57%)	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率との差) 小学校算数A: +5.0% 中学校数学A: -4.2% ・小中学校の不登校率 小学校: 0.46% 中学校: 3.41%		
6	26	教育用ソフト購入事業	H27 ~ H33	教育環境の充実を図り、将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、主要教科のデジタル教科書を市内小中学校に配付し、児童生徒の学習能力の向上を図る。	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率) 小学校算数A: -1.3%(H24~H26平均: -1.6%) 小学校国語A: -0.9%(H24~H26平均: -1.2%)	・全国学力調査の全国との差(過去3年平均正答率との差) 小算A: +5.0% 小国A: +2.6%		
6	27	なは若者人材育成事業	H27 ~ H29	青少年育成団体、青年団体、NPO団体等が活発に事業の実施ができるようにデータの収集や作成などを含めた運営支援を行い効率化のための仕組みづくりを行う。また、地域における若者育成や社会参画のあり方について啓発活動を行う。	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成ができ青年の社会参画活動が活発な社会にする。 ・活動やイベント等に参加した者による評価: 「満足した」「よかった」の回答5割 (アンケートによる集計) ・地域への功績等が認められる青少年の表彰: H27年度30人程度(3年間で約100人)	・活動やイベント等に参加した者による評価: 「満足した」「よかった」の回答: 77% ・地域への功績等が認められる青少年の表彰: H27年度: 16団体 約200人		
6	28	不登校対策等拠点施設長寿命化事業	H27	本市の不登校(児童生徒)対策等において拠点施設となっている真和志庁舎は、亀裂や剥落が多く発生するなど老朽化が進んでいる。しかしながら、建替えなどの根本的な解決策を実施するには、未だ時間を要する見込みである。よって、不登校対策等を継続して実施するため、本事業により当該拠点施設の長寿命化を行う。	・設計、工事、工事監理業務完了 ・不登校対策等拠点施設開庁日数 年間257日 (基準: H25年度実績259日)	・設計、工事、工事監理業務完了 ・不登校対策等拠点施設開庁日数 年間256日		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	29	中学校校庭拡張工事業 (那覇中学校)	H27	塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、那覇中学校の老朽化校舎を解体撤去し、生徒の安心・安全の確保を図るとともに、解体跡地を運動場として拡張することで、運動場面積を中学校設置基準に近づける。	・老朽校舎撤去により生徒が安心・安全に学べる環境を確保 ・運動場面積の拡大により設置基準へ近づける (現行:7,053㎡ 撤去後:7,323㎡;設置基準7,400㎡)	・老朽校舎撤去により生徒が安心・安全に学べる環境を確保した ・運動場面積の拡大により設置基準へ近づけた		
6	30	スポーツ広場整備事業	H24 ~ H27	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、スポーツ人口を増加させることを目的とする。	スポーツ広場の機具庫整備完了	スポーツ広場の機具庫整備完了		
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24 ~ H33	沖縄振興に資する伝統芸能の継承発展のため著名な文化芸術作品の公演や地域に根ざした文化芸能公演、また、市民ギャラリーの貴重な収蔵作品等を整理し必要な補修を行い、展示会を開催し市民文化の振興を図る。	・来場者数:1,100名(平成26年度実績:1,050名) ・来場者数:1,000名(実績なし) ・来場者数:550名(平成26年度実績:600名)	・来場者数:1,110名 ・来場者数:750名 ・来場者数:512名		
7	2	市民文化育成発信事業	H24 ~ H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展及び市民文化活動の活性化を図るため、児童生徒や一般市民の参加・創造型の自主事業を実施する。	・ふれあいジャズ公演実施1回、参加校20校、来場者数2,000名(平成26年度実績参加校18校来場者数2,000名) ・講座参加者40名、成果公演来場者400名(平成26年度実績:講座参加者30名、来場者400名) ・来場者数370名(平成26年度実績:350名) ・応募者数190名、芸術展来場者数1,630名(平成26年度実績:181名、来場者数1,550名)	・ふれあいジャズ公演実施1回、参加校18校、来場者数2,000名 ・講座参加者46名、成果公演来場者260名 ・島くつば語やびら大会来場者数230名 ・応募者数144名、芸術展来場者数1,407名		
7	3	市民文化支援事業	H24 ~ H33	沖縄振興に資する市民の実演芸術活動及び地域の伝統文化継承活動をする文化団体等を支援し、担い手の育成並びに保存・継承・普及を図る。	・文化団体等4団体への支援 ・伝統芸能・民俗文化団体10団体への支援	・文化団体等2団体への支援 ・伝統芸能・民俗文化団体4団体への支援	未	
7	4	伝統文化継承種まき事業	H24 ~ H33	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣して伝統文化の継承に取り組む。	専門講師派遣回数 288回 ・1年間で専門講師から伝統文化の教授を受ける児童数 557名	専門講師派遣回数 279回 ・1年間で専門講師から伝統文化の教授を受ける児童数 526名		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	5		子どもが輝くまちづくり事業	H24 ~ H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。	子どもフェスタ参加児童生徒数:730人	子どもフェスタ参加児童生徒数:615人	
7	6		郷土資料整備事業	H24 ~ H33	沖縄振興に資する伝統文化等を継承するため、郷土資料を購入し充実を図る。沖縄関係、地元出版の図書等を豊富にそろえることで、市民、子供たちに郷土についてより多くの情報提供をしていき、地元への関心を高めることによって伝統文化の継承をすすめていく。	年間延べ7,000点の貸出数を目指す。	年間延べ9,898点の貸出	
7	7		島クツバ継承・普及小冊子製作事業	H24 ~ H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、島クツバ小冊子を製作し、小中学校の児童・生徒に配布して、学校及び家庭での積極的な活用を推進する。	小冊子活用状況調査における小中学校活用率(日常的な活動を通して):67%(H26実績:65%)	小冊子活用状況調査における小中学校活用率(日常的な活動を通して):90%	
7	8		新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ~ H32	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、県都である特性を活かした新たな文化の殿堂・沖縄の伝統文化の発信拠点となる新市民会館を建設する。本年度は、建設敷地の拡大に向けた補償物件調査等を実施する。	・建設敷地の拡大に向けた隣接地の土地及び建物の補償費用の算定		繰
7	9		久茂地地区まちづくり推進事業	H27	久茂地(周辺)地区において、新文化芸術発信拠点施設整備に係る周辺環境整備基礎調査、周辺環境整備計画を踏まえ、地区の勉強会や意見交換会により合意形成を図ったうえで、まちづくり計画素案を作成する。	・まちづくり計画素案の作成 (例:A地区=住環境保護、B地区=住商混在等) ・上記素案をもとに、都市計画決定の変更(案)作成 (例:地区毎に相応の建築用途制限等)	・まちづくり計画素案の作成完了 都市計画決定の変更(案)作成完了	
7	10		文化芸術発信拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館展示室環境整備)	H27	壺屋焼物博物館を観光施設としての機能を強化するため、展示環境の向上に向けて照明設備を改修する。	・展示室の展示環境の強化	・展示室の展示環境の強化完了	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	11		御細工所跡緊急発掘調査事業	H27 ～ H30	琉球王府時代の工芸品等を製作していた「御細工所」跡地の発掘調査を実施し、調査結果を将来へ伝える。	「御細工所」跡の発掘調査完了	「御細工所」跡の発掘調査完了	
8	1		認可外保育施設の環境整備事業	H24 ～ H33	認可外保育施設の保育の質の向上及び入所児童の処遇向上を目的に、認可外保育施設指導監督基準を満たすよう指導を行い、満たした既存施設の改修整備を行う。また、市内の認可外保育施設の衛生消毒、害虫駆除を行う。	・よりよい保育環境の整備	・よりよい保育環境の整備完了	
8	2		児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ H33	低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、民間施設等を賃借している児童クラブに対して活動支援を行う。	・公的施設で活動している児童クラブとの格差是正 ・受け入れ児童数：1,260名 (基準値：平成24年度811人)	・公的施設で活動している児童クラブとの格差是正がなされた。 ・受け入れ児童数：1,489名	
8	3		ナハノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置)	H25 ～ H28	認可外保育所を含めた本市の保育資源の最大活用のために、保育施設の情報提供をきめ細かに行うための専門的相談員を常駐させる。	保育施設情報相談の実施(目標：年間600件)	保育施設情報相談の実施(年間717件)	
8	4		認可外保育施設・絵本読み聞かせ実施事業	H25 ～ H33	認可外保育施設において、保育従事者に「絵本等読み聞かせ」を定着させるため、専門講師による研修を行い、絵本等を配付し、保育の質向上を図る。	・保育の質向上	保育の質向上がなされた	
8	5		ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ H33	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等さまざまな人を支援するため、総合相談窓口を設置する。	相談者への支援へ繋げる体制の強化	相談者への支援へ繋げる体制の強化がなされた	
8	6		ボランティア振興事業	H27 ～ H33	那覇市地域福祉計画では人々が互いに支え合うことで困りごとを解決することを目標としており、隣近所の付き合いが希薄化している本市においては、ボランティアの活性化は非常に重要である。那覇市社会福祉協議会にボランティア支援員を配置することで、本市におけるボランティアの登録、コーディネート機能を強化し、新たなインフォーマルな支援の担い手を養成し、高齢化社会に備える。	ボランティアのコーディネート件数の増加(年200件 850人) アンケートによりボランティアをしてもらった人の満足度の向上を検証	ボランティアのコーディネート件数(年173件 665人) ボランティアで生活課題を解消し満足度を向上させられた(アンケート回答において173件が生活課題が解消されたと回答)	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	7	発達障がい者サポート事業	H27 ~ H33	本市在住の発達障がい者の本人とその家族からの様々な相談に応じ、指導と助言を行うことで、発達障がい者の円滑な社会生活の促進に資する。	発達障がい者が、適切な人間関係を構築し、円滑な社会参加を可能にすることにより、発達障がい者のQOL(生活の質)の向上。 (検証方法:受託者と協議して作成するチェックリストで検証を行う)	質の向上がなされた		
9	1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ~ H33	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会から推薦された2世・3世らを研修生として受け入れ、民間企業等での研修や沖縄伝統芸能・文化等を学ぶ機会とする。	・研修を通してウチナーンチュとしてのアイデンティティを再認識したと感じた研修生2名 ・帰国後にウチナーンチュネットワークの構築と発展に寄与する気持ちが強くなった研修生2名	・研修を通してウチナーンチュとしてのアイデンティティを再認識したと感じた研修生2名 ・帰国後にウチナーンチュネットワークの構築と発展に寄与する気持ちが強くなった研修生2名		
9	2	那覇長崎平和交流事業	H25 ~ H33	平和に対する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生8名を派遣する。また、不定期で、長崎県より中学生40名が来沖し、本市中学生40名と合同で平和学習(南部戦跡巡り等)を行う。	平和に対する意識の高揚 (事業参加後に提出する作文で、事業参加前と参加後にどのように意識が変わったのか、今後平和に対してどのような取組を行ってみたいか確認する)	平和に対する意識の高揚が図られた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
10	1	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	H24 ~ H33	全体計画 見直し版 に基づき、平成25、26年度に引き続き、全体計画の周知活動や土地活用に関する勉強会の開催、がじゃんぴら通信の発行等による地権者等の「意識醸成」と次世代の会の開催継続、先進地視察の実施、地主会理事会と次世代の会の合同意見交換会の開催など「組織づくり」に向けた取り組み、また、移行期間3年目となることから地権者へのアンケート調査や有識者検討委員会を開催し、第2ステージへの移行に向けて方向性の整理を行う。	・第2ステージ(跡地利用計画策定段階)への移行に向けた方向性の整理	・第2ステージ(跡地利用計画策定段階)への移行に向けた方向性の整理がなされた		
11	1	離島体験学習支援事業	H24 ~ H33	県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を図るため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習に対する支援を行う。	離島等派遣延べ人数:200人派遣	離島等派遣延べ人数:83人派遣	未	
12	1	水資源有効利用推進事業	H24 ~ H33	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置を支援する。	都市化の進展に伴い雨水の流出量が増大し、ゲリラ豪雨による浸水被害が顕著になってきているため、被害の軽減や流量抑制の寄与	流量抑制の寄与がなされた		
12	2	ハブ・衛生害虫等対策事業	H27 ~ H33	ハブ咬症防止の啓発、ハブの捕獲、捕獲器の貸出し等のハブ対策、ネズミやゴキブリ、蚊など衛生動物・衛生害虫の防除及び感染症に関する消毒業務を実施し、市民の安全と衛生的な生活環境の確保を図る。	捕獲器の設置数 115基 ハブの捕獲数 56匹 ハブに関するパネル展等の開催 2回 衛生害虫等の相談対応件数 105件 衛生害虫重点薬剤散布箇所の調査・散布回数 40回	捕獲器の設置数 247基 ハブの捕獲数 107匹 ハブに関するパネル展等の開催 10回 衛生害虫等の相談対応件数 173件 衛生害虫重点薬剤散布箇所の調査・散布回数61回		
12	3	天然ガス資源有効利活用調査研究事業	H27	沖縄県が奥武山において実施した天然ガス資源試掘調査報告書をもとに、本市での利活用の方策について調査研究する。	公共施設等での利活用に向けた検討を行うための基礎資料を整理し、利活用の方向性を定める	公共施設等での利活用に向けた検討を行うための基礎資料を整理し、利活用の方向性を定めた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
13	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ~ H33	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	応急手当講習受講者数:6,000人以上を実施する。(H25年度実績6261名)各応急手当講習会の目標数値は以下の通り 入門コース 1500名 普通救命講習 1550名 普通救命講習 280名 上級救命講習 80名 応急手当普及員講習 100名 その他講習 2500名	応急手当講習受講者数:5,961人		
13	2	地域(防災)案内付き掲示板設置補助事業	H25 ~ H28	地域住民や観光客等の安全安心の向上及び地域の景観形成と自治会活動の活性化を図るため、防災情報に関する情報を取り込んだ沖縄らしいデザインの掲示板を作成する。自治会所有の掲示板について、当該掲示板設置への支援を行う。	新設又は改修により防災情報を取り込んだ沖縄らしい掲示板の割合40% H27年度末自治会所有掲示板数見込: 655基 H27年度末の新設・改修した掲示板数: 265基(H26:188基 H27:77基)	新設又は改修により防災情報を取り込んだ沖縄らしい掲示板の割合40%		
13	3	災害中央ボランティアセンター拠点施設整備事業(那覇市総合福祉センター)	H27 ~ H28	那覇市総合福祉センターは、本市が大規模災害に被災した際には、ボランティアが参集し、那覇市社会福祉協議会のコーディネートのもと、各被災地域へ派遣し活動するための拠点となるため、非常用発電機用の重油タンクを設置し、燃料供給時間を増やすことで、災害時の電源を確保する。	災害中央ボランティアセンター非常用発電機用重油タンク大型化工事の設計完了	遂行困難	-	
14	1	地下壕対策事業	H24 ~ H33	沖縄の抱える様々な特殊事情(地下壕)に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻等を行う。	全体箇所数60箇所のうち、H27年度末までに12箇所において対策実施予定。 (全体箇所に対するH27年度末までの進捗率20%)		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
14	2		戦略的交通まちづくり推進事業	H24 ~ H33	沖縄の抱える様々な特殊事情(鉄軌道等整備の遅れ)に対応するため、公共交通機関利用についての意識啓発イベントなど、市内交通環境再構築に向けた事業を行う。	・カーフリーデーの実施意義への理解80%以上の継続 9/16~22日の1週間、なほモビリティウィーク&カーフリーデーを開催し、車に頼り過ぎない暮らしの社会啓発を行う ・公共交通ハンドブックを作成し市内への転入者へ配布することで、公共交通の利用を促す。 ・LRT導入の検討 市内において、LRT導入に向けた課題及び影響の内容を把握する。		繰
14	3		亜熱帯庭園都市形成推進調査(道路)	H24 ~ H33	計画的で健全なまちづくりを推進するため都市計画施設整備の可能性調査。道路や市街地再開発、密集市街地改善、まちなか居住など商業拠点の形成や環境改善の方針を定めるための基礎調査を実施する。	都市計画道路の変更図書(案)の作成	都市計画道路の変更図書(案)の作成完了	
14	4		亜熱帯庭園都市形成推進調査(市街地再生)	H25 ~ H27	沖縄の抱える様々な特殊事情(軍用地接収等により生じたまちづくりの課題)のために、都市機能の更新が進まない中心市街地の区域について、中心市街地の活性化に資する、地域に則したまちづくりを進めるための調査・検討を行う。	「まちづくり基本構想(案)」の策定	「まちづくり基本構想(案)」の策定完了	
14	5		アメリカ統治下議会議事録電子化事業	H25 ~ H29	祖国復帰前のアメリカ施政権下における本市議会の記録・議事録(1958年~1961年1月分まで)を電子化し、本土とは異なる政治形態下における議会の記録として市民ならびに沖縄の歴史研究等に提供できるよう整備する。	電子化した議事録をホームページで公開する。ホームページ(電子書籍ページ)の閲覧者数(1ヶ月):50人	電子化した議事録をホームページで公開した。ホームページ(電子書籍ページ)の閲覧者数 月平均 :58人	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
14	6	亜熱帯庭園都市形成推進調査(住環境基礎調査事業)	H27 ~ H29	密集住宅市街地における再生重点地区の住宅施策に関する基本構想の策定及びまちなか居住推進方針案に対する具体的施策について、モデル事業による方針案の検証等を行い、住生活基本計画や市営住宅ストック計画に掲げた政策の実現に向けた、住環境基礎調査を実施する。	・基本構想による事業化の推進 ・まちなか居住の方針案作成	・基本構想による事業化の推進がなされた ・まちなか居住の方針案作成完了		
15	1	歯科保健予防対策モデル事業	H25 ~ H27	モデル地区にて校区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯みがき教室やフッ化物洗口、食育教室や健康教室の実施を行い、総合的な健康づくりを実施することによって、効果的なう蝕予防や歯科保健の推進を図る。また、那覇市在住の妊婦に対し歯科健診を実施する。	・モデル地区のフッ化物洗口会場での1回あたり平均来場者数:25人 (H26年12月現在平均来場者数:20人) ・市内小学校での集団応用によるフッ化物洗口実践校:1校以上(平成26年度:0校) ・妊婦歯科健診の受診率:50%	・モデル地区のフッ化物洗口会場での1回あたり平均来場者数:22.1人/回 ・市内小学校での集団応用によるフッ化物洗口実践校:1校 ・妊婦歯科健診の受診率:33%		
15	2	職場が主体的に取り組む健康づくり支援モデル事業	H25 ~ H27	職場の健康づくりの実態調査や健康づくりメニューブックを活かし、職場が主体的に企画・実施する「頑張る職場の健康チャレンジ」事業を実施する。その取り組みの内容を評価、検証し、今後の職場の健康づくりの支援のあり方を検討する。	・チャレンジ達成事業所:8事業所(対象事業所:9事業所) (平成26年度達成事業所:3事業所(対象事業所3事業所))	・チャレンジ達成事業所:8事業所		
15	3	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ~ H33	市民の健康増進、生涯スポーツのまちづくりを目指し、市民健康ウォーキング大会を開催する。	那覇市健康ウォーキング大会参加者数: 5,000人	那覇市健康ウォーキング大会参加者数: 3,890人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
15	4		生活習慣病重症化予防モデル事業	H26 ~ H29	<p>本県は肥満率が全国一高いこと、要医療者でありながら受診していない者が多いなどの健康課題があるため、健診結果にもとづく特定保健指導の対象者だけでなく、要医療者や治療コントロール不良等の者に対してもかかりつけ医等と連携して保健指導を実施することで、心疾患や糖尿病等の合併症・重症化を防ぎ、長寿県沖縄復活を目指す事業を実施する。</p> <p>また、30代・40代の国保加入者で3年連続で健診を受けていない者を対象に、自宅で実施できる血液検査の案内を郵送し自分自身の健康状態を確認してもらうことで有所見者を早期に発見し、重症化する前の医療機関受診(治療)につなげ、また健診受診の動機付けとする。</p>	<p>・要医療者が適正に受診し、血圧・血糖値が改善される人の割合:50%(H25年度改善率42.7%)</p> <p>・定期健診受診者:8割 (H25年度継続受診率68.8%)</p> <p>・申込みを行って、血液検査結果が有所見(D判定)となった者のうち、30代、40代あわせて50人が受療に向けた行動を行う。 有所見判定D判定: 30代:(10,000×10%)×13%=130名、40代: (5,000×4%)×20%=40名</p>	<p>・要医療者が適正に受診し、血圧・血糖値が改善される人の割合:78.9%</p> <p>・定期健診受診者:62.6%</p> <p>・申込みを行って、血液検査結果が有所見(D判定)となった者のうち、39人が受療に向けて行動を行った。</p>	
15	5		歯とお口の健康普及啓発推進事業	H27 ~ H33	<p>歯科保健に対する正しい知識やむし歯や歯周病が全身に及ぼす影響、口腔機能の低下によりもたらす誤嚥性肺炎の防止等を市民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図る。</p>	<p>・全会場入場者数:2,210人 (平成26年度:2,101人)</p>	<p>・全会場入場者数:2,459人</p>	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	道路景観整備事業	H24 ~ H33	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道及び、沖縄コンベンションセンターから国道58号までの市道の景観整備を行う。	・主要観光道路(市道)景観整備:1路線(歩道等)の約3分の2完了	・主要観光道路(市道)景観整備:1路線(歩道等)の約3分の2完了		
1	2	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	H24 ~ H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭り・カチャーシー大会」を支援する。	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:150,000人 (基準値:H22年度 130,000人)	はごろも祭り・カチャーシー大会来場者数 来場者数:140,000人		
1	3	企画展開催事業	H24 ~ H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展の平均入館者数1,400人/1回 (基準値:H23~H25年度平均 1,395人/1回)	企画展の平均入館者数1,831.5人/回		
1	4	宜野湾市産業まつり	H24 ~ H33	市の特産品のPRや産業振興及び観光振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつり来場者数 平成27年度 来場者数28,000人 基準年度 平成23年度 来場者数10,000人	宜野湾市産業まつり来場者数 26,000人		
1	5	文化財説明板・標識設置事業	H24 ~ H33	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	文化財標識・説明板設置を行い、今後の展開につながる環境が整う。	文化財標識・説明板設置を行い、今後の展開につながる環境が整えた。		
1	6	ぎのわん車いすマラソン大会補助事業	H25 ~ H33	障がい者スポーツの振興及び観光振興を図るため、本市の海浜公園及びその周辺で開催されるぎのわん車いすマラソン大会に対して支援する。	大会参加者(実走者)目標数 全体250名(内県外参加者50名)	大会参加者 全体256人 うち県外参加者35人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	7	琉球海炎祭支援事業	H25 ~ H33	日本で一番早い夏の大花火をキャッチフレーズにしたイベントである。日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティーに溢れた沖縄最大の一大イベントであり、本市の観光振興に寄与しているため、当該イベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。	琉球海炎祭有料エリア来場客数: 13,000人 (内観光客5,100人)	琉球海炎祭有料エリア来場客数: 11,386人 (内観光客数4,495)		
1	8	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ~ H33	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。	・プロ野球キャンプ見学者数 目標値(H27年度): 28,000人 基準値(H24年度): 22,300人	プロ野球キャンプ見学者数26,700人		
1	9	トロピカルビーチ賑わい創出事業	H26 ~ H28	本市の観光資源であるトロピカルビーチでミュージックイベント等を開催することにより、市民の憩いの場や観光客の賑わいを創出し、アフターコンベンションの新たな観光スポットとして定着を図る。	平成27年度 イベント来場者数: 4,800人 (参考) 平成26年度 イベント来場者数: 4,703人	イベント来場者数: 9,691人		
1	10	エンタテインメント産業支援事業	H26 ~ H28	エンタテインメントを沖縄の成長産業として育成していく試金石として、次世代を担う若年層が世界のエンタテインメントの最前線から直接学ぶ機会を提供するとともに、宜野湾市の新たなイメージを創出するオープンスクールイベント開催を支援する。	オープンスクールイベント来場者数: 700人	オープンスクールイベント来場者数: 453	未	
1	11	博物館機能強化事業	H26 ~ H33	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	常設展示室整備実施設計の策定を行うことで、展示工事に向けての準備が整う。	常設展示室整備実施設計完了		
1	12	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H24 ~ H28	宜野湾市内外に周知されたプロ野球チームのキャンプ地である市立野球場において、キャンプ受入体制を確保するため、市立野球場の施設整備を行う。	・市立野球場のラバーフェンスの改修完了	市立野球場のラバーフェンスの改修完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	スクールカウンセラー活用事業	H24 ~ H33	スクールカウンセラーを市内4小学校に定期的に派遣し、学級担任、児童生徒、保護者との相談(不登校・いじめ・非行・発達に関する問題等)を行い、教育相談の充実を図る。	小中学校における不登校出現率 小学校0.35%以内 中学校3.0%以内 (出展)『平成26年度宜野湾市の学校教育』 P42に準じた目標値	小中学校における不登校出現率 小学校0.63% 中学校5.48%	未	
2	2	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ~ H33	近年の子供たちを取り巻く社会環境が著しく変化するなかで、遊び非行型及び心因性による不登校児童生徒の増加が懸念されている。このようなことから、スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校児童生徒の学校復帰に繋げる支援に取り組む。	学級復帰人数9人	学級復帰人数9人		
2	3	適応指導教室事業	H24 ~ H33	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、教育相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	小中学校における不登校出現率 小学校0.35%以内 中学校3.0%以内 (出展)『平成26年度宜野湾市の学校教育』 P42に準じた目標値	小中学校における不登校出現率 小学校0.63% 中学校5.48%	未	
2	4	児童生徒相談事業	H24 ~ H33	市内の幼児、児童生徒(18歳未満)及び保護者等の悩みや教育上の問題について、青少年教育相談指導員、臨床心理士を配置し、問題解決を図るために相談業務の充実を図る。	学校復帰人数4人	学校復帰人数4人		
2	5	非行防止等巡回活動事業	H24 ~ H33	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため、夜間街頭指導員を配置する。	夜間巡回活動の巡回箇所の見直し、指導の強化を図り児童生徒の事件事故等の未然防止に繋げる。	巡回活動の見直し、指導の強化を図った		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	6	学習支援員活用事業	H24 ~ H33	学習に遅れをとっている児童・生徒が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	全国学力・学習状況調査 目標数値(平均正答率) 小学校:国語A 80 国語 B 60 :算数A 80 国語 B 60 中学校:国語A 80 国語 B 70 :算数A 65 算数 B 45	全国学力・学習状況調査 目標数値(平均正答率) 小学校:国語A 68.6 国語 B 65.7 :算数A 78.4 算数 B 43.6 中学校:国語A 69.6 国語 B 60.4 :算数A 55 算数 B 34		
2	7	派遣費補助金交付事業	H24 ~ H32	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を支援する。	児童生徒の文化活動およびスポーツ活動において、県外派遣補助金を交付することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。	県外派遣補助金を交付することによって、保護者の経済的負担軽減、児童生徒の健全育成を図った。		
2	8	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ~ H33	スポーツ活動による児童生徒の健全育成を図るため、一定の基準を満たすスポーツ少年団等の県外派遣を支援する。	県外派遣補助金を交付することによって、保護者の経済的負担軽減、児童生徒の健全育成を図る。	県外派遣補助金を交付することによって、保護者の経済的負担軽減、児童生徒の健全育成を図った。		
3	2	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ~ H33	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書等の整理、保存及び、検索システムへの登録や公開にあたっての基準づくりを行う。	歴史的価値を有する公文書等の利用者数: 3人	歴史的価値を有する公文書等の利用者数: 0人	未	
4	1	平和市民啓発事業	H24 ~ H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内生徒8名を派遣する。 沖縄戦から70年の経過を機に、平和祈念事業を実施することにより、戦争の悲惨さ・平和の大切さを市民に啓発する。	命の尊さや平和意識の向上を図る。 イベント集客人数:300人	平和学習派遣生徒数:8人 宜野湾市戦後70年平和祈念事業 (イベント集客人数:222人)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	2	小学校英語教育課程特例校事業	H24 ~ H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣する。	小学校児童英語検定総合平均点数の増 H27年度受験率100% (基準値: H24年度100%) ブロンズコース総合平均85点以上 シルバーコース総合平均80点以上	小学校児童英語検定総合平均点数 H27年度受験率100% ブロンズコース総合平均88.9点 シルバーコース総合平均84.0点	
4	3	外国人教師招致事業	H24 ~ H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手(ALT)を中学校に派遣する。	中学校英語検定受験者数の増 H27年度受験率: 43% (基準値: H24年度: 40.2%) 英語検定5級合格率85%	中学校英語検定受験者 H27年度受験率: 36.8% 英語検定5級合格率79.1%	
4	4	学校ICT活用指導支援事業	H24 ~ H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ICTサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	ICT機器を活用した授業の支援を行ない、児童生徒の学習理解度を深めることや情報活用能力の向上を図る。	ICT機器を活用した授業の支援を行ない、児童生徒の学習理解度を深めることや情報活用能力の向上を図られた。	
5	1	宜野湾市地域防災計画等策定事業	H27	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であることから、住民の生命・財産を守るため、沖縄県で想定されるあらゆる災害に対応できる実効性のある地域防災計画を策定するため現行の地域防災計画の見直しを行う。また、津波・土砂災害ハザードマップに高潮・洪水の危険箇所等を加え総合防災マップを作成し、全世帯へ配布をし周知を図る。更に総合防災マップ(GIS)は市HP上でも公開する。	総合防災マップを市内全世帯(約41,000部)に配布及び市HP上で公開し、危険箇所や避難所の周知を行い、市民の防災意識の高揚を図る。	防災意識の高揚が図られた	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	2	市民防災事業	H27 ~ H33	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画に基づき食糧備蓄や飲料水の確保や津波一時避難ビル表示板の設置や自主防災組織の育成支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・保存食の備蓄 H26年度備蓄食糧率34% H27年度備蓄食糧率54% ・津波避難ビルの認知度を向上させる。 ・地域の自主防災力の向上を図る。 ・海水淡水化装置導入完了(1機予定の内1機) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保存食の備蓄 H27年度備蓄食糧率54% ・津波避難ビルの表示板の設置22か所(目標:25か所) ・地域の自主防災力の向上。(3団体 目標3団体) ・海水淡水化装置導入完了(1機予定の内1機) 		
6	1	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ~ H33	本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地は、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。土地を住民から強制接収した経緯から土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況であり、駐留軍用地の返還後の跡地利用推進を図るため、基地返還跡地転用推進基金を設置し、早急に公共用地を確保する。	普天間飛行場【特定事業の見通し】(80,000㎡)に対し(42,700㎡)を取得する。達成率:53%	普天間飛行場【特定事業の見通し】(80,000㎡)に対し取得達成率34%	未	
7	1	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ~ H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	返還前から関係地権者の意向把握を継続して行う事で、翌年度以降の跡地利用計画の具体化に繋げる。	平成27年度関係地権者等の意向醸成・活動推進調査報告書作成		
7	2	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)	H24 ~ H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	返還前の早い段階での跡地利用計画策定等に係る調査・検討を行う事で翌年度以降の跡地利用計画の具体化に繋げる。	平成27年度普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	3	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	H24 ~ H33	キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。	跡地利用実施計画(案)作成に向けて課題の把握ができる。	跡地利用実施計画(案)に向けての課題を把握し、跡地利用実施計画(案)を作成した		
8	1	市民会館機能強化事業	H24 ~ H29	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。	市民会館保全計画を策定することにより、より効果的な施設整備に向けて環境が整う。	宜野湾市民会館保全計画策定及び機能強化検討報告書完成		
9	1	中央公民館機能強化事業	H24 ~ H27	宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない間、現在の施設を改修し、より利用しやすい施設として機能向上を図る。	スクリーンの移動が可能となること等による舞台利用環境の向上を図る。 舞台照明の高機能コンパクト化等による舞台演出機能の向上を図る。	中央公民館舞台機構及び照明設備改修工事設計・設計監理・工事完了		
10	1	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ~ H33	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	被覆資材等導入面積の増加を図る。 H25年度実績:7,418㎡ H27年度目標:8,000㎡	被覆資材等導入面積の増加 平成27年度:37,629㎡		
11	1	新設学校給食センター用地購入事業	H27	普天間第二学校給食センター及び真志喜学校給食センターは築30数年経過しており、老朽化が進み衛生管理、安全面に支障をきたす恐れがあるため、両センターの建替え方針に基づき、新設学校給食センター用地購入を行う。	用地購入を行うことで、給食センターの整備に向けて環境が整う。 用地取得面積:5,729.14㎡	用地取得面積:5,729.14㎡		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	観光誘客プロモーション事業	H24 ~ H33	観光需要の安定化を図るため、県外の主要都市などターゲットとなる対象に出向き石垣島観光の魅力を対面プロモーションで紹介するほか、メディア媒体等を活用したPRや誘客イベントを開催する。	・閑散期11月-2月期の入域観光客数を2%増254,397名(H25.11月~H26.2月) 259,485名(H27.11月~H28.2月) ・繁忙期7月-9月期の入域観光客数を5%増366,673名(H26.7月~9月) 385,006名(H27.7月~9月)	・閑散期11月-2月期の入域観光客数を29%増 ・繁忙期7月-9月期の入域観光客数を13%増		
1	2	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	H24 ~ H33	スポーツツーリズムを推進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等の誘致を目的に営業活動を実施する。また、受入環境整備及び受入体制強化のため、選手等への快適な環境づくりと、歓迎装飾やキャンプとタイアップしたイベント等の賑わい創出により地域活性化へつなげる。	・プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて3団体以上 H26年実績：プロ(2)、大学(1) ・プロ野球キャンプ期間中を通して来場者数を対前年比3%増 平成26年 18,600名 平成27年 19,000名	・プロスポーツキャンプ及び大学等のスポーツクラブのキャンプ新規、継続誘致合わせて5団体 ・プロ野球キャンプ期間中を通して来場者数 平成27年 21,800名		
1	3	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ~ H33	博物館資料の保存・活用等を図るため、博物館所蔵資料のうち、虫食い等により状態の良くない古文書等の修復を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行う。	・H.27年度入館者数6,480人 .24年度入館者数比6,400人の1%増	・H.27年度入館者数8,136人		
1	4	石垣島ミュージックフェスティバル事業	H25 ~ H29	観光ボトム期(閑散期)の観光需要を高めるため、本市の観光魅力をアピールするミュージックフェスティバルを開催する。	・チケット販売目標数：計7千名(前回H26.3月実績 4,433名)	・チケット販売実績数：計3千名	未	
1	5	石垣島シネマフェスティバル事業	H24 ~ H33	八重山諸島で撮影された映画作品を集め上映する事により、映画、ドラマのロケ地としての島の魅力を広く国内外に発信することを目的に最新の上映システムを使用し上映会を開催する。またそれにより映画館の無い当市の市民および観光客にも島の魅力や劇場で鑑賞する映画の楽しさを再認識してもらう。	・H27年度の目標入場者数：7,000人 ・H24年度の入場者数：3,733人 ・H25年度の入場者数：6,034人 ・H26年度の入場者数：5,000人	・入場者数：5,000人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6	いしがきの原風景写真等デジタル化事業	H24 ~ H28	市史編集事業で収集してきた写真資料等をデジタル化することにより、歴史的な観光資源についての情報発信を行うとともに閲覧者にデジタル化した写真資料等の活用を促す。	・いしがきの原風景写真等デジタル化実施率 55,000点/75,000点(73%) ・アーカイブス構築率:30%	・いしがきの原風景写真等デジタル化実施率 50,537点/63,000(80%) ・アーカイブス構築率:5%		
1	7	大浜地区歴史遺産活用事業	H25 ~ H28	本市の有する特異な歴史、文化を来訪者に紹介することにより、さらなる観光の推進を図る。大浜地区は、14~15世紀の集落跡と考えられる国指定史跡フルスト原遺跡をはじめ、宇根井戸や大底御嶽など多様な歴史遺産が存する地域である。これらの歴史遺産を連結させる紐帯として遺跡の隣接地に駐車場を整備する。	設計完了		繰	
1	8	石垣市民会館設備改修事業	H25 ~ H30	島内外のプロを始めとするアーティスト及び団体による多くの公演の誘致につなげるため会館設備を改修し、良好な環境を提供しやすい施設として整備する。そのことにより、それら公演及びアーティストのファンをイベントツアーで誘客し島の魅力をアピールすることでリピーターとしての新たな観光客の誘致活動を行う。	・室温管理システムの構築 整備前 外気との温度差4度 整備後 室温25 前後に調整可能 ・熱中症の恐れのある環境からの脱却が図れる。 ・ワイヤレスマイクシステムの多チャンネル化 ・音響設備改修設計の完了 ・公演事業の誘致に際し、演じ易く鑑賞し易い 環境の整備		繰	
1	9	南ぬ島空港観光案内所運営事業	H25 ~ H33	旅行客に観光情報の案内を行うことで観光地としての信頼度と満足度を推進するため、本市の玄関口となる新石垣空港ターミナル内において、観光案内所を運営する。	・案内所サービスの利用者数:基準年度対比 5%増 基準年度(H25年度)44,625人 46,856人	・案内所サービスの利用者数:基準年度対比 13%増 基準年度(H25年度)44,625人 50,431人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	10	観光地受入基盤強化事業	H26 ～ H31	着地型観光コンテンツの造成や観光地としてのサービス向上による観光満足度を高める仕組みづくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣旅プランへの参加者数:200名 ・外国語講座の受講者数:90名 ・南の島の星まつり、とぅばらーま大会開催 ・星空学びの部屋来場者数:5,000名(基準年度H25年度 2,893名) ・石垣島の星空資源を活用する観光事業者への啓発推進:10件 ・二次交通を活用した周遊観光の造成:1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣旅プランへの参加者数:0名 ・外国語講座の受講者数:168名 ・南の島の星まつり、とぅばらーま大会開催 ・星空学びの部屋来場者数:13,906名 ・石垣島の星空資源を活用する観光事業者への啓発推進:50件 ・二次交通を活用した周遊観光の造成:0件 		
1	11	安心・安全なまちづくり推進整備事業	H27 ～ H29	市民や多くの観光客で賑わう繁華街地域における事件事故防止や犯罪の抑止を図るための防犯カメラの設置を行う。	・防犯カメラ設置率33%(2台/6台)	・防犯カメラ設置(4台/6台)		
1	12	石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ H33	宮良浜川原のヤラブ並木の剪定及び石垣市内に残る旧家の庭園2ヵ所の写真測量業務を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤラブ並木の安全面の確保と環境美化 ・庭園詳細図の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤラブ並木の安全面の確保と環境美化 ・庭園詳細図の作成 		
2	2	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ H33	観光客の受入れ強化を図るため、観光施設を整備、改修を行う。多くの観光客が観光施設等を利用するが施設の経年劣化が激しいため早急に改修整備し、併せて施設緑化も含めて魅力ある観光施設整備を行う。	・H29年4月供用開始に向けた実施設計書の完了。		繰	
2	3	平久保半島エコロード整備調査事業	H25 ～ H28	平久保半島は国立公園区域に指定されている区域であることから、市道平久保半島東線及びその周辺の自然環境に係る情報を収集し、生物多様性の保全に配慮したエコロード整備に対する留意事項の検討を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・平久保半島エコロードの道路整備に向けた自然環境基礎資料の整理(現地調査結果報告書の作成、自然環境情報図の作成) ・上記資料を基にした、エコロード整備に対する留意事項のとりまとめ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平久保半島エコロードの道路整備に向けた自然環境基礎資料の整理(現地調査結果報告書の作成、自然環境情報図の作成) ・上記資料を基にした、エコロード整備に対する留意事項のとりまとめ。 		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4	亜熱帯都市公園整備促進事業	H25 ~ H30	石垣市の街区公園は、坪所や良好な緑地を有し、独特の景観を残している。また、地域文化の象徴でもあり、重要な観光資源の一つでもある。その街区公園の利活用を目的として、石垣特有の街区公園整備を図る。	全体計画に対する用地取得率16.62% (取得面積1,545㎡)		繰	
2	5	石垣市風景計画改訂検討事業	H27	景観重要樹木及び景観重要公共施設の指定検討のための候補の抽出や景観形成基準の調査や計画策定前と現在の変化を把握する基礎調査を行う。	・石垣市風景計画の改定に向けた基礎資料の整理 (石垣市風景計画改定素案の策定)	・石垣市風景計画の改定に向けた基礎資料の整理 (石垣市風景計画改定素案の策定)		
2	6	VERAアクセス道路安全安心推進事業	H26 ~ H27	本市の観光スポットである「VERA石垣島観測所(国立天文台)」へのアクセス道路の整備を実施することにより、観光地としての安全・安心・快適を確保し、観光リゾート地の形成を目指す。	・工事完了		繰	
2	7	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27	市民のスポーツ振興、プロ・アマチュア等のキャンプ誘致を図るため、核となる施設「石垣市中央運動公園」のリニューアルを図る。	・都市公園事業の導入に向けた基礎資料の整理(基本方針、基本計画策定)		繰	
2	8	人工ビーチ付帯施設整備事業	H26 ~ H27	石垣港新港地区において整備を進めている、人工ビーチの供用に向け、利用者の利便性の向上のため、ビーチ利用者が遊泳後に使用するシャワー施設・脱衣所・ロッカールーム等を整備する。	・ビーチ利用者及び観光利用に向けて、利便施設の整備完了。		繰	
2	9	フラワーロード整備事業	H24 ~ H27	観光客が訪れて良かったと感じられるようなまちづくりを推進するため、植樹帯へ花や樹木の植栽を実施する。	臨港道路の植栽改良完了 L=0.8km	臨港道路の植栽改良完了 L=0.8km		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	1	石垣市新火葬場建設事業	H27 ~ H28	石垣市火葬場は八重山圏域唯一の火葬場で、定住促進を図る上で必要不可欠な施設である。老朽化が進む石垣市火葬場の機能向上を図ることで、八重山圏域の定住条件の向上や利用者の利便性向上、環境負荷の軽減を目指す。	・利便性の向上による利用者負担の軽減。	・利便性の向上による利用者負担の軽減。		
3	2	石垣市資源循環アイランド推進事業	H25 ~ H30	『環境と共生したエコアイランド』の実現のため、廃棄物系バイオマスを資源として利用し、島内循環システムづくりを行う。	・テストプラントの性能調査を行うことで、より安価な実機の制作に向けた報告書を作成。 ・循環型農業の確立へ向けた報告書を作成。 ・本市に最適な生ゴミ収集方法の基礎資料の把握。		繰	
4	1	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ~ H29	製造業及び特産品の振興を図ることを目的に、特産品プロモーション、特産品開発支援、特産品販路拡大/開拓支援、特産品ブランド化推進、人材育成、原材料確保支援などを総合的かつ網羅的に展開し全体としての効果の発現を目指す。	(1)金沢…物産展での売り上げ200万円 (対前年度比187万円増) 台湾…物産展での売り上げ50万円 (前年度販売実績なし) (2)石垣市プロデュース特産品(3品目)売り上げ30万円以上 (3)石垣島産パインアップル使用の加工品(2アイテム)売り上げ400万円以上(6ヶ月間) (4)商談会における商談成約件数3件 (5)作品展示会の開催(各1回) (6)石垣島産坏土の生産高対前年比1,100kg増 (7)地域団体商標登録 2アイテム(食品1、非食品1) (8)知財リスク管理支援セミナー参加による民間事業者による商標登録数 3アイテム以上 (9)地域版HACCP制度導入へ向けた勉強会への参加事業者数10事業者		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	2	文化産業創出事業	H25 ~ H28	人材やコンテンツを活かしたクリエイティブ産業の創出や認知度向上を図る為に、ワークショップの実施、国内外へ向けた情報発信強化、活動交流拠点となるコミュニティスペースの創出をおこなう	・PRによるクリエイターらへの業務受注 目標件数/10件 ・市民向け、観光客向けのコンテンツづくり 目標/1プログラムあたり参加者30名程度		繰	
4	3	社会復帰支援モデル実証事業	H27	生活困窮者及び生活保護受給者に関しては雇用や就労の場から遠のいているのが現状である。本事業により短期就労の受け皿として、本市が行う行事・イベント等開催の清掃、会場設営等の一時的就労の場を確保し、長期就労へ繋げ困窮からの脱却を目指す。	・事業対象者による自発的な就労活動 3名	・事業対象者による自発的な就労活動 3名		
4	4	商店街・中心市街地ならびに商業振興事業	H24 ~ H29	本市の中心市街地及び商業振興を図ることを目的に、石垣まちなか活性化戦略計画に基づいて、中心市街地の活性化や域内での商業活動の活性化を通じた商業振興に資する具体的なプランの実施へ向けた事業を展開する。	(1)(仮称)八重山フレッシュマーケットの試験的開催及び基本構想の策定、実施体制づくり(マネージメント機能の確保)、参加事業者の掘り起こし (2)公設市場のリニューアルへ向けたコンセンサス形成、利害関係者の意向把握、実行可能リニューアル実施プランの策定 (3)中心市街地内におけるレンタカーによる駐車場利用状況の把握、公共交通を含む観光客による中心市街地へのアクセス現況についての報告書の作成	(1)試験開催を実施し、実施体制作りを完了し、参加事業者の掘り起こしを行うことができ、基本構想の策定を行った (2)未策定 (3)未作成		
5	1	"石垣産の牛"生産推進事業	H24 ~ H33	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用や淘汰費用の一部を助成し母牛群の更新・改良を図る。また、口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、害虫の予防・駆除や空港・港湾での靴底消毒を徹底し水際対策を強化する。その他石垣牛の宣伝や肥育牛の増頭支援などを実施する。	口蹄疫等の侵入リスク低減(発生がないこと) 導入80頭 計画に対する進捗率51% 淘汰200頭 石垣牛ブランドの周知 肥育牛の安定供給体制構築(80頭分の肥育牛牛舎整備補助) 5,000頭への殺虫剤塗布		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	2	水産振興事業	H24 ~ H33	養殖漁業の経営安定化を図るためサイトハタの種苗の輸送支援を行う。また、沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための養殖実証試験を行う。	サイトハタ種苗輸送数:60,000尾 実証試験の実施によるアカジン(スジアラ)養殖のユーグレナ添加餌料投与成長比較データの把握	サイトハタ種苗輸送数:93,300尾 実証試験の実施によるアカジン(スジアラ)養殖のユーグレナ添加餌料投与成長比較データの把握の実施		
5	3	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ~ H33	生鮮水産物の生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島への出荷する生鮮水産物の輸送が、陸路なみの輸送費となるよう、支援を行う。	・生鮮水産物の輸送量(沖縄本島): 平成27年度 132,563kg 平成25年度 93,489kg	・生鮮水産物の輸送量(沖縄本島): 平成27年度 98,683kg		
5	4	特用植物利活用推進事業	H26 ~ H29	島ハーブの一種であるヒハツモドキ(ピパーチ)の安定生産を図り、特産品加工原料の安定確保を図るため、新技術の導入を実施する。	・展示圃設置2カ所(機械化体系実証圃及び気象感応試験圃)の設置により、生産組織を育成し栽培技術の普及体制を構築する(2組織)	・展示圃設置2カ所(機械化体系実証圃及び気象感応試験圃)の設置を行ったが、生産組織を育成し栽培技術の普及体制を構築できなかった。	未	
5	5	農水産物プロモーション事業	H27 ~ H29	本市では、国内において最高品質の熱帯果樹や、牛肉、水産物等が生産される。しかし、首都・関西圏の市場から日本一遠隔地にあることや、商品ロットが少ないことから輸送経費が高い。また、最高品質の農林水産物を販売する期間が限定されることから、より効率的なPRが必要である。そこで、首都・関西圏の高級スーパー等において、本市農林水産物の効果的なプロモーションを実施し、販路拡大を図る。	・商品の新規販路開拓 3ヶ所	・商品の新規販路開拓 5ヶ所		
6	1	地域防災力強化育成事業	H24 ~ H28	自主防災組織ごとに救急救助資機材と収納倉庫を整備し地域防災組織の強化と育成を図る	・自主防災組織に対する防災倉庫と救急救助資機材の整備 進捗率70% (H29までに65箇所目標、H27年度末までに46箇所完了)	・自主防災組織に対する防災倉庫と救急救助資機材の整備 進捗率66%(43箇所完了)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	2	防災体制整備事業	H24 ~ H33	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、防災無線未整備地区や難聴地区への整備及び改善を図る。また、増加している観光客の動態把握を行い避難受入検証と避難所の見直し検討を行い地域防災計画の修正を行うとともに、計画に基づいた食糧等を備蓄する。災害時に実働的な災害対応を行うため、災害対策本部及び避難所運営に必要な環境整備を図る。	・防災行政無線整備率:80% 54基(目標67基) ・食糧備蓄数率:80% 18,000食(目標22,500食) ・水備蓄率:80% 24,000(目標30,000) ・災害対策本部・避難所用備品整備率 16% ・観光拠点施設周辺の指定避難所の見直し及び指定拡充:2箇所	・防災行政無線整備率:80% 累計54基 ・食糧備蓄数率:80% 18,000食(目標22,500食) ・水備蓄率:80% 24,000(目標30,000) ・災害対策本部・避難所用備品整備率 16% ・観光拠点施設周辺の指定避難所の見直し及び指定拡充:5箇所		
6	3	福祉避難所兼ふれあい交流施設整備事業	H24 ~ H28	災害時において高齢者や障がい者等の要援護者が、安心安全に避難生活がおくれるよう「福祉避難所」の整備を行う。また、平常時には要援護者と関係団体や地域が気軽にふれあえる交流施設として活用するとともに、農の福祉力活用に向けた農業との連携を図る事業も推進する。	・H29年の供用開始に向けた事業の着実な実施 (実施設計書の完成)	・H29年の供用開始に向けた事業の着実な実施 (実施設計書の完成)		
7	1	気になる子のすこやかな学び支援事業	H24 ~ H33	特別に支援を要する幼児児童生徒に個別に対応し、専門的立場から支援するために臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各学校に派遣し、学校・家庭の支援体制の充実を図る。	・教育相談件数:70件 ・子育て相談件数:180件	・教育相談件数:7件 ・子育て相談件数:118件	未	
7	2	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ~ H33	各種学力・学習状況調査の結果が全国や県と比べ低い状況がある。そのため、学力向上を喫緊の課題としている。中でも学力調査の無解答率が高く、学習意欲の向上、一人一人の個に応じた対策が必要である。そこで児童生徒の個に応じたきめ細かな学習を支援するため、学校教育支援員を配置する。また、小学5・6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い、中学校だけでなく、小学校へ外国語学習支援員(ALT)を派遣する。そして、小中学校教諭の指導力、授業力向上のため、学力先進地域視察研修を行う。このような取組から児童生徒の個に応じた学習支援が充実し学力向上が推進できる。	・沖縄県学力到達度調査(2月実施) 【小学校5年:平均正答率】 平成27年度:国語、算数とも県の正答率を超える。 【中学校2年:平均正答率】 平成27年度:全教科で県の正答率を超える。	・沖縄県学力到達度調査(2月実施) 【小学校5年:対県平均】 国語+0.1点 算数-3.2点 【中学校2年:対県平均】 国語+2.5点 数学-2.0点 英語-5.6点 理科+2.4点 社会-3.2点		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	3	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ H33	市外・県外で開催される大会等へ参加する際に生じる保護者負担を軽減し、離島の児童・生徒が派遣に行きやすい環境づくりを目指すため、市が派遣費の一部を補助する。	・派遣児童生徒数:3,750人	・派遣児童生徒数:4,226人		
7	4	ユースアドバイザー事業	H24 ～ H33	不登校、引きこもり等の児童・生徒及び社会生活を営むうえで困難を有する若者の自立支援のため、ユースアドバイザーを配置し支援体制を整備する	・児童生徒の学校復帰:2名(1名) ・若者の自立(就労等):2名(1名) ()内はH26実績	・児童生徒の学校復帰:2名 ・若者の自立(就労等):10名		
7	5	平和推進事業	H24 ～ H33	一般住民を巻き込んだ地上戦を経験した沖縄で、戦争の記憶を風化させないために、次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる。沖縄慰霊の日に『八重山戦争マラリア犠牲者追悼式』『全戦没者追悼式並びに平和祈念式』の挙行、『平和を考えるフォーラム』等の開催を通し、石垣市民の平和への願いを市内外へ発信するとともに、後世へ繋ぐため諸事業への取り組みを実施する。	平和フォーラム等参加者:800名 派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者:100%	平和フォーラム等参加者:800名 派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者:100%		
7	6	姉妹都市カウアイ郡中学生派遣事業	H27 ～ H33	姉妹都市ハワイ州カウアイ郡へ市内の中学生を派遣し、国際性豊かな人材育成を図る。現地の学校での授業体験やホームステイ、パールハーバー視察等により、英語力の向上を目指すとともに国際交流や異文化体験、平和学習の機会を与える。また、この体験を報告書等により市民に発表することで、次代を担う同世代を中心に国際交流や多文化共生の大切さについて考える機会を与える。	派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者:100% 報告書を見て、英語や外国に以前より興味を持った生徒の割合:70%	派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者:100% 報告書を見て、英語や外国に以前より興味を持った生徒の割合:71%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	7		尖閣諸島関係資料収集事業	H25 ~ H29	尖閣諸島に関するこれまでの動向を概観できるように、戦前・戦後の新聞等から関連する記事を収集し、日付や内容等から目的の記事が検索できるようデータベースを構築する。	・Web公開に向けたデータベースの整理(戦後発行の八重山毎日新聞、八重山日報から抽出した記事の整理。) 進捗率100%	・Web公開に向けたデータベースの整理(戦後発行の八重山毎日新聞、八重山日報から抽出した記事の整理。) 進捗率100%	
7	8		情報教育充実事業	H24 ~ H31	ICT機器の活用による教育の質の向上を図るため、ICT機器、デジタル教材等、そのICT機器を活用するためのICT支援員を派遣する。 ICT教育環境及び情報教育への機会を充実に、学力向上に努めることにより、人材育成を図っていく。	・沖縄県学力到達度調査(2月実施) 【小学校5年:平均正答率】 平成26年度:国語 県との差 -2.7点 算数 県との差 -3.6点 平成27年度:国語、算数とも県の正答率を超える。 【中学校2年:平均正答率】 平成26年度:国語 県との差 -1.3点 数学 県との差 -1.7点 英語 県との差 -0.8点 理科 県との差 -2.5点 社会 県との差 -0.6点 平成27年度:全教科で県の正答率を超える。	・沖縄県学力到達度調査(2月実施) 【小学校5年:平均正答率】 平成27年度:一部教科で県の正答率を超えた 国語+0.1、算数-3.8 【中学校2年:平均正答率】 平成27年度:一部教科で県の正答率を超えた 国語+2.5%、数学-2.0%、英語-5.6%、理科+2.4%、社会-3.2%	未
7	9		オオゴマダラ地域交流事業	H25 ~ H27	奈良県橿原市の昆虫館と連携して、小学校3年生の教材である「チョウを調べる」単元でオオゴマダラに特化した教材と評価の問題を作成する。また、本市の蝶に指定されているオオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館へ児童を派遣し取材と学びの体験交流を行うことによって、日本の最南西に位置する石垣島の地理と気候の特異性を教材化する。	・「チョウを調べる」単元でのオオゴマダラ教材の活用率 100% ・昆虫について理解を深めたいと感じ取材と学びの体験交流に応募する児童数 平成27年度:24名 平成26年度:19名	・「チョウを調べる」単元でのオオゴマダラ教材の活用率 100% ・昆虫について理解を深めたいと感じ取材と学びの体験交流に応募する児童数 平成27年度:18名	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	10		子ども若者総合相談センター地域協議会運営事業	H26 ~ H33	石垣市に居住する社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども若者の自立に向け、総合相談窓口を開設してワンストップ相談対応を行うほか、関係機関で構成する「石垣市子ども若者支援地域協議会」の円滑な運営及び支援機関の連携を図り、包括的、継続的な相談並びに支援等の体制を整備する。また、常に実態やニーズの把握に努め、適切な相談並びに支援体制の整備を図る。	・相談件数:3件(2件) ・終結件数:3件(1件) ()はH26実績 終結件数とは、相談対応により助言や情報提供で終了する事案、他の専門機関や制度を案内、紹介することで終了する事案を指し、相談受理件数に対する終結件数の割合を持って事業効果を測る。	・相談件数:58件 ・終結件数:38件	
7	11		いきいきスポーツ活動助成事業	H26 ~ H29	地元から県大会や全国大会などに送り出せる体制づくりのためにトップアスリートとしての経験等を有した優れた指導者の活用を行う。また県外市町村の青少年と共通するスポーツを通して交流を図り、交流相手への興味、話題、関心を持つことを促す。	【スポーツ教室】 駅伝・バレーボール競技を実践指導する中、練習法の立案と指導者の人材育成を図り、競技者の底辺拡大を目指し県大会ベスト8入賞を目標とする。 【友好都市スポーツ交流】 民泊及びスポーツ交流を体験し、アンケートを実施する。「興味関心をもった」項目が70%以上を成果目標とする。	【スポーツ教室】 駅伝11位・バレーボール8位 【友好都市スポーツ交流】 「興味関心をもった」項目が80%	
7	12		冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業	H26 ~ H33	スポーツ少年団父母会、PTA有志、退職教員、将来教職を目指している高校生ボランティア等の協力を得て、学校の授業終了後から部活動が始まるまでの隙間時間を利用した学習支援活動を行い、授業に対する予習・復習や家庭学習の習慣化を促進し、本市児童の学力向上に資する。	・アンケート実施 「この事業が家庭学習の習慣化に寄与している」 70%以上	・アンケート実施 「この事業が家庭学習の習慣化に寄与している」 97%	
7	13		石垣市立小中学校学習環境改善事業	H27 ~ H31	夏場の室内温度が文部科学省の環境基準を上回り、過酷な学習環境となっていることから、学力の向上取り組みに向けた学習環境整備のため各教室に冷房機を設置し改善を図る。	・14校47教室の冷房機整備完了 ・快適な学習環境の整備		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

石垣市						
事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	1 国際定期便誘致事業	H24 ~ H33	新石垣空港国際線施設を活かした就航路線の増便及び定期便化を実現するため、台湾、韓国、香港等の東アジア圏域を主な開拓市場とし、また台湾以遠の各国も視野に入れたキャリアセールス及び海外誘客プロモーションを行う。	・石垣空港国際線降客者数:対前年比20%増 8,640人 10,368人	・石垣空港国際線降客者数:対前年比1%増 8,792人	未
8	2 新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、南ぬ島新石垣空港国際線旅客ターミナルを本格整備することによって、外国人観光客受入体制を整える。	ターミナルビル実施設計完了		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	浦添市来り来り推進事業	H24 ~ H29	市既存の観光資源の活用及び新たな観光資源を創出するため、課題抽出及び取組施策に向けた調査を実施する。	屋富祖・オリオン通り周辺地区 今後の道路整備事業手法の選定、また、関係権利者との調整へつなげる基本構想を策定する。 シンボルロード沿線地区 今後の有効な沿道土地利用へ誘導する整備手法の検討を行うため、基本構想案を作成する。 港川道路シソカ-周辺地区 まちづくり事業の導入に向けた基本構想の策定を行うため、基本構想案を作成する。	基本構想策定 基本構想案作成 基本構想案作成		
1	2	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」事業	H24 ~ H33	スポーツツーリズムを推進し、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げ、一人ひとりに合わせた「生きいき生涯健康づくり」を推進するため「てだこウォーク」を開催する。	・てだこウォーク参加人数 7,750人 (平成25年度 7,678人)	7,982人		
1	3	ありんくりんクリーン事業	H24 ~ H33	史跡浦添城跡などの古城跡や中頭方西海道及び普天満参詣道などの歴史の道、石橋、歴史上の人物の墓などのほか、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するために環境整備を図る。	H27年度文化財見学者数:2,400人	2,574人		
2	1	地域資源復元推進事業	H24 ~ H33	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進するために、地域に所在する文化・観光資源である文化財等の復元及び環境整備などを実施することで、魅力あふれる景観形成を推進し、文化・観光の振興を図る。	・史跡安波茶樋川の整備に向けた用地の確保 ・史跡仲間クバサーヌ御嶽の整備に向けた用地の確保	・用地の確保 ・用地の確保		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24 ~ H29	浦添グスクの麓に位置する仲間地区は浦添の歴史・文化の拠点として重要な地区であることから、地区内にある主要な道路について、通常舗装(黒舗装)から、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施し、浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観の創出を図る。	平成27年度末 整備率 76% 全体7,580㎡ H27末時点5,806㎡整備 浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観の創出を図り、個性豊かで魅力ある景観を取り戻すことにより、時間とともに価値が高まり、市民の地元への誇りと愛着を育むことができる。	0.644		
2	3	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ~ H33	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、世界遺産の追加登録を目指す「浦添グスク周辺エリア」と基地跡地利用においても重要な役割を担う地区を含む「西海岸周辺エリア」を先導的エリアと位置付けながら、市全域を対象に、景観法・都市計画法に基づく「景観地区」や「地区計画」等の地区指定を図りつつ、普遍的観光資源である地域景観資源を保全・再生や市民のまちづくり活動に対する支援等を行なうことにより「住んでよし、訪れてよし」の浦添市の文化振興や観光振興を含めた地域振興を目指す。	対象地区全体について、景観地区指定にむけ景観整備機構と連携し地域住民との合意形成を図りながら街並みのルールをつくる。 指定前の素案作成:1地区 市内の緑の現状を把握し、課題を抽出し要因を探る。 まちなみ景観修景支援数6戸。 まちづくり活動を行う4団体への支援。	素案作成1地区 素案作成1地区 現状・課題抽出6件 4団体		
3	1	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	H24 ~ H28	浦添市美術館では漆芸の美術館としての特徴を活かし、琉球漆器の歴史や文化、アジアの漆芸文化を紹介する。琉球漆器や美術・工芸に関連した企画展開催や常設展の充実を図るとともに、県内外への情報発信の強化と、展示環境の改善をすることで戦略的観光振興を展開する。	年間来館者数:80,000人 常設観覧者数:2,500人 参考:平成20~24年度平均値 年間来館者数 75,219.6人 常設展観覧者数 1,972.4人 常設展や企画展を広報宣伝し、国内外の沖縄観光客に美術館と浦添へ立ち寄りきっかけとする。今まで来館したことのない層へのアピールに加え、購入作品や展示環境改善により新たな特色を加え、リピーター増などにより来館者増を図る。	72,192人 3,122人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	2	9月3日踊り観光・文化振興事業	H24 ~ H28	沖縄に古くから伝わる「組踊」は、世界文化遺産として認定されており、その組踊を絡めたイベント及び鑑賞機会を設け、国立劇場おきなを拠点に戦略的観光振興を展開するとともに文化振興を行う。	組踊まつり参加人数 1,000人 映画版組踊の上映会の鑑賞人数 2,000人 組踊を通じた上記のイベントを実施することで、観光振興、文化振興を行い、組踊への数居の高さを取り除くとともに、新たな特色ある観光コースの創出を目標とする。	組踊まつり参加人数 2,759人 映画版組踊の上映会の鑑賞人数 1,854人		
4	1	浦添「よりみち」観光振興事業	H24 ~ H28	琉球王統発祥の地であり、文化的施設、県内有数の製造業、西海岸に広がる自然の海岸線、市特産品など様々な「魅力」を活用しつつ、体験型観光に見られるような「観光客ニーズ」に沿って観光商品を開発する。併せてヤクルトキャンプ地を生かした観光客誘客事業、市産品展示販売と観光展等のイベントを実施し、「うらそえ」の認知度向上を図る。	・市産品展示販売額 500,000円 (H24 4,000千円 H25 1,600千円 H26 43千円) ・着地型観光商品の利用者数 100人 (H24 0件(未提供) H25 0件(未提供) H26 24人) ・観光商品の販売締結 1件 (H24 0件(開発中) H25 0件(開発中) H26 1件)	・市産品展示販売額 3,638,244円 ・着地型観光商品の利用者数 2,986人 ・観光商品の販売締結 1件		
4	2	来て・見て・楽しい”まるごと浦添”観光情報発信事業	H24 ~ H28	グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信することを目的に構築したポータルサイトの内容を拡充するため、新たな観光ポイントの掘り起しや市内周遊データの収集等を行う。また、観光コンテンツとしての「スイーツ」の磨き上げを図る目的で、集客イベントを開催し、観光誘客を図る。	・うらそえナビ訪問者数 110,000人 ・ページビュー 265,000PV ・取材掲載件数230件	391,337人 520,512PV 200件		
4	3	島桑オジー & オバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24 ~ H28	沖縄特有の地域資源である「シマグワ」を活用した産業として、浦添市では桑葉のお茶、桑の実、繭や桑葉を利用した化粧品、養蚕業、製糸等の多角的な特産品の創出に取り組む。高齢者を活用し、簡易労働である桑畑の管理や一次加工までを取り組み、その原料を地域事業者へ安定的供給を行うことで地域の観光・産業の振興を図る。	桑畑の面積値7,800坪 乾燥桑葉量1,600kg、果実収穫量400kg 販売額8,000千円 改良商品の販売額400千円 販売店舗数20店舗、出展回数10回 繭販売量10kg、生糸販売量4kg	7,776坪 1,321kg、87kg 4,762千円 90千円 20店舗、17回 30kg、0kg		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	4	浦添市農業フェスタ支援事業	H24 ~ H28	浦添市内では産業まつり等がなく、農作物展示即売会や市内及び県内特産品販売等を行っている農協まつりが大規模な産業イベントである。本まつりを活用し、市特産品をPRしながら観光客誘客までを目指すまつりを実施し、産業発信イベント確立を目指し、観光・産業の振興を行う。	農協まつり来場者数:2,900人 (平成23年:1,800人) まつり来場者数増(市特産品PRの場及び産業イベント確立のため)	3178人 約600人		
5	1	創業者等相談事業	H24 ~ H28	新規に事業を起こしたい方及び事業を起こして3年未満の方の経営相談、事業計画相談等に対応するため、インキュベーション・マネージメントを民間事業者等に委託し、創業、経営革新、販路開拓などの相談業務等を行い、企業の拡大・雇用者の増を図る。	創業・経営革新・販路開拓などの相談及び支援件数 380件	342件		
5	2	スーパー・コミュニケーションズスクール事業	H24 ~ H28	国際社会に対応できる人材を育成するため、英語と中国語を集中的にマスターするための教育機関として、スーパー・コミュニケーションズスクールを設置し、人材の育成を図る。	・中国語検定試験3級の全員取得及び2級の5割取得 ・TOEICの10%スコア向上 ・卒業生の就職率10割	100%、0% 0% 75%		
6	1	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ~ H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	平成30年度の供用開始に向けた事業の着実な実施 (総合物流センター基礎工事の完了)		繰	
6	2	臨港道路浦添線無電柱化事業	H27 ~ H28	那覇港浦添ふ頭地区の臨港道路浦添線において、観光立県沖縄のウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりに向けて、無電柱化を行う。	実施設計の完了		繰	
7	1	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ~ H33	スポーツ・文化活動の全国大会で活躍できる体制を強化するため、全国大会(ブロック大会含む。)に参加する児童生徒(大会登録選手に限る)を対象として、大会開催日までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	スポーツ・文化活動の県外等で活躍できる体制を強化し、他県の児童生徒との交流が図られ、技術向上や健全育成を図る。	スポーツ・文化活動の県外等で活躍できる体制を強化し、他県の児童生徒との交流が図られ、技術向上や健全育成を図られた。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価	
8	1		エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ~ H33	市内の小学校5年生が豊かな自然の中で、様々な自然体験を通して、社会性や協調性を養い、将来、エコアイランド沖縄に向けた人材となるよう促す。また、民泊・農業・漁業体験を通し、あらゆる職業に対する理解を深めキャリア教育を推進する。	事前(5月)事後(9月)に行うキャリア教育の視点での児童意識調査結果による児童の変容 ・全国学力・学習状況調査[児童質問紙]より、本事業のねらいに即した10項目を抽出し調査を行う。 事業実施後の調査の各項目で「当てはまる」「どちらかと言えばあてはまる」を選択した児童の割合が、実施前に比べ伸びる。 ・6年生4月実施の全国学力・学習状況調査[児童質問紙]結果での、キャリア教育に関わる項目において「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」を選択する本市児童の割合が全国水準に並ぶ。	全ての項目において、「1ある、そう思う、している」の回答が増加した。 8項目中6項目において全国水準を上回った。		
8	2		学力等底上げ推進支援事業	H24 ~ H33	各小中学校へ学校教育支援員や日本語教育支援員を配置し、児童生徒の学力の底上げを図る。	学校教育支援員 全国学力調査での全国平均の差 ・小学校 算数 0ポイント(全国平均並み) ・中学校 数学 -5ポイント(2ポイント改善) 4月本調査と9月追調査の正答率30%未満の子の割合 ・小学校:4月の全力学力調査における正答率30%未満の子の割合を9月の追調査では半減させる。 ・中学校:4月の全力学力調査における正答率30%未満の子の割合を9月の追調査では半減させる 日本語教育支援員 ・支援を必要とする児童生徒が、日本語の理解を深め、当該学年の学習についていけるようにする。	小学校 国A:-0.3P、国B:3.1P 算A:2.7P、算B:1.4P 理:-0.8 中学校 国A:-3P、国B:-2.1P 数A:-7.1P、数B:-5.2P 理:-3.7P 小学校・算数 2% 1%(±0) 中学校・数学 19% 16%(-6.5)	対象児童生徒1人に対し、週3~5時間の支援を行う事が出来た。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	3		課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ H33	教育相談の充実と青少年環境浄化(青少年健全育成に適した環境を整備・改善)を通して、不登校防止と不登校児童生徒の登校復帰を促し、また不登校に占める「あそび・非行」生徒の割合の減少を目指す。	・不登校未然防止 ・不登校児童生徒数前年度比10%減 ・中学校における「あそび非行」児童生徒が不登校に占める割合を前年度比10%減少	来所相談、電話相談、訪問相談の充実を図った 小30%増 中18.8%減	
8	4		適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ H33	不登校児童生徒の学校復帰を支援するため、個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談などの支援活動を行う指導員を適応指導教室に配置する。	・適応指導教室入級児童生徒全員を学校に足を向かせる。 ・不登校児童生徒の現状把握と学校復帰のための環境整備 ・適応指導教室入級児童生徒の支援期間中の登校率45%以上 【支援登校率 = 支援登校日数 / 総支援日数】	7名中6名 整備実施 48.1%	
8	5		ICTを活用したわかる授業構築を支援するためのIT指導員派遣事業	H26 ～ H33	わかる授業の構築(情報活用能力の向上)を図るため、教育用PC、電子黒板及び、実物投影機、情報端末などのICTを活用した授業を支援するIT指導員を学校に派遣する。	・小中学校の各学年におけるICTを活用した授業を総時数に対し小学校25%、中学校20%実施 ・教員の情報活用能力の向上	小学校:36% 中学校:34% 【ICTを活用して授業を行った教員の割合】 小学校:72% 中学校:69%	
8	6		こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ H30	浦添市の児童生徒が主体的に学習するために、モデル校の2小学校、1中学校、計3校の各普通教室・特別教室への電子黒板、教授用タブレット端末、コンピュータの設置、学校共有の児童生徒用タブレット端末、特別支援用タブレット端末と、それらを連携して使用するためのシステムを導入する。機器導入初年度は、導入校の教師対象の先進地視察を実施する。	ICT機器の整備や先進校の視察により、モデル校3校において、導入したICT機器を活用する授業実施に向けた環境を構築する。	ICT機器の整備がなされ、先進校の視察により、モデル校3校において、導入したICT機器を活用する授業実施に向けた環境を構築された。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
9	1	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25 ~ H33	<p>国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、歴史・文化ガイダンスの充実を図る。具体的には浦添市の歴史・文化を理解しやすくするためにガイダンス施設の展示を充実させ、同展示の説明や市内文化財を紹介するガイドの体制を整え、歴史・文化に関する情報発信の強化を図る。</p>	<p>・市内の歴史・文化ガイダンス施設(浦添グスク・ようどれ館等)と市内の史跡等文化財への見学に対する受入体制の強化を図る</p> <p>・文化財案内マップ(英語版)を作成することで、歴史・文化情報発信の強化につなげる。</p>	<p>・市内の歴史・文化ガイダンス施設(浦添グスク・ようどれ館等)と市内の史跡等文化財への見学に対する受入体制の強化を図られた。</p> <p>・文化財案内マップ(英語版)を作成することで、歴史・文化情報発信の強化につなげた。</p>		
10	1	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ~ H33	<p>戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。</p>	<p>帰国後に、現地市人会及び県人会の行事等の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告する。また、積極的に市人会等の活動に参加し、現地における沖縄文化の継承及び本市と移住先国との交流の架け橋として、コミュニティの発展に貢献。</p> <p>沖縄滞在期間においては、市民との交流に積極的に参加し、地域の国際化に資する。</p>	<p>帰国後に、現地市人会及び県人会の行事等の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を報告しコミュニティの発展に貢献したほか、沖縄滞在期間においては、市民との交流に積極的に参加し、地域の国際化に資した。</p>		
11	1	浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24 ~ H33	<p>保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない放課後児童クラブに対し、公的施設移行までの間、支援を行う。</p>	<p>民間施設に入居している学童クラブへ家賃補助を実施することで、保護者の施設利用料の高騰が抑制され、就学支援・子育てしやすい環境整備を図る。</p>	<p>民間施設に入居している学童クラブへ家賃補助を実施することで、保護者の施設利用料の高騰が抑制され、就学支援・子育てしやすい環境整備を図られた。</p>		
12	1	災害時備蓄食糧購入強化促進事業	H24 ~ H28	<p>大規模災害時においては、流通機能が一時的に停止し、特に島嶼県である本県は、物資が届きにくくなることが懸念されるため、地域防災計画に基づき食糧を確保することで住民等の安心安全を図る。</p>	<p>H27年度 充足率 約70%</p> <p>市人口114,000 目標値51,300食 H28.3.31備蓄食料見込約36,000食</p> <p>【充足率】 浦添市地域防災計画(H22.7)第2章第11節防災備蓄計画に規定する目標値(市人口20分の1の3日分)を充たす割合。</p>	69.5%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
12	2	災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業	H24 ~ H28	大規模災害時においては、ライフラインが破壊され復旧までに時間を要することが想定されるため、平時より市内の収容避難所等(小中学校等)に備蓄食糧保管倉庫を設置し、発電機、簡易トイレ等の防災資機材の設置等を行なうことで住民等の安心安全を図る。	H27年度 整備率 約80% 収容避難所等20箇所のうち16箇所が整備完了。 より多くの地域において、防災資機材を活用した避難所運営等の訓練の実施が可能となり、災害時においては、被災者(住民、観光客等)に対し、適切な避難所運営を行うことができる。	80.0%		
12	3	浦添市統合型防災情報システム事業	H27 ~ H28	市内全域に音声情報及び文字情報、画像情報を24時間365日、災害情報の収集、防災情報の伝達ができる基盤整備を行う。また、既存設備と統合連係を図り、災害時の情報収集伝達を中断なく瞬時に行えるシステムの構築を行う。	システムの構築着手に向けた設計の完了。	設計の完了		
13	1	航空機騒音基礎調査事業	H24 ~ H33	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。	発生する航空機騒音を数値化することにより、第三者にも客観的に判断できる材料にすることで、航空機騒音を管理する機関等に訴える。	実施		
13	2	浦添市中学生平和交流事業	H25 ~ H33	平和への願いを風化させることなく次代に引き継ぐため、中学生を対象に平和学習を実施する。県内では沖縄戦及び浦添市の疎開に関する研修を行い、長崎市では原子爆弾の実相を学ぶとともに、平和を希求する心を培う。	本研修を修了した団員(市立中学校5校から中学生10人)を「浦添市ピースメッセンジャー」として認定する。 (事業実施後のフォローアップ) 長崎市への派遣後は、研修報告を提出させ、報告書としてまとめる。また、報告書と研修中に作成した平和に関する壁新聞や研修報告を市役所内及び市立中学校に展示し、市民や各中学校の生徒に平和について考える機会としてもらう。	10人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
13	3	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ H27	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・約125kmの里道及び水路の境界復元・確定の延長率:11%目標	登記延長率9%		
13	4	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ H33	牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者・市民との合意形成を図る必要がある。その中でも、それぞれの組織が自立化できるよう、若手構成員支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。	・先行取得事業内容説明会の開催 ・地主会若手組織の跡地利用に関する知識の向上	開催 実施		
13	5	牧港補給地区情報システム事業	H24 ～ H33	平成24年度に構築した牧港補給地区情報システムを活用し、土地所有者等の最新情報を把握することで、跡地利用に関する業務に役立てる。	・駐留軍用地の先行取得に伴う優先順位の設定や地権者への説明会を行い、14,100㎡の土地取得を目指す	優先順位の設定、説明会実施を行えた。		
13	6	浦添市「未買収道路用地取得基金」造成事業	H24 ～ H33	戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するための基金を造成する。	・土地分筆登記資料の作成:680筆 ・用地取得:8,000㎡	98.97% 141.78%		
13	7	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H27 ～ H33	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するにあたり、基金を造成する。	・特定事業の見通しの公表 ・特定事業の用に供する土地の面積(102,000㎡)に対し、30,600㎡を取得する(達成率30%を目標とする)。 達成率:先行取得目標面積(102,000㎡)に対する取得面積	公表 未取得		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「 - 」

浦添市						
事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
13	8 施設型共同墓整備事業	H27 ~ H29	住環境や景観に配慮したまちづくりを展開していくため、墓地散在化の抑制及び既存墓地の整理統合に向けて、納骨壇と合葬室を併せ持つ施設型共同墓を整備する。	施設型共同墓の建設着手に向けた基本設計の完了	基本設計の完了	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	学習指導支援者配置事業	H24 ~ H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 小学校3年生 算数:1ポイント以内 中学校2年生 数学:4ポイント以内	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 小3算数:5.5ポイント 中2数学:3.6ポイント		
1	2	生徒指導支援者配置事業	H24 ~ H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	不登校児童生徒数の減少(前年度比1割減) 小学校の不登校児童数:12名 中学校の不登校生徒数:56名	不登校児童生徒数 前年度比 2割増 小学校 13名 中学校 82名	未	
1	3	小中学校英語支援員配置事業	H24 ~ H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	児童英検(小5~6年生対象)の平均正答率の向上 小学校5年生 ブロンズ:82% 小学校6年生 シルバー:78% 沖縄県学力到達度調査における県平均との差 中学2年生 英語:2ポイント以内	児童英検(小5~6年生対象)の平均正答率の向上 小学校5年生 ブロンズ:78.0% 小学生6年生 シルバー:75.6% 沖縄県学力到達度調査における県平均との差 中学2年生 英語: 3.5ポイント	未	
1	4	中学生海外短期留学派遣事業	H24 ~ H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	短期留学を実施した結果、英語を学ぶ関心・意欲が高まり、視野が広がった生徒の割合:100% 報告会の参加者数:1,520名	短期留学をした結果、英語を学ぶ関心・意欲が高まり、視野が広がった生徒の割合:100% 帰国報告会の参加者:2,012人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	適応指導教室支援員配置事業	H24 ~ H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	学校復帰できた児童生徒の率:30% チャレンジ登校のできた児童生徒の率:100%	学校復帰できた児童生徒の割合:0% チャレンジ登校できた児童生徒の割合:63.6%	未	
1	6	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ~ H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒の県外で開催される運動競技会又は文化関係大会への参加を支援する。	文化・スポーツ活動を通じた児童生徒の心と体の健やかな育成を図る。	文化・スポーツ活動を通じた児童生徒の心と体の健やかな育成の実施		
1	7	小中一貫教育推進事業	H26 ~ H33	小中一貫教育校の開校を目指して取り組んでいる屋我地地域において、児童生徒の学力向上、小中学校の教育課程の研究や小中連携を図るための非常勤講師を配置する。	教育課程研究報告書を作成し、児童生徒の学力向上に向けた取組の検討へつなげる。	報告書作成学力向上に向けた取組の検討		
1	8	教育用ソフト購入事業	H24 ~ H33	児童の学習意欲を高め、学力の向上を図るため、平成27年度の小学校教科書の改訂に伴う、学習環境を整備する必要があることから、デジタル教科書を購入する。	・学習環境の整備 ・ICTを活用した授業の実施率:70%	学習環境の整備 ICTを活用した授業の実施率:79.6%		
1	9	ハブ侵入防止フェンス設置事業	H27	ハブの目撃・捕獲・捕殺情報のある学校の外周に、ハブ侵入防止フェンスを設置し、生命を脅かすハブの危険から児童生徒を守り、安心安全な教育環境を整備する。	ハブの侵入防止対策の完了	ハブ侵入防止対策の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	10		教育用コンピューター購入事業	H27	名護市の児童生徒の学力向上を図るため、情報通信技術(ICT)を活用した学びの推進が必要である。市内の全公立小学校13校及び中学校8校の普通教室、特別支援教室、理科室に教育用パソコンを整備する。	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 小学校3年生 算数:1ポイント以内 小学校5年生 理科:2ポイント 中学校2年生 数学:4ポイント以内 理科:1ポイント以内	沖縄県学力到達度調査における県平均との差 小学校3年生 算数:- 小学校5年生 理科:- 中学校2年生 数学:- 理科:- 沖縄県学力到達度調査(H29.2予定)にて評価予定	未
2	1		ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ~ H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。また、人気球団である日本ハムファイターズと連携したイベント「沖縄へ行こう!!名護デー」を札幌ドームで開催し、札幌より観光客誘客を図る。	・プロ野球キャンプ見学者数 H27年度目標:23,000人 ・名護デー観覧者数 H27年度目標:25,000人	プロ野球キャンプ見学者数 12,852人 名護デー観覧者数 16,749人	未
2	2		名護市特産品販路拡大支援事業	H25 ~ H27	特産品の販路拡大のため、商品改良(品質表示、加工技術等)、商談会、展示会、販路開拓を実施し、地域産業の育成と観光産業の活性化を図っていく	展示商談会出展企業数:4社 展示商談会出品数:8品 物産フェアの来場者数:2,810人 ・県内:1410人 ・県外:1400人 物産フェアの売上高:2,810千円 ・県内(1回):1,310千円 ・県外(2回):1,510千円 販路開拓に向けた支援体制の強化	展示商談会出展企業数(延べ数):27社 展示商談会出品数(延べ数):54品 物産フェアの来場者数:13,400人 物産フェアの売上高:5,216千円 販路開拓に向けた支援体制の強化	
2	3		名護市ICT利活用モデル事業「Wi-Fi化整備」	H25 ~ H28	名護市内公共施設等に無料公衆無線LAN環境を構築し、名護市の情報配信など、ICTを利活用し、外国人を含む観光客等の来訪者への対応、まちあるき観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	無料公衆無線LANの活用に向けた基盤の拡充		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4		轟の滝周辺整備事業	H24 ~ H28	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げるため、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けて整備する。	・整備に必要な用地取得:(累計100% 8,061m2) ・整備工事の実施 H27年度までの活動の結果、当該整備に必要な用地取得及び自然体験学習広場整備の実施を行うことにより、平成28年度の滝周辺整備へと円滑な事業の実施を図る。		繰
2	5		嵐山展望台周辺整備事業	H25 ~ H28	羽地内海が見渡せる絶景スポットである嵐山地域を新たに観光エリアとして整備するにあたり、当該地域の周辺整備に係る基本設計及び水源確保のための井戸調査/工事を実施する。	基本設計の完了、井戸調査・工事完了	基本設計 未完了 井戸調査/工事 完了	
2	6		観光情報発信事業	H25 ~ H27	観光地としてのコンセプトを明確に打ち出した観光宣伝ツールの作成、広告宣伝(マスメディア、イベント等)、セールス誘致活動を行い観光情報発信力を強化し観光客の誘致拡大を目指す。	H27ブース来場者数 目標:100社 (H26ブース来場者数 実績:50社) セールス先(訪問数):20社 ツアー参加社数:16社 、 H27年度観光入込目標:5,280,000人 (H26年度比+22,384人)H26年度実績: 5,257,616人	H27ブース来場者数:目標108社 セールス先(訪問数):未実施 ツアー参加社数:9社 PR映像放映:2回(30,274回) 機内誌:2回(526万人) 雑誌:未実施 H27年度観光入込目標:6,250,000人	
2	7		やがじ夢の懸け橋事業	H27 ~ H29	屋我地地域において、地域観光産業の振興による定住促進に向け、今後10年を見据えたツーリズムに関する構想及び計画を策定する。より実践的な計画とするため、観光事業者向けのモニターツアー、ワークショップ等の事業も交え、地域内メニューの採算性調査を行う。	モニターツアー、ワークショップ等の事業も交えた地域振興計画策定や地域観光プログラムの開発により、屋我地地域の観光産業の振興が図られる。 ・地域振興計画(基本方針)策定 ・モニターツアー参加者(旅行社等)5社 ・ワークショップ参加者90名 ・地域観光プログラムのメニュー化 2件 ・次年度計画のアクションプランの策定	・地域振興計画(基本方針):策定 ・モニターツアー参加者(旅行社等):7社 ・ワークショップ参加者:45名 ・地域観光プログラムのメニュー化 2件 ・次年度計画のアクションプランの策定	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	8		真喜屋運動広場整備事業	H24 ~ H28	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるように多目的広場としての利用環境を改善する。	・H29年4月の供用開始に向けた事業の着実な実施 (用地買収の完了:100% 9,414㎡)		繰
3	1		名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ~ H29	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	平成27年度自転車指導レーン整備延長3,170mの整備完了	自転車指導レーン整備延長 1,117m整備	未
4	1		名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24 ~ H30	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	招聘セミナー参加企業:20社 学生・一般市民の金融基礎知識の習得:220名 県外イベント来場者数:120名 海外イベント来場者数:200名	招聘セミナー参加企業:9社 学生・一般市民の金融基礎知識の習得:93名 県外イベント来場者数:70名 海外イベント来場者数:56名	未
5	1		優良繁殖雌牛導入事業	H27 ~ H31	名護市における畜産業振興のため、市内の肉用牛繁殖農家に対し優良繁殖雌牛の導入を支援することで、繁殖生産基盤の拡充、強化を図る。	優良母牛20頭を導入することで、やんばる和牛改良組合の子牛生産基盤の一部強化を図る。 導入目標頭数:20頭 今年度導入率:20%(全導入目標頭数:100頭)	優良母牛20頭を導入することで、やんばる和牛改良組合の子牛生産基盤の一部強化を図る。 導入目標頭数:23頭 今年度導入率:23%(全導入目標頭数:100頭)	
5	2		名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業	H25 ~ H27	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。	畜糞及び汚泥を受け入れ良質なたい肥を提供する施設整備の完了		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	1	救命処置普及強化支援事業	H27 ~ H31	災害時等や水難事故等において、市民や観光客等に重篤な傷病者が発生した際に、居合わせた方が適切な救命処置を行えるよう全年齢層を対象とした救命入門コースの普及強化や、各種救命講習会開催の増に取り組むとともに24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置する。事業実施においては、救急救命士等の資格を有する人材を配置展開し、市民やリゾート・観光施設等の救命処置能力向上と応急手当の普及促進に取り組むことで安全安心で観光に強いまちを形成する。	講習会受講者数:2,100人 小学校(6年生500人) 中学校(2年生500人) 事業所・一般受講者(1,100人) コンビニAED整備率(100%) まちかど救急ステーション認定事業所(3事業所)	講習会受講者数:2,151名 コンビニAED整備率(100%) まちかど救急ステーション認定事業所(3事業所)		
6	2	ハブ対策事業	H27 ~ H33	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいてタイワンハブ等が多く出没しており、やんばる地域の北限が本市となっている。外来種のやんばる地域への拡散を防ぐため、捕獲器の設置を行う。	タイワンハブの捕獲・駆除数:200匹	タイワンハブの捕獲・駆除数:421匹		
7	1	やがじ交通移送支援モデル事業(仮称)	H27	屋我地地区における交通弱者対策、観光振興及び児童生徒の登下校支援を目的とした公共交通の在り方について検討するためのモデル形成事業を実施する。	屋我地地区の効率的な交通移送手段の確立	屋我地地区の効率的な交通移送手段の確立		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力の向上を図るため各地域の歴史・民俗地図等資料を作成する。本年度は、旧真壁村の8か字について歴史民俗調査を実施し地図原稿を作成する。あわせて、市民等を対象に地域の風土、文化、歴史などについて学ぶ市史講座を開催する。	・旧真壁村8か字の地図原稿の作成 ・市史講座の参加者数 70人	・旧真壁村8か字の地図原稿の作成 ・市史講座の参加者数 82人		
1	2	冬場のエコスポーツ拡大事業	H24 ~ H28	冬場(冬季)の観光振興を図るために、全国的なマウンテンバイク競技大会J2公認コース整備とプロモーションを実施する。	大会来場者数 500人	大会来場者数 741人		
1	3	新しい公共交通検討事業	H24 ~ H31	本市への観光客の誘客を図るため、平成26年度に準備作業を進めていた那覇空港直行バス実証実験と、同年度に計画を作成した地域観光交通(本市中南部地域対象)の実証実験を平成27年度に行う。また、本市北部地域を対象とした地域観光交通運行計画作成にも取り組む。	・観光プログラム 8件実施 ・実証実験中の乗客数 16,000人 ・分析とりまとめ・報告書作成 ・地域観光交通運行計画作成(本市北部地域)	・観光プログラム 8件実施 ・実証実験中の乗客数 22,119人 ・分析とりまとめ・報告書作成 ・地域観光交通運行計画作成(本市北部地域)		
1	4	サンゴ移植造成事業	H26 ~ H28	市民の環境保全に対する意識の向上及び資源の増大による水産業・観光業の振興を目的に、養殖のサンゴを西崎地先に移植する。その後、経過観察にてサンゴの定着・増殖、それに伴う魚種・魚数の変化等を調査する。また、児童、市民ボランティア等を活用して移植を行うことで、サンゴ礁保全の普及啓発活動を行う。	・魚種類数…3割増 ・魚の数…10割増 ・サンゴの面積…10割増 ・サンゴ生存率…80%	・魚種類数…47割増 ・魚の数…170割増 ・サンゴの面積…29割増 ・サンゴ生存率…95%		
1	5	高嶺間切番所跡公園整備事業	H25 ~ H27	高嶺間切番所跡地の歴史的役割等の情報揭示により地域を散策する観光資源を創出し、観光客の誘致につなげるとともに、地域住民の郷土愛を育むため、高嶺間切番所跡地の整備を実施する。	高嶺間切番所跡公園整備し、観光客の地域散策の拠点として活用する。	高嶺間切番所跡公園整備し、観光客の地域散策の拠点として未活用	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6		沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ H33	本市は、農村と漁村の風景が残る他に類を見ない地域である。この魅力的な地域の風景を活かした観光地づくり等を進めるため、平成25年度に風景づくり計画を策定し、計画に基づく景観形成重点地区に指定した国道331号沿道地区とジョーグラー地区を、系満独特の風景とまちなみ創生の整備を図ると同時に、米須集落地区と系満漁港周辺地区の更なる重点地区指定に向けた取り組みを継続して行う。	沖縄らしい風景づくり計画を推進し、観光地づくりを進める。 ・重点地区(ジョーグラー地区)の施設整備1箇所 ・重点地区景観形成基準適合建築物へのリフォーム等支援 4件 奨 ・系満地区の新たな重点地区指定及び景観重 要公共施設の整備方針策定 ・米須重点地区の指定		繰
1	7		系満市中央市場整備事業	H27 ~ H28	地域商業の活性化並びに安全・安心に暮らせる地域づくりを推進するため、かつて地域住民の台所として地域の消費生活を支えるのみならず、地域に住む人々とともにコミュニティを形成し、暮らしを支える生活基盤でもあった系満市中央市場の整備を行う。	・基本設計の完了 ・系満市中央市場整備に向けた条件整備	・基本設計の完了 ・系満市中央市場整備に向けた条件整備	
2	1		省エネ設備化推進事業	H24 ~ H29	本市の環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、学校を含む公共施設の照明にLED対応器具を導入する。	LED設備化により、約102,700kgのCO2を削減する。 【内訳】 ・小学校体育館 8,000kg ・中央図書館 77,600kg ・テニスコート 5,700kg ・プール 11,400kg		繰
2	2		燃料ごみ処理モデル事業	H24 ~ H29	最終処分場を保有していない本市では、自区内処理ができず、廃棄物の減量化及び資源化を推進する必要があるため、モデル地区の可燃ごみの固形燃料化を支援するとともに、同モデル地区との連携による他自治会への説明会等を行うなど同事業の拡大に取り組む。	・再資源化(RPF)量125トン	・再資源化(RPF)量132トン	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	1		観光地危険生物駆除事業	H25 ～ H30	本市に多くある慰霊碑や塔は、山間部や岩場等ハブなどの危険生物が生息する箇所によく建立されており、そこを訪れる観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	ハブ捕獲頭数150匹/年	ハブ捕獲頭数123匹/年	
3	2		学校校舎緊急避難施設整備事業	H24 ～ H27	津波災害時の緊急避難施設として活用している学校施設等は、屋上の安全対策など緊急避難施設として未整備な施設があることから、年次的に機能整備を行う必要がある。 今年度は、緊急避難施設に指定している学校校舎屋上に手すり(安全フェンス)を設置し、観光客及び市民にとって安心・安全なまちづくりを推進する。	・西崎中学校屋上手摺設計の完了 ・屋上手摺工事の完了	・西崎中学校屋上手摺設計の完了 ・屋上手摺工事の完了	
4	1		系満イベント推進事業	H24 ～ H29	夏場はふるさと祭り、冬場は平和の光(イルミネーション)の各実行委員会の支援を行い、魅力あるイベントを実施することで誘客力を高める。	系満ふるさと祭り来場者 46,000人 平和の光イベント来場者数 91,000人	系満ふるさと祭り来場者 35,000人 平和の光イベント来場者数 64,820人	
4	2		体験交流促進事業	H24 ～ H29	一次産業が盛んで体験型観光の最適地である本市の利点を生かし、観光客・教育旅行等のさらなる誘客を図るため、体験型観光メニューの開発及び実施、民泊受入世帯の開拓・研修に取り組む。	体験型観光の充実 ・体験観光メニュー開発 5個 ・体験交流事業参加者数 7,500人 ・民泊受入民家向け講習会受講者数 150人 ・民泊受入世帯数 65世帯	体験型観光の充実 ・体験観光メニュー開発 6個 ・体験交流事業参加者数 13,143人 ・民泊受入民家向け講習会受講者数 155人 ・民泊受入世帯数 59世帯	
4	3		系満漁港整備事業	H25 ～ H27	海水交流の促進による水質の改善及び施設の利便性向上のため、系満漁港ふれあい地区内ビーチを浚渫するとともに、養浜・通路・波除堤等を整備する。また、観光漁業の推進を図るための調査及び施設整備を行う。	系満漁港ふれあい地区内のビーチに波除堤、養浜、避難通路の整備を行い、機能性向上を図る。		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	4	系満市観光振興基本計画策定事業	H27	系満市の観光産業のみならず、各産業が観光産業と連携が図られるか実態調査等を行い、各産業が観光産業とコラボし、観光コンテンツが活かせるよう観光基本計画を策定する。	観光振興基本計画の策定	観光振興基本計画の策定		
4	6	文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ~ H33	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的な魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を設置する。	展示基本設計のとりまとめ完了 建築基本設計のとりまとめ完了	展示基本設計のとりまとめ完了 建築基本設計のとりまとめ完了		
5	1	小規模農家支援事業	H24 ~ H29	小規模農家の作業の効率化と農家経営の安定化に向けて、減農薬、減肥料及び鳥獣対策を推進するため、防風ネット、簡易パイプハウスの施設整備支援を行う。	農薬飛散防止ネット整備数 3箇所 整備率:90% (整備予定数127箇所 H24~H26:115箇所【見込み】) 簡易パイプハウス設置数 5箇所 整備率:87% (設置予定数155箇所 H24~H26:111箇所【見込み】)	農薬飛散防止ネット整備数 8箇所 整備率:96.9% 簡易パイプハウス設置数 6箇所 整備率:75.5%		
5	2	島ヤサイ生産拡大及び消費拡大事業	H26 ~ H27	沖縄の観光資源にもなっている独特の食文化を継承し、流通及び消費拡大に繋げるとともに農家所得の向上を図るため、島ヤサイ栽培の実証用の防虫対策ハウスの設置と消費拡大に取り組む。	防虫ハウスの設置:20基 0.7ha 料理教室の開催:5回 参加人数 述べ100人 学校給食等への食材提供:2回 レシピ開発:5品目 アンケート調査:5回	防虫ハウスの設置:18基 0.7ha 料理教室の開催:5回 参加人数 述べ108人 学校給食等への食材提供:48回 レシピ開発:12品目 アンケート調査:6回		
5	3	地場産品販路拡大事業	H24 ~ H29	地場産品の販路が脆弱なため、販路拡大を目的として、県内外の消費者及び販売業者に向けた物産展を県内及び姉妹都市・友好都市・大都市圏において開催する。	物産交流会参加事業者数(延) 60事業者 物産交流展来場者数(延) 30,000人 商談会実施回数 6件 商談成立 3件 系満フェア参加事業者数 20事業者 系満フェア来場者数 26,000人 系満フェア売上高 1,650,000円	物産交流会参加事業者数(延) 63事業者 物産交流展来場者数(延) 302,306人 商談会実施回数 5件 商談成立 5件 系満フェア参加事業者数 19事業者 系満フェア来場者数 46,268人 系満フェア売上高 3,339,774円		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	4	系満和牛群改良整備事業	H24 ~ H29	農家の経営の安定化に向けて、仔牛のブランド化を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。	優良母牛導入率:64%	優良母牛導入率:64%		
6	1	平和学習受入体制整備事業	H24 ~ H29	平和教育・平和観光に役立つ資源として、体験者の証言の映像記録、「平和ガイド」の育成を行い、平和の啓発・発信するため、平和講演会並びにイベントを実施する。また、市内に点在する避難壕や戦争で被害を受けた構造物は、歴史の生きた教材になりうる。ので本市の平和教育・観光に役立つ資源として活用を検討するための調査、計画、環境整備等の検討を行う。	平和ガイドの市関連事業参加率 70% 講演会参加者の行動意識変化 アンケート回答のうち30% 証言の映像化 30人分 基本計画の策定	平和ガイドの市関連事業参加率 71% 講演会参加者の行動意識変化 未達成 証言の映像化 31人分 基本計画の策定		
7	1	確かな学力を育むサポート事業	H24 ~ H29	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・学習指導等支援児童数 小学校:175人 生徒数 中学校:107人	・学習指導等支援児童数 小学校:194人 生徒数 中学校:141人		
7	2	英語指導事業	H24 ~ H29	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・英語指導助手配置クラス数 小学校:45クラス、中学校:61クラス	・英語指導助手配置クラス数 小学校:43クラス、中学校:62クラス		
7	3	適応指導教室設置事業	H25 ~ H29	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	サポート児童生徒の平均登校日数:80日	サポート児童生徒の平均登校日数:90日		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	4		障害児学習環境づくり事業	H24 ~ H29	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、保育所等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	支援園児・児童・生徒数 幼稚園:20人、小学校:49人、中学校:1人 市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談 年120回	支援園児・児童・生徒数 幼稚園:20人、小学校:50人、中学校:1人 市内幼稚園・小中学校・保育園及び保護者への指導・相談 年147回	
7	5		情報教育環境づくり事業	H25 ~ H29	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、情報機器を導入する。また、情報教育の充実を図るため情報教育支援員を派遣する。	情報教育支援員による適切な支援 市内小中学校における教育用コンピュータの整備率:61% 小学校の電子黒板整備完了: 普通教室143台、特支教室21台、理科教室12台 中学校の電子黒板整備完了: 普通教室62台、特支教室10台、理科教室12台 電子黒板の整備率:100% 小学校のLAN整備完了 中学校のLAN整備完了	情報教育支援員による適切な支援 市内小中学校における教育用コンピュータの整備率:61% 小学校の電子黒板整備完了: 普通教室148台、特支教室24台、理科教室12台 中学校の電子黒板整備完了: 普通教室61台、特支教室13台、理科教室12台 電子黒板の整備率:100% 小学校のLAN整備完了 中学校のLAN整備完了	
7	6		教育環境整備事業	H25 ~ H29	児童・生徒の教育環境改善を目的に、園舎・校舎屋根断熱防水工事、空調設備設置工事などを行う。	沖縄の気候的特殊性による本土との教育環境の差を改善する。	沖縄の気候的特殊性による本土との教育環境の差を改善した。	
8	1		子育て応援NPO活動支援事業	H24 ~ H33	子育ての困難な親などの養育支援を行うため、NPOを活用して相談や学習会などを開催する。	・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会 10回 ・支援者対象研修 12回	・相談活動 80件 ・訪問活動 70件 ・親対象の学習会 10回 ・支援者対象研修 12回	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	2	障がい者就労支援事業	H24 ~ H28	障がいのある方の雇用は極めて厳しい状況にあり、住み慣れた地域での雇用の確保に向けて、障がいのある方が従事する施設で製造する商品等を自ら販売するため、市内数ヶ所に販売所を設置するとともに、商品開発、商品PR等物販に係るノウハウを習得のための支援を行う。	新商品開発件数:10件	新商品開発件数:10件		
8	3	放課後児童クラブ巡回支援事業	H27 ~ H29	放課後児童クラブ運営の適正化や指導員の資質の向上を図るため、専門員を巡回派遣し各クラブへ指導、助言を行う。	支援相談 200件/年 研修会参加者 100人/年 放課後児童クラブの資質を向上させ、安心して子育てできる体制を確保する。	支援相談 304件/年 研修会参加者 211人/年 放課後児童クラブの資質を向上させ、安心して子育てできる体制を確保した。		
8	4	幼稚園児預かり支援事業	H27 ~ H29	幼稚園児を対象にした預かり支援を実施する学童クラブに対して受け入れ体制の充足のため支援を行う。	対象園児数 160人/月の受け入れ体制を確保	対象園児数 91人/月の受け入れ体制を確保	未	
9	1	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ~ H27	本市は、アマチュアスポーツのメッカのまちとしてPRし、合宿や大会参加など県外から多くの選手を受入れており、スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎球場機能強化工事の実施設計完了 ・西崎球場機能強化工事(スコアボード)の完成 ・西崎球場空調設備設置工事の実施設計完了 ・西崎球場空調設備設置工事の完成 ・高架下駐車場整備工事の実施設計完了 ・高架下駐車場整備工事の完成		繰	
9	2	パークゴルフ場整備事業	H27 ~ H28	本市を訪れる方や市民に、身近で手軽に行える運動に触れる機会を提供することで、生涯スポーツ人口の増加に努め、スポーツアイランド沖縄の取り組みを一層充実させるため、生涯スポーツ施設等の整備に取り組む。	・パークゴルフ場整備工事基本計画のとりまとめ完了 ・パークゴルフ場実施設計の完了 ・管理棟実施設計の完了	・パークゴルフ場整備工事基本計画のとりまとめ完了 ・パークゴルフ場実施設計の完了 ・管理棟実施設計の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

系満市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
9	3	西崎みどりの遊歩道整備事業	H27 ~ H30	夕日を見ながら海辺の散策ができる憩いの空間を創設し、観光地としての魅力向上及びウォーキングコースとしての活用による生涯スポーツの推進を図るため、西崎護岸沿いを周遊できるよう遊歩道を整備する。	遊歩道整備工事基本計画のとりまとめ完了	遊歩道整備工事基本計画のとりまとめ完了		
9	4	西崎運動公園等有効活用整備事業	H26 ~ H29	冬季シーズンに温暖な気候の沖縄県の優位性を生かし、従来より行っていた冬季を中心としたスポーツ団体の合宿や各種大会の更なる誘致を図るとともに、オリンピック・パラリンピック事前合宿等の受入体制の構築を目指し、もってスポーツによる地域の活性化のため、西崎運動公園及び西崎研修センターを一体的かつ有効的に活用できるよう整備計画を作成する。	西崎運動公園等有効活用整備計画書策定	西崎運動公園等有効活用整備計画報告書策定	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	kozaフィルムオフィス事業	H24 ~ H33	伝統文化や景観など本市の魅力ある地域資源を広く内外へ発信するため、映画・ドラマ等の撮影誘致及び撮影サポートを支援する。	映画・ドラマ等撮影支援件数 75件 (H25年度実績:69件)	映画・ドラマ等撮影支援件数 48件	未	
1	2	音楽資源活用事業	H24 ~ H28	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、収集した資料を活用した企画展の開催、展示室の運営などを行う。また、音楽によるまちづくりの更なる推進のため音楽資料の常設展示(音楽ミュージアム)に向け取り組む。	企画展集客数:1,500人/回 (H26実績:平均1,066人/回) 展示室入場者数:9,000人	企画展集客数:812人/回 展示室入場者数:8,670人		
1	3	音楽観光誘客事業	H24 ~ H28	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、沖縄市のアーティストやライブハウスなどの音楽情報を広く発信するとともに、ライブハウスを活用した定期イベントや沖縄の伝統音楽および民俗芸能などを中心とした音楽イベントを開催する。また、にぎわいの創出が期待できる音楽イベントに対して支援する。	ライブハウス入場者数(レギュラーバンド店) ライブ160回で6,150人(38人/1回あたり) (H25実績:ライブ375回で10,626人)(28人/1回あたり) ライブハウス集客率 75%(H25実績:69%) 野外音楽イベントおよび沖縄芸能企画展集客数 4,200人(H25実績:3,600人) ワークショップ参加者数 150人(H25実績:130人)	ライブハウス入場者数(レギュラーバンド店) ライブ260回で8,019人(30人/1回あたり) ライブハウス集客率 75.5% 野外音楽イベントおよび沖縄芸能企画展集客数 4,000人 ワークショップ参加者数 199人		
1	4	文化活動拠点施設改修事業	H24 ~ H30	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設である沖縄市民会館の舞台機構、舞台照明など、設備の機能充実を図る。	利用者アンケートによる満足度 5割 改修進捗率 大ホール:約80%達成 中ホール:約50%達成 改修進捗率についてはH30年度までの計画を基に算出。(今後計画見直しの可能性あり)	利用者アンケートによる満足度8.7割 改修進捗率 大ホール:約85%達成 中ホール:約30%達成		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	国際交流事業	H24 ~ H28	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を目指し、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などとの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。	受講者等人数(人数・件数は述べ) 語学講座(英・中・スペイン) 4,500名(H25実績4,000名) 多言語相談窓口(生活・法律)(上記言語) 120名(120名) 日本語交流会 1,100名(500名) 異文化理解講座 500名(900名) 情報発信5,000件(フェイスブック閲覧件数) 多言語情報広報誌の発行 600部	受講者等人数(人数・件数は述べ) 語学講座(英・中・スペイン) 2,600名 多言語相談窓口(生活・法律)(上記言語) 166名 日本語交流会 430名 異文化理解講座 3,485名 情報発信35,956件 多言語情報広報誌の発行 5,500部		
1	6	エイサーのまち推進事業	H24 ~ H33	エイサーを活用した観光振興および地域活性化を図るため、エイサーによるまちづくりの拠点施設となる(仮称)青年エイサー会館整備に向けた取り組み及びエイサーのまち沖縄市のPR活動等を行うとともに、沖縄全島エイサーまつりの充実に向け取り組む。 また、エイサーファン拡大のため、エイサー検定を支援する。	・エイサー会館準備室事業利用者数 22,000人 (H25年度実績:11,076人) エイサー体験 エイサー相談窓口等 ・エイサーイベント参加者数 384,100人 (H25年度実績:351,134人) ・エイサー検定受検者数 9,000人 (H25年度実績:8,500人) ・(仮称)青年エイサー会館用建物及び底地の購入完了	・エイサー会館準備室事業利用者数 9,865人 エイサー体験 エイサー相談窓口等 ・エイサーイベント参加者数 364,193人 ・エイサー検定受検者数 8,970人 ・(仮称)青年エイサー会館用建物及び底地の購入完了		
1	7	伝統文化観光推進事業	H24 ~ H33	伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、伝統行事である「ンマハラシー(美ら競馬)」の開催および普及活動等を支援する。	ンマハラシー入園者数 6,000名 H25実績(入園者数4,685名)	ンマハラシー入園者数 7,307名 H25実績(入園者数4,685名)		
1	8	地域自然環境調査事業	H24 ~ H28	沖縄市全域の生物の生息状況確認を目指し、これまで十分に調査ができていない市街部に残された緑地や公園等を中心に継続して調査を行うとともに、平成28年度の展示に向けた取り組みを行う。	市内陸域の動植物調査実施率 95% 採集した標本を活用した展示会 来館者 2,000人	市内陸域の動植物調査実施率 95% 採集した標本を活用した展示会 来館者 4,889人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	9	文化財等公開デジタル化事業	H24 ~ H27	沖縄市立郷土博物館が保有する写真資料や収蔵品台帳等の情報を、インターネットを利用したデータ公開システムへ掲載できるよう整理をすすめる。	公開システムを目標しての資料貸し出し100件	公開システムを目標しての資料貸し出し165件	
1	10	観光宣伝事業	H25 ~ H33	観光誘客の拡大を図るため、効果的なPR活動等を実施するとともに、観光体験等による誘客活動を支援する。	主要イベント来場者数 706,300人 (H25年度実績:633,979人) 主要施設来場者数 2,369,000人 (H25年度実績:2,320,279人) 観光体験メニュー利用者数 7,000人 (H25年度実績:6,847人)	主要イベント来場者数 554,900人 (H25年度実績:633,979人) 主要施設来場者数 2,351,000人 (H25年度実績:2,320,279人) 観光体験メニュー利用者数 4,096人 (H25年度実績:6,847人)	
1	11	自主文化事業	H25 ~ H27	本市独自の魅力ある伝統芸能と観光を連携させ、沖縄市をPRしさらなる誘客を図るため、沖縄市伝統の文化芸能作品の公演を街中で実施する。	有料公演入場者数 約525人 (音楽ステージ:500人収容×70%=350人) (芸能公演:250人収容×70%=175人) 無料公演入場者数 延べ約1,000人 無料公演4公演×250人=1,000人	有料公演入場者数 259人 (音楽ステージ:500人収容×70%=350人) (芸能公演:250人収容×70%=175人) 無料公演入場者数 延べ11,000人 無料公演4公演×250人=1,000人	
1	12	戦後文化資料等展示事業(デジタル化)	H24 ~ H29	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」における観光誘客のさらなる拡大を図り、地域の活性化へつなげていくため、本市関係の戦後資料である新聞記事資料のデジタル化を実施する。	新聞記事デジタル化率 78%達成 (H24~H27年度累計)	新聞記事デジタル化率 78%達成 (H24~H27年度累計)	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	スポーツコンベンション推進事業	H25 ~ H33	スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツ団体等のPRをはじめ、関係団体や地域等とのスポーツ交流・体験およびイベントの開催など、「スポーツコンベンションシティ沖縄市」の定着に向け取り組む。	スポーツ合宿延べ宿泊者数 13,000人 (H25実績:13,849人) スポーツ合宿団体数 55団体(H25実績:53団体)	スポーツ合宿延べ宿泊者数 15,629人 (H25実績:13,849人) スポーツ合宿団体数 104団体(H25実績:53団体)		
2	2	商店街スポーツイベント等連携促進事業	H25 ~ H28	商店街等とスポーツイベントとの連携を促進し、地域への波及効果を創出する仕組みを構築することで、観光振興による商店街等の活性化を図るため、市内で開催されるスポーツイベントに訪れる観光客等を商店街等に誘導・回遊させるための調査・実証業務を行う。	来場者に占めるシャトルバス利用者の割合 10%以上(平成25年度 4.9%) まち歩きツアー参加者数:60人 商店街店舗等利用回数(利用ポイント発行数) 5,000回	来場者に占めるシャトルバス利用者の割合 6%(平成25年度 4.9%) まち歩きツアー参加者数:147人 商店街店舗等利用回数(利用ポイント発行数) 3,473回		
2	3	スポーツ推進整備事業	H24 ~ H28	スポーツ環境を活かした観光を推進するため、沖縄市総合運動場における運動器具等の備品を充実し、施設の機能強化を図る。	コザ運動公園体育施設 利用者数 H27年度 685,500人(H25実績:643,875人) スポーツ合宿者延べ数 H27年度 13,000人(H25実績:13,849人)	コザ運動公園体育施設 利用者数 H27年度 661,261人(H25実績:643,875人) スポーツ合宿者延べ数 H27年度 15,629人(H25実績:13,849人)		
2	4	モータースポーツ推進事業	H24 ~ H33	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路植栽等整備工事、道路照明器具の整備等を行う。	イベント来場者数 延べ20,000人	イベント来場者数 延べ22,500人		
3	1	道路景観形成推進事業	H24 ~ H28	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性を確保するため、歩行空間におけるサイン等整備に関する実施設計を行う。	実施設計(道路植栽等)2路線の完了 道路植栽等整備2路線の完了 照明灯LED化 取替10基の完了	実施設計(道路植栽等)2路線の完了 道路植栽等整備2路線の完了 照明灯LED化 取替11基の完了		
3	2	観光地周辺道路整備事業	H27 ~ H31	本格的なモータースポーツの拠点となる(仮称)沖縄サーキットの整備実現に向け、モータースポーツの振興を図るイベントを実施し、モータースポーツに関する理解と機運を高める。	観光地の各種案内サイン等整備の検討・設計完了	観光地の各種案内サイン等整備の検討・設計完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

沖繩市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1		こども科学力育成事業	H24 ~ H33	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや科学体験プログラムの実施、学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	科学普及イベント参加者数:14,600人 科学体験ワークショップ参加者数:(50人/1回)×30回=1,500人 出前科学教室参加者数:(40人/1クラス)×96コマ=延べ3,840人	科学普及イベント参加者数:14,229人 科学体験ワークショップ参加者数:(50人/1回)×30回=1,500人 出前科学教室参加者数:延べ5,402人	
4	2		児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ~ H33	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学校支援教育補助者、キャリア教育コーディネーター、教科コーディネーター、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	【個別指標】 キャリア教育コーディネーターの配置 2人 目標 対応可能児童生徒数 3,350人 研修会等 2回 教科コーディネーターの配置 3人 目標 対応可能児童生徒数 1,200人 授業日数:206日 学校支援教育補助者の配置 2校(小:1・2年、中:3) 目標 対応可能児童生徒数 260人 授業日数:206日 学習支援員の配置:16人 目標 対応可能児童数2,400人 授業日数:206日 日本語指導員の配置:4人 目標 対応可能生徒数:30人 授業回数:1,630回 外国語指導助手の配置:25人 目標 対応可能生徒数14,814人 授業日数:206日	【個別指標】 キャリア教育コーディネーターの配置 2人 目標 対応可能児童生徒数 4,333人 研修会等 2回 教科コーディネーターの配置 3人 目標 対応可能児童生徒数 1,233人 授業日数:200日 学校支援教育補助者の配置 2校(小:1・2年、中:3) 目標 対応可能児童生徒数 414人 授業日数:201日 学習支援員の配置:16人 目標 対応可能児童数1,634人 授業日数:204日 日本語指導員の配置:4人 目標 対応可能生徒数:30人 授業回数:1,380回 外国語指導助手の配置:25人 目標 対応可能生徒数14,940人 授業日数:192日	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

沖繩市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	3		気になる子等の学びを支援する事業	H24 ~ H33	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士 1人 園児168名の対応 看護師 1人 園児1名の対応 幼稚園特別支援学級担当 36人 園児69名の対応 幼稚園特別支援教育支援員 7人 園児99名の対応 心理士 2人 目標:検査件数160件 保健師 1人 目標:相談及び指導助言件数60回、健診業務16回 看護師 2人 目標:児童対応数2名 市スクールカウンセラー 9人 目標:カウンセリング実施数650件 心の教室相談員 8人 目標:相談件数650件 市スクールソーシャルワーカー 2人 目標:対応件数150件 学校支援教育補助者 15人 目標:不登校児童生徒数 H23年度215件を基準として毎年20%減(H26:138件) 特別支援教育補助者 41人 目標:支援生徒数110名 教育相談員 2人 目標:相談活動等300件 適応指導教室指導員 2人 目標:適応指導教室正式入級数15名のうち70%を普通教室に通えるよう指導。 巡回支援指導員 4人 目標:巡回支援回数500回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士 1人 園児163名の対応 看護師 1人 園児1名の対応 幼稚園特別支援学級担当 30人 園児62名の対応 幼稚園特別支援教育支援員 9人 園児99名の対応 心理士 2人 目標:検査件数187件 保健師 1人 目標:相談及び指導助言件数90回、健診業務16回 看護師 2人 目標:児童対応数2名 市スクールカウンセラー 9人 目標:カウンセリング実施数2,895件 心の教室相談員 8人 相談件数1,459件 市スクールソーシャルワーカー 2人 目標:対応件数88件 学校支援教育補助者 15人 目標:不登校児童生徒数 H23年度215件を基準として対前年度比210%増(H26:138件) 特別支援教育補助者 41人 目標:支援生徒数220名 教育相談員 2人 目標:相談活動等432件 適応指導教室指導員 2人 目標:適応指導教室正式入級数15名のうち27%を普通教室に通えるよう指導。 巡回支援指導員 4人 目標:巡回支援回数554回 	
4	4		青少年等支援事業	H25 ~ H29	青少年の非行防止および健全育成を図るため、青少年指導員を配置し、電話・来所・訪問相談、登下校の巡回指導、夜間の街頭指導、キャンプ等の各種体験活動等を行う。 また、若者相談窓口を設置し、困難を有する若者の自立問題や非行問題に関して悩みを抱えている家族等や本人からの相談に対し、関係機関等の情報提供や支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の巡回指導 200回 夜間の街頭指導 250回 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校の巡回指導 362回 夜間の街頭指導 259回 	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	5	中学生海外短期ホームステイ派遣事業	H25 ~ H29	「国際文化観光都市」を宣言している沖縄市では、次代を担い、これからの国際化社会に活躍できる人材を育成することを目的として、市内中学校の生徒を対象に、夏休み期間中の海外ホームステイ活動を支援する。	派遣後、アンケートによる意識調査等により、派遣前英検取得より上位級の取得を促す。 また、本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用する。	派遣後、アンケートによる意識調査等により、派遣前英検取得より上位級の取得を促した。 また、本市で主催する行事等において通訳ボランティア補助として活用した。	
4	6	小学校楽器整備事業	H24 ~ H27	児童の音楽に対する興味と表現力を育み、音楽を通じたまちづくりや人材育成を図るため、市内小学校の吹奏楽の楽器を整備する。	学校行事を除くイベント等への出演回数 年 36回以上(1校当たり3回以上)	学校行事を除くイベント等への出演回数 年 61回以上(1校当たり5回)	
5	1	若年者就労等支援事業	H24 ~ H28	若年者等の雇用創出および失業者対策を図るため、心因性の理由等により就職が困難な当事者や保護者等を対象に、就労へ向けた生活相談や生活訓練、職業訓練等を実施する。	アウトリーチ人数 480人(述べ) カウンセリング受診者数:270人 農業実習受講者数:240人 自立訓練受講者数:48人 学習支援人数 300人	アウトリーチ人数 79人(述べ) カウンセリング受診者数:4人 農業実習受講者数:128人 自立訓練受講者数:98人 学習支援人数 637人	
5	3	就労支援センター運営事業	H25 ~ H28	雇用の対策を図るため、沖縄市就労支援センター等において、求職者を対象に、就労相談や就労支援講座等の開催および職場体験のコーディネート、職業斡旋などをおこなう。	就職決定者数 700人 (H25年度実績:637件)	就職決定者数 842人 (H25年度実績:637件)	
5	4	中小企業人材育成支援事業	H25 ~ H27	市内中小企業者に対し、技術力の向上や能力開発のための人材育成支援をはじめ、在沖米軍発注業務の受注にかかる通訳・翻訳などの契約業務を支援することにより、本業務にかかるノウハウを持った人材を育成し、産業の振興や新たな雇用の創出を図る。	人材育成講座受講者数 162人 米軍発注業務受注件数 10件 米軍発注業務受注金額 1億円	人材育成講座受講者数 216人 米軍発注業務受注件数 1件 米軍発注業務受注金額 784,265円	
5	5	雇用環境基盤検討調査事業	H24 ~ H33	本市の雇用対策を図るため、企業誘致や雇用創出の受け皿となる基盤整備等の調査検討を行う。	・交通に関する詳細調査の完了 ・基盤整備に関する基本計画の策定	・交通に関する詳細調査の継続 ・基盤整備に関する基本計画の策定	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	6	(仮称)雇用促進施設整備事業	H26 ~ H27	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。	・修繕、改修工事の完了(達成率100%)		繰	
6	1	地域ブランド推進事業	H24 ~ H29	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源(二次加工品等)を沖縄市ブランドとして認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、広報活動等を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。	コザスター商品認定数 延べ11商品 コザチョイス商品選定数 延べ83商品 新商品開発 3件	コザスター商品認定数 延べ10商品 コザチョイス商品選定数 延べ72商品 新商品開発 0件	未	
7	1	地域防災対策事業	H24 ~ H33	災害等に備えるため、災害用備蓄品の確保をはじめ、防災行政無線子局のデジタル整備(H26~H28年度)や災害用備蓄倉庫の整備に取組む また、地域防災力を強化するため、継続して自主防災組織の結成促進・育成を実施する。	・災害用備蓄品の整備率 100% (備蓄目標 63,000食) H24~H27 63,000食 ・防災行政無線子局のデジタルカバー率 (市面積 49.00km ²) 【市街地32.1km ² ・基地面積 16.9Km ² 】 H25~H27 カバー率(市街地23.4Km ²) 73% 127/172 ・自主防災組織の結成率 51.21% 自主防災組織結成目標数 41組織 H17~H27結成数 21組織 ・自主防災組織資機材整備率 41.46% 資機材整備予定組織数 41組織 H17~H27設置数 17組織 ・防災倉庫整備率 34.61% 27/78 (防災倉庫整備予定数 78箇所 H24~H27 27箇所)	・災害用備蓄品の整備率 100% (備蓄目標 63,000食) H24~H27 63,791食 ・防災行政無線子局のデジタルカバー率 (市面積 49.00km ²) 【市街地32.1km ² ・基地面積 16.9Km ² 】 H25~H27 カバー率(市街地23.4Km ²) 73.25% 126/172 ・自主防災組織の結成率 39.02% 自主防災組織結成数 38組織 H17~H27結成数 21組織 ・自主防災組織資機材整備率 39.02% 資機材整備予定組織数 39組織 H17~H27設置数 17組織 ・防災倉庫整備率 29.48% 23/78 (防災倉庫整備予定数 78箇所 H24~H27 27箇所)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

沖繩市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	2	災害時緊急避難通路整備事業	H24 ~ H33	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路を整備する。	・実施設計2ヶ所の完了 ・用地測量3ヶ所(H26年度実施設計箇所)の完了 ・用地購入3ヶ所(H26年度実施設計箇所)の完了 ・整備工事3箇所(H25年度実施設計箇所)の完了 整備工事の完了により、津波時における住民の徒歩による避難通路を確保することができ、自然災害からの被害軽減が図られる。 (整備予定である10路線中3路線の完了)		繰	
7	3	救命処置普及強化事業	H25 ~ H29	災害時等において、市民等に重篤な傷病者が発生した場合、居合わせた方が救急処置をおこなえるよう、救急講習会の開催を増やすとともに、24時間営業のコンビニ等にAEDを設置し、市民等の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	市内コンビニ AED設置率 100% 応急講習会開催 受講者数 4300人(H27年度) (H25年度実績:2,756人)	市内コンビニ AED設置率 100% 応急講習会開催 受講者数 5,462人(H27年度) (H25年度実績:2,756人)		
7	4	学校安全対策強化事業	H24 ~ H33	安全教育(防災・交通・防犯)で、子どもたちの安全への意識を高めるために土地の標高や避難場所、危険箇所等の情報を盛り込んだハザードマップを子どもたちが普段から活用できる下敷き(各学校区ごとに作成)にして、子どもたちに配布する。	市内幼児、児童に配布(約12,000枚) 安全教育授業での活用回数 目標:各学校年2回(新年度:4月、防災の日:9月)	市内幼児、児童に配布(12,317枚) 安全教育授業での活用回数 目標:各学校年1回		
8	1	里道および水路の境界確定復元事業	H24 ~ H33	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業をおこなう。	里道 7,720mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約18.9%) 水路 2,500mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約47.78%)	里道 6,933mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約18.3%) 水路 2,260mの境界確定測量完了 (全体に対する整備率 約47.7%)		
8	2	沖縄市特定駐留軍用地内土地取得事業基金	H25 ~ H33	特定駐留軍用地の指定を受けたキャンプ瑞慶覧口ウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、基金に積立をおこない、公有地の先行取得を実施する。	・返還後の跡地利用を円滑に進めるため、公有地の先行取得を行う。 ・取得目標面積:14,800㎡ (全体計画に対する取得率:約68.20%)	・返還後の跡地利用を円滑に進めるため、公有地の先行取得を行った。 ・取得目標面積:2,409㎡ (全体計画に対する取得率:約11/1%)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
9	1	東部海浜地区開発事業	H25 ~ H28	東部海浜開地区の防災基本計画検討調査等に取り組むとともに、イベント等を活用したPR業務を行う。 また、東部海浜開発事業を推進するため、東部地域と連携し、地域活性化を推進する業務を行う。	防災に関する基本計画の検討 事業PRブースへの 来場者目標:2,750人(H26:2,555人)	防災に関する基本計画の検討 事業PRブースへの 来場者目標:5,850人(H26:2,555人)	
10	1	コミュニティーパーク整備事業	H24 ~ H28	市民の健康づくりや地域住民相互の交流等を促進するため、地域住民の意見・ニーズを伺いながら公園の基本設計を策定し、実施設計および造成工事等をおこなう。	若夏公園:管理棟基本設計及び実施設計の完了 若夏公園:施設整備工事の完了(平成27年度施工分) (仮称)美東公園:施設整備工事の完了		繰
11	1	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ~ H33	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設整備を行う。	ゾウ舎施設工事の完了	ゾウ舎施設工事の完了	
12	1	沖縄こどもの国整備計画等策定事業	H27	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、既存施設エリアの充実を図るとともに、施設の整備拡充に向けた基本計画を策定する。	基本計画策定の完了	基本計画策定の完了	
13	1	沖縄市優良母牛リース支援事業	H27 ~ H29	肉用牛の改良により畜産農家の経営基盤安定化を図るため、優良繁殖母牛の導入費用を支援する。	優良母牛を各農家へ全体計画の20%を目標に導入することで、繁殖母牛の若齢化や肉用牛の改良等がすすみ改良基盤の安定化が図られる。	優良母牛を各農家へ全体計画の20%を目標に導入したことで、繁殖母牛の若齢化や肉用牛の改良等がすすみ改良基盤の安定化が図られた。	
14	1	郷土資料整備事業	H27 ~ H33	沖縄県・沖縄市に関する歴史や文化、産業に関する郷土資料を収集し、本市の伝統文化と異文化が融合した特徴的なコザ文化をはじめとする地域文化を学ぶ環境づくりに努める。	郷土資料の購入 1,294点	郷土資料の購入 1,416点	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	瀬長島観光拠点整備事業	H24 ~ H28	H24年度策定の「瀬長島観光拠点整備基本計画」を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等を整備し、島全体の利便性の向上を図る。	全体整備計画の76%完了(中道道路、屋外トイレ、無電柱化整備の完了)による瀬長島全体の利便性向上		繰	
1	2	文化観光創出事業	H24 ~ H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	平成30年度中の一部供用開始に向けた事業の着実な実施(用地全体の約60%確保)、園路等の整備)	事業用地 60%取得		
1	3	とみぐすく祭り事業	H26 ~ H33	豊かな自然環境、恵まれた地勢のみならず、歴史文化に育まれた子どもエイサーや棒術や旗頭等の伝統芸能、豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」を実現していくことを目的とする。	とみぐすく祭りの来場者数:91,000人 基準年(26年):約90,500人	中止	未	
1	4	観光振興等支援事業	H25 ~ H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業を支援することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討する。	主要観光施設における観光客数 約230万人(H23年度) 約285万人(H27年度)	主要観光施設における観光客数 462万人		
1	5	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ~ H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、美らSUNビーチ、レンタカーステーション、沖縄アウトレットモールあしびなー、ホテルへ繋がる市道沿いに、平成25年度に植栽した花木の管理を引続き行い、美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植樹樹の除草清掃、プランターの植栽管理による魅力ある観光地の形成	植栽管理464個 防風ネット135個		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6	景観計画策定事業	H25 ~ H27	地域独自の風景を活かした景観像を明確にし、観光地にふさわしい景観形成を実現するため、景観計画を策定する。	地域独自の風景を活かした景観像の明確化 良好な景観形成に向けた施策の決定及び実施	地域独自の風景を活かした景観像の明確化 良好な景観形成に向けた施策の決定及び実施		
1	7	与根漁港複合施設整備事業	H27 ~ H28	複合施設を設置し、漁港利用者及び遊漁船利用者の利便性を高め、漁業活性化を図る。	工事实施に向けた施設等の規模及び内容等の確定	工事实施に向けた施設等の規模及び内容等の確定		
2	1	防災情報通信設備整備事業	H24 ~ H27	本庁舎と市内沿岸地域、集落地域とを無線で結び、屋外拡声装置を取付けた防災無線子局を当該地域に設置する他、防災無線など本部機能等の関連施設等を整備して防災無線システムを構築する。	必要とされる箇所へのカバー率を100%とする	必要とされる箇所へのカバー率99.32%		
2	2	低炭素社会構築事業(省エネ設備導入促進事業)	H26 ~ H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	自治会等が設置した防犯灯が排出するCO2約116,915kg減量 基準年度:平成26年度(389,718kg)	自治会等が設置した防犯灯が排出するCO2約150,601kg減量		
2	3	航空機騒音自動測定機器導入事業	H27	那覇空港は、観光立県を目指す沖縄県の産業振興や交流・物流の拠点として重要な役割を果たしており、空港に近接する本市の観光振興にも大きく貢献している。一方で、頻繁に離発着する航空機(民間機・軍用機)の騒音による住民の生活環境への影響が課題となっている。 快適な住民環境を図るには、那覇空港から発生する航空機騒音の実態を把握する必要があるため、航空機騒音測定機器を購入・設置し、那覇空港周辺地域の航空機騒音を測定する。	那覇空港周辺地域における航空機騒音状況の把握	那覇空港周辺地域における航空機騒音状況の把握ができた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	1	とみぐすく産業まつり事業	H25 ~ H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業のPRを行い産業の進行を図る。 また、異業種間での情報交換や交流の場とすることで、産業界間の連携を生み出し新たな産業の創出を図る。	とみぐす産業まつりの来場者数:33,000人 (基準年:平成26年度約32,000人) 事業所間連携による新商品・サービスの開発 3件	中止	未	
3	2	豊見城産マンゴー販売促進事業	H24 ~ H27	豊見城産マンゴーは、県の拠点産地に認定されるなど、評価が高いことから産地ブランド化を目指して県内外での販売促進活動を実施する。	豊見城産マンゴー県外出荷量 H27:215t (4年目)【H23:211t (基準)】	豊見城産マンゴー県外出荷量 H27:221t		
3	3	県外販路拡大支援事業	H26 ~ H31	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図る目的のため県外・海外において開催される展示会・見本市等への出展に対する支援を行う。	市内事業者の県外からの受注件数 3件	市内事業者の県外からの受注件数 26件		
3	4	衛星船舶電話整備支援事業	H27	衛星船舶電話を整備することにより、漁業操業の安全確保、緊急時の対応、トラブル回避が図れる。	衛星船舶電話の整備による、漁業操業の安全性向上。	衛星船舶電話の整備による、漁業操業の安全性向上。		
3	5	豊見城産トマト・葉野菜販売促進事業	H27 ~ H29	豊見城産トマトは、県の拠点産地に認定されており又、葉野菜は県内有数の産地となっている。 トマト・葉野菜は施設整備が進み生産量も増加傾向にあるが今後、県内外において販売促進のための活動を実施する。	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H27:528t (1年目)【H25:369t (基準)】	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H27:361.197t	未	
3	6	優良母牛導入支援事業	H27 ~ H29	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定を図り、農業振興を図ることを目的とする。	優良母牛の導入頭数 H27年度:15頭(1年目導入率33%)	優良母牛の導入頭数 H27年度:15頭		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	気になる子相談事業	H26 ~ H33	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応及び乳幼児健診、親子教室等の心理相談により「気になる子」の早期発見・早期支援を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う	・保育園等への巡回相談・支援件数80件 ・乳幼児健診等の相談件数80件 ・親子教室後親子通園移行件数 7組	326件 255件 3件(組)		
4	2	幼稚園給食導入事業	H26 ~ H27	市内幼稚園では、預かり保育の需要が高まっている状況を考慮し平成27年度から学校給食の導入を行うが、新たに発生する幼稚園への給食配送及び回収業務に対応するため、給食センターのプラットフォームの増設工事を行う。	市立幼稚園への学校給食提供体制の構築	市立幼稚園への学校給食提供体制の構築完了		
5	1	学力向上サポート事業	H24 ~ H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	全国学力調査での全国平均との差 小学校4教科平均 +2.0ポイント(維持) 中学校4教科平均 -6ポイント(0.6ポイント改善)	小: +3.8 中: -5.78		
5	2	情報教育補助員派遣事業	H24 ~ H33	ICT教育補助員を派遣し、コンピュータを活用する授業で、教員をサポートしたり、児童生徒の指導を行うことにより、積極的にICTを活用した授業を実施する。	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント H26:小学校72.3、中学校25.1	小学校:66.2% 中学校:34.4%		
5	3	適応指導教室学習支援員配置事業	H24 ~ H33	不登校児童生徒やその保護者に対し指導員を配置し、教育相談や適応指導等の適切な支援を行うことにより学校復帰及び社会的自立を支援する。	学校復帰率:10%(学校復帰した児童生徒/教室に在籍した児童生徒)	学校復帰率:31%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	4	自立支援教育指導員配置事業	H25 ～ H33	不登校や問題行動のある児童生徒の日の居場所を確保し、学級復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置する。	市内中学校における問題行動発生率 前年比-5% (平成25年度 小学校:22件、中学校:44件)	市内中学校における問題行動発生率 前年比-4%		
5	5	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童相談所や福祉事務所等の関係機関とのネットワークを構築し、社会福祉の観点から支援を行い、教育相談体制を整備する。	支援対象ケース改善率 3%(改善ケース/支援対象ケース件数)	支援対象ケース改善率 31%		
5	6	登校支援員配置事業	H25 ～ H33	不登校や不登校傾向にある児童やその保護者に対し、相談等の支援を充実するため、登校支援員を配置し巡回など行う。	市内小学校における不登校児の学校復帰率10% (復帰人数/利用児童数) (平成26年度(平成27年1月末時点) 復帰率10%)	市内小学校における不登校児の学校復帰率5%	未	
5	7	学習支援補助員配置事業	H26 ～ H33	市内各中学校等の別室にて不登校(心因性や遊び・非行型)や問題行動のある生徒の生活指導や学習支援等を行うため、学習支援補助員を配置する。(主に中学校、状況に応じて小学校に配置する。)	問題行動等改善率:30% (補助員が関わった課題のある児童生徒のうち改善が見られた児童生徒数/補助員が関わった課題のある児童生徒数)	問題行動等改善率:76%		
5	8	パソコン教室整備事業	H25 ～ H33	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上ため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント H26:小学校72.3、中学校25.1	小学校:66.2% 中学校:34.4%		
5	9	小学校デジタル教科書整備事業	H27	画像、音声及び動画など、マルチメディア資料を豊富に含むデジタル教科書を各小学校へ整備し、パソコン教室や電子黒板で活用するなど、学習環境の向上を図ることにより、児童生徒の学習に対する興味・関心を高める。	全国学力調査での全国平均との差 小学校4教科平均 +2.0ポイント(維持) 中学校4教科平均 -6ポイント(0.6ポイント改善)	全国学力調査での全国平均との差 小学校4教科平均 +3.8ポイント 中学校4教科平均 -5.8ポイント		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	10	外国人英語講師配置事業	H25 ~ H33	児童生徒の英語学習や国際理解教育の向上を図るため、外国人講師を配置する。	児童生徒の英語学習への興味・関心度 66% (アンケート対象:市内小中学校全ての児童生徒) (参考:平成25年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査 沖縄県「英語活動が好き」小中学校 約66%)	児童生徒の英語学習への興味・関心度 72%		
5	11	小学校英語活動講師派遣事業	H25 ~ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	児童の英語学習への興味・関心度75%(アンケート対象:市内小学校全ての児童) (参考:平成25年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査 沖縄県「英語活動が好き」小学校第6学年 約75%)	児童の英語学習への興味・関心度75%		
5	12	児童生徒派遣費補助事業	H25 ~ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ派遣される場合に要する旅費等の支援を行う。	H27年度:370名目標 (参考:平成25年度実績276名)	H27年度:283名		
5	13	青少年国際交流事業	H25 ~ H28	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	語学力向上等の興味関心度90%以上 (参考:H26「語学力の向上が図られた」93%)	語学力向上等の興味関心度85%		
5	14	電子黒板整備事業	H25 ~ H27	平成25年度、26年度の普通教室、特別支援教室、及び理科等の特別教室への整備に加え、次年度増学級が見込まれる学校へ新たに電子黒板を整備する。	電子黒板12台の整備完了	電子黒板12台の整備完了		
6	1	文化財説明板設置事業	H24 ~ H27	本市に存する文化財に説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	見学者が文化財へ訪れやすい環境の整備	見学者が文化財へ訪れやすい環境の整備完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

豊見城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	2		「しまくとぅば」普及小冊子作成事業	H27	会話や伝統行事など、日常的に使用する地域の「しまくとぅば」をまとめた小冊子を作成し、市民に配布し、豊見城市独自の「しまくとぅば」の普及促進を図る。	収集した「しまくとぅば」の資料化 「しまくとぅば」の学習材整備	収集した「しまくとぅば」の資料化完了 「しまくとぅば」の学習材整備完了	
6	3		竈(饒波)修復事業	H27 ~ H28	饒波自治会より本市に「竈」の寄贈を受けたが、現状のままでは虫食いの被害が著しい状況である。そのため、保存処理及び復元等を行い、地域に根差していた、かつての葬制のあり方を後世に伝えるために展示活用を行う。	竈の保存処理完了により復元方法を決定	復元方法未決定	未
6	4		小中学校「空手」習得事業	H27 ~ H33	沖縄空手会館が本市に建設されることに伴い、沖縄の伝統文化である空手を習得し、演武できる児童生徒を輩出するため、市立小学校において、クラブ活動の時間に「空手」指導、中学校において、体育の授業を活用し、「空手」の指導を行う。	習得率(演武できる割合) 60%(習得人数/受講児童生徒数)	習得率(演武できる割合) 67.8%	
7	1		公営墓地整備事業	H27 ~ H31	H24年度策定の「豊見城市墓地基本計画」を踏まえて、公営墓地を整備し、墓地の散在化を防止するため候補地調査を実施する。	・候補地の課題等を把握 ・平成28年度の公営墓地の形態や使用を決定する際の基礎資料を整備	候補地の課題等を把握 基礎資料を整備	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	企業誘致推進業務委託事業	H24 ~ H33	当市への企業立地を効果的に促進するために、企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。	目標企業誘致件数: 2社以上	目標企業誘致件数: 2社以上		
1	2	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24 ~ H27	企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成事業(コンカレント人材養成事業など)を実施する。	金型技術者人材育成数 : 32名	金型技術者人材育成数 : 71名		
1	3	商品開発プロモーション事業	H25 ~ H27	市内中小企業の商品開発の強化及び販路拡大を図るため、市産品や特産品、観光土産品の物産展やPR活動を行いながら、市産品の認知度向上に努め、販路拡大・開拓につながるよう事業を実施する。 また、市の農水産物を活用した商品等の開発を支援し、売上の拡大等に繋がるようプロモーション活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 物産展参加企業数 : 55社 物産展売上総額 : 1,375万円 商品開発 : 2点以上 商談成立 : 2件 ネット販売調査による販路開拓方法(ネット販売)の有効性の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 物産展参加企業数 : 54社 物産展売上総額 : 972万円 商品開発 : 5点 商談成立 : 11件 ネット販売調査による販路開拓方法(ネット販売)の有効性の把握 		
1	4	EV自動車コミュニティ構築事業	H25 ~ H27	中城湾港新港地区では、エンジニア養成事業を通じて多くの企業間の連携により小型EV自動車及びコンバートEV車を製造するなど、新たな成果を納めている。 「うるま市EVコミュニティ構築事業委員会」を設立し、EV自動車を本地域で製造・普及させるため調査を実施し、そのニーズを把握するための社会実験も合わせて実施することにより、ローカルニッチの新たなビジネスモデルの構築を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> EV普及のための調査(地域社会でのEVの在り方及び、経済波及効果等の調査) 社会実験により抽出した技術課題の改善 市内の自動車関連企業等によるEV製造、実証実験、改良、普及促進等を図るEV普及促進組合(仮称)の設立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> EV普及のための調査実施(地域社会でのEVの在り方及び、経済波及効果等の調査) 社会実験により抽出した技術課題の改善(EV専門モーターの開発) 市内の自動車関連企業等によるEV製造、実証実験、改良、普及促進等を図るEV普及促進組合(仮称)の設立 		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	うるま市地域雇用人材育成事業	H24 ~ H33	当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業との連携による人材育成(OJT等)を実施する。 また、新たに求職者向けのスキルアップ講座や経営者向けの意識改善講座などを実施し多くの失業者が就労しやすい環境を整える。	H27年度当該事業における新規雇用者数:27人 スキルアップ受講生の満足度(もしくは理解度)80%(アンケートにより把握) 企業向け意識講座受講後における年度内の従業員による離職者の割合20%以内を目標(参加経営者1社ごとに離職者がいたかを年度末アンケートにより把握)	H27年度当該事業における新規雇用者数:25人 スキルアップ受講生の満足度(もしくは理解度)96% 企業向け意識講座受講後における年度内の従業員による離職者の割合5.5%		
2	2	街角コンタクトセンター設置運営事業	H24 ~ H33	雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。	年間利用者数:4,600人(H27年1月末:4,049人) 新規雇用へつなげた失業者数:180人(H25年度:189人) 失業者と企業の斡旋数:60人(H26年度(9月開始):28人(H27年1月末時点))	年間利用者数:6,679人 新規雇用へつなげた失業者数:305人 失業者と企業の斡旋数:111人		
2	3	うるま市グッジョブ連携推進事業	H25 ~ H33	将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や商業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとするキャリア教育を実施する。	キャリア教育実施人数 小学6年生・中学1・2年生 約4,200人 出前フォーラム受講生徒の満足度(もしくは理解度)80%(アンケートにより把握) チャレンジJOBの実施:30人	キャリア教育実施人数 4,860人 出前フォーラム受講生徒の満足度(もしくは理解度)95% チャレンジJOBの実施:40人		
3	1	観光商品開発流通促進事業	H24 ~ H33	地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、修学旅行等の教育旅行のニーズにも対応しうる体験型観光メニューの開発やモニターツアー等を実施する。	新規メニュー造成数:10種類 既存商品のブラッシュアップ数:20種類 ワンストップ予約窓口の仕組み構築	新規メニュー造成数:10種類 既存商品のブラッシュアップ数:21種類 ワンストップ予約窓口の仕組み構築		
3	2	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ~ H28	観光地としての魅力を県外向けにPRし、効果的な観光誘客の拡大を図る。雑誌やインターネットなどのメディアを有効活用した観光情報配信等による観光誘客を実施する。	うるま市観光情報到達者数:100万人 フェイスブック情報発信記事数:80本 市民ライター育成:5名	うるま市観光情報到達者数:24.2万人 フェイスブック情報発信記事数:164本 市民ライター育成:9名		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	3	うるま発！冬季観光誘客促進イベント創出支援事業	H25 ～ H29	冬季における新たな観光誘客を図るため、沖縄文化を象徴するチャンプルー文化を進化させ、新しい文化産業の確立を目指した、文化芸能イベント開催への支援を行う。	イベント来場者数：4,000名 (参考H25年度2,500名) うるま市外来場者：2,000人 市内芸能団体出演数：5組 (参考H25年度3組)	イベント来場者数：2,500名 うるま市外来場者：2,000人 市内芸能団体出演数：5組		
3	4	ゆいゆいウォーク事業(環金武湾ウォーキングフェスタ)	H25 ～ H33	「健康長寿」と「観光振興」を結びつけた地域活性化の観点から、県内外のウォーカーが集い交流する「環金武湾ウォーキングフェスタ」による西海岸リゾート地域との差別化を図ってきた。プロモーション等による新たな参加者を掘り起し、参加人数を増やすことにより、観光振興及び地域資源の知名度の向上を目指す。	参加者2,000名	参加者1,086名	未	
3	5	観光プロデューサー派遣事業	H26 ～ H27	観光物産振興に関する専門的な知識、企画力及び実行力を有するとともにうるま市の観光物産産業を総合的にプロデュースできる優れた人材を招聘し、観光物産振興事業の企画運営のあり方等について指導助言を実施することで、多分野にわたる観光産業の連携の強化、継続的な観光産業の拡大、地域活性化を図る。	セミナー・意見交換会参加者数：500名(延べ数) セミナー・意見交換会参加者アンケート：高評価者(役立つとの評価をした人)の割合80%	セミナー・意見交換会参加者数：508名 セミナー・意見交換会参加者アンケート：高評価者(役立つとの評価をした人)の割合85%		
3	6	うるま市新観光振興ビジョン策定事業	H27 ～ H28	沖縄県では、来訪者数が過去最高を記録しており、今後も更なる伸張が予想される。それに伴い、増加する外国人観光客への対応・観光ニーズの多様化・2020年東京オリンピック開催に伴うスポーツコンベンションの推進等、観光振興に向けて取り組むべき新たな課題も生まれている。うるま市においてもこのような外部環境を取り込み、地域としての戦略的な観光地づくりに向けた計画策定に取り組む必要がある。 本年度においては次期計画の策定にあたり、観光をめぐる情勢、沖縄県の観光を取り巻く情勢、うるま市の観光振興を取り巻く情勢について把握整理や内外の環境変化を踏まえ基礎調査を実施する。	・各種基礎調査の完了 ・意見交換会参加者数 20人(延べ) ・準備委員会の開催回数 2回	・各種基礎調査の完了 ・意見交換会参加者数 16人(延べ) ・準備委員会の開催回数 2回		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ~ H33	世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。 そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	・整備予定地の不動産鑑定の完了 ・物件報償費等の算出 ・勝連城跡文化観光拠点複合施設整備の基本理念、運営方針の策定 ・勝連城跡文化観光拠点周辺における動植物及び池の活用の方針の策定	・整備予定地の不動産鑑定完了 ・物件報償費等の算出 ・勝連城跡文化観光拠点複合施設整備の基本理念、運営方針の策定 ・勝連城跡文化観光拠点周辺における動植物及び池の活用の方針の策定		
4	2	市内文化財総合整備調査活用事業	H24 ~ H28	文化の薫り高いまちづくり推進のために、市内の歴史資産の環境整備を実施する。また、その整備と調査を基に活用事業を実施し、市民に対して歴史遺産への愛着心を醸成し、市民自身が歴史遺産を再評価できる環境の構築に取り組む。	・市内文化財周知のための企画展入場者数：7,000人 (基準値：H26年 5,303人 (類似文化関連展示会参考))	・市内文化財周知のための企画展入場者数：11,624人		
4	3	南風原文書整理翻刻事業	H24 ~ H28	当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」等の整理、修復及び翻刻等を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。	・企画展入場者数：450人 (基準値 H26年度実績値：397人)	・企画展入場者数：876人		
4	4	景観調査活用事業	H24 ~ H27	勝連城跡及びその周辺の自然・民俗文化財、具志川及び照間のい草水田、海中道路とその周辺の干潟に依存する生業・伝統行事・生物等を記録・保存し、郷土教育や観光案内に活用できる資料を発刊・提供することにより、教育及び観光の振興を図る。	企画展入場者数：16,000人 (基準値 H26年度実績値14,000人) 学校教育に係る入場者数：700人 (基準値 H26年度実績値：500人) 生涯学習に係る入場者数：300人 (基準値 H26年度実績値：200人)	企画展入場者数：28,198人 学校教育に係る入場者数：929人 生涯学習に係る入場者数：303人		
4	5	新沖縄型エンターテインメント事業	H24 ~ H33	沖縄の結婚式で行なわれる「ニーピチ余興」は、ダンスやショートコント、合唱、寸劇、舞踊など様々なジャンルがあり、非常にユニークな取り組みが多い。「ニーピチ余興」は沖縄独自のコンテンツであることから、「ニーピチ余興」をキラーコンテンツとしつつ、うるま市独自の伝統文化芸能コンテンツや、うるま市在住のアーティスト等によるライブイベント等を組み合わせた新たな複合イベントを実施し、観光誘客に取り組む。	イベント参加者(予選会へのエントリー数)：200名 (H25年度：126人) 来場者数：2,000人	イベント参加者(予選会へのエントリー数)：59名 来場者数：12,200人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	6	文化財標柱等設置事業	H24 ~ H27	市内の文化財・旧跡等に標柱等を設置し、市民・観光客が広く活用しやすい環境を作る。	標柱整備率 : 100%	標柱整備率 : 100%		
4	7	生涯学習・文化振興拠点整備事業	H24 ~ H28	当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウスデーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化・行事が残されている。それらは、「うるま市ならではの」地域資源である。それらを活用した文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備する。	生涯学習・文化振興拠点施設の本体建築工事完成		繰	
5	1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ~ H33	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、市内1地区について景観地区の指定、その指定に向けた地域検討会の開催や景観地視察、他市内1地区についてまちなみ景観形成に関する助成事業を実施する。	住民向けかわら版の作成・配布(浜比嘉地区300部) 景観地区の指定に関する区域及び行為の制限の設定(浜比嘉地区) まちなみ景観助成(南風原地区:5件)	住民向けかわら版の作成・配布:1,000部 景観地区の指定に関する区域及び行為の制限の検討 まちなみ景観助成(南風原地区:0件)		
6	1	島アートプロジェクト事業	H24 ~ H33	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート(造形物、オブジェ、美術など)による島おこしを実施する。 本年度度は展示会方式ではなく、既存及び新設の屋外アートと融合したイベントを創出する。	来場者数:8,000人(16日開催予定) (H26年度 21,511人(53日開催)) イベント来場者の満足度 : 70% (アンケートにより)	来場者数:18,331人(16日開催予定) イベント来場者の満足度 : 89%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	2	津堅・島おこし支援事業	H24 ~ H27	<p>津堅島において、安心して暮らせる島づくりを推進するために策定した「H24年度島おこし支援事業報告書」に盛り込まれた施策案をフォローアップ事業として着実に実施し、地域資源を活用した島民主体の地域おこしに繋げていく仕掛けづくりとサポートを推進する。</p> <p>H27年度は、津堅ツーリズムの推進(民泊研修、ガイド養成等)や清掃活動イベントの開催等を実施し、事業の総括及び効果等の検証を行う。</p> <p>また、フォローアップ事業の終了後も、住民が主体となって地域活性化に資する活動が継続できるよう組織の結成を支援する。組織の結成については、津堅島祭り(仮称)のイベントを実施し、そのイベントを通して住民活動組織の結成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民WSや講習会等への参加人数：延べ45人(H25年度 延べ72人(5回開催)) ・清掃活動イベントへの参加人数：150人(H25年度 150人) ・島の活性化を目的に活動する住民組織の結成 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民WSや講習会等への参加人数：延べ117人 ・清掃活動イベントへの参加人数：14人 ・島の活性化を目的に活動する住民組織の結成 		
7	1	農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24 ~ H28	<p>当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を發揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。</p>	用地取得完了	用地取得完了		
7	2	照間ビーグ活性化プロジェクト事業	H26 ~ H28	<p>生産農家の高齢化による農家数の減少や後継者不足の課題に対し、後継者や担い手等にとって魅力ある産業を目指し、照間ビーグ(い草)ブランドの周知や生産農家の意識向上と高収益商品の開発を生産者と協働で実施していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の製品化件数：3アイテム以上 ・テストマーケティングにおけるアンケート分析結果による販路開拓方法の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品の製品化件数：10アイテム ・テストマーケティングにおけるアンケート分析結果による販路開拓方法の選定 		
7	3	うるま市農業振興ビジョン策定事業	H27 ~ H28	<p>うるま市は、県内において農業が盛んな地域であるが、その生産高・就農者数は年々減少している。その現状を踏まえて、「市の魅力が生きた農業」を目標とし、その実現に向け農家・農業関係者・市民等による取組を推進するために、同ビジョンを整備する。</p>	うるま市の農業の現状と課題の把握	遂行困難	-	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	4		肉用牛生産拡大強化事業	H26 ~ H28	市内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入支援を行う。	・年間140頭の優良母牛候補牛導入 ・予定導入率の70%を目標とする	・優良母牛候補牛導入:140頭 ・予定導入率:70%	
8	1		小学校外国人英語助手派遣事業	H24 ~ H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合:70% (児童へのアンケートによる)	「英語が楽しい」と回答した児童生徒の割合:87.5%	
8	2		中学校外国人英語助手派遣事業	H24 ~ H33	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	実用英語技能検定5級~準2級合格者180名以上 (H25年度 合格者数 393人)	実用英語技能検定5級~準2級合格者271名	
9	1		小学校学力向上対策推進事業	H24 ~ H33	小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。	沖縄県学力向上到達度調査算数・国語の平均正答率30%未満児童の割合 3年 県平均 -2.0 5年 県平均 -2.0 (基準値:24年度 3年生-0.7 5年生-1.7%)	沖縄県学力向上到達度調査算数・国語の平均正答率30%未満児童の割合 3年 県平均 -0.9 5年 県平均 1.2	未
9	2		中学校学力向上対策推進事業	H24 ~ H33	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。	沖縄県の平均点との差(中2数学 沖縄県到達度調査) 0	沖縄県の平均点との差(中2数学 沖縄県到達度調査) -1.7	未
9	3		ICTを活用した学習支援・人材育成事業	H26 ~ H29	ICT機器(電子黒板等)を市内小中学校の全教室(403教室)へ設置することにより、ICT機器を活用した授業の頻度を高め、児童生徒の高度情報化社会に対応できる情報活用能力・コミュニケーション能力の育成を目指す。	・電子黒板の一台あたり使用時間数: 小学校 180時間/年 中学校 70時間/年	・電子黒板の一台あたり使用時間数: 小学校 565時間/年 中学校 56時間/年	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
10	1	配慮を要する子巡回指導事業	H24 ~ H33	公立・法人・認可外保育施設における「配慮を要する子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、保育施設職員に対して、保育等に関する技術的助言・支援を行う。 また、各保育施設の保育の質の向上のため、巡回指導・園訪問と合わせて保育施設職員を対象に研修を企画・実施する。	・巡回指導実施施設数(延数) 50件 ・園訪問(延数) 120園 ・保育施設職員研修における理解度 85%	・巡回指導実施施設数(延数) 45件 ・園訪問(延数) 78園 ・保育施設職員研修における理解度 90%		
10	2	放課後児童クラブ支援事業	H24 ~ H28	学童クラブの運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、学童クラブへの訪問指導や指導員の研修などを実施することにより、放課後児童クラブ運営の適正化と指導員の資質向上を図る。	放課後児童クラブ指導員等研修 参加人数 300人	放課後児童クラブ指導員等研修 参加人数 67人	未	
10	3	母子家庭生活支援モデル事業	H25 ~ H29	支援が必要な母子家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童の学習支援等を実施し、自立に向けた支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	支援全般に対する満足度(70%) 就労に繋がる資格等取得者数(4名) 学習支援の充実度(70%) (指標の説明) 満足度、充実度については、対象者へのアンケート調査により把握する。	支援全般に対する満足度(90%) 就労に繋がる資格等取得者数(2名) 学習支援の充実度(86%)		
11	1	中学校教育指導推進事業	H24 ~ H28	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。	問題を抱える生徒に対する 相談及び支援の件数 2,000件	問題を抱える生徒に対する 相談及び支援の件数 3,358件		
11	2	教育相談事業	H24 ~ H28	教育相談室に嘱託員を配置し、幼児・児童・生徒の不登校や、教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援する。	・教育相談の目標のべ件数(1,500件) 基準値 H25年度実績値 1,665件 内訳 来室相談 1,040件 学校訪問相談 625件	・教育相談の目標のべ件数(3,159件)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
11	3		適応指導教室事業	H24 ~ H28	うるま市立小・中学校に在籍する心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導支援を行い、人間関係の改善を図るとともに、自立心を高め社会性を身につけさせ、学校適応を促進するため、適応指導教室を実施し支援する。	・チャレンジ登校の目標割合(60%) 基準値 H25年度実績値 43% (3/7人) ・中学3年生の卒業後の進路支援(進学・就職)や関係機関への引き継ぎの目標割合(100%) 基準値 H25年度 中学3年生4人中4人進学	・チャレンジ登校の目標割合(88%) ・中学3年生の卒業後の進路支援(進学・就職)や関係機関への引き継ぎの目標割合(83%)	
12	1		うるま市自主防災組織資機材整備事業	H25 ~ H33	当市の自主防災組織活動カバー率は全国平均80.0%に対し、28.4%であり、全国でも低水準となっていることから防災体制の充実を図る必要がある。 市民や地理的情報に乏しい観光客の避難・支援情報提供所としても機能する自主防災組織に対し資機材整備等の支援を実施する。	新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備完了(7団体)	新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備完了(7団体)	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	池間地区防災センター整備事業	H26 ~ H27	海沿いに面した海抜の低い池間地区に避難施設を整備することにより、津波や風水害等の災害時において地域住民の避難場所を確保する。	・災害時における市民や観光客の避難場所確保 (池間地区防災センター完成)	避難場所の確保		
1	2	緊急物資備蓄事業	H24 ~ H27	被災時の市民生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。	・食料備蓄率 100% 【備蓄目標27,500食、備蓄済20,280食(約74%)】 ・飲料水備蓄率 100% 【備蓄目標5,492L、備蓄済4,392L(約80%)】	100% 100%		
2	1	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ~ H33	現在、平良地区に展開している歴史文化ロード「綾道(あやんづ)」を拠点とし、旧市町村の各地域に所在する「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とする散策コース等の整備を行い、伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」を巡る新たな観光資源の一つとして広く活用する。	・新規コース「綾道～戦争遺跡コース～」策定 / (1件/年) ・文化財WEB公開システム閲覧数(5,000アクセス/年) ・案内板及び標柱等の設置(御嶽・戦跡含む) / パンフレットと連動した現地散策が可能 ・パンフレットの作成配布 / 現地案内板及びQRコードと連動した現地散策が可能 ・無形民俗文化財資料の製作 / クイチャーフェスティバル等芸能大会での着用により公開活用 ・毀損物件の復元等完了 / 2物件 ・映像資料の完成 / 15件	1コース 16,249件 設置 12000部 13着 2物件 16件		
2	2	与那覇湾環境総合整備事業	H24 ~ H33	ラムサール条約に登録された与那覇湾について、豊かな干潟生態系の保全・再生や周辺環境の利活用による「交流・学習」の推進に向け、基本計画に基づいた整備を実施する。	・親水性向上改良工事: 進捗率100%。(全体151㎡、整備済108㎡) ・石積突堤工事: 進捗率100%。(全体101.2㎡) ・看板設置により、与那覇湾の環境についての周知を図る。	工事完了 工事完了 看板設置		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	3	伊良部地区観光地整備総合計画策定委託事業	H27	伊良部大橋開通後の観光資源を最大限に活用するため、牧山公園整備計画を含む伊良部地区の観光地に係る総合的な整備計画を策定する。	・伊良部地区の観光資源の現状を把握。	観光資源の現状把握		
2	4	スポーツ観光交流拠点整備事業	H24 ～ H28	年間を通して、軽スポーツが楽しめる、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。	施設整備1期工事分の完了 建築工事:躯体工事完了、鉄骨・屋根材等発注(進捗率70%)を目標 電気設備:建築工事1期分に係る整備(進捗率60%)を目標 機械設備:建築工事1期分に係る整備(進捗率50%)を目標 進入路整備の完了		繰	
3	1	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ H33	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。	・観光客の受入体制の整備 ・観光アクセス道路の環境美化路線数:33路線	受入体制の整備完了 33路線実施		
3	2	観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ H33	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	・公園美化により観光客の受入体制の整備を図る ・市民の緑化美化意識の高揚	受入体制整備 美化意識高揚		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	宮古島フラダンス全国大会支援事業	H25 ~ H29	現在フラダンスは全国に100万人の愛好家が存在しており、フラダンスの全国大会を宮古島市で開催することにより、観光客の誘致拡大や、地域経済の活性化に寄与する。	・来場者数:4,500人(2日間)	2,200人	未	
5	1	バイオエタノール高効率製造・流通事業	H24 ~ H28	当市の基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールの事業化を目指して以下の事業を実施する。 ・バイオエタノールの高効率製造事業 ・バイオ燃料の流通安定化検証 ・付加価値の高いバイオエタノールの用途開発等調査	・バイオエタノールの製造(50k/年) ・総合的なバイオエタノール製造コストの採算性向上	8.5KL製造 採算性向上に取り組んだ		
5	2	「エコアイランド宮古島」推進事業	H27	「エコアイランド宮古島」を掲げ、島嶼型低炭素社会の島づくりに取り組む本市において、「エコアイランド宮古島周遊エコツアー整備事業」により建設した、エコパーク宮古(エコアイランドPR館)を活用した市民参加型のイベントを開催し、今後のエコアイランド宮古島の推進に向け、市民の意識の高揚に繋げ、島外への情報の発信を行う。	・イベント等の開催による、市民への「エコアイランド宮古島」に対する意識の高揚に繋げる。 ・島外、及び県外への情報発信による「エコアイランド宮古島」の周知。 ・目標としては、開催するイベント等への参加者を300名とする。	市民参加型イベント開催 各種マスメディアによる情報発信		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	1	生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ~ H33	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し支援をする。	・生鮮水産物の沖縄本島への出荷:260トン <基準年数量:250トン(H23)>	・133.9t	未	
6	2	宮古島市海業センター整備事業	H24 ~ H29	水産業の振興に向け、安定的な種苗生産供給体制や養殖業の生産性向上の支援を図るため、その拠点となる海業センターの機能強化を図る。	・H28年度に行う取水管設置工事に向けた着実な事業の実施 (取水施設の完成)		繰	
7	1	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ~ H33	本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて学校及び対象児童生徒宅などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通してニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者と連携・協働しながら、児童生徒の生活環境改善のための適切な支援を行う。	学校、関係機関等との連携による児童生徒の生活環境改善	生活環境が改善された		
7	2	問題行動等学習支援者配置事業	H24 ~ H33	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。	生徒指導及び学習支援を行い、生活及び学習環境改善に繋げる	学習環境の改善に繋がった		
7	3	選手派遣補助金交付事業	H24 ~ H33	スポーツ、文化活動など、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会へ派遣される児童生徒の旅費を支援することで、島嶼島の離島であるという地域ハンデを是正し、自ら学ぶ意欲の高揚を図る。	大会等派遣児童生徒数 小学校 769人 中学校 1,175人	小学校 602人 中学校 1,180人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宮古島市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	1	博物館収蔵品目録等作成事業	H24 ~ H28	本市の博物館には、約8,000点に及ぶ資料が収蔵されており、これらの幅広い活用を図るため、収蔵資料を整理し、データベース化、デジタル化及び図録等を作成し、貴重な資料の半永久的な保存と、情報の共有化を図る。	目録作成・データ整備率80%	80.0%		
9	1	健康長寿に向けた若い世代における食育事業	H27	直感的に学べる体験型栄養教育教材「食育SATシステム」を活用した幼児期、学童期、青年期等若い世代における食育事業を展開し、正しい食習慣の確立をめざし本市の肥満率軽減を図る。	園児親子指導 約300人 正しい食習慣の理解 8割	32人 10割		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24 ~ H27	世界遺産「斎場御嶽」周辺地は琉球王国時代の歴史的遺産を今日まで残す貴重な地域であるが、一部石畳参道が大雨による影響で崩壊し危険な状況である。そのため本事業により石畳参道やウローカーとよばれる拝所等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘客促進を図る。	国の重要文化財(史跡、戦争遺跡)指定に向けた復元整備		繰	
1	2	スポーツツーリズム推進事業	H24 ~ H30	本市陸上競技場は、スポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持・管理する人材を育成する。	サッカーキャンプ等の受け入れ(3チーム)	サッカーキャンプ等の受け入れ(3チーム)		
1	3	観光交流サイン整備事業	H25 ~ H29	来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。	(道路愛称版の設置) ・来訪者の円滑な誘導に資する。 (観光等誘導看板の設置) ・カーナビゲーションの情報のみならず頼らない景観に配慮した情報を配信することにより来訪者に対するサービスの向上が図られる。 (集落域文化遺産サイン整備事業) ・来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性の向上 ・地域住民の地元にある歴史文化遺産の再認識、活用 ・市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進	道路愛称版:設置 観光等誘導看板:設置 来訪者の文化遺産への理解や到達の利便性:向上 地域住民の地元にある歴史文化遺産:再認識、活用 市民と来訪者の歴史文化遺産を通しての交流促進		
1	4	デマンド交通実証実験事業	H24 ~ H27	デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25~H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。	・乗車人数(1日):100人 ・運行時間や必要車両台数など、本格運行に向けた運行形態の把握	乗車人数(1日):128人 運行時間や必要車両台数など、本格運行に向けた運行形態の決定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ~ H30	平成25年度で策定された「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業である。尚巴志の普及、尚巴志スピリットの育成、エコミュージアムの基礎を築き、文化資源を活用した観光振興、地域振興を図っていく。	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生:460名(久高小は全児童) 「文化講演会」 ・目標客数:100名 「尚巴志の絵本制作・刊行」完了 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」 ・参加者10名 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」 ・合計観客動員数:200名 「地域孫会議事業」 ・参加者30名 「琉歌募集事業」 ・応募者数:150首	1. 尚巴志の普及・啓発・情報発信 「紙芝居学校アウトリーチ」 ・市内小学校9校4年生:460名 「文化講演会」客数:100名 「尚巴志の絵本制作・刊行」完了 2. 地域興しの人材育成 「尚巴志の語り部育成事業」参加者:延べ120名 3. エコミュージアムの創造 「グスク巡りコンサート」合計観客動員数:400名 「地域孫会議事業」参加者120名 「琉歌募集事業」応募者数:146首		
1	6	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ~ H29	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。	・H28年度の造成整備に向け実施設計の完了 ・用地取得率:92.1% (全体計画面積:71,719㎡) H25:11,148㎡、H26:23,119㎡(予定)、 H27:31,797㎡(予定)		繰	
1	7	世界遺産「斎場御嶽」ガイド施設整備事業	H26 ~ H27	世界遺産斎場御嶽を3Dデータとして整備し、既存施設「がんじゅう駅・南城」及び「緑の館セーファ」を活用し「斎場御嶽ガイド施設」として再整備する。斎場御嶽の現状をデジタルデータ化することで、斎場御嶽へ入域出来ない観光客へのサービスの向上と災害時の復旧に寄与する。又、歴史的な背景をビジュアル的に演出することにより、斎場御嶽にまつわる伝説や信仰を、“ものがたる”ことにより、本市を起点とする県域観光の促進を図る。	・整備が完了し、運用を開始することにより斎場御嶽をはじめ県内世界文化遺産の文化的価値の発信力を高める体制を整える。	・整備が完了し、運用を開始することにより斎場御嶽をはじめ県内世界文化遺産の文化的価値の発信力を高める体制の構築		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	8	地域Wifiネットワーク整備事業	H27 ~ H29	市内の観光スポットを中心に無線ネットワーク機器(アクセスポイント)を設置することで地域無線インフラの構築を行う。構築後は観光ポータルサイトの連動により観光情報の発信を強化し、外国人をはじめとした観光客の満足度及び周遊性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域wifi整備計画の策定 ・無線アクセスポイントの整備完了 ・観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域wifi整備計画の策定 ・無線アクセスポイントの整備完了 ・観光ポータルサイトを利用した観光情報のプッシュ型配信による施設案内の充実 		
1	9	南城市産商品販売力及び観光PR強化事業	H27 ~ H29	関東や関西の大都市圏や、国外で開催される全国物産展や祭り等で、南城市産の商品や観光資源を情報発信すると共に、プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進を行う。また、集客のツールとして、南城市公認キャラクターの上記物産展への同行や、南城市オリジナルノベルティグッズの制作を行い、“受け身”でなく“働き掛け”の観光客誘致活動を行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上 ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏での物産展参加による南城市や市産商品の認知度の向上:市及び市産商品のPR ・オリジナルノベルティグッズを制作し、配布することにより南城市のイメージを広く・長く発信:発信実施 ・プロスポーツのキャンプや公式戦誘致によるスポーツツーリズムの推進 		
1	10	観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	H25 ~ H28	住民と観光客との交流拠点や防災機能拠点施設として整備し、地域の伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進し、観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施(基本・実施設計委託業務の完了) 	平成29年度の供用開始に向けた事業の着実な実施(基本・実施設計委託業務の完了)		
1	11	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ~ H29	斎場御嶽を拠点に年間約40万人の観光客が訪れることから、集客エリアの安全確保のため、駐車場から斎場御嶽までの歩道整備や市内に点在する史跡の駐車場整備等により受入体制を整え、更なる観光振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全対策の実施 ・歩道及び道路カラー舗装整備(設計委託業務・工事)の完了(岬公園から物産館まで、知念郵便局から斎場御嶽まで) ・国有地購入(268.18㎡) 久手堅船だまりの機能強化 ・施設整備工事の完了 		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	12	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業	H27 ~ H29	プロサッカーキャンプ受入及び公式戦受入の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、市民の健康増進に対する意識の向上を推進していく。	南城市陸上競技場に関する基本設計の策定	南城市陸上競技場に関する基本設計 策定		
1	13	南城市観光コア施設整備事業	H27 ~ H31	本市の観光情報発信・観光交流、観光振興及び観光客の利便性向上を図るための観光交流拠点整備構想を策定し、情報発信・交流拠点施設整備を行い、更なる観光振興を図る。	施策展開に向けた基礎資料を整理し、観光コア施設整備に向けた基本構想の完了		繰	
1	14	観光交流施設機能強化事業	H27 ~ H29	市内に点在する観光地(城跡等)を訪れる観光客等の憩いの場として、新たな拠点地づくりを行い、グスクロード公園・知念岬公園(既存施設内)に遊具等を整備し、機能強化することで観光客等利用者の利便性の向上を図る。	実施設計の完了 (次年度より年次的に公園の機能強化を図る)	実施設計 完了		
2	1	平和発信プロジェクト事業	H24 ~ H30	戦後70年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れている中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会として、南城市独自で制定した平和の日(8月10日)に劇の上映、またイベントを開催する。	・劇の上演・イベントの開催 延1000人 ・市民参加のワークショップの開催により、市民の平和への意識の向上 ・ハートのまち宣言策定により、市民の平和への意識の向上	・劇の上演・イベントの開催 延1,360人 ・市民参加のワークショップの開催により、市民の平和への意識の向上 ハートのまち宣言策定により、市民の平和への意識の向上		
2	2	平和学習受入体制強化事業	H25 ~ H27	平和学習の一環として第二次世界大戦の追体験を行っている糸数アブチラガマ壕内の緊急時における通報システムの構築及び施設外に保管している日本軍の150mm加農砲等を移設展示し平和学習受入れ体制を強化する。	・見学者の緊急時における迅速な対応の確保 ・平和学習施設の強化		繰	
3	1	蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24 ~ H28	強風等自然災害による被害を軽減し、農作物の安定生産が図れる施設栽培を奨励するため、既存施設の強化及び防風壁導入を支援する。	既存の農業用施設等の整備(10ヶ所)	既存の農業用施設等の整備(18ヶ所)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	2	漁港巻上機・施設機能強化事業	H24 ～ H27	水産業の振興を促進するため、台風時において、船の避難をスムーズに行うため巻上機施設の機能強化を実施する。	・漁獲量を向上するための機能強化 ・漁業基盤の整備	・漁獲量を向上するための機能強化 ・漁業基盤の整備		
3	3	耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ H29	定時・定量・定品質の農作物出荷を行うため、気象条件に生産量を左右されにくい耐候性ハウスを整備し、農家の経営安定及び産地の形成を図る。	耐候性ハウスの整備(10000㎡ 約30棟)	耐候性ハウスの整備(9,324㎡ 約27棟)		
3	4	つくり育てる漁業振興支援事業	H26 ～ H27	獲る漁業からつくり育てる漁業への転換を目指し、養殖業を取り巻く課題解決に向けた対策を支援することで、水産業の振興を図る。	品質向上の強化 モズク網干し柵の設置(1基)	モズク網干し柵の設置完了(1基)		
3	5	優良繁殖牛リース支援事業	H26 ～ H33	和牛繁殖基盤の改良強化を図るため、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭)	・導入頭数50頭 ・今年度導入率12.5%(全導入目標頭数:400頭)		
3	7	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ H31	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・導入頭数50頭 ・今年度導入率20%(全導入目標頭数:250頭)	・導入頭数52頭 ・今年度導入率21%(全導入目標頭数:250頭)		
4	1	消防救助艇・牽引車両整備事業	H27	海や川に関する事故・災害等が起こった場合に、迅速かつ確実に対応するため必要な装備を整備し、消防力の強化に繋げ住民や観光客の安心安全を確保する。	水難救助体制の機能強化	水難救助体制の機能強化		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1	幼小中学校学習教室空調設備整備事業	H24 ~ H27	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。	夏場における安全・快適な学習環境の整備	夏場における安全・快適な学習環境の整備		
5	2	小中学校パソコン機器整備事業	H25 ~ H29	学校教育振興に資する学校教育用パソコンを小・中学校へ導入することで、児童・生徒がICTを活用する上で必要な知識・技能の習得や、また、様々な教科の中でICTを活用した学習活動に取り組むことにより、情報化社会に即応する技能を身につけた人材の育成を図る。	パソコン教室：パソコン機器等一式整備 ・小学校低学年：パソコンに興味関心を引き出す ・小学校高学年：パソコンの基本操作の習得、各教科の調べ学習の向上 ・中学生：パソコンの技能の習得	パソコン教室：パソコン機器等一式整備：実施 ・小学校低学年：パソコンに興味関心を引き出す：意識向上 ・小学校高学年：パソコンの基本操作の習得、各教科の調べ学習の向上：操作習得、学習向上 ・中学生：パソコンの技能の習得：技能習得		
5	3	学習支援員配置事業	H25 ~ H29	通常の授業についていけない児童・生徒への学習支援等を目的として、学級担任等の補助者として学習支援員を配置し、対象児童・生徒の習熟の程度に応じた指導や、一人ひとりの学習の定着状況に基づいたきめ細かな指導等、個々の実態に応じた学習支援を行う。	・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校 算数 3.0ポイント(0.6ポイント改善) H26年の無回答率 3.6ポイント H26県平均の無回答率 4.3ポイント 中学校 数学 12.0ポイント(0.7ポイント改善) H26年の無回答率 12.7ポイント H26県平均の無回答率 14.9ポイント	・学力到達度調査において無回答率の縮小 小学校 算数 3.0ポイント(0.6ポイント改善) 中学校 数学 12.0ポイント(0.7ポイント改善)		
5	4	特別支援教育・障害児ヘルパー配置事業	H25 ~ H29	学校教育法において、障害のある児童生徒等の教育の充実を図るため、小・中学校等に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒等に対して、適切な教育(特別支援教育)を行うことが明確に位置付けられ、それにより、障害のある児童生徒等の受け入れ機会が増加しているところであります。そのため、幼・小・中学校へ特別支援教育支援員や障害児ヘルパーを配置し、担任教師と連携の上、適切な特別支援教育を行う。	・学習や学校生活面におけるサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員・障がい児ヘルパー活用報告書の作成(年2回)	・学習や学校生活面におけるサポート体制を強化し安心して学べる学習環境の構築：サポート体制の強化 ・幼児・児童・生徒個々の特別支援教育支援員・障がい児ヘルパー活用報告書の作成(年2回)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	1	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ~ H33	本市では神の島「久高島」や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 『御嶽・グスク編』刊行に向けた原稿作成の完了 『資料集戦争』刊行に向けた情報収集、調査の完了 『民俗』刊行に向けた方針決定、調査個票の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 『御嶽・グスク編』刊行に向けた原稿作成：61%完了 『資料集戦争』刊行に向けた情報収集、調査：14%完了 『民俗』刊行に向けた方針決定、調査個票の作成 		
6	2	文化センター機能強化事業	H25 ~ H29	本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、床面や付属設備などの整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施によって、より多面的な施設の使用による活用の促進 グランドピアノ等の購入により、施設使用者による多彩な公演の促進につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> より多面的な施設の使用による活用の促進 施設使用者による多彩な公演の促進 		
6	3	文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24 ~ H33	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センター・シュガーホールを拠点に、音楽や演劇の公演、バックステージ講習、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 第21回おきでんシュガーホール新人演奏会 400名 シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 1,150名 10th' Jazz in Nanjo 500名 学校めぐり出前授業 480名 	<ul style="list-style-type: none"> 第21回おきでんシュガーホール新人演奏会 304名 シュガーホール発!!地域めぐり出前ステージ 370名 10th' Jazz in Nanjo 640名 学校めぐり出前授業 473名 		
7	1	健康づくり支援調査検証事業	H25 ~ H28	市民の健康づくりを支援するため、健康教室等の開催及び児童生徒生活習慣病予防健診等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上を図る 中学生(約500名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、健康体操等の実施後に、アンケート調査等を行い、事業効果を評価検証し、市民の健康増進意識の向上 中学生(約391名)を対象とした血液検査を実施・検証し、その結果返しの中で、親子へ保健指導を行い、生活習慣病予防意識の向上を図る 		
8	1	企業誘致等促進調査事業	H27 ~ H31	本市の土地利用を含め企業誘致適地箇所及び誘致企業を探り、誘致に向けた課題・問題点等の整理を行ない、本市における企業誘致の可能性調査を実施する。また、本調査の結果を踏まえ、企業誘致を促進するため、企業の受入体制を構築(産業集積拠点地整備)し、企業の集積により本市の産業振興・地域活性化に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 企業適地調査の完了(翌年度に向けた企業適地箇所の条件整理確認) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業適地調査の完了(翌年度に向けた企業適地箇所の条件整理確認) 		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	国頭トレイルランニング大会推進事業	H26 ~ H30	本村の森林資源を活用した新しいスポーツ「トレイルランニング大会」を開催し、国頭村の認知度向上と観光誘客を図る。 スポーツ交流人口を増やし国頭村とのふれあいのなかでリピーターを増やす事により観光客の集客を図る。	国頭トレイルランニング大会の開催 (大会参加人数:県内1,200人 県外300人) 基準年度:H26年度 県内1,300人 県外200人 トレッキング体験事業参加人数:50人	県内1,570人 県外 206人 0人		
1	2	国頭村観光案内看板整備事業	H27	国頭村西海岸と東海岸側の玄関である場所に村内に訪れる利用者に対し国頭村の魅力をPRし観光誘客を図る。 また、観光客の利便性の向上を図るため辺戸岬園地に村全体の観光案内看板を整備し、観光地としての利活用を図り地域の特色を活かした観光業の振興を図る。	村全体観光入り込み H25年度465,000人 H27年度479,000人 観光案内の充実・強化	598202人 観光案内の充実・強化		
1	3	国頭村ブランディング推進戦略事業	H26 ~ H27	「やんばるの希少動物」のレアキャラを構築するため、キャラクターのデザイン及びネーミング等を付けて着ぐるみで県内の各種イベント及び関連施設でのロードキル防止のキャンペーンの他、各レアキャラのグッズ開発等、自然の保全を活かした観光づくりへ向けた取り組みと知名度アップを図る。	起業家支援セミナー 1回(2泊3日) 15名参加 推進委員会:2回(委員・アドバイザー参加) キャラバン隊:県内イベントで国頭村PR(累計10,000名に名刺・チラシ配布) キャラバン隊 県外(8日間) 累計20,000名がブース来場、名刺・チラシ配布 地域発信型短編映画上映イベント:累計1,000名が参加 【成果】移住希望者の創業が生まれ、レアキャラを活用した商品開発が起こり、PR効果でヤンバルクイナ目的の入込客増加が見込める。	0回 2回 国頭村PR 10,500名 来場者数 21,200名 1,050名		
1	4	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ~ H28	本村でのスポーツキャンプによる滞在人口の増加を図り、観光振興に向けて受け入れ施設の充実・強化を図るため、クロスカントリーコース進入路の整備及び野球場の人工芝整備と乗用芝刈機・乗用グラウンド均し機・施設管理車両・ウェイトリフティング機材の整備を行う。	スポーツキャンプ受け入れ体制の強化 村内のスポーツ施設を活用したスポーツキャンプの受け入れ目標 (野球:18団体/年) (陸上:38団体/年)	受け入れ体制の強化 野球17団体 陸上40団体 ウェイトリフティング1団体		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	国頭村観光・物産・芸能PR事業	H27	宣伝、周知効果の高い観光・物産・芸能フェアを国頭村主催で開催する事で村が誇る自然や観光地、特産物などを始めとし、村の歴史や芸能、文化等、幅広く村をPRする事が出来る。このフェアを期に県内外から今以上に村への入込数を増やし知名度の向上を図る。	イベント来訪者10,000人	6,722人		
2	1	ヤンバルクイナ生態保全確立事業	H26 ~ H30	平成24年度に策定した構想を下に、「安田くいなふれあい公園」内に設置している「ヤンバルクイナ生態展示学習施設」に展示飼育しているヤンバルクイナの個体の適切な飼育環境を確保する体制を図るため、飼育員の飼育技術育成を図り、種の保存法に基づく保護・増殖の確立を目指した管理体制を構築する。	飼育員の育成により、適正な飼育環境維持及び個体の良好な管理体制により保護普及啓発を図る。	保護普及啓発		
3	1	多自然川づくり事業	H24 ~ H30	中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を図ることにより、治水と自然の営みを共存させた自然再生型事業を実施する。本村の地域資源を有効に活かし、中心市街地の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化を視野に計画を推進する。	河川工事 23% 用地取得 全体計画の17.7%の取得 物件補償 全体計画の50%の物件補償	23% 52.7% 50%		
4	1	平張網掛施設整備事業	H24 ~ H28	本村において、露地栽培の柑橘類にノグチゲラ、ヒヨドリ、コウモリ等による被害が多であり、農家の生産意欲を低下させる要因はかなり大きく産業振興に多大な影響を及ぼしている。農家の果樹地に防鳥ネットを張り、鳥類からの被害を防ぐ平張網掛施設整備工事を行うことによって農家の生産意欲向上を図る。	農家の生産意欲向上に向けた鳥類被害防止の取組強化 平張網掛施設の設置率: 81.3% (設置累計26/設置目標数32) (設置目標数: 32件 H24: 8件 H25: 6件 H26: 6件 H27: 6件 H28: 6件)	81%		
5	1	国頭村森林公園基本計画作成事業	H27	観光業と連携した国頭村の森林資源を活用した体験型の森林業の拠点施設である森林公園の見直しを行う。	基本計画の策定	基本計画の策定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	2	森林資源活用推進事業	H24 ~ H28	森林資源のさらなる有効活用のため、新たな国頭型「森林業」創出するとともに、森林の癒し効果を活かした森林セラピーガイド育成、国頭村木材を活かした「木育」推進を行う。	森林セラピーガイドの養成:5人 木育サポーターの養成:5人 森林業創出セミナー参加者:20人 木質内装材試作品:1種類 木育イベント・キャラバン参加者数:1,500人 有用樹種、有用植物の苗木育成数:2種、500本 イベント出展、木育キャラバンの実施により、国頭型「森林業」の認知度を高めた	0人 24人 20人 1種類 1,725人 2種(700本) 認知度向上		
6	1	国頭村減災地域社会形成事業	H24 ~ H28	昨年度に引き続き、災害対応マニュアルを整備し、災害時の住民と観光客に対する安全対策の確保を図る。	「業務継続計画」を作成することで、被災時の行政機能喪失の軽減を可能とする。 「集落別減災計画」を作成することで、作成地域における災害時要支援者の把握、地域単独での避難訓練の実施が可能となる。	業務継続計画作成 3集落 集落別減災計画作成		
6	2	集落別減災地域社会形成事業	H24 ~ H28	桃原地区避難路整備を実施し、災害時の住民と観光客の安全対策の確保を図る。	避難路を整備することにより、本村を訪れる観光客と村民の安心・安全の向上を図る。		繰	
7	1	学習支援員配置事業	H25 ~ H29	児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	学習支援員を村内小学校2校(対象児童数232人)、中学校1校(対象生徒数150人)に配置 小学校:標準学力検査2教科平均点 65点(4年) " 55点(6年) 中学校:標準学力検査3教科平均点 50点(2年)	60.15点 59.0点 48.6点		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	2	中学校英語指導員配置事業	H25 ~ H29	中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、中学校に英語指導員を配置することで教育環境の充実を図り、生徒の国際理解やコミュニケーション能力の向上に資することで、基礎学力の向上に繋げる。	英語検定5級取得者:15人 英語検定4級取得者:10人 英語検定3級取得者:5人	40人 27人 19人		
7	3	中学生海外短期留学派遣事業	H25 ~ H29	中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	ホームステイ先での外国文化・習慣の体験による国際感覚の会得、英会話学校にての語学学習による語学力の向上、帰国後の報告会実施による本事業の周知を目標とする。	語学力の向上 報告会実施		
7	4	デジタル教科書教材整備事業	H27	ICT教育の環境の向上を図り、児童の学習に対する興味・関心を高めるため、デジタル教科書及びタブレット端末を小学校に整備する。	標準学力検査平均正答率において、同学年の前年得点より3点以上上昇することを目的とする。	4・6学年にて 3点以上の上昇		
8	1	幼保連携型総合施設整備事業	H26 ~ H29	子どもの成長支援・子育て支援の充実や環境整備を図るため、就学前の幼児教育・保育を一体的に行う機能を担う「幼保連携型総合施設」を整備する。	・実施設計・測量・調査設計に向けた資料の整理(基本設計の完了) ・造成工事・建築工事に向けた資料の整理(実施設計の完了)	基本設計完了 実施設計完了		
9	1	国頭村立診療所医療機器拡充整備事業	H27	過疎地域である本村において、村民が健やかな生活を送るため「国頭村立診療所」の医療機器等を拡充させることで、疾病の未然防止、早期発見、早期治療などの医療体制の維持・充実を図る。	医療機器等を拡充させることによる、住民等が安心・安全に暮らせる医療体制の維持・充実	医療体制の維持・充実		
10	1	国頭村ブランド牛基盤づくり支援事業	H26 ~ H29	農家の経営安定化に向けて、国頭村ブランド牛基盤づくりの為、優良母牛の導入に対する支援を行う。	優良母牛導入頭数26頭 予定導入率50%を目標とする。	導入頭数18頭	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

国頭村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
11	1	環境保全・美化推進事業	H27 ～ H31	ハブ・野ネコ・野犬対策として環境保全作業員による捕獲器の設置・回収を実施し地域住民及び観光客の安全確保や貴重な野生生物の保護を図る。	ハブ咬傷被害の未然防止 咬傷被害:0件 野生生物の保護	0件 野生生物の保護		
12	1	奥区地域づくり計画策定事業	H27 ～ H29	本村の奥地区(本島最北端 沖縄県指定2級河川奥川)では、平成19年度に地域住民を主体とした自然再生協議会を結成し「奥川自然再生事業」を行っており、豊かな自然環境を活用した地域の活性化を図るための施策を実施している。本事業は、自然環境を活かした地域づくりや流域再生を推進するためのモデル事業を本地域において実施し、その成果を国頭村における環境共生型の空間づくり計画に反映させ、村づくりへの施策展開に繋げる。	地域づくり計画策定 コイの移植先水路工事にに向けた設計の完了	地域づくり計画策定完了 コイの移植先水路工事にに向けた設計完了		
13	1	農業基盤整備促進基本構想策定事業	H27	過疎化が進み、農家の数が大きく減少している国頭村の農業振興を図るため、農業生産基盤整備の遅れによる農業の不利性の過小に向けた新たな農業基盤整備推進する目的により「農業基盤整備促進基本構想」を策定する。	本村の現状及び課題を把握し、今後10年間の農業基盤整備に向けた基本施策の決定(農業基盤整備促進計画の策定)	農業基盤整備促進基本構想の策定		
14	1	まちづくりサイン整備事業	H27 ～ H28	中心市街地辺土名商店街や周辺地域の地域資源活用の一助となるようにサイン等をベースに商店街活性化へのデザインコンセプトを計画立案し、賑わいを創出させる持続可能なまちづくりを目指す。	・サイン設置に向けた基礎資料・基本設計の作成 ・サイン設計の完了	整備計画策定 基本設計作成		
15	1	国頭村水道事業管路更新(耐震化)計画策定事業	H27	沖縄本島北部に位置する国頭村は、総面積約195km ² で95%を山林と原野が占めており、沖縄県中南部への水資源の供給源として重要な地域となっている。国頭村の水道事業においても村内に点在する水道施設(本計画においては導水管、送水管、配水管を言う)は老朽化が著しく、更新に併せて耐震化を図る為の計画を策定する。	住民の定住条件の整備に必要な配水管更新・耐震化に向けた基礎資料の整備 管路更新・耐震化計画の策定	基礎資料の整備 計画策定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

大宜味村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ~ H30	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信するため、大宜味村産業まつりを開催し、誘客を促進する。	産業まつり参加者数 5,000名 (参考 H23年度 2,500名)	産業まつり参加者数 3,500名		
1	2	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ~ H31	大宜味村謝名城・喜如嘉地区の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化を図るため、河川敷の空間の有効活用、治水安全度の向上や河川全体の自然環境再生を視野に、大川川とその周辺整備を実施する。	・推進計画の決定 ・実施設計書の完成		緑	
1	3	世界自然遺産登録推進事業	H27 ~ H28	平成29年度に本村を含む沖縄本島北部3村が世界自然遺産登録を目指すことから、世界自然遺産登録に対応するための、村内の組織体制づくりをはじめとした、観光客増大に対応する受入体制の整備を行う。	世界遺産登録に向けた基礎資料の整備と普及啓発を行い、次年度に繋げる。 ・シンポジウムへの参加者数 100名 ・環境教育への参加者数:児童生徒 各10名	・シンポジウムへの参加者数 120名 ・環境教育への参加者数 (チョウ観察会20名 まとめ各13名)		
1	4	大宜味村歴史と文化検証事業	H26 ~ H29	大宜味村史を検証し、自然・沖縄戦・民俗・移民等の資料を新たに編纂し、村を訪れる人たちへ情報提供ツールを作成する。また、沖縄本島最北の築城である根謝銘城趾を調査することにより観光資源として活用していく。	・「シマジマ編」に係る情報提供冊子の完成 ・根謝銘城趾の活用範囲の把握	・「シマジマ編」に係る情報提供冊子の完成 ・根謝銘城趾の活用範囲 未把握		
1	5	大宜味村観光周遊ルート形成整備事業	H24 ~ H27	観光周遊ルートの一体的な形成を図るため、主要拠点である平南川駐車場等整備を行う。また、民泊危機管理計画の策定を行う。	・主要拠点の整備完了による観光客受け入れのための整備及び環境整備による観光客の増加 ・受入農家との協働による民泊危機管理体制の構築	・主要拠点の整備完了による観光客受け入れのための整備及び環境整備完了 ・受入農家との協働による民泊危機管理体制を構築		
1	6	大宜味村ブルーツーリズム推進体制構築事業	H27 ~ H28	ブルーツーリズムの推進を図るため講演会やプログラム作成、人材育成組織の体制づくりなど、人材育成・組織体制の構築を行う。	・ブルーツーリズム推進協議会(仮称)の設置 ・講習会・ワークショップ参加者数 10人 ・大宜味型ブルーツーリズムプログラムの開発 1件	・ブルーツーリズム推進協議会(仮称)の設置完了 ・講習会・ワークショップ参加者数:6~9名 ・大宜味型ブルーツーリズムプログラムの開発 5件		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

大宜味村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	学習支援員配置事業	H25 ～ H30	将来の大宜味村を担う大宜味村の児童生徒の基礎学力の定着を図る為、村内の小学校4校と中学校1校に学習支援員を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査での全国平均との差 小学校 全教科 5ポイント H25年4月(配置直後)の差 6ポイント 全国平均 62点 本村 56点 中学校 全教科 5ポイント H25年4月(配置直後)の差 18ポイント 全国平均 62点 本村 44点 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力調査での全国平均との差 小学校 +6ポイント 中学校 -12ポイント 		
2	2	地域支援員配置事業	H25 ～ H30	学校と地域の連携を充実させ、不登校やいじめ等に対して生徒を支援する地域支援員を配置する。	支援対象者に対してのアンケートを行う 「支援の効果は感じられたか」にの設問に対して 「効果があったと思う」の回答率 60%以上	「支援の効果は感じられたか」にの設問に対して 「効果があったと思う」の回答率 100%		
2	3	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ H28	各社会教育団体の生涯学習活動及び青少年の学校外活動における学習機会の拡充を図り、その活動を通して本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図るため、生涯学習活動事業を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> 講座受講者数 H27年度 120名 	講座受講者数 351名		
2	4	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ H33	大宜味村に在住する児童・生徒(小学生・中学生・高校生)に対し、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会に、予選及び審査等の結果、代表として参加する際の派遣費用を補助する。	派遣対象生徒の大会派遣率 100%	派遣対象生徒の大会派遣率 100%		
3	1	観光道路及び危険箇所減災対策事業	H27 ～ H30	安心安全な観光道路の確保と危険箇所の減少を図るため、村内の観光道路や危険箇所周辺の生い茂った雑木や高木の伐採を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 伐採範囲の決定 伐採工事実施率 25%(1地区/4地区) 	<ul style="list-style-type: none"> 伐採範囲の決定完了 伐採工事実施率 25%(1地区/4地区) 		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

大宜味村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	2	大宜味村立小・中学校安心安全防災システム導入事業	H27	地震や津波などの自然災害に強い村づくりを推進するため、災害時に児童・生徒の避難誘導等を円滑に行えるように小・中学校へ緊急地震速報端末及び無線機を整備する。	児童生徒の迅速な避難誘導を可能とする基盤整備の完了	児童生徒の迅速な避難誘導を可能とする基盤整備完了		
3	3	結の浜安心安全な環境づくり整備事業	H26 ～ H28	結の浜地区における安心・安全を提供するため、「結の浜地区における防災基本計画」及び、「大宜味村防災基本計画調査測量設計」に基づく、結の浜地区の津波1次避難のための、避難路2路線の整備工事を行う。	避難路の整備に向けた用地の確保完了 避難路整備率 100%(2箇所/2箇所)		繰	
4	1	大宜味村統合型地理情報システム構築モデル事業	H27	農地の確保及び規模拡大を円滑に支援するため、各課所有の土地情報や各法令に係る規制情報を統一し、所有権の変化に対応した情報の把握・管理を目的に、統合型地理情報システム構築モデル事業を実施する。	ワンストップサービスの実現	ワンストップサービスの実現		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	東村観光産業人材育成事業	H26 ~ H30	村内の観光関連事業所と連携のもと、観光入込客数の増加及び受入体制の強化を目指し、マリニストラクターや沖縄本島で唯一のプロジェクトアドベンチャー(冒険教育)のインストラクターの技術向上・育成を図る。	マリニストラクター ・東村認定インストラクター 5人 ・ブルーーツーリズム入込客数目標 H27年度:400人 基準:77人(H22~25平均) プロジェクトアドベンチャー(冒険教育)インストラクター ・東村認定インストラクター 1人 ・PA入込客数目標 H27年度:5,500人 基準:5,000人(H22~25平均)	マリニストラクター ・東村認定インストラクター 5人 ・ブルーーツーリズム入込客数1,295人 プロジェクトアドベンチャー(冒険教育)インストラクター ・東村認定インストラクター 1人 ・PA入込客数7,385人		
1	2	東村の魅力PR事業	H27 ~ H30	観光、特産品、移住等に関する東村の魅力を大々的にPR活動を行い、本村への誘客に繋げる活動を展開する。	県内PRイベント来場者数 3,000人 PVの常時上映を行い本村への誘客に向け情報発信を行う。 オリジナリティー(東村らしさ)溢れるタペストリー等を活かし東村の魅力周知が図られるようPR事業の着実な実施。	県内PRイベント来場者数 12,171人 PVの制作完了 オリジナリティー(東村らしさ)溢れるタペストリー等の制作		
1	3	東村花いっぱい運動推進事業	H26 ~ H28	地域の景観や魅力向上のため、花いっぱいの村づくりを推進し、東村むらぐるみ花いっぱい運動への参加促進に向けた施策を展開する。	・花いっぱい運動ボランティア作業参加者目標 (基準:H26年 418名 H27年目標 500名)	・花いっぱい運動ボランティア作業参加者数: 478名		
1	4	沖縄やんばるアドベンチャーラリー推進事業	H26 ~ H28	「沖縄やんばるアドベンチャーラリー」は、東村の豊かな自然をフィールドにトレイルランとシーカヤックを活用したアドベンチャーレースであり、観光誘客を図るため当該イベントを開催する。	大会参加者目標435名 うち県外50名	大会参加者目標420名 うち県外19名		
1	5	東村ダムツーリズム推進事業	H27 ~ H29	沖縄県最大の福地ダムの湖面等を活用したプログラムをさらに推進し、ダムツーリズムプログラムの充実・強化を図るため、調査を実施する。	調査の完了 基本計画策定のための課題等条件整理	調査の完了 基本計画策定のための課題等条件整理		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6	東村つつじ祭り強化事業	H27 ~ H30	本村の一大イベントである東村つつじ祭りを充実させ、本村の魅力を来園者(観光客等)に周知し、観光産業の活性化を図る。	・来園者数 H27年35,000人 (参考 H26年 33,000人)	・来園者数 H27年41,000人		
2	1	東村屋内運動施設機能強化事業	H26 ~ H27	各種競技会・合宿・観光事業等の利便性向上のため、施設の機能強化を図る。	各種競技会・合宿・観光事業等の振興に資するための施設機能強化工事を完了	機能強化工事の完了		
3	1	デジタル教科書整備事業	H27 ~ H28	学習環境の向上を図り、児童・生徒の学習に対する興味・関心を高めるため、デジタル教科書を小中学校に整備する。	学習に対する興味・関心が高まった児童30%(児童へのアンケートにより把握)	学習に対する興味・関心が高まった児童84.86%		
3	2	幼稚園預かり保育事業	H27 ~ H33	共働き世帯のニーズに対応するために、村内2幼稚園において預かり保育を実施する。	共働き世帯希望者からの受入率100%	共働き世帯希望者からの受入率100%		
3	3	特別支援教育支援員配置事業	H27 ~ H33	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置する。	・支援が必要な児童生徒の適切な学習環境の保持	・支援が必要な児童生徒の適切な学習環境の保持		
4	1	東村観光誘客施設(仮称)整備事業	H25 ~ H28	観光振興を図るため、東村が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う観光拠点・情報発信施設を整備する。	平成29年5月の供用開始に向けた事業の着実な実施(実施設計書の完成)	実施設計完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

東村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1	東村文化交流施設機能強化事業	H26 ~ H27	利用者のニーズに対応するため、施設の舞台周り(舞台照明、音響設備、ホール・舞台カーテン、控え室)の改修を行い、効率良く文化行事及び研修等が行えるよう施設の機能強化を図る。	改修工事の完了		繰	
6	1	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H25 ~ H31	平成25年度に策定した「東村村民の森基本計画」を元に、つつじ園内各施設の機能強化を図り、当該施設の活性化につなげる。	東屋 実施設計の完了	実施設計完了		
7	1	地域活動拠点活性化事業	H27 ~ H29	地域活動・地域行事(芸能祭等)伝統文化、芸能の場、交流の場としての利用を図り、体験・滞在・交流活動の場となる施設を整備する為の基本構想・基本計画を作成する。	地域活動拠点施設の基本構想・基本計画の作成の完了	基本構想・基本計画 策定		
8	1	新しい地域公共交通調査事業	H27	本村における今後の交通弱者対策や観光の振興に資する公共交通のあり方について明らかにする為、現状分析や需用調査、村営公共交通の運営に関するシミュレーション等を行う。	調査の完了	調査実施		
9	1	東村防災情報伝達手段構築事業	H27	災害時の情報伝達体制を強化する為、防災行政無線の戸別受信機を、土砂災害警戒区域、高潮や浸水被害の発生地域、要配慮者、屋外スピーカーの難聴力所等の住宅等に設置する。	戸別受信機を購入・設置の完了	購入・設置の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	H24 ~ H28	今帰仁村の健康につながる様々な資源を取り込み、来訪者に多様な健康づくりと観光活動の機会を提供する。「ヘルスツーリズム」を推進し、民泊事業等による観光の振興を図る。 本事業では、住民からアンケート調査結果や会議を通し長寿の秘訣を探り、健康長寿基本システムを構築することで、体験滞在型観光を促進する。	・地域で共に支えあう健康づくりプログラムの立案と実施 ・モニターツアーの開催(山形県酒田市20名他東北の1県より20名)	・地域で共に支えあう健康づくりプログラムの立案と実施 ・モニターツアーの開催		
2	1	人材育成事業	H24 ~ H33	小学生を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、子供達の視野の広がり及び教養に対する意欲と、将来に向けての刺激を与える。	・酒田市新堀小学校との交流会の実施 ・酒田市内での民泊の実施 ・スキー体験の実施 ・報告会の実施(1回)	・酒田市新堀小学校との交流会の実施 ・酒田市内での民泊の実施 ・スキー体験の実施 ・報告会の実施(1回)		
2	2	東ティモールと本村児童の交流推進事業	H24 ~ H33	東ティモールの児童を招聘し、本村3小学校との交流で国際感覚を育成し、今後、人道的支援を目指し、異文化交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材育成を図り、又、本村の小学校校歌の作詞関係者であるソプラノ歌手(講師)を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る講演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流が図られる。	東ティモールと本村の児童との交流 ・コンサート参加者数700人(H26年度:600人) ・講演会参加者数700人(H26年度:600人)	東ティモールと本村の児童との交流 ・コンサート参加者数614人 ・講演会参加者数614人		
2	3	未来を担う人材育成事業	H24 ~ H33	大学進学に特化した講座を実施し、進学実績の向上と地域に根差した特色ある学校づくりの観点から地域教育資源を活用し学力向上と地域の活性化を目指す。	・講座参加人数:10人(H26年度:10人)	・講座参加人数:17人		
2	4	教育環境充実事業	H25 ~ H33	児童生徒、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、各幼稚園、小中学校に支援員を配置する。また、幼稚園では預かり保育を実施する人員も確保し、保護者のニーズに対応する。	・児童生徒の学力や学習意欲の向上 ・児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。	・児童生徒の学力や学習意欲の向上が図られた。 ・児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行った。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	5	中高生海外語学留学支援事業	H25 ~ H33	英語を学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに、「今帰仁村」の将来を担う、国際感覚豊かな人材育成のため、本村今帰仁中学校に在学する中学生2人(ハワイ2週間)及び北山高等学校に在学する本村出身高校生4人(ジョージア州2週間)を対象に、夏季休学中に姉妹校等においてホームステイをする機会を与え、世界に羽ばたく人材を育成する。	・古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動 ・今帰仁城跡やさくら祭りなどで外国人観光客の通訳及びボランティア活動	・古宇利ハーフマラソン等で外国人選手との通訳ボランティア活動 ・今帰仁城跡やさくら祭りなどで外国人観光客の通訳及びボランティア活動		
2	6	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ~ H33	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	派遣生徒数 ・県外少年団野球大会 20人 ・県外スポーツ大会 120人	派遣生徒数 ・県外少年団野球大会 0人 ・県外スポーツ大会 105人	未	
3	1	景観形成強化事業	H24 ~ H28	昔ながらの今帰仁村の景観が残る集落内の道路整備を行うことにより、観光客の集落内への受け入れ体制を強化する。 また、村が管理する道路の舗装、粉塵防止、雑草防止、防護柵等を整備し、車輛の安全及び歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入体制を整える。	・快適な観光アクセスルートの整備 (4.2km、全体計画の26%) 累積整備率(15.3km) 95%	・快適な観光アクセスルートの整備 (4.2km、全体計画の26%) 累積整備率(15.3km) 95%		
3	2	環境保全美化推進事業	H24 ~ H33	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。 また、地域環境の保全、地域住民及び観光客の安全と誘客を図り景観を保全するため、不法投棄パトロール、投棄物処理、ハブ駆除対策、野犬捕獲等の対策を強化する。	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・観光ルートの美化(20路線) 全体美化のうち 美化率10%行う 累積整備率(101路線) 50% ・歴史的・文化的な松並木の景観保全 白アリの防除 55本 全体防除のうち 防除率30%行う 累積防除率(110本) 60% 樹木の強化 50本 全体強化のうち 強化率23%行う 累積強化率(100本) 46% 花の植え付け 10字 全体のうち 実施率52%行う 植付実施率 52%	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・観光ルートの美化(20路線) ・歴史的・文化的な松並木の景観保全 白アリの防除 70本 樹木の強化 101本 花の植え付け 19字		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	3		風景づくり推進事業	H24 ~ H28	前年度モデル地区となった今泊地区を除く各字それぞれの景観むらづくりの支援メニューを各字ヒアリング、地域代表者意見交換会を開催しながら検討を行い、各字むらづくり支援メニューの作成を行う。	・各地域の意向を把握し、プロジェクトチームにおいて景観むらづくり支援の実施に向けた調整、協議を行い景観づくり支援メニューの作成	・各地域の意向を把握し、プロジェクトチームにおいて景観むらづくり支援の実施に向けた調整、協議を行い景観づくり支援メニューの作成	
3	4		観光力基盤強化事業	H24 ~ H33	今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、総合まつり、ハーリー、さくら祭り、運天港いちやり場まつりなどのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代版組踊「北山の風」来場数:1,200人(H25実績:1,123人) ・古宇利ハーフマラソン参加者数:3,500人(H25実績:3,354人) ・今帰仁城跡ライトアップ及びさくら祭り来場者:40,000人(H25実績:37,716人) ・今帰仁総合まつり来場者:10,500人(H26実績:9,500人) ・今帰仁ハーリー大会出場者数:825人(H26実績:814人) ・三村交流事業来場者:900人(H26実績:800人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代版組踊「北山の風」来場数:1,288人(H25実績:1,123人) ・古宇利ハーフマラソン参加者数:3,471人(H25実績:3,354人) ・今帰仁城跡ライトアップ及びさくら祭り来場者:34,645人(H25実績:37,716人) ・今帰仁総合まつり来場者:9,700人(H26実績:9,500人) ・今帰仁ハーリー大会出場者数:732人(H26実績:814人) ・三村交流事業来場者:900人(H26実績:800人) 	
3	5		観光地安全強化事業	H24 ~ H33	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車輛の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	・今帰仁城跡来訪者(約266,500名見込み)の安全の確保(12月~2月)	・今帰仁城跡来訪者(約266,500名見込み)の安全の確保(12月~2月)	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	6	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ~ H30	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を図ることにより、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度を図るなど、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生は重要な施策である。今帰仁城跡を訪れる観光客又は海浜を訪れる観光客の安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画における16%整備 累積整備率48.5% 今帰仁城跡付近を流れる今泊港川を整備することで、河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上が図られることはもとより、観光客の安全・安心な観光基盤を構築することができる。 橋梁設計書の完成 		緑	
3	7	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ~ H33	今帰仁村には世界遺産今帰仁城跡が所在し、今帰仁グスクを学ぶ会によって来城者に無料のガイドが行われている。学ぶ会の更なる充実強化を図ることで、ガイド個々の資質向上が図られ、今帰仁城跡の魅力観光客にアピールすることが出来るためガイドの強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ガイドによる来訪者の案内 11,700名目標(平成26年度、案内する来訪者数見込数 11,600名) 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドの資質向上及び今帰仁城跡のアピール ガイドによる来訪者の案内 12,782名(平成26年度、案内する来訪者数見込数 11,600名) 		
3	8	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24 ~ H28	「体験滞在観光を促進する」「着地型・周遊観光を実施する」を基本方針として、観光振興を強化する。観光客の受入れ体制を整えるため、村内の観光スポットの美化・整備を強化し、住民への景観形成への意識を高め、今帰仁村の観光地としての知名度を上げ、集客につなげる。既存の施設を活用し、スポーツによる交流など今帰仁村を目的地とするよう観光の通年化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 村営プール改修調査設計書の完成 村営プール改修工事の完了 プールを整備することで、他の施設も含めた活用により本村の観光地としての知名度を上げ、観光客等の集客につなげることができる。 		緑	
3	9	今帰仁村観光情報発信強化事業	H27	今帰仁村観光関連情報の提供、観光案内板の設置、年間通して行われる各種イベントの周知、村特産品の情報発信を強化し、今帰仁村の観光情報を最大限に活用し、今帰仁村の知名度アップを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 今帰仁村の西地区と東地区に看板を設置し、イベント情報案内の実施 今帰仁村特産品のPRを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 今帰仁村の西地区と東地区に看板を設置し、イベント情報案内の実施 今帰仁村特産品のPRを実施 		
3	10	今帰仁城跡機能強化整備事業	H27	今帰仁城跡は平成12年に世界遺産登録され、また、平成19年度から今帰仁グスク桜まつりが始まったことにより、観覧者が大幅に増加した。そのような中で、トイレ等の利用が増加し、現在のトイレ及び浄化槽の規模では処理が追いつかない状況が続いている。よって、トイレ及び浄化槽を新設整備し観光客受入体制の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> トイレ及び浄化槽の設計書の完成 トイレ及び浄化槽の新設工事の完了 トイレ及び浄化槽を整備することで、今帰仁城跡における観光客の受入体制の強化及びイメージアップを図ることができる。 		緑	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ~ H33	安定した素牛生産地の確立のため今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛を導入する際に、導入牛の価格に対し支援を行う。	繁殖牛 21頭導入 ・全体計画のうち 導入率12%行う ・累積導入率(42頭) 25%	繁殖牛 23頭導入 ・全体計画のうち 導入率13.5%行った		
5	1	墓地基本計画策定事業	H26 ~ H27	村の景観や住環境に配慮し、墓地の適正配置及び集約を図るため、総合的な指針となる「今帰仁村墓地基本計画」を策定する。	・今帰仁村墓地基本計画の決定 ・墓地基本計画を策定することで、今後の墓地における行政の考え方が示すことができ、住民へ墓地利用に対する的確な対応が可能となる。	・今帰仁村墓地基本計画の決定 ・墓地基本計画を策定することで、今後の墓地における行政の考え方が示すことができ、住民へ墓地利用に対する的確な対応が可能となった。		
6	1	幼保連携一体化施設整備事業	H27 ~ H29	就学前の子どもを持つ家庭の育児支援や連続性のある幼児教育、保育環境を創出し、保育サービスの拡充と地域の子育てニーズや新制度に対応したパランスのとれた総合的な子育て支援を行うため、就学前の幼児教育・保育を一体的に担う「幼保連携一体化施設」の整備を行う。	・幼保連携一体化の基本的な施策の決定(基本計画の策定) ・施設整備の基本的な方向性の決定(基本設計の策定)	・幼保連携一体化の基本的な施策の決定(基本計画の策定) ・施設整備の基本的な方向性の決定(基本設計の策定)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	花いっぱい運動の推進事業	H24 ~ H28	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等にプランターの設置や花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まぢぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター設置率:93.5% 【5年間の設置目標に対するH27年度までに設置する割合】 (5年間設置目標:1,008基 H24実績540基 H25実績270基 H26計画66基 H27計画66基)	プランター設置率:93.5%		
1	2	ハブ咬傷防止事業	H25 ~ H33	台湾ハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲数年間:200匹	ハブ捕獲数年間:229匹		
1	3	本部町観光プラットフォーム構築事業	H25 ~ H27	近年、観光客のニーズが多様化している中で、今後の観光推進を図るには、それらに対応した観光プラットフォームづくりが必要となる。そこで今回、本事業を本部町観光協会に委託し、観光コンテンツ開発・地域関連事業者との連携・販路開拓などを行う組織づくりを行う。	・観光ビジョンの構築 ・ワークショップ参加者 各10名 述べ30名 ・モニターツアー参加者 各20名 述べ60名	・観光ビジョンの構築 ・ワークショップ参加者 1回目 18名 2回目 15名 延べ33名 ・モニターツアー参加者 1回目 10名 2回目 20名 3回目 20名 50名		
1	4	山里山百合増殖普及事業	H25 ~ H27	在来種の山百合(鉄砲百合)を観光資源として活用した地域活性化を図るため、本部町の山里地域に多く自生している山百合の補植を行い、同地域を山百合で溢れる地域にする。	イベント実施による観客数:300人 【3年間の補植目標に対するH27年度までに補植する割合】 山百合の補植率:100%	イベント実施による観客数:1200人 【3年間の補植目標に対するH27年度までに補植する割合】 山百合の補植率:100%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5		伝統興行観光化事業	H25 ~ H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。また、闘牛舎及び付帯設備を整備することで闘牛文化継承者の負担を軽減し、伝統興行の継承に寄与する。	・伝統興行の実施による観客数:1,377人(過去2年間の実績の平均値) ・闘牛舎及び付帯設備(し尿攪拌庫、堆肥舎)建設工事の完了		繰
1	6		本部町2大まつり事業	H25 ~ H28	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人(2日間合計) ・桜まつり 10,000人(期間中1日平均) (参考)過去実績 ・海洋まつり H22年度6,441人、H23年度6,037人、H24年度8,629人、H25年度11,506人、H26年度3,043人 ・桜まつり H22年度8,202人、H23年度9,425人、H24年度9,668人、H25年度10,809人	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,790人(2日間合計) ・桜まつり 9,639人(期間中1日平均)	
1	7		本部町フクギ集落整備事業	H25 ~ H28	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギの剪定や案内板等を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	地域に訪れる観光客の安全・安心(剪定及び散策道改修による歩行者の安全確保)及び地域住民の定住環境改善(フクギ剪定による倒木等の危険性除去や日照確保)に寄与する。		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	8	八重岳観光拠点整備事業	H25 ~ H28	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水路及び広場を整備し、法面崩壊や桜の倒木防止等を図り、観光客の安全を確保する。		繰	
1	9	本部町景観形成重点地区指定等事業	H26 ~ H27	本部町景観計画の景観形成重点地区に新たに「名護本部線周辺地区」「八重岳桜の森公園地区」の指定に向け景観形成方針・基準の検討を行い、住民ワークショップ等を開催して住民との合意形成を図り、景観審議会の意見も踏まえ景観形成方針・景観形成基準を作成し、景観計画の一部見直しを行い、景観重点地区として指定する。	景観形成方針及び基準を作成し、景観計画の見直しを行う。 景観重点地区の指定箇所数 平成22年度 2か所 平成27年度 4か所	景観形成方針及び基準を作成し、景観計画の見直しを行った。 景観重点地区の指定箇所数 平成22年度 2か所 平成27年度 4か所		
1	10	観光漁業実証調査事業	H26 ~ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	町内水産資源を活かした体験型観光の実施を行い、観光プログラムの構築に向けデータ収集を行う。		繰	
1	11	周遊観光実証調査事業	H24 ~ H28	既存のタクシーを活用して、観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットの周遊観光を行う。また、各観光スポットの観光ガイドや各種体験観光サポートを行う人材の育成及び観光スポットの見所などをわかりやすく伝える案内表示設置などの受入環境整備や、町内宿泊施設と連携したパッケージを提案・開発していく。	周遊タクシー利用客:200名 観光ガイド数:4名 案内表示、パンフレットの作成等:3件 新パッケージ:1件	周遊タクシー利用客:116名 観光ガイド数:4名 案内表示、パンフレットの作成等:3件 新パッケージ:1件		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	12		観光地安全対策事業	H27 ~ H28	本町には、県内最大の観光施設である沖縄美ら海水族館があり、県内外から年間430万人もの観光客が訪れており、安心安全な観光地づくりが課題となっている。そこで、本町の主要道路に防犯カメラを設置し、安心安全な観光地づくりを図る。	防犯カメラ2台の設置完了	防犯カメラ2台の設置完了	
2	1		園芸農業防災施設整備事業	H24 ~ H27	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きく、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの活用により生産性の向上の体制整備	ビニールハウスの活用により生産性の向上の体制整備	
2	2		もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24 ~ H28	これまで本町では本地元産食材のまとまった出荷組織がないため、町内ホテルや飲食店等では、地元産食材を活用できずにいました。地元で生産された島ヤサイやそれを活用した加工品などを地元で消費する『自産地消』を推進する直売所モデルを確立し、直売所の自立した運営を図る。	・出品登録者数 : 80人 ・町内取引先数 : 40業者 ・もとぶ香ネギソース 平成27年度出荷目標:250パック	・出品登録者数 : 237人 ・町内取引先数 : 75業者 ・もとぶ香ネギソース 平成27年度出荷目標:146パック	
2	3		もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ~ H29	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する支援を行う。	優良母牛導入頭数:45頭	優良母牛導入頭数:40頭	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	1	モトブンチュ人材育成事業	H25 ~ H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	教室目標参加者数 2,600人 体験型プレイショップ目標参加者数 600人	教室目標参加者数 1,060人 体験型プレイショップ目標参加者数 41人	未	
4	1	本部町学力向上学習支援事業	H26 ~ H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力向上を図るため、学習支援員の配置を行う。町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行い学力向上を図る。	・全国学力調査での全国平均との差 小学校 総合点 全国平均以上を維持 H26年の差 +0.6ポイント 全国平均 66.2ポイント 本町 66.8ポイント 中学校 総合点 5ポイント向上 H26年の差 -13.5ポイント 全国平均 64.4ポイント 本町 50.9ポイント	・全国学力調査での全国平均との差 小学校 総合点 全国平均以上を維持 H27年の差 +2.7ポイント 全国平均63.3ポイント 本部町66.0ポイント 中学校 総合点 3.6ポイント 向上 H26年の差 -9.9ポイント 全国平均60.1ポイント 本部町50.2ポイント		
4	2	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ~ H33	夏休みを利用し、町内の中高生を英語圏へ短期派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	将来を担う中高生を英語圏へ派遣することにより、国際語である英語学習への関心及び意欲向上、異文化を体験することにより、広い視野で物事を捉え、グローバル環境下で積極的にチャレンジする人材育成を目標とする。	将来を担う中高生を英語圏へ派遣することにより、国際語である英語学習への関心及び意欲向上、異文化を体験することにより、広い視野で物事を捉え、グローバル環境下で積極的にチャレンジする人材育成が図られた。		
4	3	音楽による人材育成・地域振興事業	H27	町内中学校の吹奏楽部に対し吹奏楽楽器を購入することで、イベント等活動の幅が広がり生徒の活動意欲を高めることができる。学校行事だけではなく地域行事などにも積極的に参加し、「武本部」の精神を養う人材を育むと共に地域振興にも寄与する。	演奏の幅が広がり学校行事だけでなく地域行事等でも積極的に演奏し地域住民との繋がりがもて地域振興につなげる。また、生徒の意欲情操向上を図ることを目標とする。 楽器購入後イベント参加回数:3回	演奏の幅が広がり学校行事だけでなく地域行事等でも積極的に演奏し地域住民との繋がりがもて地域振興につなげる。また、生徒の意欲情操向上が図られた。 楽器購入後イベント参加回数:3回		

平成 27 年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1		赤土流出防止検討調査事業	H24 ～ H30	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び流出源となる河川堆積土砂の浚渫、フィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。	流出対策事業:調査済流域1箇所 用地取得(7筆・394㎡)の完了		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	ハーリー船購入支援事業	H27	観光資源のひとつとして盛り上がりを見せるハーリー行事を継承することにより沖縄らしい風景の観光のまちづくりによる受け入れ体制の充実を図るため、ハーリー船購入費用を支援する。	・前兼久漁港ハーリー行事での活用準備 ・修学旅行等の体験学習での活用	・前兼久漁港ハーリー行事での活用準備 ・修学旅行等の体験学習での活用準備		
1	2	恩納村「みどりの回廊」整備事業	H24 ~ H28	魅力ある観光地づくりを行うため、保安林に村木であるフクギを植栽することで、風による被害対策をすとも景観づくりを行う。また国道58号線及び村内景勝地周辺を緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化へ繋げる。	魅力ある観光地の形成	魅力ある観光地の形成		
1	3	前兼久漁港防犯施設整備事業	H27	多くのダイビング客が訪れる前兼久漁港南側には照明施設がなく、夜間から早朝にかけての盗難被害が発生しているため、防犯施設に防犯灯及び防犯カメラを設置する。	安全・安心な観光地の形成	安全・安心な観光地の形成		
1	4	恩納村海浜公園構内道路整備事業	H27	恩納村海浜公園構内道路の一部が未舗装であり、不陸により高齢者や身障者の歩行に支障を来しているため、舗装整備を行い、快適な観光施設づくりを実施する。	高齢者及び身障者の利便性及び安全性の確保	高齢者及び身障者の利便性及び安全性の確保		
1	5	恩納村美ら海花火大会事業	H27	トップシーズンに恩納村を訪れている観光客等に対し、恩納村の観光資源である海浜等において大花火大会を実施し、恩納村の魅力を発信することにより観光振興を図る。	同時開催うんなまつり来場者数:16,600人 (基準値:H26年 15,100人)	同時開催うんなまつり来場者数:17,000人		
1	6	恩納村旅の案内人配置事業	H27 ~ H33	平成27年4月にオープン予定の恩納村文化情報センター観光情報案内フロアに訪れた観光客等に対し、地域の魅力やイベント等を多言語で紹介できる旅の案内人を配置する。恩納村の魅力を発信することにより観光振興を図る。	・観光情報案内人数:3,000人 (恩納村文化情報センター利用者目標人数:60,000人/年の5%)	・観光情報案内人数:8,697人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	7	恩納村フォトスポット設置事業	H27 ~ H33	リーガルウエディングやリゾートウエディング等で恩納村を訪れる方に「恩納村」らしいフォトスポットを設置し、魅力ある恩納村を発信することにより、更なる国内外への観光客に満足していただける恩納村を目指す。	リゾートウエディング(リーガルウエディング含む) 受付件数:323件 (平成26年受付件数308件の5%増)	リゾートウエディング(リーガルウエディング含む) 受付件数:230件		
1	8	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ~ H30	多くの観光客が訪れる「万座毛」は、施設の整備が行き届いていないため、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境を整備する。	活性化施設整備に向けた基本設計書の完成 駐車場施設整備に向けた実施設計図書の完成		繰	
1	9	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ H27	外来種のタイワンハブやタイワンスジオが観光客の多く訪れる真栄田岬や国頭方西海道(歴史の道)の散策者への咬症事故が予測されるため、その周辺を、重点区域とし積極的に駆除する。	・ハブ捕獲数:180匹 (基準値:H24年 184匹)	・ハブ捕獲数:114匹	未	
1	10	沖縄関連資料整備事業	H27	沖縄に関連する資料を文化情報センターに揃え、観光客を含めた利用者へ提供することにより、付加価値を高める受け入れ体制の充実を図るため、映像・音楽・図書などの沖縄関連の資料を整備する。	・観光客等の資料の利用:200冊 ・宿泊施設への貸出:2施設(100冊)	・観光客等の資料の利用:701冊 ・宿泊施設への貸出:2施設(193冊)		
1	11	「谷茶前の浜」整備事業	H27 ~ H28	恩納村を代表する沖縄民謡「谷茶前節」で知られる「谷茶前の浜」周辺を恩納村の文化の発信に寄与する観光地として整備する。	・駐車場等の用地購入の完了 ・H28駐車場及び石碑建立工事にに向けた実施設計の完成 ・新たな観光スポットの形成	・駐車場等の用地購入の完了 ・H28駐車場及び石碑建立工事にに向けた実施設計の完成 ・新たな観光スポットの形成準備		
1	12	前兼久区交流施設整備事業	H27 ~ H28	前兼久区において、ハーリー等の伝統行事を通じた観光客との交流・体験学習を実施し、伝統芸能継承、各種団体活動などの多様な活動を推進するため、交流施設を整備する。	交流施設整備工事全体の80%の完了	交流施設整備工事全体の80%の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	沖縄特殊戸籍電算化事業	H27	沖縄の戸籍は戦後生存者の記憶をもとに申告された重要な書類である。現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存のため劣化が著しい。今後も安定かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため電算化を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄関係戸籍の電子化率 100% ・情報資産の劣化・滅失防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄関係戸籍の電子化率 100% ・情報資産の劣化・滅失防止 		
3	1	防災倉庫整備事業	H27 ~ H28	地震や津波などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する場所に防災資機材や備蓄食糧等の生活物資を保管する備蓄倉庫を整備し、防災活動基盤を整備する。	計画数5カ所、平成27年度完了予定数2カ所 村指定避難場所における整備率 <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の整備率 40% ・防災資機材の整備率 40% ・備蓄食糧等の整備率 40% 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の整備率 40% ・防災資機材の整備率 40% ・備蓄食糧等の整備率 40% 		
4	1	仲泊校ICT教育機器整備事業	H27	マルチメディア情報を豊富に含むデジタル教材を使用した授業を行うことで、学習内容を教師が具体的に分かりやすく説明することが可能となり、児童生徒の学習への興味関心を高め、学力の向上を図るためICT教育機器を整備する。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差 <ul style="list-style-type: none"> 小学校5年生 算数: 4%以内 (基準値: H26年度(小4) 県平均68.7% 村平均62.2%) 中学校2年生 数学: 2%以内 (基準値: H26年度(中1) 県平均56.1% 村平均52.5%) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校5年生 算数: 1% 中学校2年生 数学: 3.4% 		
4	2	仲泊校窓ガラス遮光・遮熱対策事業	H27	多目的スペース窓ガラスからの入り日と普通教室窓ガラスから海面の反射光と西日により、黒板の字が見えづらく、授業に支障をきたしている。また、児童生徒及び教師の健康面、特に眼科疾病等が心配されるため窓ガラスへ遮光・遮熱ロールカーテンを設置することにより太陽光を適切に遮光・遮熱することで快適な学習環境を提供する。	適切な遮光による快適な学習環境の確保	適切な遮光による快適な学習環境の確保		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

恩納村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	3	小学校デジタル教科書整備事業	H27	児童生徒の学習意欲の向上と学力の向上を図るため、従来の教科書と併せてマルチメディア資料を豊富に含むデジタル教科書のメリットを活用したわかりやすい授業を行うための環境整備として、全小学校の全学級へデジタル教科書を整備する。	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差 小学校5年生 算数:4%以内 (基準値:H26年度(小4) 県平均68.7% 村平均62.2%) 中学校2年生 数学:2%以内 (基準値:H26年度(中1) 県平均56.1% 村平均52.5%)	小学校5年生 算数:1% 中学校2年生 数学:3.4%		
5	1	優良繁殖牛導入支援事業	H27 ~ H28	恩納村内肉用牛生産農家の所得向上と畜産業振興を図るため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。	優良繁殖牛導入頭数:7頭(導入率50%)	優良繁殖牛導入頭数:7頭		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ~ H33	阪神春季キャンプの受入態勢の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源として開拓していく。	阪神春季キャンプの受入体制を構築することにより、キャンプ誘客増加(1,200人)【H26誘客数63,800人】	阪神春季キャンプの受入体制を構築することにより、キャンプ誘客増加(50,200人)【H26誘客数63,800人】	
1	2	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ~ H33	教育・観光振興、人材育成を図るとともに、宜野座村の魅力アピールし村全体の活性化を図るために、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に、文化イベント事業の開催や、お出かけアウトリーチ事業(ホール外の地域内外へ飛び出して、多くの方に芸術の魅力伝える。また、観光地などの拠点等で開催することにより観光産業、地域振興ともリンクするイベントを行うこと)や国際交流イベント事業を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2500名) ・お出かけ公演実対象者数(800名) ・こども育成事業(ダンス・音楽塾生徒40名のイベント公演への出演) ・国際交流事業(ハワイ県人会、村人会との友好確立、繋がり強化)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(4,052名) ・お出かけ公演実対象者数(6,780名) ・こども育成事業(ダンス・音楽塾生徒34名のイベント公演への出演) ・国際交流事業(ハワイ県人会、村人会との友好確立、繋がり強化)	
1	3	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ~ H33	宜野座村の着地型観光を推進するため、本村の地域資源を活用した地域発信の観光事業を展開し、着地型観光商品の事業化に向けた取り組みを推進するとともに、地域企業等との連携を密にし、着地型観光受入の地域コーディネーターの強化、PR活動の必要な情報媒体の整備、イベント事業展開等の支援を行う。	・宜野座村の観光入客数(19万人) 【入客数;H25 15万人、H26 17万人】 ・地域観光ガイド育成(5人) 【ガイド育成講座参加者15人の内3割】 ・視察地で本村の観光PRが発信できる連携を構築する(年間)	・宜野座村の観光入客数(22万人) 【入客数;H25 15万人、H26 17万人】 ・地域観光ガイド育成(6人) 【ガイド育成講座参加者15人の内3割】 ・視察地で本村の観光PRが発信できる連携を構築する(6回)	
1	4	リバーパーク整備事業(観光拠点施設整備)	H24 ~ H33	平成23年度に作成した「漢那福地川リバーパーク基本計画」を素案として、検討委員会にて計画実施にむけての細部を協議し、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点整備を推進する。昨年度、当該計画地の村有地化(公共空地の購入)が完了し、本年度は、観光情報拠点施設整備に向けて実施設計を行う。	・漢那リバーパーク整備施策の作成 ・ゲートゾーン(観光センター及び周辺公園整備など)の整備進捗率(27.1%)		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	宜野座村観光振興計画策定事業	H27	宜野座村の観光の現状等を踏まえた観光振興の課題を明らかにし、今後の方向性を示すとともに、具体的・実践的な施策、推進プログラム等を検討することにより、本村の観光資源や観光関連施設並びに地域の産業、人材及びそのネットワーク等を効果的に連動させ、本村の観光振興を推進していくための観光振興計画を策定する。	宜野座村観光振興計画策定	宜野座村観光振興計画策定	
1	6	宜野座村文化センターがらまんホール機能強化事業	H27 ~ H31	がらまんホールに、音響、照明、映像等のデジタル機材を設置し、これまで以上の利用促進(利用率UP)、文化振興(自主事業の増)、観光振興(村外からの誘客UP)を図る。	映像、音響、照明、舞台機器の設置の完了	映像、音響、照明、舞台機器の設置の完了	
2	1	小学校学力向上対策事業	H24 ~ H33	児童一人一人が確かな学力と生きる力を身につけるとともに、チームティーチングによる指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図っていくため、村内小学校に学習支援員配置する。	沖縄県学力到達度調査正答率の県平均との差 小学校3年・5年 国語・算数: 県平均以上 参考 H25年度 国語 3年(-1.6%) 5年(0.6%) 算数 3年(-0.5%) 5年(-2.4%)	沖縄県学力到達度調査正答率の県平均との差 小学校3年・5年 国語A県平均以上・国語B、算数A、算数B算数: 県平均以下 参考 H25年度 国語 3年(-1.6%) 5年(0.6%) 算数 3年(-0.5%) 5年(-2.4%)	
2	2	中学校学力向上対策事業費	H24 ~ H33	生徒一人一人が確かな学力と生きる力を身につけるとともに、チームティーチングによる指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図っていくため、村内中学校に学習支援員(習熟度別対応支援員)を配置する。	沖縄県学力到達度調査正答率の県平均との差 中学2年 英語、数学、理科: -3%以内 参考 H25年度 英語(-7.9%) 数学(-7.1%) 理科(-7.3%)	沖縄県学力到達度調査正答率の県平均との差 中学2年 英語-7.1%、数学+3.7%、理科-12.3% 参考 H25年度 英語(-7.9%) 数学(-7.1%) 理科(-7.3%)	
2	3	幼稚園預かり保育事業	H24 ~ H33	親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実するため、幼稚園において預かり保育を実施する。	預かり保育希望園児の受入率: 100%	預かり保育希望園児の受入率: 100%	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4	学校ICT機器整備事業	H25 ~ H28	ICT機器の活用による児童生徒一人一人にわかりやすい授業を実施し、児童生徒の理解力を高めるため、小中学校のICT機器を整備する。	授業のわかりやすさの向上:児童の高評価70%	授業のわかりやすさの向上:児童の高評価93%	
3	1	有機の里宜野座村確立事業	H24 ~ H33	有機の里宜野座村を目指し、推進協議会、部会を開催する。専門技術員による栽培指導を実施し、安定した農産物の生産拡大を図り、エコ農産物の有利販売拡大を行う。	エコファーマー認定数6名(平成26年度) エコファーマー認定数2名(平成27年度) エコ農産物販売量 80t(平成26年度計画) エコ農産物販売量110t(平成27年度計画) (前年度比率137%)	エコファーマー認定数2名(平成27年度) エコ農産物販売量90t(平成27年度)	
3	2	宜野座村農業後継者等育成センター施設整備事業	H27	村内での新規就農を促進し、農業経営の充実・農業意欲の向上を図るとともに、村内外からの体験型農業者等の受け入れのため施設整備を行う。	管理棟等工事の完了	管理棟等工事の完了	
4	1	サーバーファーム設備機能高度化事業	H25 ~ H28	宜野座サーバーファームについては現在、施設機能の旧式化が課題となっている。 そのため平成25年度に実施した基本調査を踏まえ、今年度は既存のスプリンクラー設備からガス消火設備への整備強化を図ることで火災時のサーバーへの直接支障を回避し、バックアップデータセンターとしての施設機能の高度化を図り入居企業の誘致及び支援に寄与する。	災害時におけるサーバーへの支障回避 (水消火からガス消火への機能強化)	災害時におけるサーバーへの支障回避 (水消火からガス消火への機能強化)	
5	1	観光景観向上対策事業	H27 ~ H33	村指定の観光地である松田鍾乳洞に繋がる洞窟等に不法投棄が多く、景観が損なわれているため、監視カメラを設置及び観光地ルートに専属の監視員を配置し、洞窟に放置された不法投棄物の撤去を効果的に実施することで景観の向上を図る。	・観光地ルートの景観向上(観光客等から宜野座村の自然環境や景観向上・美しさ等をアンケート調査し、事業成果を取りまとめる。 (高評価70%) ・観光地における不法投棄の減少:10件/年	・観光地ルートの景観向上(観光客等から宜野座村の自然環境や景観向上・美しさ等をアンケート調査し、事業成果を取りまとめた。 (高評価96%) ・観光地における不法投棄の減少:0件/年	

平成 27 年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	2	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ H33	外来種の台湾ハブや台湾スジオ、ハチ等が村内で頻繁に発見されていることから、観光客や修学旅行生の咬傷、刺傷事故が予想されるため、積極的に捕獲・駆除を行うことで、観光地としての安心・安全を図る。	・観光地における、ハブ、ハチ等への苦情件数:0回	・観光地における、ハブ、ハチ等への苦情件数:0回		
6	1	世界のギノザンチュ交流事業	H27 ～ H33	宜野座村の青年を宜野座村人会有る南米三カ国(ペルー、アルゼンチン、ブラジル)へ派遣し、村人会並びに南米三カ国との交流を通して宜野座村を担う人材の育成を図るとともに、村民の海外躍進、国際交流思想の高揚並びに海外移住国と宜野座村及び沖縄県との友好親善関係の増進に資することを目的とする。	報告会で研修事業への意識調査アンケートを実施。 事業の継続理解度70%	報告会で研修事業への意識調査アンケートを実施。 事業の継続理解度89%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	家畜排泄物有効利用事業	H26 ~ H27	「金武町バイオマスタウン構想」のさらなる推進を図るため、液肥を利用した、減化学肥料による環境循環型農業を目指して推進する。畜産農家と耕種農家との耕畜連携強化をするため、パキューム車を導入する。	液肥利用 平成26年度購入分 3台 12か月:9,276t 平成27年度購入分 3台 3か月:2,319t 合計:11,596t	1,958t/3台		
1	2	金武町優良繁殖雌牛導入事業	H27 ~ H31	安定した素牛生産地の確立のため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。	優良繁殖雌牛導入頭数:12頭	16頭		
1	3	特用林産物(ぶなしめじ)販売促進事業	H26 ~ H27	町内で年間275トン生産される「ぶなしめじ」の販売促進を行うため、冷蔵倉庫を整備し、林業の振興を図る。	冷蔵倉庫の建設完了	冷蔵倉庫の建設完了		
2	1	金武町雇用対策事業	H25 ~ H29	ギンバル訓練場跡地利用の進出企業への雇用を促進するため、進出企業が町民を雇用した場合の研究費用等を支援する。	平成27年研修者定着率:100% (研修後の継続雇用)	100%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	金武町就職活動支援補助事業	H27 ~ H31	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。	就業者目標数:10名	20名		
3	1	小中学校学習等支援事業	H24 ~ H33	学習支援員等による基礎学力の定着や学力向上、電子黒板等による情報化教育の推進に努める。 英語教育については、外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。	全国学力調査の平均正答率を全国平均に近づけること 中学校全校生徒の英語検定3級以上 平成26年度現在 3.04% 平成27年度 5%	小学校国語、中学校国語・数学において前年度より近づけることができた。 3.5%		
3	2	幼稚園預かり保育事業	H24 ~ H33	子育て環境を改善するために、嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。	目標:「子育て環境における満足度90%」以上	0.985		
3	3	特別支援教育支援事業	H24 ~ H33	発達障害等を持つ幼児・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。	目標:学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」評価3以上(4段階評価)を目指す	3.4		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	4	ICT教育備品整備事業	H25 ~ H29	児童・生徒への情報教育推進のためにIT教室へパソコンを導入し、各教室へ電子黒板等を整備することにより、情報教育による学力向上を推進する。	ICT教育備品を活用し、わかりやすい授業を展開することで、児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を目指す。 学校評価における児童生徒の評価で、授業が楽しさや分かりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	3.2		
3	5	金武中学校・米国ハワイ州カボレイミッドルスクール姉妹校交流事業	H25 ~ H33	国際的な視野を持つ、国際性豊かな人材育成を図るため、異文化での日常生活・学校生活の体験を通じた本格的な英語の習得に向けて、海外姉妹校との交流を行う。	・交流事業参加後、派遣者に対してアンケートを実施 ・目標 「コミュニケーション能力がアップしたと思う」 80%以上 「異文化に触れ、他国についてもこれまで以上に興味関心を持つようになったと思う」 90%以上	100% 100%		
4	1	金武町青年海外派遣事業	H24 ~ H33	本町と海外移住国との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に、金武町の青年2人を南米に派遣する。	・研修後、派遣者に対してアンケートを実施 ・派遣後、移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った:100% ・派遣後、自分のコミュニケーション能力が高まったと思う:70% ・報告会の参加者にアンケートを実施 ・移民史や移住国の沖縄人の生活に興味を持った:70% ・当該事業に参加したいと思う:70%	100% 66.6% 83% 52.7%		
5	1	防災情報システム整備事業	H25 ~ H27	大規模災害等の発生に備え、迅速かつ正確な情報を住民や観光客等に伝達するため、防災情報システムを整備することにより、災害に強く安全な町づくりを行う。	・屋外拡声子局の整備率 100% ・海岸、河川、土砂災害危険区域等の監視体制強化	100% 実施		
6	1	スポーツ施設機能高度化事業	H27 ~ H28	災害時避難所としての防災機能を強化するため、既存の屋根の上に新たに屋根を葺き、防災機能強化を図る。また、照明設備をLED化することで、スポーツ大会や合宿等の受け入れを促進する。	施設機能高度化に向けた実施設計完了	実施設計		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

金武町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	1	ギンバル海浜公園整備事業	H27 ~ H32	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場において田園と海と川を活かしたウェルネスの里をテーマに跡地利用のための整備を進めている。 そのギンバル訓練場跡地において、地域住民及び観光客等が安全で快適に利用できる海浜公園を整備し誘客を図る事で、跡地利用を促進し、観光リゾートの実現を目指す。	海浜公園の整備に向けた実施設計完了		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	伊江村HPサービス拡充強化事業	H26 ~ H27	観光客の誘客拡大を目指し、村のHPにおいて観光情報や防災情報など国内外に情報発信するため多言語対応や船舶予約システムなどコンテンツ開発やシステム構築を行い機能拡充強化を図る。	・平成26年度構築システム 伊江村HPシステム 車両航送予約システム 車両航送業務システム ・平成27年度構築システム フェリー発券機システムの構築 上記すべてのシステムの機能連携を行う。	・平成26年度構築システム 伊江村HPシステム 車両航送予約システム 車両航送業務システム ・平成27年度構築システム フェリー発券機システムの構築 上記すべてのシステムの機能連携を行った。		
2	1	世界のイーゾマンチュ交流派遣事業	H27 ~ H28	日本有数の移民県である沖縄では、戦前戦後を通じて多くの県民が海外へ雄飛し活躍している。当村からも、北米・南米をはじめ世界各地へ移民するなど、イーゾマンチュ(伊江島の人々)は注目を集めている。5年に1度の「世界のウチナーンチュ大会」を現地にてPRし、一層盛り上げるとともに世界のイーゾマンチュの絆を強固にするため、国際交流を図り、移住国との架け橋となる人材を育成する派遣交流事業を実施する。	国際交流本研修で、現地にて学んだことを地域や他児童生徒へ伝えることでお互い国際交流への興味や海外に対する意識が向上し、今後の国際社会へ対応しうる人材の育成を図っていく。	国際交流本研修で、現地にて学んだことを地域や他児童生徒へ伝えることでお互い国際交流への興味や海外に対する意識が向上し、今後の国際社会へ対応しうる人材の育成を図った。		
3	1	伊江村ハブ対策事業	H27 ~ H30	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いへ捕獲器を設置し、ハブの捕獲駆除に取り組む。 また、村民の要請によるハブの駆除及びハブが住処を作りにくい環境を整備するため生息地の清掃を行う。	ハブ咬症による被害件数を0件とする。	ハブ咬症による被害件数を0件にした。		
4	1	明るい村づくり事業	H27 ~ H29	集落内の防犯灯をCO2排出の少ないLED照明灯に取り換え、更に新規設置し、夜間における、安心・安全な地域環境整備を推進することにより、村民及び観光客等の防犯対策の抑止効果と地球温暖化対策にも寄与する。	村内の集落内等の照度を高める。(3 lx以上)	村内の集落内等の照度を高めた。(3 lx以上)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ~ H31	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送運賃コスト負担の軽減に対する支援を行う。	車両航送に対する補助により、離島の地理的条件による不利性を軽減し、定住促進を図ることにより、年間車両航送使用者数を維持する。	車両航送に対する補助により、離島の地理的条件による不利性を軽減し、定住促進を図ることにより、年間車両航送使用者数を維持した。		
6	1	アジア野菜市場調査委託事業	H27	村内で生産される農作物において新規作物を模索する中、本村の気象や土壌特性を考え、冬場でも栽培や出荷が可能な高品質な野菜として、アジア地域から要望が強く、国内の産地として出荷の優位性が期待できるアジア野菜の生産、販売を検討する。専門家による市場調査業務を行い、タイやベトナム、中華料理の外食市場での生鮮素材の動態を確認し、対象野菜の生産拠点となる伊江島ブランドを確立する。	・市場調査を受け、ビジネスモデルと収益構造の整理を行い、販売先を含めた事業スキームを構築する。 ・栽培品目の選定と栽培マニュアルを作成し、出荷養生の整理、商品設計を行う。 ・事業計画と作業工程表を作成し、受発注システムの機能要件や村内の経済効果を検討する。	・市場調査を受け、ビジネスモデルと収益構造の整理を行い、販売先を含めた事業スキームを構築した。 ・栽培品目の選定と栽培マニュアルを作成し、出荷養生の整理、商品設計を行った。 ・事業計画と作業工程表を作成し、受発注システムの機能要件や村内の経済効果を検討した。		
6	2	気象観測機器設置整備事業	H27	昨今の台風襲来や干ばつなど激しい気象変動に伴い、本村の農作物に甚大な被害が発生した。本村は気象データを観測する機器を設置しておらず、近隣の本部気象観測所のデータを参考としている。海を隔てており場所によって異なった気象が発生し、気象データの適切な管理が困難となる。そのため、気象観測機器を設置してデータを収集し、農作物の管理や被害立証等に役立てる。	・気象データを活用した、農作物の管理や品質向上に努め、農作物の安定供給をはかった。	・気象データを活用した、農作物の管理や品質向上に努め、農作物の安定供給をはかった。		
6	3	農作物緊急灌水車両整備事業	H27	干ばつ時や台風時の降雨が少ない場合に、さとうきび・野菜等の農作物に早急な灌水を行い干ばつや潮害から作物を守り、伊江島ブランドとしての農作物の品質維持に努める。	・灌水車を導入する事により、さとうきび生産の過去3期(H23・24・25)の平均単収(4,354t)を基に、20%UP(5,224t)を目標とする。 干ばつや台風時の早急な灌水を行い早魓の緩和、潮害の被害を最小限に食い止め、農作物の安定供給をはかる。	・灌水車を導入する事により、さとうきび生産の過去3期(H23・24・25)の平均単収(4,354t)を基に、65%UP(7,206t)した。 干ばつや台風時の早急な灌水を行い早魓の緩和、潮害の被害を最小限に食い止め、農作物の安定供給をはかった。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	1	優良繁殖雌牛導入事業	H26 ~ H30	伊江村肉用牛繁殖農家経営の更なる向上の取組に基づき、県内・外の家畜セリ市場において優良繁殖素牛(雌)を購入し導入した伊江村和牛改良組合員に対して、支援を行い経営の安定化及び優良遺伝繁殖雌牛の生産を図る。	活動目標指数(年間:100頭導入)の達成(今年度において、優良繁殖雌牛を100頭導入し全体計画のうち20%の導入率を成果目標とする。これにより飼養頭数拡大及び、優良遺伝生産子数の増加が期待され、市場性の向上並びに本村の畜産振興を図る)	活動目標指数(年間:103頭導入)の達成(今年度において、優良繁殖雌牛を100頭導入し全体計画のうち20%の導入率を成果目標とする。これにより飼養頭数拡大及び、優良遺伝生産子数の増加が期待され、市場性の向上並びに本村の畜産振興を図る)		
7	2	乳用牛繁殖雌牛更新事業	H26 ~ H30	伊江村酪農経営の更なる向上の取組に基づき、2産(4歳)以上した母牛を淘汰し地域保留や県外から導入した優良繁殖雌牛(素牛)に対して、予算範囲内で支援を行い安定した生乳出荷を行う事で、信頼性のある産地づくりを図る。	活動目標指数(年間:20頭更新)の達成(今年度において、20頭の乳用経産牛を更新し、全体計画のうち20%の更新率を成果目標とする。またこれにより、泌乳量増加や乳質改善を図られ本村の畜産業の振興に繋げる。)	活動目標指数(年間:9頭更新)の達成(今年度において、20頭の乳用経産牛を更新し、全体計画のうち20%の更新率を成果目標とする。またこれにより、泌乳量増加や乳質改善を図られ本村の畜産業の振興に繋げる。)	未	
7	3	肉用牛集出荷施設機能改善事業	H27	家畜市場の老朽化に伴う改修工事並びに、県内家畜市場において本村は唯一家畜誘導ルールシステムが未整備であるため、セリ市開設時の安全面確保のために誘導ルールシステム設置を図る。	誘導ルールシステムを設置することによりセリ市開設時の安全面の確保及び市場機能拡充のため家畜市場を改修することにより、セリ市開設時の運用改善が図られる。	誘導ルールシステムを設置することによりセリ市開設時の安全面の確保及び市場機能拡充のため家畜市場を改修することにより、セリ市開設時の運用改善が図られた。		
8	1	村花・世界のゆり植栽推進業務	H24 ~ H31	村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	第20回伊江島ゆり祭り来場者数 33,000人 (H26年31,000人)	第20回伊江島ゆり祭り来場者数 30,000人 (H26年31,000人)		
8	2	観光地クリーン事業	H24 ~ H31	観光地の環境美化及び保全をし、観光地の景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。	観光地美化満足度70%以上	観光地美化満足度70%		
8	3	自然と乗馬ふれあい体験による観光振興事業	H27	森林や海浜など自然の中で乗馬体験を行う新たな観光資源の活用を図るため、調教馬導入支援及び広報活動を行う。	乗馬体験者数 H27年2,000人 (参考 H26年1,730人)	乗馬体験者数 H27年1,817人 (参考 H26年1,730人)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	4	観光客誘客環境整備事業	H26 ~ H33	城山や青少年旅行村など観光施設の機能拡充を図るための整備や観光地環境美化保全に取り組む機械を導入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・城山アーケード、旅行村進入路等(進入路、駐車場、管理棟)整備工事の完了。 ・旅行村施設等(更衣室、テラス拡張)の実施設計の完了。 ・湧出展望休憩施設の実施設計の完了。 ・観光地管理用機械(乗用芝刈機、2tトラック)の整備完了。 	<ul style="list-style-type: none"> ・城山アーケード、旅行村進入路等(進入路、駐車場、管理棟)整備工事の完了。 ・旅行村施設等(更衣室、テラス拡張)の実施設計の完了。 ・湧出展望休憩施設の実施設計の完了。 ・観光地管理用機械(乗用芝刈機、2tトラック)の整備完了。 		
9	1	文化財保全観光地化事業	H27	本村には国の史跡「具志原貝塚」の他、数多くの文化財がある。島に残された貴重な文化遺産である文化財や景勝地の美化保全を進め、地域住民の文化財愛護意識を高めるとともに、観光資源としての活用を進めるうえでの基本構想を策定し、村内文化財(指定、未指定問わず)の整備、環境美化、村内文化財案内の導線ルートなどの方向性を定める。	村内文化財の整備、環境美化、文化財の導線ネットワーク、展示施設に関する基本構想を策定し、今後の村内文化財整備の方向性を定める。	村内文化財の整備、環境美化、文化財の導線ネットワーク、展示施設に関する基本構想を策定し、今後の村内文化財整備の方向性を定めた。		
10	1	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ~ H33	小、中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障がいなど様々な障がいがある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていくための土台づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒(対象数:380人)個々の習熟度に応じた学習支援体制を整えることにより、学習意欲の向上・学力の底上げを図る。 ・県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校で各教科30%以下に減らし、村全体の学力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒(対象数:381人)個々の習熟度に応じた学習支援体制を整えることにより、学習意欲の向上・学力の底上げを図った。 ・県学力到達度調査において、正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校で各教科30%以下に減らし、村全体の学力向上を図った。 		
10	2	各種大会派遣費助成事業	H25 ~ H33	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・各種大会派遣人数:1,000人	・各種大会派遣人数:2,404人		
11	1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H27 ~ H28	景観法に基づく効果的な景観形成を促進するための景観向上行動計画を策定する。	村民の意向を踏まえ景観計画及び景観条例を策定・制定することで、伊江村らしい風景を保全し発展させ村民1人1人が意識することで良好な景観保持を図る。	村民の意向を踏まえ景観計画及び景観条例を策定・制定することで、伊江村らしい風景を保全し発展させ村民1人1人が意識することで良好な景観保持を図れなかった。	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊江村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
12	1	医療保健センター機能拡充事業	H27 ~ H28	医療保健センター内で運営する村立診療所と歯科医院は島内唯一の医療機関として村民の医療を担っている。1日当たりの平均外来患者数は診療所で104人、歯科医院が35人である。同施設では乳幼児の集団予防接種を年間90日実施し慢性的な駐車場不足が生じ、村民への医療提供に大きな支障をきたしている。駐車場を確保整備することにより安心・安全な医療保健サービスの提供を図る。	医療保健センターの駐車場用地を確保することにより交通手段の不安を解消し利用者の利便性の拡充が図られる。	医療保健センターの駐車場用地を確保することにより交通手段の不安を解消し利用者の利便性の拡充が図られた。		
13	1	水産物加工施設整備事業	H27	既設のもずく加工施設の内部を整備し、もずくの加工出荷のみならず、ソデイカ等を加工できるようにするための機能充実を図り、衛生面にも考慮した施設を整備する。	既存加工施設内部整備の完了	既存加工施設内部整備の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ~ H33	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業スポーツコンベンションの誘致、特に冬季におけるプロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの誘致と、それを起爆剤とした観光誘客を目的に実施する事業である。	・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(40,000人) ・集客イベントの来場者数(2,000人)	・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(45,000人超) ・観光PRチラシ配布(3,000枚) ・集客イベントの来場者数(2,000人)		
1	2	危険生物駆除事業	H25 ~ H33	危険生物として駆除の対象となっているハブの咬症被害が、本村においても毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。また、これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすとともに、より安全な観光地を目指す。	・ハブ類による咬傷被害数:0件	ハブ類による咬傷被害数:1件	未	
1	3	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ~ H33	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。 また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。	・視聴者からのメール受信件数 432件/年 平成26年1月末現在の平均×伸び率1.1	・FM放送番組の制作・放送(毎日) ・視聴者からのメール受信件数 1,442件		
1	4	世界遺産座喜味城跡管理活用事業	H25 ~ H29	読谷村(沖縄県)には歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群(座喜味城跡)」を筆頭に、様々な歴史的文化的遺産が所在する。これらを重層的に活用し、観光客の減少時期の観光客の誘導を狙う。	・座喜味城跡のライトアップ 来場者数150人/日 ・座喜味城跡三次元映像コンテンツの完成	・座喜味城跡のライトアップ 来場者数10,476人(116人/日) ・座喜味城跡三次元映像コンテンツの完成		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	ヨミタンブランドカパワー・アップ大作戦事業	H25 ~ H30	読谷村そのものや読谷村で生産される、ヤチムン、織物等の伝統工芸品や農水産物及び加工品等のいわゆる読谷村の特産品を「よみたんブランド」として認定し、認定された商品のプロモーションを行う。	・ブランド認定件数:10件	ブランド認定件数:14件		
1	6	読谷村地域振興センター(仮称)整備事業	H25 ~ H27	読谷補助飛行場跡地における主な課題である「農業を主体とした6次産業化」、「情報の共有と発信による地域振興」の解決を図るため農漁商工の連携による地域振興と交流拠点づくりのため「読谷村地域振興センター(仮称)」を整備する。	H28年4月供用開始に向けた読谷村地域振興センター(仮称)の完成	H28年4月供用開始に向けた読谷村地域振興センター(仮称)の完成		
1	7	残波岬いこいの広場機能強化事業	H24 ~ H28	施設利用者の増加を目的として、残波岬いこいの広場に設置されている東屋の機能強化(壁の増設)工事を実施するための設計業務を行う。	設計の完了	工事実施・供用開始に向けた設計完了		
1	8	(仮称)読谷村パークゴルフ場基本設計等支援委託事業	H27	平成24年度に策定された第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画にて示された(仮称)読谷村パークゴルフ場を整備し、全国からパークゴルフ愛好者を誘客することにより、観光振興を図ると同時に、地域住民の体力増進、高齢者の生きがいの場づくり、駐留軍用地の跡地利用に資するため、基本設計を行う。	(仮称)読谷村パークゴルフ場整備に向けた基本設計の完了	(仮称)読谷村パークゴルフ場整備に向けた基本設計完了		
1	9	景観形成事業	H24 ~ H28	近年、景気回復の足音とともに開発圧力が強まっており、地域バランスを無視した中高層建築物の建築が風光明媚な自然海岸沿いや海を臨む集落地内で進んでおり、景観をはじめとする地域環境の悪化が懸念されている。 そのような中、改めて本村の景観資源について認識し、景観法に基づく景観計画のもと、地域性にあった景観づくりの方針を明らかにし、良好な景観づくりを推進する。	(ヤチムンの里地区) 景観地区運用マニュアル概要版の作成。 (座喜味城跡周辺地区) 都市計画決定図書及び景観地区運用マニュアルの作成。	(ヤチムンの里地区) 景観地区運用マニュアル概要版の作成完了。 (座喜味城跡周辺地区) 都市計画決定図書及び景観地区運用マニュアルの作成。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	小中学校情報教育支援員配置事業	H24 ~ H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内の小中学校に情報教育支援員を配置する。 平成25年度で導入した電子黒板等ICT機器を活用しての授業を展開するために、教員・生徒への支援を行う。	・情報機器を活用する教員のサポート体制の強化構築	情報機器を活用する教員のサポート体制の強化構築実施		
2	2	日本語教育支援員配置事業	H24 ~ H33	二重国籍や帰国児童等、日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児童との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行う。また、児童の保護者に対しても学校との連絡調整の場(家庭訪問・三者面談・各通知の英訳)で支援を行う。	・要支援児童へ柔軟な支援体制の構築	要支援児童へ柔軟な支援体制の構築実施		
2	3	小中学校学習支援員配置事業	H26 ~ H33	小中学校において学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。	・算数、数学の基本学力の定着	算数、数学の基本学力の定着支援実施		
2	4	特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	幼稚園・小中学校に在籍し、心身に障害を持つ幼児児童生徒に対し個々に応じた適切な支援、並びに発達障害(ADHD・LD・高機能自閉症・アスペルガー症候群等)のため、個別支援の必要な幼児児童生徒の実情にあった、具体的かつ適切な支援を行うため、各校に特別支援教育支援員を配置し支援体制の拡充と質の向上を図る。	・要支援幼児・児童生徒への支援体制の構築	要支援幼児・児童生徒への支援体制の構築実施		
2	5	幼稚園園舎耐震診断事業	H27	園舎の耐震化を促進し、安全で安心な環境を構築するため、昭和56年以前に設計された旧耐震基準の建物(村立幼稚園園舎)について、耐震診断を行う。	幼稚園の耐震診断率 現在42.9% 完了時点100% 耐震診断が必要な幼稚園:4棟	幼稚園の耐震診断率 100%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	6	ICT教育強化事業	H27 ~ H28	児童・生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書、デジタル教材を配付し、ICT機器を有効活用した教育環境の整備を行う。	デジタル教科書(9教科)の整備完了	デジタル教科書(9教科)の整備完了		
3	1	バス停上屋整備事業	H27 ~ H28	今業務における対象区域は、嘉手納弾薬庫一部返還跡地沿いである。当該地区周辺では、大湾東土地地区画整理事業や民間開発によるゴルフ場が建設されている。今後は大湾東土地地区画整理事業が進むことで、当該地区周辺の人口が増加し公共交通機関の利用者も併せて増加すると見込まれることから、強烈的な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえよう、バス停上屋を整備する。	バス停上屋実施設計完了	バス停上屋実施設計完了		
3	2	地域資源を活用した農業振興等促進基本計画策定事業	H27	読谷村では、SACO合意等を受け、読谷補助飛行場・瀬名波通信施設等の駐留軍用地が返還されております。特に、読谷補助飛行場については、読谷補助飛行場跡地利用実施計画において農業振興を図りながら旧地主への農地の払い下げをすることが戦後処理と示されております。戦後処理を加速化させるためには、更なる農業振興や地域活性化の推進が肝要であることから、今回、地域にある未活用バイオマスを利用した農業振興及び地域活性化の展開を行うために基本計画を策定する。	地域資源を活用した農業振興等促進基本計画の策定(未活用バイオマスの把握、今後の活用方針の決定)	地域資源を活用した農業振興等促進基本計画の策定完了		
3	3	読谷補助飛行場跡地伊良皆地区広場整備事業	H27	平成26年度に実施した「読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計等支援委託業務」に基づき、読谷補助飛行場跡地伊良皆地区広場の整備を実施する。	読谷村補助飛行場跡地伊良皆地区広場の整備工事の完了	読谷村補助飛行場跡地伊良皆地区広場の整備工事完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24 ~ H28	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再整理する。	地域、学校、観光施設等へ配布・活用及びHPで公開	地域、学校、観光施設等へ配布・活用及びHPで公開 (4箇所実施 目標:4箇所)		
4	2	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24 ~ H29	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理し、集めた情報を共有・発信・活用できるようHPを活用して情報発信を行うとともに、多言語の小冊子にまとめる。	・八重山・南米における移民者の歩みの把握 ・H29のHP公開に向けた事業の着実な実施	・石垣島、ブラジル、ボリビアの調査を実施 ・H29のHP公開に向けた証言の原稿化を実施		
4	3	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ~ H29	沖縄独特の口承文化や歌詞を支えてきたのは沖縄の風土から生まれてきた沖縄語である。しかし今では沖縄語を継承する世代は減り、言葉の意味さえ失われちゃうおそれがある。この事業は生まれ育った地域の沖縄語で伝承されてきた民話や琉歌を調査、整理し、沖縄語に親しめる媒体(絵本やDVD等)を製作し、沖縄語になじみの薄い幼児や児童生徒らに沖縄語の教材を提供し、沖縄語に関心をもってもらい、沖縄語の保存継承に寄与するものである。	村内小中学校等へ配布・活用及びHPで公開	村内小中学校等へ配布・活用及びHPで公開		
4	4	沖縄戦後教育史・復帰関連資料整理活用事業	H26 ~ H27	本村はこれまで、沖縄における戦後教育や復帰運動に関する資料の収集を積極的に行ってきた。特に戦後教育と復帰運動の端緒を開いた屋良朝苗氏が残した資料(行政主席・知事時代の日記や所持品、書籍等)の充実を図り、米軍統治や復帰運動を後世に伝えるものとして学習や展示会に活用してきた。これら資料とあわせ、昨年寄贈を受けた戦後教育及び復帰に纏わる歴史資料を効果的に展示・公開できるよう、資料の整理・修復、デジタル化を行い、沖縄の戦後史に関する学習や調査研究の機会充実を図る。	整理資料の公開	整理資料の公開		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	5	ユンタンザミュージアム建設事業	H26 ~ H29	世界遺産座喜味城跡公園内に新読谷村立歴史民俗資料館(仮称ユンタンザミュージアム)を建設(本館改築と別館機能強化)し、世界遺産ビジターセンターとして機能拡充と強化を図るもので、世界遺産と連携した魅力ある施設を建設し、観光振興・地域振興、文化振興につながる整備を行う。	・実施設計書の完成 ・H30年の供用開始に向けた事業の着実な実施	・実施設計書完成 ・H30年の供用開始に向けた事業の着実な実施		
5	1	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ~ H33	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現の為、村内の中学生12人を夏休みの1ヶ月間を利用し、英語圏に短期間派遣し、ホームステイを実施することにより、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際性豊かな人材育成を目指す。	・行った結果、生徒に変化があったと応えた保護者:12人	・ホームステイへ行った結果、生徒に変化があったと応えた保護者:12人		
6	1	読谷村防災情報システム基本計画策定事業	H27	自然災害時における情報伝達手段である防災行政無線のあり方を整理分析し、難聴地区への整備・改善を図るため、読谷村防災情報システム基本計画を策定する。	・難聴地域の把握 ・防災行政無線の方針決定 ・補完システムの決定	・難聴地域の把握完了 ・防災行政無線の方針決定完了 ・補完システムの決定完了		
6	2	読谷村総合福祉センター耐震診断調査事業	H27	地震や津波などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民等が避難する読谷村総合福祉センター施設の耐震診断を実施するため読谷村社会福祉協議会に対し支援を行う。	・耐震診断調査の実施(耐震状況の把握)	・耐震診断調査の実施完了(耐震状況の把握 100%)		
7	1	地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25 ~ H29	年間を通じた多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通じた地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を支援する。	・栽培施設の設置:面積2,480㎡(予定) ・導入農家:5人(予定)	・栽培施設の設置:面積2,412㎡ ・導入農家:5人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	2	優良母牛導入事業	H27 ~ H29	経営安定化・質の高い肉用牛の改良を進めるため、県内外のセリ市場から黒毛和種優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛生産農家へ優良種を普及させ、優良子牛の生産を図る。	・今年度導入率33%(全導入目標頭数99頭)	・今年度33頭導入(導入率33%)		
7	3	読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画策定事業	H27	村内の農業関係施設の機能強化を図ることで地域内農林水産物の利用促進と新たな雇用の創設を図るために、読谷村農業関係施設機能強化基本計画策定事業を実施する。	・読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画の完了(整備に向けた現状の把握、方針の決定)	・読谷村農業関係施設機能強化促進基本計画作成		
8	1	地域にあったものづくり支援事業	H26 ~ H28	読谷村の特産品や商品を県内外へPRするために物産展等への出展し販路拡大を図るとともに、本村地域資源を活用した新たな特産品づくりを調査するため、読谷村商工会へ支援を行う。	出店数:5件 開発支援5件	出店数:6件 開発支援6件		
9	1	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ~ H33	読谷村では、1978年に策定した「ヤチムンの里」基本構想により、村づくりの中でヤチムン(琉球陶器)の振興を位置づけ、ヤチムンの里づくりを推進してきた。現在読谷山焼等から60余りの工房が新たに独立している。今後のヤチムンの持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成する。又村内にはヤチムンの他にも工芸品として花織り・琉球ガラスがあり併せて販路拡大を図る。	・次年度以降のプロモーション戦略等効果検証 ・販路把握、顧客の獲得 ・ブース来場者(2,000人)	・次年度以降のプロモーション戦略等効果検証実施 ・販路把握、顧客の獲得実施 ・ブース来場者(2,000人以上)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	観光史跡等説明板整備事業	H24 ~ H28	魅力ある観光地づくりを目指し、地域資源、文化資源を活用した観光振興を図るため、町内に点在する史跡、旧跡等への多言語表記した史跡等説明板を設置する。	観光史跡等説明板の整備率88%	観光史跡等説明板の整備率88%		
1	3	うたの日コンサート事業	H25 ~ H27	沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」において開催を支援し、同コンサートを誘致することで多くの観光客を誘客し、町の活性化を図る。	・うたの日コンサートへの来客数:5,000人 (平成26年度主催者発表来客数:9,000人)	・うたの日コンサートへの来客数:5,000人		
1	4	嘉手納町観光客受入体制整備事業	H26 ~ H27	嘉手納町は多くの地域資源があるが、資源間のつながりが弱いと、観光客の回遊性が乏しい通過型観光になっている。本事業では、地域資源の観光地化を行い、資源間をつなぎ、情報発信を行うためのおもてなし観光ガイドを実施するとともに、必要となる専門的な助言や運営のサポートを行い、観光客誘客の促進を図る。	・観光ガイドによる観光客の受入:30回	・観光ガイドによる観光客の受入:24回		
1	5	水釜護岸景観整備事業	H27 ~ H33	水釜護岸には町内外から多数の観光客や町民の方々が訪れる観光スポットとなっている。新しい観光地としての可能性を再発見し、嘉手納町の独自性を生かした新しい観光地の創出を目的とする。	・本町の現況把握 ・今後の基本設計等を実施する上での基礎となる基本計画の策定	基本計画策定 基本設計策定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6	かでな文化センター機能向上事業	H24 ~ H27	観光振興促進を図るため、音楽や芸能、講演会など様々な催事に対応できるよう、かでな文化センター施設の機能向上を図る。	バリアフリー化により、施設内の移動を円滑にし、利便性の向上を図る。	バリアフリー化実施		
1	7	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ~ H30	屋良東部地区地域振興施設は、年間約50万人の観光客が来場するが、展望場で米軍基地を展望した後、すぐ施設を退館する通過型の施設になっている。このような課題を解決し、観光誘客施設としての魅力を高めるため、平成26年度に策定した道の駅かでな機能拡充基本計画を基に基本設計を行う。	平成28年度実施設計に向けた事業の着実な実施 (基本設計の完了)	基本設計実施		
1	8	屋良城跡公園総合再整備事業	H25 ~ H27	観光資源に乏しい本町において、屋良城跡公園は比謝川を活用したエコツアーや川祭りの会場として大きな可能性を持っており、観光入客数の増加や地域の活性化に向け、屋良城跡公園の総合再整備を行う。	平成28年度実施設計に向けた事業の着実な実施 (基本設計の完了)	基本設計実施		
1	9	兼久海浜公園リニューアル事業	H26 ~ H28	新たにスポーツ等の観戦客や公園を利用する町外からの入域数の増加を図るため、これまでの施設利用方法、利用者層及び公園ニーズについて再検証し公園施設の再検討を行うとともに、その結果を基に公園のリニューアル整備を行う。	平成28年度基本設計に向けた事業の着実な実施 (基本計画の完了)	基本計画策定		
2	1	学習支援員配置事業	H24 ~ H33	算数、数学、国語の基礎学力定着のため、教師と連携を図りながらチームティーチング、習熟度別授業を行い、また、長期休業における個別指導及び放課後の補習授業を行う学習支援員を配置する。	県到達度調査正答率において、 (小学校) 国語(-1.3)、算数(+0.9)を県平均値以上にする (中学校) 国語(+1.7)、数学(-5.8)の差を「0」にする ()内の数値は、現状値と県平均値との差	小学3年 国語× 算数 × 小学5年 国語× 算数 × 中学2年 国語× 数学 ×	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	英語力強化事業	H24 ~ H33	教育課程特例校としての特典を生かし、英語力を向上させるため、ネイティブスピーカーの講師の活用で、小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校では臨場感のある実用的な英語を学ぶ指導補助として、また英語科に英語指導員を配置することで、生徒への個別の学習支援、英語検定取得のための支援を行い、英語力の向上に繋げる。	(小学校) 各学年のターゲットフレーズ(日常会話4項目~5項目)の習得率が前年度を上回る。 (中学校) 英語検定受検者合格率27%を上回る。	(小学校)前年度実績 41.57% H27年度実績51.49% (中学校)合格率43.50%		
2	3	ICT活用事業	H24 ~ H33	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、パソコン指導員を配置する。また、授業でのPC活用を推進するためフラッシュ教材を活用した授業支援も行う。	(小学校) キーボード検定サイトにおいて学年目標級を達成する。(達成率60%) (中学校) ・オフィス系のソフト活用力の向上 ・パソコン検定にむけての指導 1・2年:5~4級、3年:3級(前年度を上回る受検率)	(小学校) 56% (中学校) 前年度実績3.2% H27年度実績1.8%		
2	4	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ~ H33	不登校の生徒に対応するため、継続的な支援活動を行う生徒指導支援員を中学校へ配置する。	不登校生徒数を全生徒数の出現率を4.0%以下 (平成25年度:出現率4.1%)	出現率:3.63%		
2	5	スクールカウンセラー活用事業	H25 ~ H33	青少年センターにスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置し、児童生徒と保護者の相談業務を行い、教職員に対しては障害等への対応に関する研修会を実施する。また、適応教室相談員に助言や児童生徒のカウンセリングを通して学校復帰を支援する。	・サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数:3人 (平成25年度:復帰等改善が確認できた人数3名)	学習復帰等改善人数:27人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	6	秋田交流学習体験事業	H26 ~ H30	教育先進地である秋田県大館市へ小中学生・教師を派遣し、小中学生は授業をとおして学習規律、授業への参加する準備・構えを体験し、教師は指導法や授業作りについて学ぶことで本町の学力向上を図る。 また、秋田県の教師を招聘し授業の実践や授業改善等の研修を行う。	・交流後の報告会、公開授業後に意識調査を実施し、授業改善・指導法の工夫を図っている教師の割合60%以上 ・アンケート調査で「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」割合中学校55%以上、小学校50%以上	(教師)事業改善・指導法の工夫を図った割合:66% (生徒) 中学校59.6% 小学校48.7%		
2	7	学校ICT機器整備事業	H26 ~ H28	ICT機器の活用を図り、魅力的でわかりやすい授業展開・効率的な知識の習得に繋げるため、デジタル教科書を整備し学習意欲の向上に資する。	アンケートで「授業のわかりやすくなった」と答えた生徒の割合65%	アンケートで「授業のわかりやすくなった」と答えた生徒の割合93.60%		
3	1	雇用促進事業	H25 ~ H29	全国に比べ失業率の高い沖縄において雇用情勢の改善を図るため、就職相談窓口を開設する。就職相談窓口により求人・求職者を結ぶ就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げていく。	就職人数:2人 相談人数:100人	就職人数:9人 相談人数:230人		
4	1	廃棄物リサイクル事業	H25 ~ H33	本町で排出されている草木を回収、チップ化し再資源化することで、本町が策定する一般廃棄物処理基本計画の推進を図り、リサイクルを促進しながら町全体の美化環境の保全を行っていく。	・ごみの減量化(対前年度比:年間約5%減量)	・ごみの減量化(対前年度比:年間約6.4%減量)		
5	1	嘉手納町防犯灯・街路灯LED化事業	H26 ~ H29	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した町づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業を実施する。	平成26年度比で町内の防犯灯消費電力・CO2排出量の56%削減を目指す(防犯灯使用電力の発電に伴う沖縄電力のCO2排出量)	平成26年度比で町内の防犯灯消費電力・CO2排出量の56%削減(防犯灯使用電力の発電に伴う沖縄電力のCO2排出量)を達成した		
6	1	食育まんが啓発推進事業	H26 ~ H28	地域の高齢者から長寿と言われる戦前の食生活を聞き取りまんがを制作する。食育まんがを普及、啓発することにより長寿の知恵を次世代へ継承し、健やか長寿のまちかでの実現を図る。	保育所保護者の「食育の日」周知度 7.7% (H25年度) 20% (H27年度)	保育所保護者の「食育の日」周知度:10.1%	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	1	嘉手納町密集市街地地区改善事業	H27 ~ H29	<p>本町は、町の総面積が15.04km²あるが、町域の約83%を米軍基地に接収され、残された約17%の狭隘な地域での生活を余儀なくされている。市街地については、沖縄戦後の混乱期から住宅や商店、事務所、工場等が混在立地し、今日の狭隘、無秩序な市街地が形成されてきた。そのため、狭隘道路問題をはじめ接道要件を満たさない建物や消防困難区域もあり、様々な問題を抱える密集市街地となっている地区もある。本事業では、この密集市街地地区において土地所有者・家屋所有者・居住者と協働し地区整備の方向性を定め整備することを目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・権利者(居住者・地権者)個別カルテの作成(50%) (地域住民および地権者の個別意向を把握するための資料として重要。資料作成における人的経費及び分析等に多くの時間を要する。本年度業務の大部分であり、成果として足ると判断する。) ・地元組織(まちづくり協議会)発足のための合意形成(10%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利者(居住者・地権者)個別カルテの作成:62.8% ・地元組織(まちづくり協議会)発足のための合意形成:62.8% 		
8	1	嘉手納町住環境整備事業	H27 ~ H28	<p>本町は、町の総面積が15.04km²あるが、町域の約83%を米軍基地に接収され、残された約17%の狭隘な地域での生活を余儀なくされている。市街地については、沖縄戦後の混乱期から住宅や商店、事務所、工場等が混在立地し、今日の狭隘、無秩序な市街地が形成されてきた。そのため、新たな住宅・宅地の確保が難しくなっている。本事業では、住環境を改善するため、本町に必要な住宅政策を把握し、本町の状況に特化した効果的かつ実効性のある制度の確立及び推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の現況・課題の把握 ・本町における住宅政策の制度策定に向けた基礎資料の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・本町の現況・課題の把握 ・本町における住宅政策の制度策定に向けた基礎資料の作成 		
9	1	航空機騒音測定業務強化事業	H27	<p>嘉手納飛行場周辺における航空機騒音被害について、より詳細なデータ収集を行うため、既存の騒音測定装置の近傍に気象情報測定器を整備し、風向・風速などの各種気象情報を観測する。さらに苦情連絡時における騒音発生ポイントでの騒音レベル測定用に携帯型騒音計を整備する。</p>	<p>風向・風速等を加味した航空機騒音の詳細なデータの把握:毎日測定</p>	<p>データ把握:365日</p>		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
10	1		避難施設防災機能強化整備事業	H27	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、避難所において、防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の確保を図り、避難所の防災機能を強化する。合わせて、保管用の備蓄倉庫を設置する。また、避難所等へAEDを整備し、避難施設の機能強化を図る。	避難所3か所の備蓄体制の確立(備蓄品等の配置、倉庫設置) 町内の避難所等へAEDの整備(整備率:100%)	備蓄体制の確立:3カ所 AED配備:100%	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ~ H33	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と地域特産品の交流を図るため、県外、国外における、観光誘致対策事業、誘客プロモーション事業を展開する。	町内入域観光客数の増加 (1)観光情報センターにおける窓口対応件数(年間) 20,500件(H26) 25,000(H27) 4,500件増 (2)観光情報センターにおける外国人対応件数(年間) 10,800件(H26) 12,000(H27) 1,200件増	町内入域観光客数の増加 (1)観光情報センターにおける窓口対応件数(年間) 37,842件 (2)観光情報センターにおける外国人対応件数(年間) 24,282件		
1	2	観光振興地域活性化事業	H25 ~ H27	観光拠点地域の景観を育成し新たな観光資源を創出する。また、本町におけるエンターテインメント事業を創出し、観光拠点において継続的に事業展開し、観光客誘客推進を図る。併せて、観光客誘客推進のため、あらゆる媒体を活用した広報宣伝を展開し、事業をプロモーションする。	町内入域観光客数の増加 (1)観光情報センターにおける窓口対応件数(年間) 20,500件(H26) 25,000(H27) 4,500件増 (2)観光情報センターにおける外国人対応件数(年間) 10,800件(H26) 12,000(H27) 1,200件増 多言語コンテンツ (1)利用者数の目標指標:5000アクセス/4か月	町内入域観光客数の増加 (1)観光情報センターにおける窓口対応件数(年間) 37,842件 (2)観光情報センターにおける外国人対応件数(年間) 24,282件 多言語コンテンツ (1)利用者数:6,362		
1	3	宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業	H24 ~ H27	県内有数のダイビングスポット、サーフスポットである宮城海岸において、居心地の良い空間を提供し観光客の満足度を高めマリン産業の振興を図るため、宮城海岸マリンレジャーゾーンとして海岸護岸の舗装の整備をする、H24年度からの継続事業で、H27年度は同事業の最終年度となる。	年間利用者数 36,000名/年(観光客含む。)	年間利用者数:36,000名		
1	4	北谷町文化発信拠点整備事業	H24 ~ H30	キャンプ桑江北側米軍基地の返還に伴い発見された「伊礼原遺跡」は約7,000年前から連綿と続く集落跡として、国史跡として指定された。今後縄文時代に生活空間の具現化をテーマとし、住民の憩いの場、観光資源として公園整備を行う。また、隣接地に伊礼原遺跡の出土品等を含む町内に点在する文化財の公開活用を行うため、町立博物館を建設する。H27年度は、伊礼原遺跡保存整備事業、博物館整備事業の基本設計を策定する。	伊礼原遺跡整備・復元住居基本設計の完了 町立博物館建築・展示基本設計の完了 周辺整備工事基本設計の完了	伊礼原遺跡整備・復元住居基本設計の完了 町立博物館建築・展示基本設計の完了 周辺整備工事基本設計の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	コミュニティーバス導入調査検討事業	H26 ~ H28	観光客・町民の移動利便性を高めるコミュニティバスの導入に向けて、利用ニーズや本町の交通特性、関係機関との協議等を踏まえ、コミュニティバス実証運行計画(案)を策定する。	コミュニティバスの実証運行に係る運行経路、ダイヤ、バス停等の案の決定	コミュニティバスの実証運行に係る運行経路、ダイヤ、バス停等の案の決定		
1	6	海業振興事業	H25 ~ H29	観光客誘客を図る施設整備の一環として景観性向上を図るため西防波堤等景観整備を引き続き実施する。また、海上係留施設の改良を行うことにより、利用者の利便性を向上させる。 さらに、海業振興センターのイベントを行うことにより、利用者の増加を図る。	・地区内観光客数(目標値) 20万人(現状:約15万人) ・地区内進出企業(目標値) 10社(現状:6社)	・地区内観光客数(目標値) 23万人 ・地区内進出企業(目標値) 7社		
1	7	北谷公園(ビーチ等)活性化事業	H25 ~ H28	既存のサンセットビーチの隣接地に新たな商業施設やホテルの開業が進んでいる。観光資源であるビーチへの歩行動線やビーチ施設、北谷公園施設を観光客に利用しやすい施設へと機能強化することで質の高い北谷観光を実現する事を目的とする。また、観光客の多様なニーズに対応できる施設整備を行うことで観光客の増加を目指す。 今年度はプール機能強化実施設計を行う。	機能強化実施設計の完了	実施設計完了		
1	8	可視光(LED)通信実証実験事業	H27 ~ H29	美浜公共駐車場及びその周辺において、可視光(LED)通信機器を用いた駐車場管理システムや無料公衆WiFiを整備し、駐車場案内、地域情報や観光情報、災害情報の発信等の情報サービスの利用に関する検証に加え、商用電源を使わない自立型通信(多機能型)による検証を行う。 また、新たな通信技術である可視光(LED)通信サービスの提供を実現する技術についても実証を行う。	可視光通信機器やこれを活用する各機能の効果を検証する。		繰	
2	1	英語指導助手派遣事業	H24 ~ H33	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小中学校に1人の英語指導助手を派遣する。	小学校:日本英語検定協会主催シルバー児童英検の正答率が前年度と比較し1%向上。 中学校:沖縄県達成度調査(英語)の正答率が県平均を上回る。	小学校:-0.8% 中学校:県平均以下	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ~ H33	日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童生徒や帰国児童生徒等への学習支援を行う。	・指導を受ける児童全てが2年間で日本語を習得し、通級終了できるようにする。	達成		
2	3	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ~ H33	学習に遅れをとっている児童生徒に対して、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的、基本的な学習内容を理解させることで、学習環境の充実・強化を図る。	・沖縄県到達度調査における正答率30%未満の児童生徒 小学校:5.2%以下 中学校:16%以下	小学校:22.14% 中学校:36.35%	未	
2	4	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ~ H33	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒のおかれた様々な環境の問題(家庭、友人環境等)に働きかけ、問題を抱える児童に対して問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努める。	・学校内外で問題を抱える児童生徒への細やかな支援の強化	・学校内外で問題を抱える児童生徒への細やかな支援の強化		
2	5	北谷町ハワイ短期留学派遣事業	H25 ~ H29	ハワイでの語学学習やホームステイを通して英語力の向上を図りながら、ハワイの町人会との交流会を実施し、海外で活躍しているウチナンチュとの親睦を図り世界的な視野を持った人材を育てる。 また、ハワイの文化・歴史関連施設等を視察学習することにより、異文化の国際理解や郷土文化の良さを再認識して相互理解を図る。	派遣後の英語検定上級取得率30%	派遣後の英語検定上級取得率40%		
3	1	跡地利用推進事業	H24 ~ H33	「キャンプ桑江南側」、「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」の有効かつ適切な跡地利用計画の策定に向けて、「キャンプ桑江南側」においては、将来の斜面緑地の保全・活用を踏まえた情報提供の実施、「キャンプ瑞慶覧(施設技術部地区内の倉庫地区の一部)」においては、北谷城を含む国指定文化財予定地とその周辺の利活用基礎調査及び地権者説明会を実施する。	跡地利用に対する地権者の理解促進及び意向把握	跡地利用に対する地権者の理解促進及び意向把握		

平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「 - 」

北谷町						
事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4 1	北谷町特定駐留軍用地内 土地取得基金事業	H25 ~ H33	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な跡地利用を推進するため、沖縄振興特別推進市町村交付金を財源とした基金を活用して特定駐留軍用地内の土地の先行取得を実施する。	・公共用地取得率:約21.7% (総取得予定面積:70,000㎡) (うち 学校用地:45,000㎡、緑地・公園: 25,000㎡)	・公共用地取得率:約21.5%	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ~ H28	長期滞在型のある宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用した、野外活動や沖縄の自然や伝統文化の学習等を実施する。	・体験交流人数:500人	・体験交流人数:495人		
1	2	歴史文化散策路ネットワーク整備事業	H24 ~ H29	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するとともに、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備を実施する。散策遊歩道整備の実施箇所は、重点地区となっている喜舎場・仲順地区とする。	・喜舎場地区の散策が可能となり徒歩で周遊できる環境基盤の整備	・喜舎場地区の散策が可能となり徒歩で周遊できる環境基盤の整備		
1	3	北中城まつり活性化事業	H24 ~ H33	県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして、沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりまつりin北中城」を開催する。	三大祭りにおける来場者数:11.5万人(H25:11.1万人) ・地元産業事業者及び村内団体出店参画数:60事業所(H25:51事業所及び団体) ・県外ツアー受入れ1社以上	三大祭りにおける来場者数:2.5万人(H25:11.1万人) ・地元産業事業者及び村内団体出店参画数:32事業所(H25:51事業所及び団体) ・県外ツアー受入れ0社	未	
1	4	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24 ~ H28	平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備を実施する。	・補修工法の決定 ・井戸の湧水量確保に向けた雨水地下浸透施設整備完了(公共施設1件、住宅地5件)	・補修工法の決定 ・井戸の湧水量確保に向けた雨水地下浸透施設整備完了(公共施設0件、住宅地4件)		
1	5	地域活性化キャラクター活用事業	H25 ~ H33	本村の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、平成25年度に誕生した地活キャラ及びARアプリを活用し、村内地域イベント、県内外でのキャラクターを介したイベントに積極的に参加し、PR活動を行う。また、本村14字自治会、青年会、婦人会、老人会等各種団体のイベントでの活用を行うと共に運用する人材の育成を行う。また、まつりやイベントでの特産品などの販促を推進するための広告塔として活躍させる。	・イベント参加、PR活動による北中城村の認知度向上(三大まつり来場者数4%増 基準値H25:11.1万人)	三大まつり来場者数H27:2.5万人	未	
1	6	中城城跡アクセス(大城登又線)整備事業	H26 ~ H27	世界遺産「中城城跡」を核とした県営中城公園整備が進んでいる中で、当該公園北側に接する村道大城登又線の拡幅工事を推進し、観光客等誘客を図る。	・実施設計策定に向けた事業の着実な実施	・基本設計策定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	7	東海岸まちづくり整備事業	H24 ~ H27	本村の東海岸地域における低未利用地(遊休農地等)の有効的な土地利用を図るため、津波等の災害に強い防災基盤施設等の整備と併せて、魅力ある「食」の資源を活かした特色ある観光地として都市的基盤整備を行う。	・減災対策を加味したまちづくり整備基本計画の策定	・減災対策を加味したまちづくり整備基本計画の策定		
1	8	観光情報発信拠点推進事業	H26 ~ H28	「イオンモール沖縄ライカム」内に設置した、観光情報発信の拠点となる北中城村観光案内所(仮称)を積極的に運用し、北中城村のみならず、沖縄県内全域の観光案内・情報発信等のサービスを提供するとともに、当該商業施設を訪れる観光客等のおもてなしを充実させ、村内各所へ誘導して村内飲食店等の活性化も狙う。平成27年度以降には観光協会や商工会、県内ホテル等との連携による観光商品(ツアー、イベント等)商品開発を行う。	・村内各所への誘客:案内所利用者の5割 ・観光商品の開発:2アイテム以上 ・年間案内所利用者数目標値:7,500人	・村内各所への誘客:案内所利用者の0.8割 ・観光商品の開発:7アイテム ・年間案内所利用者数実績値:31,263人		
1	9	アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業	H27 ~ H29	アワセゴルフ場跡地は、土地区画整理事業により整備が進められ観光交流拠点にふさわしい街となる。また将来においては、アワセゴルフ場跡地に隣接するライカム・ローワ地区も返還され、この周辺一帯は新しい市街地を形成することになる。しかし、この両跡地に近い土地(プラザハウス周辺)は米軍基地に接していたため整備ができず老朽化した住宅が細街路で接続された状況となっていることから、本地区の再開発を目的に、一体性を連ねる観光交流拠点として活用するための調査・検討を行う。	・現況調査、周辺影響調査等を行い、目指すまちづくり案の検討にむけた課題の把握。	・現況調査、周辺影響調査等を行い、目指すまちづくり案の検討にむけた課題の把握。		
1	10	公営墓地整備事業	H24 ~ H30	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地用地の取得を行う。	・公営墓地用地の取得率:84% 全体計画14,338.13㎡(H26取得:4349.73㎡)	・公営墓地用地の取得率:84.65%		
2	1	アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業	H24 ~ H28	観光客誘客が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりを推進し、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指すため、災害時の一時避難所(商業施設)と医療施設の施設に係る連携体制構築に向けた調査・整備方針の検討を行う。	・一時避難所と医療施設を結ぶ整備方針の決定	・一時避難所と医療施設を結ぶ整備方針の決定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ~ H30	アワセゴルフ場地区は、戦前は肥沃な土地に恵まれた比嘉集落が形成され、自作農で生産性も高く豊かな集落であったが、戦後、強制的に土地が収用され60年あまりにわたって米軍娯楽施設のゴルフ場として使用され、平成22年7月に返還された。そのような戦前の営みからゴルフ場利用、返還合意から土地利用までの歴史文化の継承を図るため、映像記録、編集を実施する。	・記録映像の作成(進捗率:60%)	・記録映像の作成(進捗率:60%)		
2	3	アワセゴルフ場地区公共用地取得マネジメント事業	H26 ~ H28	アワセゴルフ場跡地は、平成22年7月に返還され都市計画決定及び県条例における環境影響評価を行い、平成25年度より造成工事が開始されており、造成工事の進捗に合わせ平成26年度より公共用地の取得準備を開始する。跡地利用の計画的な進捗には、公共用地の取得も計画的に進める必要があり、そのために、用地アセスメントから買収・登記まで一連して計画的に進めるために用地取得マネジメントを行い跡地利用の迅速な推進を図る。	・H29年度整備に向けた事業の着実な実施	・H29年度整備に向けた事業の着実な実施		
2	4	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ~ H29	駐留軍用地キャンプ瑞慶覧「喜舎場ハウジング地区」内における跡地利用推進計画として、喜舎場スマートICのフルインター化に向け、インターチェンジのレイアウト(案)の検討、道路構造、跡地利用などの調査を実施する。	・スマートインター整備に係る課題の把握 ・関係機関との情報共有	・スマートインター整備に係る課題の把握 ・関係機関との情報共有		
2	5	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ~ H29	キャンプ瑞慶覧ロウワーブラザ住宅地区の跡地利用を促進するための基金を創設し、公有地の先行取得を行う。	・用地取得率:47% (取得目標:9,500㎡ H27年度取得:4,500㎡)	・用地取得率:69.5%		
3	1	雇用サポートセンター事業	H24 ~ H33	活力ある地域づくりを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るため、若者や退職期を迎えた団塊の世代の再就職希望対応など、雇用サポートセンターでの継続した雇用支援を実施する。	・失業者のマッチング人数:30人 (H25:27人) ・新規求人数:150件 (H25:69件) ・新規登録事業所数:53社 (H25:53)	・失業者のマッチング人数:11人 (H25:27人) ・新規求人数:444件 (H25:69件) ・新規登録事業所数:69社 (H25:53)		
3	2	グッジョブ連携推進事業	H27 ~ H33	将来のまちづくりの担い手となる児童生徒の勤労観・職業観と学校をはじめ地域全体の連携による雇用問題の解決や就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングをはじめとする包括的なキャリア教育を実施する。	・就業意識向上把握 ・低学年から高学年、中学校への就業意識変遷	・就業意識向上把握 ・低学年から高学年、中学校への就業意識変遷		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	2	農業経営改善支援事業	H24 ~ H33	生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者の技術支援及び助言と、就農を希望する若者の人材育成のため、農業経営改善支援員を派遣する。	・認定農業者の認定数:1件	・認定農業者の認定数:0件	未	
4	3	地域ブランド構築事業	H24 ~ H33	H26年度までに考案した商品のさらなるブラッシュアップを行うとともに、特産品と合わせて販売拡大や県外物産フェアへの出店を行う。また、村内事業所の自主性を高めるために公募型の商品開発も行い、地域ブランド発信事業者を増やす取り組みを行う。	・販路拡大の為の県外物産フェア参加(6品目販売モニター調査、販売額目標40万円) ・新商品の開発4アイテム ・ポータルサイトアクセス数10%増(H25年度60,000アクセス)	・販路拡大の為の県外物産フェア参加(6品目販売モニター調査、販売額実績77万5千円) ・新商品の開発1アイテム ・ポータルサイトアクセス数5.5%増		
5	1	災害時要援護者避難支援事業	H24 ~ H28	観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援事業及び自主防災組織等への災害時の要援護者支援に活用する防災資機材を整備し、支援体制の整備・強化を行う。	・災害時要援護者支援体制の強化	・災害時要援護者支援体制の強化		
6	1	全村植物公苑化推進事業	H24 ~ H33	本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみため、観光拠点周辺の地域緑化を行う。	・村内を訪れる観光客、来村者へ快適な環境を提供	・村内を訪れる観光客、来村者へ快適な環境を提供		
6	2	公共施設等エコアクション推進事業	H24 ~ H29	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、省エネルギー化のため、村道へのLED新設と、自治会管理の既存照明機器等をLEDへ切り替えを行う。	・実施箇所の自治会(自治会長)へアンケートを実施し、LED化への取組の評価(賛同75%以上) ・各自治会施設内でのLED切り替え自治会数(14自治会のうち5自治会)	・実施箇所の自治会(自治会長)へアンケートを実施し、LED化への取組の評価(賛同100%) ・各自治会施設内でのLED切り替え自治会数(14自治会のうち14自治会)		
7	1	総合英会話指導支援事業	H24 ~ H33	英語を母国語とする外国人や英会話能力の優れた講師による英会話指導を実施し、生きた英語に触れることで、外国語教育の充実と国際性豊かな人材育成を図る。	・英語検定の受検促進(H26:348人 H27:380人) ・英語検定合格率の向上(H26:54% H27:55%)	・英語検定の受検促進H27:401人 ・英語検定合格率の向上H27:51%		
7	2	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ~ H33	WEBシステムによるライブ授業を開設し、小学生の高学年から中学生を中心に米国のワシントン州立大学教員による集中講座を行い、英会話力・英作文力・英文読解力を習得させ、国際化社会に対応できるよう人材を育成する。	英会話力・英作文力・英文読解力の習得 ・基礎英語レベル1修了:7名 ・基礎英語レベル2A修了:5名 ・基礎英語レベル2修了:12名	英会話力・英作文力・英文読解力の習得 ・基礎英語レベル1修了:6名 ・基礎英語レベル2A修了:4名 ・基礎英語レベル2修了:10名		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	3	海外子弟青年交流事業	H24 ~ H33	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多く経済発展を遂げている南米3カ国(ペルー、アルゼンチン・ブラジル)及び交流可能な海外村人会に研修生を派遣する。また、世代交代がする海外子弟の青年に、沖縄の文化・伝統芸能の習得によるウチナンチュとしてのルーツを再確認してもらうとともに、本村及び研修生を交えた「交流ネットワーク会議」を立ち上げ海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材育成を図る。	・(受入者)現地村人会の活性化に寄与する ・(派遣者)友好親善の推進を図るため、受入生と派遣生(過年度派遣生も含む)とで交流の場を構築する	・(受入者)現地村人会の活性化に寄与した ・(派遣者)友好親善の推進を図るため、受入生と派遣生(過年度派遣生も含む)とで交流の場を構築した		
8	1	琉球歴史風致資産調査事業	H24 ~ H29	過年度調査分の歴史風致資産について、より詳細な情報を収集・記述するため、文献資料による補足調査を行うとともに、村内で行われている伝統的な民俗祭祀行事について、専門的見地から内容を記録・解説するため、映像記録の作成・編集、聞き取り調査及び関連史料の収集・分析を実施する。 また、過年度整理分の民具等の収蔵台帳データベースをウェブを通して広く発信するために文化財情報ポータルサイト(仮)の仕様設計を実施する。	・過年度分補足調査 歴史風致資産の情報発信及び歴史まちづくり計画策定作業への活用に向けた詳細資料の完成(200箇所分、進捗率42%)。 ・民俗祭祀行事調査 伝統祭祀の紹介解説へ向けた資料の完成(調査所見レポート20件、進捗率88%) ・文化財情報ポータルサイト(仮)開設に向けた仕様設計の完成	・過年度分補足調査 歴史風致資産の情報発信及び歴史まちづくり計画策定作業への活用に向けた詳細資料の完成(202箇所分、進捗率42%)。 ・民俗祭祀行事調査 伝統祭祀の紹介解説へ向けた資料の完成(調査所見レポート20件、進捗率88%) ・文化財情報ポータルサイト(仮)開設に向けた仕様設計の完成		
8	2	中城間切ノ口関係資料集作成事業	H24 ~ H29	「中城間切ノ口関係資料集(仮)」の発刊に向け、これまで収集した資料及び調査成果をもとに、「島袋ノ口文書」の解説原稿及び本巻論述編の仮原稿を執筆し、また、上記原稿執筆にあたり必要な補足追加資料の収集も随時実施する。	歴史文化の発信へ向けた史料分析(資料集発刊等)の着実な実施 ・島袋ノ口文書解説原稿 50点(進捗率50%) ・論述部分における仮原稿 6項目(進捗率30%) ・原稿執筆方針・内容の決定	歴史文化の発信へ向けた史料分析(資料集発刊等)の着実な実施 ・島袋ノ口文書解説原稿 70点(進捗率100%) ・論述部分における仮原稿 6項目(進捗率30%) ・原稿執筆方針・内容の決定		
9	1	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ H33	村立幼稚園、小学校、中学校に在籍し、障害を持った子や発達が気になる子に対し、身辺自立の介助や対人関係の手助け、学習補助などの支援を行うことで、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みづくりを図る。	・支援を必要とする幼児児童生徒へのきめ細かな支援体制の構築 ・障害のある者となない者が共に学ぶ環境づくりの整備	・支援を必要とする幼児児童生徒へのきめ細かな支援体制の構築 ・障害のある者となない者が共に学ぶ環境づくりの整備		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
9	2		学習支援員配置事業	H27 ~ H33	学習の遅れがちな児童生徒に対し、基礎的・基本的知識や技能の習得に向けた支援を实践することで、幅広く活躍できる人材育成の土台作りを図る。	・全国学力・学習状況調査における平均正答率の向上 ・平均正答率の向上(全国学力・学習状況調査) 小学校:全国平均との差の縮小(各教科2ポイント以内) 現状【国語:全国(72.9) 村(70.6)】 【算数:全国(58.2) 村(55.4)】 中学校:県平均との差の縮小(各教科2ポイント以内) 現状【国語:県(74.1) 村(73.1)】 【数学:県(50.3) 村(45.0)】	小学校:全国平均との差 結果【国語:-1.4ポイント】 【算数:+1.3ポイント】 中学校:県平均との差 結果【国語:-0.7ポイント】 【数学:-2.1ポイント】	
10	1		健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ~ H28	本村は平成26年3月、村民一人ひとりの健康づくりを通して「村民の楽しみ・生きがい増」「村民の所得増」「産業振興・観光振興」等、様々な良い効果が出ることを目標とした「北中城村 健康長寿のまちづくり計画」を策定した。本年度においては、「女性長寿日本一のPR事業」や「健康づくり村民会議」を実施するとともに、26年度に策定したアクションプランを念頭に村民の食生活と健康調査を行い健康習慣の啓発に繋げる。	・特定検診率の向上(前年度より2%) ・特定保健指導実施率の向上(前年度より5%)	・特定検診率の向上(前年度より5.6%) ・特定保健指導実施率の向上(前年度より6.8%)	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	防災行政無線機能強化事業	H27 ~ H29	防災基盤整備の一環として屋外子局を増設し難聴地域の解消を図る。また、現在3局ある有線子局及び15局あるアナログ子局について、デジタル化及び相互通報システムを整備し、情報伝達手段の機能強化を図る。	・デジタル子局(相互通報システム)の整備率25% (H27年度未整備済 5箇所/全体計画 20箇所)	25% 5箇所		
1	2	防災体制整備事業	H26 ~ H30	災害に強く、安心して暮らせる村づくりを推進するため、災害時に村民や観光客等が避難所生活を送ることとなった際に、物資の搬送が開始されるまでの非常食や生活物資等の備蓄整備を行う。 また、災害時に効率的・実働的な災害対応を図るために必要な災害対策本部の備品を整備する。さらに、コンビニ等にAEDを設置し、人命を救う「時間」と「場所」を拡充する。	・非常食 整備率52.6% (H27年度未整備率 4,500食/全体計画 8,550食) ・生活物資 整備率40% ・災害対策本部備品 整備率40% ・災害対策本部消耗品 整備率40% ・AED設置率 100% (H27年度未整備率 13箇所/全体計画13箇所)	52.6% 40% 40% 40% 92.3%		
1	3	災害関係表示板設置事業	H26 ~ H28	災害に強く安心して暮らせる村づくりを推進するため、ふだんから目につく場所に災害関係の表示板や避難場所標識、避難場所までの誘導表示板等を設置し、地域住民や観光客等の防災意識高揚を図る。 平成27年度については、土砂災害警戒区域の周知看板を設置する。	・各自治会への土砂災害警戒区域周知看板の設置率100% (H27年度未整備率 21箇所/全体計画 21箇所)	100%		
2	1	キャンプ誘致施設整備事業	H25 ~ H33	プロサッカーチームの一時キャンプやプロバスケットボールチームの練習場として利用されている吉の浦公園各種施設への今後更なるキャンプ誘致に向けて、公園内の各種施設の機能強化整備を行うとともに、県内でも数少ないサッカー専用の芝生を有すサッカー場の適正管理を行い、スポーツコンベンションの推進を図る。	・プロサッカーチームのキャンプ誘致: 2チーム (平成25年度2チーム、平成26年度4チーム)	3チーム		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	中城城跡プロジェクションマッピング事業	H25 ~ H33	風光明媚な世界遺産「中城城跡」の観光客集客増を目指すため、世界遺産と伝統芸能を活かした中城城跡プロジェクションマッピング事業を実施する。	・プロジェクションマッピングイベント来場者数 H27:10,000人 (基準年:H25 5,352人)	11,604人		
2	3	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ~ H33	本村や沖縄県のスポーツツーリズムの推進に向け、スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化する。	・プロサッカーチームキャンプ誘致及び支援目標:2チーム (平成25年度2チーム、平成26年度4チーム)	3チーム		
2	4	歴史の道整備事業	H27 ~ H28	本村を通る旧ハンタ道を整備した『歴史の道』の一部が崩落の危険性がある。歴史的観点や観光資源としても活用されている歴史の道を安全・安心に歩行できるよう整備・機能強化を図る。	・平成29年度歴史の道供用開始に向けた設計委託業務の完了	実施		
2	5	中城村グスクの響き！事業	H27 ~ H33	世界遺産に登録されている県内のグスク所在地域の伝統エイサーとファッションショーのコラボレーションイベントを実施し、本村の伝統芸能の発展に寄与するとともに、世界遺産を活かした観光振興を促進するため、中城村グスクの響き！実行委員会へ支援を行う。	中城村グスクの響き！来場者数:5,000人	6,108人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	6	護佐丸観光資源制作事業	H27 ~ H30	世界遺産「中城城跡」を観光振興の目玉として更に推進するため、中城城跡と城主「護佐丸」をPRするコンテンツを制作する。中城城の歴史や護佐丸の生涯を紹介する情報紙、ホームページを制作して中城城跡の魅力やそこに伝わる伝説を周知するツールとして活用する。情報紙とホームページは村内の観光情報も取り入れインターネットでアーカイブ化する。	情報紙、ホームページにおける中城城跡、護佐丸のPRの実施		繰	
3	1	海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ~ H33	南米等に移住した中城村出身者の子弟を研修生として受け入れ、日本語研修、ウチナーグチ、沖縄の歴史や三線、琉球舞踊、エイサーなどの伝統文化を取得し、企業等での技術研修や村民との交流を通して、社会の発展に寄与する人材を育成するとともに、移住国との友好親善に資することを目的として実施する。	・日系社会における自己の活動を3つ以上計画した研修生数 3名/3名 ・研修報告会の報告を聞き、自分も中城村と交流したいと感じた村系人の割合 75%	3名 100%		
4	1	中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	H24 ~ H33	「郷土の歴史・文化についての学習」の充実を図るため、小学校で「中城ごさまる科」副読本のデジタル教材化を行うとともに、小中学校において授業運営等についての教材研究会を実施する。	・小学校「中城ごさまる科」3・4・6年副読本デジタル教材の整備完了 ・児童アンケートにおいて、中城ごさまる科への興味関心度70%以上	DVDの完成 81%		
4	2	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ~ H33	児童生徒がコンピュータ・や情報通信ネットワークに慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報教育補助員を配置し、授業支援や環境整備を行う。	・ICT機器の授業への活用率： 週5時間以上の活用 80%	80%		
4	3	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ~ H33	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。 また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	特別支援員 ・保護者アンケート(満足度70%) 教育相談員・心理相談員 ・来室相談 約300件 ・電話相談 約110件	80% 413件 109件		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	4	国際理解人材育成事業	H24 ~ H33	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成のため、英語指導の補助員を配置し、学校の外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	・英語への興味関心が高まった生徒 70%	89%		
4	5	ごさまる学力パワーアップ事業	H25 ~ H28	生徒の学習意欲を引き出し、確かな学力を身につけるためには、その日の学びの定着や繰り返し学習が必要である。そのため、「学習定着のための機会」の場を提供することにより、中学生の補習を中心に本事業を実施する。	・受講人数 平日、定期テスト前講座：50人 長期休業中補習講座：60人	48人/日 16/日	未	
4	6	ハブ対策防除整備事業	H27 ~ H28	村内に頻繁にハブが発見されることから、学校内でのハブによる咬傷被害が予測され、児童の安心安全な学習環境を確保するために、ハブ防除としてハブの侵入を防止する防除壁及びフェンスを設置する。	・H29年度供用開始に向けた事業の着実な実施 (設計・測量・地質調査委託業務の完了)	完了		
5	1	とよむ中城産業まつり事業	H24 ~ H33	中城村内で生産、製造又は提供される産業製品を村内外にPRし、知名度の向上を目指して開催される「とよむ中城産業まつり」を支援する。	・とよむ中城産業まつり来場者数 H27:5千人 (基準値:H24 約3,000人)	5,894人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	2	島ニンジン栽培研究事業	H27 ~ H31	中城村で古くから生産されてきた伝統野菜「島ニンジン」の品質向上を図るため、品質改善及び栽培方法の確立を目的とした調査研究をする。	・環境要因が島ニンジンの着色及びその他主要形質に与える影響の把握 ・選抜した在来集団から改良集団を獲得	環境要因が与える着色形質影響の把握 優良集団の獲得		
6	1	文化財悉皆調査事業	H25 ~ H29	村民の文化財保護意識高揚と活用を図るため、文化財調査員(嘱託員)による村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置や現況を把握する。	・悉皆調査率 38% (H27年度末調査済 7字 / 全体計画 18字)	38% 4カ字		
7	1	(仮称)護佐丸歴史資料図書館の整備事業	H24 ~ H27	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について学べる場所であり、それらを村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、また、災害時の安全を確保するため防災タワーも兼ねた複合施設として、(仮称)護佐丸歴史資料図書館の整備を行う。	・H28年(仮称)護佐丸歴史資料図書館供用開始に向けた事業の着実な実施 (建築工事の完了)	工事完了		
7	2	(仮称)護佐丸歴史資料図書館ソフト整備事業	H27 ~ H32	(仮称)護佐丸歴史資料図書館の整備を行うとともに、平成28年度の資料館開館に向けた、施設内の各種システムの構築や備品購入等、施設のソフト面の整備を実施する。	・H28年(仮称)護佐丸歴史資料図書館供用開始に向けた事業の着実な実施 (システム構築等施設内部の整備完了)	実施		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

[凡例]
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	1		世代間交流・人材育成・防災避難拠点施設整備事業	H26 ~ H28	有形・無形の文化遺産を次世代へ継承していきながら、「地域の子は地域で育てる」という意識を養い、各世代の特性を生かした子育て支援を行える環境を整備し、地域防災や避難等の意識向上を図るため、世代間交流・人材育成・防災避難拠点施設の整備を実施する。 平成27年度は実施設計を行う。	・H29年度供用開始に向けた事業の着実な実施 (設計委託業務の完了)	実施	
9	1		海外移住者交流振興事業	H27	海外在住の県人会や村人会との交流や、村の振興に寄与する団体を海外公演に派遣し、国際交流を図りながら中城村の魅力発信するため、観光推進協議会に支援を行う。	海外公演 1回 県系人、村系人との交流 報告会の開催	実施	
10	1		中城村緑化推進施設整備事業	H27	観光推進を図るため、ハウスや肥料小屋等の苗の生産施設を整備し、村花(ハイビスカス)・村木(黒木)・ツワブキを中心とした苗の生産を行い、その苗を地域の緑化活動を行っている団体等に配付し、観光地を中心に村内の各地域に植栽する。それにより、沖縄らしい美しい景観形成を図り、地域の活性化また、更なる観光客誘致を目指す。	H28年度からの苗の生産開始に向けた事業の着実な実施(苗の生産施設の整備完了)		繰
11	1		新しい公共交通モデル事業	H27	村における交通弱者対策、観光振興及び児童生徒の登下校支援を目的とした公共交通の在り方について検討するためのモデル形成事業を実施する。	新しい公共交通の実施に向けた運営方法・運行ルート等の策定		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	公園樹木等環境整備事業	H24 ~ H28	観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。	【施設利用者数】 西原運動公園…サッカーキャンプ誘致 H25 100,000人 H27 120,000人(目標) 東崎公園 東崎都市緑地>マリノパーク周辺整備 H23 500,000人 H27 545,000人(目標)	【施設利用者数】 西原運動公園…サッカーキャンプ誘致 H25 100,000人 H27 150,000人 東崎公園 東崎都市緑地>マリノパーク周辺整備 H23 500,000人 H27 800,000人		
1	2	文化財及び文化財周辺環境美化・整備事業	H25 ~ H33	観光振興及び文化財保護の観点から、町内に散在する文化財及び文化財周辺域の環境美化・整備を実施する。 また、今後これら文化財の活用を図るため、文化財ガイドの育成を図る。	・文化財巡り等イベント参加者:計70名	・文化財巡り等イベント参加者:計77名		
1	3	文化財保存活用事業	H26 ~ H33	文化財は各地域において長い歴史を経て育まれてきたものである。沖縄県ひいては町固有の文化財を継承していくためには、その価値を把握し、指定等により保護していくことが必要とされている。 文化財の記録保存と保存活用のための方針として、基本構想や保存管理計画書を策定し、整備を図る。	・歴史文化基本構想素案(前編)の作成の着実な実施 ・主要文化財(4/10カ所)測量記録による保存整備資料の完了 ・旧西原村役場壕を町文化財に指定する	・歴史文化基本構想素案(前編)の作成の着実な実施 ・主要文化財(4/10カ所)測量記録による保存整備資料の完了 ・旧西原村役場壕を町文化財に指定した		
1	4	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ~ H27	本町の地域特性を活かし、自然と文化、都市が調和した沖縄らしい風景・景観を保全するため、景観法に基づく景観計画を策定する。	景観条例案の策定	景観条例案の策定		
1	5	農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業	H25 ~ H29	地域特産品販売・消費できる農水産物直売所を中心に伝統文化等の地域資源の展示・紹介・イベント広場等の施設及び加工所並びにレストラン等の諸施設を集約し、地域振興の拠点施設として活用を図りながら集客と観光資源の情報を発信し本町の地域活性化を図る。	H29年度末供用開始に向けた事業の着実な実施 (基本・実施設計の完了、用地取得)		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6	尚円王生誕600年記念事業	H27	現在整備がすすめられている国指定史跡「内間御殿」は、第2尚氏初代の王・尚円王の旧宅跡であり西原町の歴史文化を語る上でも重要な文化財となっている。平成27年度は、尚円王生誕600年を迎えることから、本事業では尚円王を題材にした新作組踊上演会や、連続講座及びシンポジウムを開催することで、町民ひいては沖縄県民に周知をはかり、集客の場を設ける。	・連続講座受講者数:延べ300名 ・シンポジウム来場者数:300名 ・展示会来場者数:100名 ・組踊「内間御鎖金丸」観客数:500名 ・伊是名村との児童交流事業参加者:1回×20名	・連続講座受講者数:延べ434名 ・シンポジウム来場者数:86名 ・展示会来場者数:361名 ・組踊「内間御鎖金丸」観客数:500名 ・伊是名村との児童交流事業参加者:1回×20名		
1	7	西原まつり運営事業	H27	町民相互の親善交流・融和を通し、より一層の町民意識の高揚及び地域産業・芸能・文化の振興を図り、県内外からの誘客に繋げるため、第20回西原まつりを開催し、地域の活性化を図る。	まつり来場者数 37,000人 (参考H23 35,000人)	まつり来場者数 29,507人 (参考H23 35,000人)		
1	8	西原町観光振興事業	H27 ~ H31	西原町観光キャラクターを活用した西原町のPR活動を展開する。また、県内外において顕著な活動をし、本町の認知度の向上などの本町の観光振興に寄与する個人や団体に対し活動を支援する。	各種イベント出演回数 60回/年 活動支援団体のイベント出演 年5回	各種イベント出演回数 63回/年 活動支援団体のイベント出演 年5回		
2	1	小学校英語活動指導員派遣事業	H24 ~ H33	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。 児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	・英語の授業が「好き」と答えた児童が70%以上	・英語の授業が「好き」と答えた児童が96%		
2	2	中学校英語活動指導員派遣事業	H26 ~ H33	生徒の英語発音やコミュニケーション能力並びに国際理解教育の向上を目的に、英語活動支援員を配置し、英語教育の充実を図る。	中学校3年の卒業の段階で、英検3級の実力を有する生徒が10%	中学校3年の卒業の段階で、英検3級の実力を有する生徒が37%		
2	3	教育相談員配置事業	H24 ~ H33	学校教育に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対する相談窓口として、また、学校及び教育委員会等のパイプ役として、町教育委員会教育相談室に教育相談員を配置する。	・教育相談員への相談件数:700件 ・教育相談をした児童生徒・保護者等の30%が、個々に抱える課題が改善されたと思う	・教育相談員への相談件数:1,103件 ・教育相談をした児童生徒・保護者等の66.6%が、個々に抱える課題が改善されたと思った		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4	学習支援員配置事業	H25 ~ H33	全国学習状況調査で、全国最下位という結果が続く本県において、児童生徒の学力向上及び人材育成を図るため、町内小中学校に学習支援員を配置する。	・全国学習状況調査で 小学校:町平均点が全国平均以上 (参考 H26実績:全国平均) 中学校:町平均点が全国平均の-5%以内 (参考 H26実績:全国平均-7%)	・全国学習状況調査で 小学校:町平均点が全国平均以上 (参考 H26実績:全国平均) 中学校:町平均点が全国平均の-0.5% (参考 H26実績:全国平均-7%)		
2	5	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ H33	教育振興の観点から、特別な支援を要する児童生徒に対し、個に応じたきめ細やかな支援を行うため町内小中学校に特別支援教育支援員を配置し、支援体制の拡充と質の向上を図る。	・特別な支援を要する児童・生徒に応じたきめ細やかな支援の充実	・特別な支援を要する児童・生徒に応じたきめ細やかな支援の充実		
2	6	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	心身の発達に支援を必要とする幼児を幼稚園に受け入れ、集団保育の中で支援児に対する適切な指導を実施するために必要な幼稚園特別支援教育支援員を配置する。	・特別な支援を要する幼児に応じた支援対応の充実	・特別な支援を要する幼児に応じた支援対応の充実		
2	7	児童生徒県外派遣支援事業	H26 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、沖縄県を代表して派遣される児童生徒の運動競技や文化活動の大会等に対し、県外大会派遣費用の支援を行う。	・県外派遣支援による経済的負担の軽減	・県外派遣支援による経済的負担の軽減		
2	8	西原町中学生海外短期留学派遣事業	H26 ~ H33	西原町の中学生を海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広めるとともに、海外青少年との友情を深め、国際性を身につけ、21世紀の国際社会に対応できる青少年の育成を図る。	町スキットコンテストへの参加 国際社会への意識の向上 (帰国報告会の中で、今後の取り組みを発表させて、検証する)	町スキットコンテストへの参加 国際社会への意識の向上 (帰国報告会の中で、今後の取り組みを発表させて、検証する)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	9	教育情報化支援事業	H25 ~ H30	ICT機器を活用した「わかる授業」を円滑に行うことができるよう、各小中学校にICT支援員を派遣する。また、平成27年度版小学校教科書に合わせたデジタル教科書を購入する。 積極的にICTを活用した授業を重ねることにより普通の授業の理解度を高め、将来の沖縄振興に資する人材育成及び児童生徒の学力・情報活用能力等の向上につなげる。	・授業の分かりやすさの向上 (アンケート 50%以上)	・授業の分かりやすさの向上 (アンケート 83.8%)		
2	10	しまくとぅば継承・推進事業	H26 ~ H28	大人から幼時までしまくとぅばを話せるようにするために、町内の幼稚園・小学生・中学生・高校生(学生と教師)・自治会・老人会を募り、うちなー芝居へ出演する。これにより、うちなー芝居を見に来た人に興味や良さを認識してもらい、自らしまくとぅばを話したい、学びたいという意識高揚も図り、沖縄のこゝろ文化を大切に継承していくことを目指す。	・しまくとぅば講座受講生 40人 (参考H26年度24人) ・成果発表会来場者数 450人 (参考H26年度386人) ・来場者にしまくとぅばを日常会話で話す割合 14% (H26年度アンケート 11%)	・しまくとぅば講座受講生 27人 ・成果発表会来場者数 390人 ・来場者にしまくとぅばを日常会話で話す割合 19%		
2	11	学校給食衛生管理機能拡充事業	H27	沖縄県は高温多湿な気候のため、食中毒病原菌の発育至適温度帯になりやすく、真空冷却機を設置し調理時間の短縮によって安全性を確保し、安心安全な給食の提供を確保する。	学校給食での安心・安全な給食提供の確保ができる。	学校給食での安心・安全な給食提供の確保ができた。		
2	12	登校支援員配置事業	H27 ~ H33	毎年度文部科学省が実施する問題行動調査において、沖縄県の不登校児童生徒の数は全国と比較して多い状況がある。本町においても、不登校児童生徒及び10日から29日の欠席児童生徒の数が多く、そこで、登校支援員を配置し、不登校の児童生徒の学校復帰を支援していく。	不登校児童生徒の減少に取り組む	不登校児童生徒の減少に取り組んだが、増加した。	未	
3	1	ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業	H24 ~ H27	ICT技術を活用した観光振興を図るため、観光サイトに動画投稿型サイトを追加し、観光アプリにおいては観光キャラクターを活用することで魅力を強化する。そして、従来からの映像祭及びそれに係る人材育成とこれらの取組を通して本町の観光情報を広く発信していく。	映像アーカイブサイトへの動画投稿数 10本 ポータルサイトPV数 5,000件/月 アプリ DL数50本 映像祭への応募動画 10件 人材育成数 15名	映像アーカイブサイトへの動画投稿数 309本 ポータルサイトPV数 7,659件/月 アプリ DL数10本 映像祭への応募動画 0件 人材育成数 0名		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	西原町平和推進プロジェクト事業	H25 ~ H29	第二次世界大戦で唯一地上戦となった沖縄戦の愛情を風化させることなく後世へ継承し、平和思想を世界に発信するため、西原町平和音楽祭や平和講演会を開催する。	西原町平和音楽祭観客動員数1,700人 (参考H26実績 1,650人)	西原町平和音楽祭観客動員数1,750人 (参考H26実績 1,650人)		
5	1	認可外保育施設支援事業	H25 ~ H28	認可外保育施設において安心して子どもを預けられるようにするため、支援員を派遣し、保育士の事務負担を軽減し、もって保育業務に専念できる環境を整備するとともに、認可外保育施設の各クラスの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・役場窓口にて認可外保育施設の空き状況、保育料、保育方針等の最新情報の提供。 ・各認可外保育施設からの提出書類等の迅速化と保育従事者の保育従事時間の確保。	・役場窓口にて認可外保育施設の空き状況、保育料、保育方針等の最新情報の提供。 ・各認可外保育施設からの提出書類等の迅速化と保育従事者の保育従事時間の確保。		
5	2	西原町放課後児童クラブ障がい児保育支援事業	H26 ~ H33	西原町内にある学童クラブに対し、潜在的な障がい児童を把握しその児童に携わる支援員を配置することで、障がい児童の学童保育ニーズにこたえることができる放課後児童クラブの実現を目指す。	・サポートプラン(個別指導計画)の作成・支援実施を強化、整備率の向上 50% 平成26年度実績(3月現在) 児童数:29名 サポートプラン整備13名 整備率:44.8% ・学童クラブ間の支援対象児受入管理の仕組み作り検討	・サポートプラン(個別指導計画)の作成・支援実施を強化、整備率の向上 83.7% ・学童クラブ間の支援対象児受入管理の仕組み作り検討中		
5	3	西原町放課後児童クラブ事務支援事業	H27 ~ H29	安心して子どもを預けられる学童を整備するため、支援員を派遣し、学童の会計・事務管理の支援を図る。これにより学童の指導員の事務的・精神的負担を大幅に軽減し、もって指導員が保育業務に専念できる環境を提供することで、児童の健全育成を図る。また、各学童クラブの定員空き状況の集約や施設相互の情報交換等の連携補助を支援員が行うことにより、町民への迅速な情報提供体制の構築及び施設の質の向上を図る。	・指導員の保育業務向上を図れる環境整備 ・各学童の施設情報・空き状況の情報提供	・指導員の保育業務向上を図れる環境整備 ・各学童の施設情報・空き状況の情報提供		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	1	地域健康づくりモデル事業	H26 ~ H28	沖縄の健康課題である肥満を解決するために、フードモデルを活用した体験型栄養教育を行い、住民が自らの力で肥満を予防するための食を選択できるスキルの習得を目指す。	事業の前後にアンケートを実施し評価 ・事業後に自分の適正体重を維持する事が出来る食事がわからない人の減少 (現状:5% 目標値:3%未満) ・自分の食事に対して改善意欲がある人の増加。(現状:60% 目標値:80%)	事業の前後にアンケートを実施し評価 ・事業後に自分の適正体重を維持する事が出来る食事がわからない人の減少 (5%) ・自分の食事に対して改善意欲がある人の増加。(60%)	未	
7	1	農家経営安定支援事業	H26 ~ H31	栽培技術指導・農業経営相談のための営農指導員を配置することにより、既存農家の栽培技術向上による高品質農産物の安定生産と農業経営の改善による農家経営の安定を図るとともに農業後継者の育成を図る。	農家経営・栽培指導台帳の整備(指導農家数)	農家経営・栽培指導台帳の整備(指導農家数)		
7	2	農産物生産性向上対策支援事業	H27	都市近郊農業の推進と地産池消推進、地域限定ブランド化の推進を図るため、農産物の安定生産や小規模農家や既存農家の負担軽減などにより、地域の消費需要に対応した多様な品目の生産に取組むため、JA他、町長が認める団体が導入する農業用施設に対する費用の一部を支援することで農業生産の向上を図る。	導入施設での葉茎菜類の生産 37,000kg (2年目以降は生産量の増加)	導入施設での葉茎菜類の生産 0kg (2年目以降は生産量の増加)	未	
8	1	災害時等避難情報提供掲示板設置事業	H27 ~ H28	ハザードマップの周知、および津波・地震などの災害時に住民や町への来訪者等が速やかに安全な場所に避難できるようにするために住民等が集まりやすい(気づきやすい)場所に、避難所・経路、行政情報等を記載・掲示する防災掲示板を設置し、防災情報の提供と周知を図る。これにより防災体制の強化を図る。	H28掲示板設置の着実な実施 (掲示板設計書の完了)	H28掲示板設置の着実な実施 (掲示板設計書の完了)		
8	3	災害時備蓄食糧・保管倉庫等整備事業	H27	大規模災害には食糧等物資の到着が遅れることが想定され食糧不足が懸念される。平時より避難所である各小中学校等に食糧等を備蓄し、備蓄食糧を保管する倉庫の設置も併せて行う。	小・中学校の避難所体制確立 (備蓄食糧等保管庫を設置することにより小中学校が指定避難所であるということを周知できる。 児童生徒への防災意識の高揚を図ることができる)	小・中学校の避難所体制確立 (備蓄食糧等保管庫を設置することにより小中学校が指定避難所であるということを周知できる。 児童生徒への防災意識の高揚を図ることができる)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	4	災害時避難所施設整備事業	H27 ~ H29	東日本大震災の津波被害により防災意識の高揚が叫ばれる中、本町では自主防災組織結成等「自助」を強化する必要性が急務である。そのため地域住民の自主防災力(自助)を強化するため、自主防災組織の組織力向上や啓発活動を行う場として施設整備し、地域の防災力向上を図る。(災害資料館や防災講演会を行う場の建設)	H30年供用開始に向けた事業の着実な実施(基本設計完了・用地鑑定業務の完了)	H30年供用開始に向けた事業の着実な実施(基本設計完了・用地鑑定業務の完了)		
9	1	沖縄特殊戸籍システム導入事業	H27	沖縄戦で消失した戸籍簿の代替として整備された仮戸籍等(仮戸籍申告書、福岡戸籍、臨時戸籍)を電子化することにより長期保存可能な状態にする。	原本の劣化を防止し、代替物により長期保存を可能とする	原本の劣化を防止し、代替物により長期保存を可能とした		
10	1	里道及び水路の境界確定復元事業	H27	戦後、地積が確定されないままに家屋等が建築された箇所が多々あり、境界確定復元の基準点測量を実施し、現況と公図が合致して居ない箇所を把握することで公共用地の適正な管理を図る。	今後、4級基準点及び里道及び水路の地積測量実施の条件整備完了	今後、4級基準点及び里道及び水路の地積測量実施の条件整備完了		
11	1	町民交流センター施設活性化事業	H27 ~ H29	町民の文化・芸術活動の創造、発表、鑑賞の場の交流拠点として整備された、西原町町民交流センターにおいて、各種イベントを計画及び実施し、施設の活性化を図る。また、様々なイベントの演出等に対応できるよう、町民交流センター施設の備品整備を行い、音響や照明等の機能強化を実施する。	・イベント実施による集客数 1,350人	・イベント実施による集客数 1,530人		
12	1	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ~ H31	求職者ひとりひとりに寄り添う形での就職支援を行うとともに、就職セミナーやスキルアップ講座などを定期的に関催し、ひとりでも多くの町民がなるべく町内で就業できるよう支援していく。 また、町内事業所に呼びかけて「町民雇用サポート隊(仮称)」を結成し、隠れた求人ニーズの掘り起こしを行い、町内企業の活性化を図りながら町民と企業の結びつきを密にするような就職サポートを行っていく。	新規就業者 5人 スキルアップ講座受講者数 延べ30人 求人情報の掘り起こし 5件 町民雇用サポート隊の認定企業数 10社	新規就業者 8人 スキルアップ講座受講者数 延べ95人 求人情報の掘り起こし 193件 町民雇用サポート隊の認定企業数 13社		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
12	2		地域型就業意識向上支援事業	H27 ～ H31	<p>本町に在住する高校生及び大学生が共に連携協力し、産(西原町商工会)官(西原町役場産業課)学(琉球大学農学部)の包括連携協定を活用して就業意識を向上するための商品販売活動や県外での視察研修や学生との交流などを実施する。この活動を通し、高校生・大学生には企画力、問題解決能力などの自己研鑽能力の向上はもとより、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を育んでいく。</p> <p>また、小中学生の就業意識向上を図るために地域の企業が講師となるお仕事体験イベント「グッジョブにしはら わくわくワーク」を開催する。</p>	<p>高校生、大学生への就業意識向上 (アンケート調査実施)</p> <p>グッジョブにしはら わくわくワークの来場者600名 わくわくワークでの小中学生の就業意識向上 (アンケート調査実施)</p>	<p>高校生、大学生への就業意識向上 (アンケート調査実施)</p> <p>グッジョブにしはら わくわくワークの来場者1,000名 わくわくワークでの小中学生の就業意識向上 (アンケート調査実施)</p>	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	地域活性化イベント支援事業	H24 ~ H33	観光振興と商工業振興を図るため、商店街大通りに おいて開催されるイベント実施に要する経費の助成 を行う。	集客数5,000人(基準値:H25年2400人)	集客数3,400人	未	
1	2	滞在型観光構築推進事業	H25 ~ H33	観光振興による地域の活性化に向け観光ガイド養 成、地域の情報発信及び民泊受入家庭の発掘等 を行い、地域への波及効果を創出する仕組みを構築す る。	・H27まち歩き参加者目標数:180名 (参考 H26まち歩き参加者90名) ・H27町内宿泊者目標数:500名 (参考 H26町内宿泊者数400名)	・H27まち歩き参加者目標数:90名 ・H27町内宿泊者目標数:101名	未	
1	3	商工会青年部南北交流支 援事業	H24 ~ H33	若年交流を通して沖縄のPRを図るとともに、将来の リピーターを生み出すことで、誘客と観光振興につな げることを目的として、本商工会青年部と北海道浜中 町商工会青年部が共同して行う「南北青少年少女体験 交流」への支援を実施する。	・交流事業以外で27年度中に浜中町から本 町を訪れる観光客数30名	・交流事業以外で27年度中に浜中町から本 町を訪れた観光客数23名		
1	4	地域特産品開発・販路開拓 支援事業	H26 ~ H28	本町の周遊・滞在型観光を促進するため、地域資源 を活用した特産品の開発と販売促進、販路開拓を図 る活動支援を行う。	・ブラッシュアップした既存商品の売上を3 0%アップ ・新商品の開発(2品)	・既存商品のブラッシュアップ未実施 ・新商品未開発	未	
1	5	観光地美化・緑化きれいな まちづくり事業	H24 ~ H29	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安 心・安全で気持ちよく町内を回遊できるように環境美 化・整備を行い観光振興を図る。	・観光客が安心安全に、沖縄らしい風景を楽 しみながら回遊できる環境の整備 ・植栽工事進捗率 71% (全体計画7km、うち完了5km)	・環境整備率 80% ・植栽工事進捗率 85%		
1	6	与那原町魅力発信事業	H26 ~ H33	与那原町の魅力を県内外に発信するため、また観光 客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな 観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・軽便与那原駅舎をPRするイベント 150名参 加 ・来訪者と町民の交流施設をPRするイベント 600名参加 ・ヨナバルマジックPR看板設置による与那原 町の魅力発信	・軽便与那原駅舎をPRするイベント 349名参 加 ・来訪者と町民の交流施設をPRするイベント 1,359名参 加 ・ヨナバルマジックPR看板設置により与那原町 の魅力発信がなされた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	来訪者と町民の交流施設整備事業	H24 ~ H27	来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備し、将来のリピーターを生み出し持続可能な観光振興を図る。また、台風や地震といった災害時には来訪者の避難施設として活用し、安全安心な観光受け入れ体制を整備し本町の観光振興を図る。	・観光交流施設の運用開始 平成27年度 10月~3月 来場者数 45,000人	・観光交流施設の運用開始 平成27年度 10月~3月 来場者数 18,700人	未	
3	1	軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業	H24 ~ H27	与那原駅跡を復元し、軽便鉄道の歴史を感じる与那原町の新しい観光スポットとして公園、外構、内部展示室及び施設案内板設置等の整備を行い、本町の観光振興を図る。	平成27年度来場者数 目標9,000人	平成27年度来場者数 5,540人	未	
4	1	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ~ H33	児童生徒の学力向上及び人材育成を目指し、わかりやすい授業を行う為の電子黒板等ICT機器を、中学校の全教室に整備する。また教師のICTを活用した授業改善及び児童生徒のICT活用を支援する情報教育支援員を、各小学校へ配置する。	・パソコンの基本操作習得目標到達率 60%以上 習得目標到達率…各学年ごとに習得すべき基本操作項目を目標として設定し判定する。 ・全国学力・学習状況調査での全国平均との差 小学校(6年生) H26年+0.2 H27年+0.4 中学校(3年生) H26年-6.2 H27年-6.0	・パソコンの基本操作習得目標到達率 77% ・全国学力・学習状況調査での全国平均との差 小学校(6年生) H27年+0.62 中学校(3年生) H27年-1.82		
4	2	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ~ H33	特別な支援を要する児童生徒に対し、早期からの支援や適切な支援を行う為の特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーの配置を行い、学習の遅れ気味の児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為の学習支援員・特別支援員を配置する。また放課後の児童の学びのサポートとして、放課後学習支援員を配置する。	・全国学力・学習状況調査での全国平均との差 小学校(6年生) H26年+0.2 H27年+0.4 中学校(3年生) H26年-6.2 H27年-6.0	・全国学力・学習状況調査での全国平均との差 小学校(6年生) H27年+0.62 中学校(3年生) H27年-1.82		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	3	国際理解人材育成事業	H24 ~ H33	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員(ALT)の他に英語指導の補助員を配置し、外国語活動及び国際理解教育を充実させる。 また、放課後や休日に児童生徒がスポーツ等好きなことを通して、生きた英会話や国際感覚を身につける、スポーツイングリッシュスクールを開講する。	・英語検定取得(1~4級)145人(平成27年度中) (参考年度実績 平成24年度116人)	・英語検定取得(1~4級)113人		
5	4	町立学校運動環境整備事業	H27	児童生徒の学習環境向上を図る為、潮風・太陽の照りつけでの砂埃・暑さの状況改善の整備を行う。	スプリンクラー購入及び芝張り工事による学習環境の向上	スプリンクラー購入及び芝張り工事完了による学習環境の向上		
5	1	ほっとハート子育て応援事業	H24 ~ H33	0歳児の待機児童対策を目的に、児童を安全に受け入れるため看護師を雇用する認可保育所を支援する。	0歳児待機児童数 H26(10月)38名 H27(10月)23名	0歳児待機児童数 H27(10月)36名	未	
6	1	与那原町景観形成強化事業	H24 ~ H27	本町は、沖縄らしい風景を象徴する赤瓦の県内唯一の生産地であることから、赤瓦を利用した与那原町らしいまちづくりを促進し観光振興を図る為、景観計画を策定する。	景観条例制定に向けた条件整備 (景観計画、景観条例(案)の策定)	景観計画策定完了		
7	1	与那原町墓地整備事業	H26 ~ H33	本町では狭隘な土地と急速な人口増加により市街地と墓地区域が混在・近接しており、優良な市街地の形成と新たな土地開発、景観形成を推進するため墓地の集積に取り組む。	墓地の規制、集積方法、公営墓地整備の方向性の整理(「与那原町墓地整備実施計画」の策定) 墓地の集積に向けた具体的な公営墓地のあり方の整理(「与那原町公営墓地整備基本計画」を策定)	・与那原町墓地整備実施計画策定完了 ・与那原町公営墓地整備基本計画策定完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
8	1	地球温暖化を防止するための循環型社会形成事業	H26 ~ H28	異常気象の要因や、生態系への影響が懸念される地球温暖化への対策として策定された「与那原町地球温暖化防止実行計画」を達成する取組みの一つとして、町内全域の防犯灯、街路灯をLED化するとともに、気象講演会の開催、フラッグの掲示を行い、町全体として温室効果ガスである二酸化炭素の排出抑制に取り組む。	・防犯灯のLED化による二酸化炭素排出量抑制 3,600kg ・説明会及び気象講演会参加者 100名 ・町全体での地球温暖化対策推進に向けた環境整備	・防犯灯のLED化による二酸化炭素排出量抑制 3,714kg ・説明会及び気象講演会参加者 18名 ・町全体での地球温暖化対策推進に向けた環境整備として、講演会・啓発フラッグの掲示		
9	1	「御新下り」関連史跡復元・周辺整備・歴史資料館(仮称)整備事業	H27 ~ H29	歴史・文化を後世に継承し、歴史文化を発信する為、「御新下り」関連の史跡等を復元し、歴史資産を構築し、新たな観光資源としての活用を図る。更に安全に来訪者を迎えるため周辺整備を行う。	・施設整備に向けた方向性の整理(整備基本計画の策定)		緑	
10	1	与那原町AEDステーション設置事業	H27	救助者にとって目印となり利用しやすい24時間営業店舗に自動体外式除細動器(AED)を設置し、町民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	・緊急事態発生時に救急車が到着するまでAEDを使用した救命処置が行える体制の整備。	・緊急事態発生時に救急車が到着するまでAEDを使用した救命処置が行える体制の整備完了		
11	1	防災情報システム整備事業	H27 ~ H28	来訪者及び町民への災害情報伝達手段の多様化・重層化を図るため、本町の地勢にあった防災情報システムの整備・構築を図る。	・実施設計に向けた基礎資料の整理完了	実施設計に向けた基礎資料の整理完了		
11	2	避難誘導情報サイン整備事業	H27 ~ H28	来訪者や町民への適正な避難誘導を促し、ひいては「歩いて楽しむ観光」を推進するため、避難誘導標識システム構築を目指し、ユニバーサルデザインを踏まえた基本計画及び実施設計を策定する。	・サイン整備に向けた資料の整理完了	サイン整備に向けた資料の整理完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
12	1	与那原町「記憶資源」保存活用事業	H27 ~ H28	既存の網走資料館の現状と課題を洗い出し、資料展示の刷新を行う。与那原町の魅力を町内外へ発信する展示活動と、来客数増加計画策定及び活動のために必要な資料・情報の収集並びに調査研究活動を実施する。町内の高齢者や情報提供者・協力者とのネットワークを構築し、地域を巻き込んだ調査活動を展開する。	・高齢者と連携した調査による文化と生活史の記録保存 ・資料館の円滑な企画展活動の実施 年間来館者数2,000人 ・HPアクセス目標:月50件	・高齢者と連携した調査による文化と生活史の記録保存 (聞き取り調査54件 目標50件) ・資料館の円滑な企画展活動の実施 年間来館者数2,455人 ・HPアクセス目標:月87件		
13	1	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ~ H33	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、PR大使として友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・与那原町での交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合:70% ・帰国後の研修報告会でのアンケート 沖縄・与那原に関心がある人の割合:70% ・PR大使としての活動	・与那原町での交流会でのアンケート 国際交流に関心がある人の割合:85% ・帰国後の研修報告会でのアンケート 未実施 ・PR大使としての活動 (沖縄料理の普及活動相撲大会への出場等)		
14	1	与那原町沖縄関係戸籍電子化事業	H27	戦災滅失した戸籍を再製するために作成された町保管の仮戸籍申告書、臨時戸籍及び福岡戸籍を電子化することで、原本の汚損、破損、による滅失、散逸を防ぎ、貴重な行政証明の資料及び、歴史的文書として永続的な保管を実施する。また、電子化することにより円滑な検索、証明発行ができるようにする。	仮戸籍申告書、臨時戸籍、福岡戸籍の電子化率 100%	仮戸籍申告書、臨時戸籍、福岡戸籍の電子化率 100%		
15	1	与那原町ウォーターフロント整備事業	H25 ~ H28	中城湾港マリンタウンプロジェクトにより造成された東浜地区と既成市街地との間の東浜水路を新たな観光資源として活用するため、東浜水路沿いに修景施設等の整備及び憩いの広場の造成工事等を進める。	東浜水路の観光活用に向けた基盤整備率70%		繰	
16	1	公立幼稚園保育環境整備事業	H27~H33	働きながらでも安心して子育て出来る与那原町をめざし、保護者の就労形態に対応できる幼稚園保育を充実させるため、保育時間の延長と給食の提供を開始する(平成28年度~)、それらに伴う保育環境整備を行う。	保育時間延長と給食開始に伴う保育環境整備、完了	保育時間延長と給食開始に伴う保育環境整備完了 (空調機 4機 コンテナ 2台 配膳台 8台)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	青少年国際交流事業	H24 ~ H33	町内の青少年リーダーを海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。研修を通して国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年リーダーの育成を図る。また、参加した青少年達に対して事後活動を定期的に行い、地域で自主的な活動を行えるようサポートする。	・報告会の実施などを通じた参加者の意識向上 (内容)アンケート実施。外国語や海外文化、移民への興味を持った生徒の割合 70%を目指す。	・報告会の実施などを通じた参加者の意識向上 (内容)アンケート実施。外国語や海外文化、移民への興味を持った生徒の割合 90%		
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ~ H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	英語を話す児童の割合60%以上(アンケート)	英語を話す児童の割合80%(アンケート)		
1	3	学力調査等事業	H24 ~ H33	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上に向け、個々の児童生徒の学力、課題を把握するため学力調査等を行う。	調査結果を基に実態把握し指導 調査結果を基にきめ細やかな指導に向けた個々の児童生徒の学力実態の把握	調査結果を基に実態把握し指導し、調査結果を基にきめ細やかな指導に向けた個々の児童生徒の学力実態の把握を行えた		
1	4	学習支援員配置事業	H24 ~ H33	南風原町児童生徒の学力向上に向け、通常の授業ではついていけない児童生徒に対し学習支援員を配置し、授業の理解を深める。	標準学力調査全国平均標準スコアとの差 【小学校】 (1年)H26 0 H27 0 (現状維持) (2年)H26 -0.1 H27 0 (3年)H26 -0.4 H27 -0.3 (4年)H26 -1.1 H27 -1.0 (5年)H26 -1.9 H27 -1.8 (6年)H26 -2.2 H27 -2.1 【中学校】 (1年)H26 -6.2 H27 -6.1 (2年)H26 -5.1 H27 -5.0 (3年)H26 -1.8 H27 -1.8	標準学力調査全国平均標準スコアとの差 【小学校】 (1年)1.3 (2年)2.3 (3年)2.7 (4年)2.6 (5年)-2.7 (6年)2.1 【中学校】 (1年)-8.975 (2年)-8.42 (3年)-4.14		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ~ H33	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども(学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒)の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート(介助や安全確保)などを教師と連携して行う補助員を配置する。	標準学力調査全国平均標準スコアとの差 【小学校】 (1年)H26 0 H27 0 (現状維持) (2年)H26 -0.1 H27 0 (3年)H26 -0.4 H27 -0.3 (4年)H26 -1.1 H27 -1.0 (5年)H26 -1.9 H27 -1.8 (6年)H26 -2.2 H27 -2.1 【中学校】 (1年)H26 -6.2 H27 -6.1 (2年)H26 -5.1 H27 -5.0 (3年)H26 -1.8 H27 -1.8	標準学力調査全国平均標準スコアとの差 【小学校】 (1年)1.3 (2年)2.3 (3年)2.7 (4年)2.6 (5年)-2.7 (6年)2.1 【中学校】 (1年)-8.975 (2年)-8.42 (3年)-4.14		
1	6	学校ICT推進事業	H24 ~ H33	学校においてパソコン等機器を充実させ、わかりやすい授業を行なうことで、教育の質の向上を図り、学力向上やより良い人材の育成を行うための環境を整備する。また、ICT機器を活用した魅力ある授業を支援するため、ICT支援員を配置する。	標準学力調査全国平均標準スコアとの差 【小学校】 (1年)H26 0 H27 0 (現状維持) (2年)H26 -0.1 H27 0 (3年)H26 -0.4 H27 -0.3 (4年)H26 -1.1 H27 -1.0 (5年)H26 -1.9 H27 -1.8 (6年)H26 -2.2 H27 -2.1 【中学校】 (1年)H26 -6.2 H27 -6.1 (2年)H26 -5.1 H27 -5.0 (3年)H26 -1.8 H27 -1.8	標準学力調査全国平均標準スコアとの差 【小学校】 (1年)1.3 (2年)2.3 (3年)2.7 (4年)2.6 (5年)-2.7 (6年)2.1 【中学校】 (1年)-8.975 (2年)-8.42 (3年)-4.14		
1	7	児童生徒健全育成事業	H24 ~ H33	怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。	・怠学の原因を究明分析し、学校・福祉分野・地域との連携した結果を報告する。(連携事業の報告) ・自立支援教室指導員・教育相談員等にアンケートを実施し、「生活態度や登校日数が改善された」との回答を60%にする。	・怠学の原因を究明分析し、学校・福祉分野・地域との連携した結果を報告済み。 ・自立支援教室指導員・教育相談員等にアンケートを実施し、「生活態度や登校日数が改善された」との回答100%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	8		教育相談支援事業	H24 ~ H33	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談員などを小中学校に配置する。	・不登校の原因を究明分析し、学校・福祉分野・地域との連携した結果を報告する。(連携事業の報告) ・相談員にアンケートを実施し、「生活態度や登校日数が改善された」との回答を60%にする。	・不登校の原因を究明分析し、学校・福祉分野・地域との連携した結果を報告済み。 ・相談員にアンケートを実施し、「生活態度や登校日数が改善された」との回答を60%にする。	
1	9		中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ~ H33	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。	標準学力調査全国平均標準スコアとの差(英語) 【中学校】 (2年)H26 -5.8 H27 -5.7 (3年)H26 -3.1 H27 -3.0	標準学力調査全国平均標準スコアとの差(英語) 【中学校】 (2年)H26 -5.8 H27 -11.0 (3年)H26 -3.1 H27 -9.3	未
1	10		南風原町青年海外派遣事業	H25 ~ H33	本町の青年達を、特に移民先の南米やハワイへ派遣し、町人会や、移民の次世代の青年たちとの交流を深める。言語、文化理解をはじめ、移民の歴史や現在の状況、世界のあらゆる動きの中で同じ町の人として励まし合い、助け合う繋がりを構築できる人材を育成する。その成果を今後の町の将来を担うリーダーとしての自覚を持って活動をしてもらう。	研修後、派遣者に対してアンケートを実施 ・派遣後、移民史や海外の沖縄人の生活に興味を持った:100% ・派遣後、自分のコミュニケーション能力が高まったと思う:70%	研修後、派遣者に対してアンケートを実施 ・派遣後、移民史や海外の沖縄人の生活に興味を持った:100% ・派遣後、自分のコミュニケーション能力が高まったと思う:100%	
1	11		南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ~ H33	小・中学校の児童生徒が、県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費の支援をする。	大会派遣児童・生徒数:31人	大会派遣児童・生徒数:63人	
1	12		南風原町県外等派遣支援事業	H25 ~ H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外等へ派遣される場合に対して必要な派遣費用の支援を行う。	派遣児童・生徒数及び派遣青年会数(累計):140人	派遣児童・生徒数及び派遣青年会数(累計):139人	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	13	魅力的な体験学習事業	H25 ~ H33	サイエンスショーを開催し、机上の学習だけではなく体験学習を取り入れた授業を行うことで、児童の探究心や想像力を育て、学ぶことに対する「興味」「楽しさ」を実感してもらい、沖縄振興に資する人材育成を図る。	・理科への関心度:10%増加(鑑賞前 鑑賞後) (評価方法) サイエンスショー鑑賞前と鑑賞後に理科への興味・関心度に関するアンケートを実施。理科への関心度の変化を確認する。	・理科への関心度:2%増加(鑑賞前 鑑賞後)	未	
1	14	南風原町児童生徒県外交流事業	H25 ~ H33	県外の山間地域に児童生徒を派遣し、南風原町にない自然文化を体験し現地の中学校交流と民泊を実施することで幅広い視野を持った人材を育成する為に派遣費を補助する。具体的には徳島県つるぎ町に南風原町の小学校高学年及び中学生を派遣し、徳島県つるぎ町の半田中学校での交流・民泊交流、登山等を体験する。	・派遣者にアンケートや報告書(感想文)を実施し集計結果や分析を報告。 「楽しかったこと・びっくりしたこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。 「次回も継続して欲しいこと」の答えの50%以上に民泊交流・中学校交流が入るようにする。	・「楽しかったこと・びっくりしたこと」の回答に民泊・中学校交流と答えた割合 54% ・「次回も継続して欲しいこと」の回答に民泊・中学校交流と答えた割合 55%		
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ~ H33	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。町内の観光ルートの環境美化を町内の求職者を雇用して実施し、クリーンな南風原町を目指す。	・観光ルートの町道を草木の伐採等により景観美化を実施(延長L=12,600m)	L = 12,600m		
2	2	かすりの道活性化プロジェクト	H24 ~ H33	「かすりの道」を活用した魅力的な観光地づくり、まちづくりを促進するため地域住民参加による緑化活動、道並などの美化を行う。さらにイベントを開催することで認知度を高める。また、観光客やイベント参加者の受入体制の整備として、便益施設を整備する。	・イベント参加者:180人 ・かすりの道散策ツアー参加者360人(H25年実績250人) ・H28年4月の利用開始に向けた事業の着実な実施(トイレ整備の完成)	・イベント参加者:1998人 ・かすりの道散策ツアー参加者126人(H25年実績250人) ・H28年4月の利用開始に向けた事業の着実な実施(トイレ整備の完成)		
2	3	無料職業紹介所整備事業	H27 ~ H33	沖縄県は完全失業率が全国最下位であり、本町においても失業率は8.9%(H22国勢調査)と高い失業率となっていることから、求職者や企業に対して、より充実した雇用支援が必要である。そのため、町内の求職者に対して、就職だけでなく福祉や税等の面からも、身近な場所でより必要な支援が提供でき、スピーディーに企業に求職者を斡旋できるマッチングシステムを整備する。	・雇用マッチング 5件	・雇用マッチング 0件	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4	デザイン・くくり担い手育成事業	H24 ~ H33	本町の琉球絨は伝統工芸品として有名であり、その生産体制は分業体制で行われている。生産工程の一つである「デザイン・くくり」の技術者が現在少ない状況にあり、このままでは技術が失われる可能性があるため、「デザイン・くくり」の技術者を育成する。	・2年目計画達成率80%以上 2年目計画達成率…2年目は、1年目に習得した1ロット(3反分)から、1ロット(10反分)のデザインくくりの技術を習得する事を目標に、その技術をどれだけ習得しているかの達成率	・2年目計画達成率75%		
2	5	危険生物駆除事業	H27 ~ H28	来訪者等を沖縄特有の生物であるハブから守るため、町内でハブが生息している箇所にハブトラップを設置し、積極的に駆除を行うことにより安心・安全な観光地を目指す。	ハブ捕獲数50匹	ハブ捕獲数68匹		
2	7	南風原名人制度創設事業	H25 ~ H27	南風原町の地域人材を活用し、「得意なこと」を観光体験ツールで活用するため、「南風原名人制度」をつくる。 さらに、制度を活用し、滞在型観光に繋げていく。	・体験学習プログラム数:6件(H25実績4件) ・名人登録者(累計):45人(H25実績10人) ・体験者数:60名 ・作品展来場者:220人	・体験学習プログラム数:14件 ・名人登録者(累計):29人 ・体験者数:329人 ・作品展来場者:280人		
2	8	民泊啓発推進事業	H25 ~ H33	南風原町には宿泊施設がないため、滞在型観光の振興の妨げとなっている。宿泊体験の推進を図り、滞在型観光を促進するため、企画・運営職員を配置し、宿泊体験家庭の開拓やシステムの構築などを行って、観光推進体制を強化していく。	・宿泊体験受入数:90名 H26受入人数84人 ・新規受入学校:1校	・宿泊体験受入数:175名 ・新規受入学校:13校		
2	9	南風原地域発信力強化事業	H24 ~ H33	へちま生産日本一を誇る南風原町。本町では南風原産へちまの愛称を「南風原美瓜(びゅうりー)」と名付け、ブランド化を図っている。そのへちまを観光物産として元気、若いという良いイメージを付けて魅力を町内外に発信するため、ピューリーズというダンスユニットを結成し、活動する。	・新聞等へ活動掲載:5回 ・ラジオへの出演5回	4回 1回	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	10		ヒーローのまちづくり事業	H25 ~ H33	本町の観光振興、地域活性化のため、全国的ヒーローや、南風原町が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の観光情報発信を行うためイベントなどを定期的に行い、観光客を本町へ誘導する。	・イベント来客者数:500人 ・フォーラムの参加人数:500人 (H25実績:827人) ・脚本賞のイベント参加人数:1,000人	3,236人 50人	
2	11		シマじまガイド事業	H24 ~ H33	訪問客に地元の魅力をあますところなく伝え、南風原町の魅力を知っていただくため、着地型観光メニューとして「シマじまガイド」(名所案内巡り)を実施し、町内外からの観光客等を受け入れるシステム構築をし、観光振興を図る。	・ガイド回数:1回/人 ・シマじまガイド事業 年間利用者数:1,450人(H25年実績:1,458人)	3回/人 753名	
2	12		黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ~ H33	良好なスポ・ツ・トレ・ニング環境の提供により観光と結びつけたスポ・ツコンベンションの誘致、開催を図るため、黄金森公園スポ・ツ施設の機能強化と受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー-合宿利用者数:550人 (H27.4~H28.3) 【H25実績:528名】 ・キャンプ見学者数:10,000人 【H26年度実績:約10,000人】	1,207人 約8,000人	
2	13		南風原町中小企業現状調査分析事業	H27	「南風原町中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、町内の中小企業、小規模企業の振興を図るために、町内の事業所の現状や課題を把握する為の調査を行う。	町内事業所の現状や課題の把握	現状課題の把握	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

〔凡例〕
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	14	南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ~ H29	南風原町の特産品を通じた地域振興を図るため、主に町特産の農産品等を活用し異業種間の連携を促進しつつ、本町特産品の良さを引き出すための調査・研究及び、本町特産品のブランド化を図るための組織づくりを行い、ブランド認証スキームを確立するとともに、南風原ブランドの新商品の開発、販路開拓を行う。	地域ブランドの定義の確定 地域ブランド戦略の策定 ブランド認証スキームの構築 南風原町ブランド認証:2件 商品開発:2品 既存商品のブラッシュアップ:2品 H26年度までに開発した商品の販売個数 マドレーヌ:170個×10ヶ月(4月~1月)=1,700個 (H26実績:1,641個) 美瓜カレー:70食×5ヶ月(8月~12月)=350食 (H26実績:180食)	確定 未策定 構築 6件 2品 2品 5,100個 521食		
2	15	南風原町観光PR促進事業	H25 ~ H33	本町の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。特産品の販売等を行い、特産品の販路拡大、観光PRを実施する。 さらに、本町の認知度向上と地域資源の情報発信・観光客誘客強化を図るため、イメージキャラクターを本町のPRツールとして活用する。	・はえるん等利用申請数:60件(H26実績56件) ・はえるんファンクラブ加入:900人(H26実績700人) ・物産展来場者:12,000人(H26実績11,000人) ・南風原町観光案内所の利用者数10,000人(4月~3月の12ヶ月間) (H26実績:5,557人 H26.10~H27.3)	37件 281人 14,700人 6,827人		
2	16	南風原観光発信施設整備事業	H27 ~ H29	観光振興を図るため、南風原町が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う観光情報発信施設を整備する。観光発信施設は、南風原町の観光拠点のひとつとして、字津嘉山に金城哲夫氏の資料展示やその他偉人等の常設展示をした観光地としての役割をもつ部分と一体的に整備し、来訪者の動向やニーズを的確に捉えた上で、観光戦略を総合的に展開し、来訪者のもてなしや満足感を与える「おもてなし活動」を行うため観光協会を中心とした観光、歴史・文化、交通等地域の魅力や情報を発信し誘客を行う交流機能も備える観光発信施設を整備する。	・H30年5月の供用開始に向けた事業の着実な実施 (観光発信施設の基本構想の策定)		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	17	南風原町和牛改良支援事業	H27 ~ H33	農家の経営安定化に向け、仔牛の品質の向上により高値での出荷が行えるよう、系統の良い優良母牛導入経費への一部を支援する。	・今年度導入頭数:6頭 ・今年度導入率:14.2%(全導入目標頭数:42頭)	6頭 14.2%		
2	18	南風原町農産物販売促進事業	H27 ~ H29	生産量県内一位を誇る南風原産ヘチマと拠点産地認定を受けたスターフルーツを南風原町の特産品と位置づけ、広く県内外へPRを図り消費拡大を推進するため販売促進を行う。	・ヘチマ販促イベント販売(累計320,000円) ・スターフルーツ販促イベント販売(累計720,000円) ・県外イベント講習会開催によるヘチマ・スターフルーツ販売(220,000円) ・ヘチマレシビコンテスト応募総数100件	32万円 13万円 3千円 103件		
3	1	はえばりサイクルループ事業	H24 ~ H28	町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。また、生産された飼料を活用した養豚や、生産した堆肥、ディーゼル燃料の活用を図り食品廃棄物の循環利用体制を構築する。	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:40トン 【平成25年度実績】:32トン	30トン		
3	2	環境学習支援事業	H24 ~ H28	時代を担うこどもたちの環境倫理の醸成のため、児童館や学校、教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。	・小学生が環境学習を通じて、ごみ減量やリサイクルの重要性を学ぶ ごみ減量やリサイクルへの関心度:50%増加 (学習前 学習後)	・小学生が環境学習を通じて、ごみ減量やリサイクルの重要性を学んだ ごみ減量やリサイクルへの関心度:100%が増加 (学習前 学習後)		
3	3	草木リサイクル事業	H24 ~ H28	町内から排出される草木を回収し、堆肥化を行う。その堆肥を農地等で活用することで、草木廃棄物のリサイクルができる「循環のシステム」を構築する。	草木のリサイクル量(堆肥化):440トン 【平成25年度実績】:347トン	477トン		
3	4	低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)	H27 ~ H29	省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の実現を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	平成28年度~29年度の工事に向けて、実施設計の完了		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	防災体制強化事業	H24 ~ H28	亜熱帯気候である沖縄県では毎年多くの台風が接近・襲来している。そのため、島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがある。そのことから、町独自で長期保存ができる食料等の備蓄を行い、防災体制の強化を図る。	・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16,200食(36,000人×1/20×3日分×3食)に対する充足率:81.8% (H26充足率:70%)	82%		
4	2	災害時等避難施設改修事業	H24 ~ H29	台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。	・避難所(区、自治会)の改修整備割合:52% (全避難所19ヶ所中10ヶ所整備完了)	遂行困難	-	
4	3	北丘小学校西側避難通路整備事業	H26 ~ H29	北丘小学校は災害時の避難所として指定されているが、避難通路となっている小学校の西側に面している階段は築30年以上経過しており、通路や法面に滑りが見られコンクリート舗装や擁壁に亀裂などを起こしている。そのため避難通路として、安全に活用できるよう整備を行う。	・避難通路整備設置基本設計書の完了		繰	
4	4	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26 ~ H29	津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。	・避難通路整備設置基本設計書の完了	実施設計の完了		
4	5	位置伝達手段整備事業	H27	安心で安全に暮らせる環境は生活条件の基礎である。そのため、緊急的な出来事が発生した際にもいかに対応していくかが大事であり、事前の防止や発生後の対策が有事の際のライフラインに直結し、安心して暮らすことに繋がってくる。 本事業では、もし交通事故や災害等で動けなくなった時に自分の現在地を特定できる目印等がない場合、消防や警察へ自分自身の現在地を伝えられるように位置情報が瞬時に分かる表示物を整備する。	・緊急の際に、迅速な初動対応が可能になるように、消防と連携した初動体制の強化	強化		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ~ H33	本町の学童クラブのうち、民間の賃貸住宅を利用している学童クラブに対して家賃支援をする。また、学童クラブがひとり親家庭等の学童利用者に対し学童保育料を減免した場合の支援を実施する。本事業により、子育て環境の整備、学童クラブ運営の安定化を図り、保育の質を高め、子ども達の安心・安全な放課後の居場所を作り、充実させることを目的とする。	保育の質の向上 【評価指標】 学童クラブの年間行事数で保育の質の向上を評価する。 ・学童クラブの行事数:39回(7ヶ所) (実績:H25行事数:33回(5ヶ所)) (基準値:H23行事数:18回(4ヶ所))	保育の質の向上がなされた ・学童クラブの行事数:57回(7ヶ所)		
5	2	幼稚園保育充実支援員配置事業	H25 ~ H33	町立幼稚園の保育時間の延長に伴い開始される給食を、園児に安心・安全に提供できる体制を整えるため支援員を配置する。また、平成28年4月より幼稚園での4歳児保育を開始し給食提供を実施するため共同調理場、幼稚園の備品、配送車、食缶等給食提供に係る設備を整備する。	・給食支援を配置することにより、配膳時における安全性の確保 配膳時の事故件数 0件 ・幼稚園4歳保育児童への給食提供環境整備完了	配膳時の事故件数 0件 幼稚園4歳保育児童への給食提供環境整備完了		
5	3	認可外保育施設環境整備事業	H25 ~ H27	子育て世代の人口増に伴い待機児童が増え続けていることから、待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して支援を行うことにより保育環境を向上させる。	児童が安心安全に過ごせるよう建物の安全性・快適性を確保することにより、児童の健全な成長を促す。 【評価指標】 施設整備後に認可外保育園に対してアンケートを実施 ・午睡環境の改善が図られた割合:100%	アンケートを実施により、午睡環境の改善が認められた割合:100%		
6	1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ~ H33	沖縄戦時に構築・使用された沖縄陸軍病院壕跡を平和学習のために公開活用して、戦争と平和を考えて命の尊さを学ぶ取り組みを行う。	見学者数10,000人 (H25年度実績 9,498人) (H24年度実績10,000人) (H23年度実績 9,804人)	見学者数11,287人		
6	2	資料の公開活用事業	H24 ~ H29	南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用の幅を広げつつ後世へ継承していく。	データベース化済み割合:87% (総点数125,000点中、データベース化済点数109,000点)	データベース化済み割合:87%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	3	子ども平和学習交流事業	H24 ~ H33	子どもたちが仲間づくりを通し、戦争や平和、差別や人権などについて交流や研修を通して平和について広く学習を深めることを目的に、子ども平和学習交流事業を行う。	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化が見られた:95% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味があった児童:95%	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化が見られた:95.8% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味があった児童:100%		
6	4	伝統芸能保存育成事業	H24 ~ H33	町内には数多くの伝統芸能があり、各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取り組みに対し支援を行うことで伝統芸能継承を推進する。	・年中行事等での伝統芸能上演等回数 H27年度:67回 (H25実績:67回)	・年中行事等での伝統芸能上演等回数 H27年度:68回		
6	5	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ~ H33	移民の文化・歴史交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化と歴史を学習させる。帰国後は自国の研修生仲間たちと連携し南風原町とのパイプ役として活動する。	研修後、研修生に対してアンケートを実施 ・研修終了後、移民史に興味があった:80% ・日本語をさらに習得したい:80% ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%	研修後、研修生に対してアンケートを実施 ・研修終了後、移民史に興味があった:100% ・日本語をさらに習得したい:100% ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:100%		
6	6	南風原町民俗芸能交流会開催事業	H26 ~ H33	町内各地にある伝統芸能を披露する場、他地域と交流する場を設け、新たな世代へ地域の伝統芸能を継承し、地域活性化を図るため南風原町民俗芸能交流会を行う。	・交流会参加者数 450人以上	・交流会参加者数 500人		
6	7	プロジェクトヒュート支援事業	H26 ~ H33	新たな地域活性化、人と人との交流を生み出すために南風原町の伝説、課題や話題などをモチーフにしたショーを通して、多くの人々に町の伝承文化や行事などの普及に努めている「チームTHE飛勇人(ひゅーと)」の活動に対して支援を行う。	・町内各字の伝承文化の啓発を図る。 ・イベントやショー後にアンケートを実施 ・地域の伝説や民話の理解を深めた:60% ・新しいキャラクターに楽しさや親しみを覚えた:60%	・町内各字の伝承文化の啓発を図った。 ・イベントやショー後にアンケートを実施はできず別のアンケートにより効果の把握に努めた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	8	戦争証言資料管理システム導入事業	H26 ~ H27	悲惨な戦争体験を風化させず後世に語り継ぐことができるよう、援護業務で得られた戦時中の生の証言資料を整理し、平和事業や平和学習に活用するため、南風原町で保管する紙ベースの戦没者台帳をデータベース化し戦没者遺族等から得られた戦没時の悲惨な実態証言を加えたシステムを構築し管理する。	・戦争証言資料管理システムデータ整備率：100%(基礎データ整備及び証言資料の整備をもって100%とする。)	・戦争証言資料管理システムデータ整備率：100%		
6	9	南風原町クサティ森等保全事業	H25 ~ H30	文化財の保全継承及び文化資源を活用した観光振興を図るため、南風原町の集落及び集落のクサティ森等に存する史跡等の修復、説明施設等の整備を行う。さらに活用を促進するための散策道、休養施設等の整備及び整備のための用地取得を行う。	・平成28年度一部共用に向けた事業の着実な実施(散策道約250m、便所1棟及び集落内広場約800㎡等の一部工事並びに集落内広場約800㎡の実設計の完了)		緑	
6	10	地域振興資料館整備事業	H27 ~ H29	伝統芸能の保存継承のため資料館を整備し、文化・歴史・伝統芸能の保全継承並びに文化資源を活用した地域振興を図る。また、災害時の緊急避難所としての機能も有し、避難施設としても活用する。	H28年の資料館建築に向けた事業の着実な実施(設計書の完了)		緑	
6	11	沖縄県人カナダ移民115周年記念式典派遣事業	H27	カナダアルバータ州レスブリッジ市で開催される沖縄県人カナダ移民115周年記念式典へ町内の伝統芸能団体を派遣し、沖縄の伝統文化のPRを行うと同時に、ウチナーネットワークを構築する。	・派遣報告会の開催 ・現地団体との伝統芸能交流の実施	・派遣報告会の開催 ・現地団体との伝統芸能交流の実施		
6	12	平和の日推進事業	H27 ~ H33	10月12日の「町民平和の日」にあわせて平和を祈念し、町民の平和意識の高揚を図るために音楽コンサートを開催する。	・平和コンサート開催 観客動員数300人	・平和コンサート開催 観客動員数250人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	13		「南風原の学童疎開」映像制作事業	H27	南風原の学童疎開について、疎開地の様子、体験者の語りを含めその概要と現状を紹介する映像DVDを2種類制作する。一つは記録映像で、証言者の語りなどをできるだけ記録したものと、学校の授業で使えるよう教育普及版として映像資料を制作する。	平和学習資料、あるいは授業で活用できる教材として、来年度から他の資料と共に、文化センターでの上映、貸し出し用として活用する。	平和学習資料、あるいは授業で活用できる教材として、28年度から他の資料と共に、文化センターでの上映、貸し出し用として活用できている。	
7	1		長寿県復活食の応援事業	H25 ~ H30	「健康長寿おきなわ」の復活に向けて、生活習慣病の発症や重症化を予防するために、町民へ食習慣の実態や課題を伝え、個々人の食事の基準量を伝える。食品に含まれる油の量を伝える。油を使わない料理、野菜の摂取を増やすための料理を伝えていく。具体的な方法として、健康レシピカレンダーを世帯と事業所に配布し、保健センターの壁面にラッピングし、町民への周知と普及を図る。	乳幼児健診時、特定健診結果説明時においてアンケートを実施する。 ・健康レシピ 野菜の摂取を増やす方法が分かった人 各健診受診者の30% ・壁面ラッピング 野菜の基準量が分かった人 各健診受診者の30%	乳幼児健診時、特定健診結果説明時においてアンケートを実施する。 ・健康レシピ 野菜の摂取を増やす方法が分かった人 各健診受診者の33.2% ・壁面ラッピング 野菜の基準量が分かった人 各健診受診者の33.2%	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

渡嘉敷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業	H24 ~ H33	継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した観光情報の発信及び外国人観光客に対応するため多言語観光パンフレットを印刷配布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・県外高校修学旅行受け入れ数 20校 (H26年度19校) ・離島フェアブース来場者数 3,000人 ・アイランタブース来場者数 2,000人 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外高校修学旅行受け入れ数 14校 (H26年度19校) ・離島フェアブース来場者数 3,000人 ・アイランタブース来場者数 2,000人 		
1	2	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ~ H33	観光地としてのイメージアップを図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施し、景観浄化に努める。	環境整備の行き届いた美しい観光地の形成	環境整備の行き届いた美しい観光地の形成		
1	3	渡嘉敷村観光施設整備事業	H26 ~ H27	観光客等利用者の利便性の向上及び施設内の安全確保を図るため、渡嘉敷村青少年旅行村施設内の歩道、照明設備の設置・改修、トイレ改修等を整備する。	観光関連施設活用に向けた利便性の向上、安全性の確保	観光関連施設活用に向けた利便性の向上、安全性の確保		
1	4	渡嘉敷村観光受入体制整備事業	H26 ~ H33	観光客受け入れ体勢整備のため、慶良間諸島間内航路運航を実施し、交通手段を確保する。また、増加傾向にある外国人入域者への対応として、ビーチ利用時の注意呼びかけ等を案内し、安心・安全に利用できる多言語音声案内及び表示板の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・内航船運航による慶良間諸島周遊観光の利用者数 4,000人(平成26年度3,000人) ・阿波連ビーチでの利用案内の周知設備の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・内航船運航による慶良間諸島周遊観光の利用者数 3,803人(平成26年度3,000人) ・阿波連ビーチでの利用案内の周知設備の確保 		
1	5	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ~ H33	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運航時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者に対し、料金の半額を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・運航回数及び搭乗人数 110回、385人 	<ul style="list-style-type: none"> ・運航回数及び搭乗人数 57回、175人 	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

渡嘉敷村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	渡嘉敷村農地保全事業	H24 ~ H33	イノシシによる農作物への被害拡大を防ぎ、農家に安心安全に農産物を生産させ、農家の生産意欲を衰退させないため、イノシシの捕獲駆除を引き続き実施する。	イノシシによる農作物被害件数 10件	イノシシによる農作物被害件数 17件	未	
3	1	小学校学習支援員配置事業	H24 ~ H33	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、学習支援員を配置する。	・村内小学校への支援者派遣率:100% ・児童生徒の学力を全国水準に高める(全国学力・学習状況調査における無回答率を半減させ、正答率40%未満の児童生徒の割合を無くし、個人差を10ポイント以内に改善する)	・村内小学校への支援者派遣率:100% ・児童生徒の学力を全国水準に高める(全国学力・学習状況調査における無回答率を半減、正答率40%未満の児童生徒の割合6.7%、個人差を3.9ポイント以内に改善)		
3	3	児童・生徒派遣支援事業	H25 ~ H33	村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことにより、離島の教育的なハンディを克服する。	派遣児童・生徒数(累計):210人	派遣児童・生徒数(累計):173人		
4	1	渡嘉敷村学校施設環境整備事業	H27	亜熱帯地域である沖縄においては、1年のうち高温・多湿の状況が長期的である。沖縄の地理的特殊性に起因する学校施設の学習環境を改善するため、未整備となっている小中学校の普通教室等に冷房設備を設置する。	快適な学習環境の確保(室内温度28度)	快適な学習環境の確保(室内温度28度)		
5	1	渡嘉敷村保育所整備事業	H26 ~ H27	本村のへき地保育所は築30年以上経過しており、老朽化が進行している。幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準を満たす保育所を整備し、多様化した保育ニーズに対応できる保育環境を確保し、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。	平27年度供用開始にむけた渡嘉敷村立保育所の完成	平28年度供用開始にむけた渡嘉敷村立保育所の完成	未	
6	1	渡嘉敷村観光資源創出事業	H27	渡嘉敷島の豊かな自然環境を伝える新たな観光資源を創出し、観光客等の更なる誘致促進を図るため、渡嘉敷島で発見されたゴマアザラシの全身剥製標本と骨格標本を作製し、全身剥製標本は港待合所に展示し、歴史的に貴重な骨格標本は村立民俗資料館に展示する。	ゴマアザラシの全身剥製標本と骨格剥製標本を作製し、歴史民俗資料館で保管、展示することにより、入館者の増加を図る。	ゴマアザラシの全身剥製標本と骨格剥製標本を作製し、歴史民俗資料館で保管、展示することにより、入館者の増加が図られた。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	座間味村海域安全隊事業	H24 ~ H33	村内指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保を図るためライフセーバー員等を配置する。	海水浴客等の海洋事故防止と安全確保	海水浴客等の海洋事故防止と安全確保実施		
1	2	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ~ H33	観光客誘致とリピーター確保のため、既存イベントの強化拡充及び県内外周知活動、県外アミューズメント施設での誘致活動等を実施し、県内外へ広くPRする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホエールウォッチングフェスタ 7000名 ・ヨットレース:参加35艇 500名 ・座間味島祭りの参加者増、周知強化(800名) ・慶留間島祭りの参加者増、周知強化(300名) ・サバニレース:参加40艇(700名) ・県外水族館等でのPR活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホエールウォッチングフェスタ 13,494名 ・ヨットレース:参加35艇 504名 ・座間味島祭りの参加者増、周知強化(823名) ・慶留間島祭りの参加者増、周知強化(台風により中止) ・サバニレース:参加40艇(714名) ・県外水族館等でのPR活動実施 		
1	3	座間味村観光受入拠点事業	H24 ~ H33	年中無休の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びマリンスポーツ事業者や民宿事業者への取り次ぎ案内などをスムーズに行い、外国人を含めた観光客誘客に向け、企画立案と事業展開を実施する観光協会へ支援を行い観光客の誘客と満足度向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所利用者数 延べ8万人(H26年度7万人) ・イベント来場者数 1万人 ・入域観光客数 9万5千人(H26年9万人) ・観光事業者向けスキルアップ講座参加者数 30人(H26年14人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所利用者数 延べ9万5千人 ・イベント来場者数 5万人 ・入域観光客数 10万2千人 ・観光事業者向けスキルアップ講座 未実施 		
1	4	座間味村美ら島づくり花の森整備事業	H24 ~ H28	国立公園である本村の自然を生かした魅力ある観光地形成と集落内の景観促進のため、座間味・阿嘉・慶留間島の実施設計を策定し、植栽整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各区の植栽実施 ・H27年から観光協会、港にアンケート調査実施(満足度 H27年度50%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各区の植栽実施 ・H27年から観光協会、港へのアンケート調査 未実施 		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	5	阿嘉地区観光道路整備事業	H26 ~ H29	観光客の国際化や多様なニーズに対応するためハブが生息していない、国指定天然記念物ケラマジカが生息している地域特性を活用した昼夜問わず安心で魅力ある癒しの山林観光道路を整備する。	・山林観光道路を整備し、観光客の山林散策を安全かつ快適に楽しみたいというニーズに対応する。 ・長期安定的なリピーターを掘り出し島の活性化につなげる (L=310m)		緑	
1	6	ダイバーズ・エッグ・プロジェクト	H26 ~ H28	ダイビング観光客誘客と若年層のダイバーを育てるため、閑散期に(冬場)トライアルプログラム実証調査事業(内容:体験ダイビング)としてダイバーのタマゴを育てその効果や調査を行うことにより、今後のダイビング産業の活性化につなげる。	・体験ダイビング後、また来たいと答えた10~30代 90%、ライセンスを取りたいと答えた10~30代 70% ・座間味村ダイバーズエッグクラブ会員数800名	・体験ダイビング後、また来たいと答えた10~30代 92.4%、ライセンスを取りたいと答えた10~30代 70% ・座間味村ダイバーズエッグクラブ会員数900名		
1	7	阿嘉漁港タ - ミナル機能強化事業	H25 ~ H27	観光客受入態勢の整備として村の玄関口である阿嘉港タ - ミナルに全天候の屋根付き歩道を整備し、快適な観光地を形成する。	・雨天時や炎天下でも観光客が快適に利用できる受入態勢を強化する。(L=25.5m)	・雨天時や炎天下でも観光客が快適に利用できる受入態勢強化のための工事完了。		
1	8	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24 ~ H29	本村の新たな観光客の受け入れ体制の整備と満足度向上を図るため座間味港緑地公園内にビジターセンターを建築する。	・平成30年4月の共用開始に向けた着実な実施 (建屋A棟 ホール・研修室・ギャラリー・トイレ・ロッカー室等の完成)		緑	
2	1	座間味村鮮魚美食事業	H24 ~ H29	村内における漁獲物の付加価値向上を図る為、生産者の顔が見える販売に取組み、地産地消を推進する。H26年度に開設した阿嘉鮮魚直売所及び、座間味鮮魚直売所の2カ所で直接販売に取り組み。また、魚食普及の推進をする為、稚魚の放流を行う。	27年度の鮮魚直売所の売り上げ目標 阿嘉直売所150万円 座間味直売所450万円 計600万円(参考H26年351万円) 稚魚の放流、成魚の試食会 参加者 50人 (地域の人を集めイベントを行う)	27年度の鮮魚直売所の売り上げ 阿嘉直売所120万円 座間味直売所700万円 計820万円 稚魚の放流、成魚の試食会 未実施		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	座間味村サンゴ(海の花)育成・植付事業	H24 ~ H33	サンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協職員を臨海研究所へ派遣し、サンゴの種苗の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動のノウハウを学び、人材を育てるための活動の支援を行う。また、村所有の種苗センターを活用することで種苗の生産本数の増加を図る。	・派遣職員の植付技術の習得 (人材育成プログラムにより植付技術の習得)	・派遣職員の植付技術の習得がなされた		
3	1	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ~ H33	離島交通ネットワーク手段の確保として、船の欠航時やダイヤ変更時に、チャーターヘリコプターを利用した場合、運賃の一部を支援する。	那覇空港～座間味村フライト数290回	那覇空港～座間味村フライト数138回	未	
3	2	座間味村村内運航に係る対策事業	H24 ~ H33	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員2名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し離島交通の足の確保と観光振興を図る。	H24 実績 11,983人(7月開始) H25 実績 18,587人 H26 見込 23,571 (4月～11月は実績、12月～3月は見込み) H27 目標 25,000人	H27実績 24,192人		
3	3	慶留間・阿嘉地区避難道路整備事業	H26 ~ H27	地震・津波発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全確保を図るため、山頂へ通じる旧道を活用した避難道路整備を行い災害につよい村づくりを図る。	・災害時に孤立する集落及び観光客の安全を守る避難道路整備を完了する。 ・医療機関への敏速な搬送や食料・物資等を確保することにより、住民、観光客の精神的な安心につなげることができる。(L=520m)		繰	
3	4	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ~ H33	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である本島 座間味村間のフェリー車両航送に係る運賃の一部を支援し、高い交通コストの改善を図る。	支援台数 342台(H25年度実績 223台(7月開始))	支援台数 395台		
3	5	座間味村海拔表示板等設置事業	H27 ~ H28	災害発生時に、住民や地理に不慣れな観光客が迅速かつ安全に避難場所へ移動できるよう、住民、観光客の安心・安全を図るため、海拔表示板や低地から避難所に向けて避難誘導標識を設置する。	・村内の海拔の把握 ・海拔表示板等の設置場所記載の台帳の完成	・村内の海拔の把握 ・海拔表示板等の設置場所記載の台帳完成		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	6	多用途住宅整備事業	H27 ~ H28	本村が依頼しているALT等や出向している各種団体職員においては住宅環境が整っていない為、招聘が困難な状況にある。生活の基盤である住宅を整備し、安定した人材の確保を行う。	2LDK 4世帯の基本設計・実施設計完成	2LDK 4世帯の基本設計・実施設計完成		
4	1	座間味村外来植物討伐事業	H24 ~ H33	村内至るところに自生するが外来種「モクマオウ・ギンネム」等の抑制を目標に討伐し、観光地としての景観・安全性が保たれるよう事業の実施を図る。	外来植物の討伐(村内一円) 討伐本数年間500本(モクマオウ木、ギンネム木)	外来植物の討伐(村内一円) 討伐本数年間897本(モクマオウ木、ギンネム木)		
4	2	環境衛生処理事業	H26 ~ H27	本村では、可燃ごみと生ごみを別々に分けて収集しており、生ごみについては堆肥化を図り循環型社会の形成を図ってきた。しかし処理中に発生する臭気やそ族昆虫の発生により衛生面の問題があるため、生ごみを低コストかつ衛生的に処理ができる環境を構築する。	座間味島の生ごみ処理体制の確立	座間味島の生ごみ処理体制の確立		
5	1	電子黒板等整備事業	H27 ~ H28	将来を担う児童生徒の人材育成及び学力・情報活用能力等の向上を図るため、各小中学校に電子黒板を整備し、児童生徒の興味関心を引き出し集中力を高める、分かりやすい授業環境を整える。	全国学力・学習状況調査において全国平均との差 小学校6年生 平均 - 3ポイント(0.9ポイント改善) H26年度の差 - 3.9ポイント 全国平均 66.2点 本村平均 62.3点 デジタル教科書対象学年 小学校1学生~6年生 ・主要4教科(国語、算数、理科、社会) ・他教科(音楽、図画、家庭、保健、書写等学年により必要な教科)学力の向上を図る。	マイナス0.2ポイント(目標 プラス0.9ポイント) 全国平均63.3点 本村平均63.1点 ・他教科の学力向上が図られた。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

栗国村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	環境美化促進事業	H24 ~ H33	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。	・観光地及びアクセス道路の美化 20カ所 ・植栽により、栗国の玄関口である港や空港等にて彩りのもてなしを行い、景観整備を図る。	・観光地及びアクセス道路の美化 20カ所 ・植栽による景観整備未実施		
1	2	あぐにデジタルアーカイブ化事業	H25 ~ H26	島の豊かな自然や伝統文化等、島にまつわる多種多様な資料をデジタル化し、それらを管理システムに集約・管理し、利便性を向上させることで、村民及び観光客の郷土学習に付加価値をつけ、栗国観光の質を高める。	追加コンテンツ制作 ・バーチャル古民家1棟 ・デジタル紙芝居26話 ・戦前の関係記事のデジタル化 展示会開催 ・那覇で1回、栗国で1回	追加コンテンツ制作 ・バーチャル古民家1棟 ・デジタル紙芝居26話 ・戦前の関係記事のデジタル化 展示会開催 ・那覇で1回、栗国で1回		
1	3	栗国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ~ H28	島の自然や伝統文化などの地域資源として広めていくため、マスコミやマスメディアを活用し、イベント等への誘客を図り、イベントの開催、観光ツアーを実施する。	・イベント来場者数:800人 ・PRのグッズ制作(2点) ・観光ツアー参加者満足度調査:満足と答えた人70% ・ラッピングカーでの出勤回数(10回)	・イベント来場者数:800人 ・PRのグッズ制作(2点) ・観光ツアー参加者満足度調査:満足と答えた人88% ・ラッピングカーでの出勤回数(3回)		
1	4	観光ガイドブック制作事業	H27	観光振興を図るため、観光情報の発信及び県内外のみならず外国人観光客に対応するための日本語版、英語版、中国語版、韓国語版の観光ガイドブックを作成する。	・外国人観光客が利用する場所に配置:5箇所 ・村外イベントなどで配布:3箇所	・外国人観光客が利用する場所に配置:5箇所 ・村外イベントなどで配布:0箇所		
1	5	「シタリー節」歌碑建立事業	H27	本村で教訓歌として受け継がれている「シタリー節」を新たな観光資源として活用するため、歌碑を建立する。	・「シタリー節」歌碑建立完了 ・パンフレットの配布や村広報・村HP周知活動 ・教育現場での活用	・「シタリー節」歌碑建立完了 ・パンフレットの配布のみ実施 ・教育現場で未活用		
1	6	栗国村偉人顕彰碑建立事業	H27	本村を代表する偉人4名の功績を顕彰碑として建立することにより、新たな観光資源として村内外に広めることを目的とする。	・本村偉人顕彰碑建立 4箇所完了 ・パンフレットの配布や村広報・村HP周知活動 ・教育現場での活用	・本村偉人顕彰碑建立 3箇所完了 ・パンフレットの配布のみ実施 ・教育現場で未活用	未	
1	7	観光サイン整備事業	H27 ~ H28	地域の文化資源を適切でわかりやすく情報提供するための誘導案内や、解説板を整備することにより、適切な案内誘導を進めるとともに、歴史や文化の学習の機会となるなど、村民と観光客の交流促進や観光振興の充実を図る。	誘導サイン及び解説板の設置場所や解説案内を盛り込んだサイン整備計画を策定完了。	誘導サイン及び解説板の設置場所や解説案内を盛り込んだサイン整備計画を策定完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

栗国村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	8		照喜名原地区整備事業	H27 ~ H28	村の南東海岸に約1kmの長さで分布するウーグの浜を含む照喜名原地区を観光地として活用するための基本計画を策定する。	・照喜名原地区整備基本計画の策定完了	・照喜名原地区整備基本計画の策定完了	
1	9		洞寺環境整備事業	H27	本村の観光スポットである洞寺は、鍾乳洞で、内部には遊歩道も整備されているが、鍾乳洞入り口の門や鍾乳洞寺内の照明の劣化、鍾乳洞内での緊急連絡体制の構築の必要から、利用客の安全性・利便性向上に向け整備することにより魅力ある観光交流拠点としての充実を図り、誘客を図る。	H28年4月の供用開始に向けた着実な実施完了を行い、改修した門、鍾乳洞寺内の照明、非常ベル通信システムの設置により安全面・環境面が改善され、魅力的な観光スポットとして定着を図る。		繰
1	10		大正池公園機能拡充事業	H27 ~ H28	本村の観光スポットである大正池公園は年中を通して多くの野鳥が訪れるエリアであるが、公園内の階段が劣化しており、利用客の安全性・利便性向上に向け整備し、野鳥観察施設を設置することにより魅力ある観光交流拠点としての充実を図り、誘客を図る。	バードウォッチングのスポットとして公園機能の拡充		繰
2	1		国際交流支援事業	H27 ~ H33	村内の中学生を対象に、欧米への語学研修の支援を行い、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材の育成を図る。	・行った結果の報告を、英文でレポート提出 ・英検の受検 ・英語スピーチコンテストへ出場	・行った結果の報告を、英文でレポート提出 ・英検の受検 ・英語スピーチコンテストへ出場	
2	2		学力向上支援事業	H27 ~ H33	離島という地理的条件による教育環境格差を解消するため、村営塾を開催するとともに、小学校及び中学校の学習支援のため、学習支援員を配置し、児童生徒の学力向上を図る。	・全国学力調査で県平均を上回る	・全国学力調査で県平均を下回った	未
2	3		栗国村キャリア教育支援事業	H27 ~ H33	村内の小中学生を対象に多種多様な職業を見学・体験をする機会を設け職業観の幅を広げ、就業観を形成することにより、学習の意欲の向上を図ることで本村の人材育成を行う。	・児童生徒に対する研修講演 ・沖縄本島での職場見学体験 中学生21名(中学1~3年生) 小学生 名(小学5~6年生)	・児童生徒に対する研修講演 ・沖縄本島での職場見学体験 中学生21名(中学1~3年生) 小学生15名(小学5~6年生)	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

栗国村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4		児童・生徒派遣支援事業	H27 ～ H33	離島である本村の児童生徒の諸教育活動への派遣費を支援する。	・大会等派遣児童・生徒数 50人	・大会等派遣児童・生徒数 192人	
3	1		栗国村グリーンエコアイランド化推進事業	H27 ～ H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、村内に設置されている蛍光灯・ナトリウム灯のLED化事業を実施する。	・村内防犯灯のLED設置箇所の決定 ・撤去する防犯灯の決定	・村内防犯灯のLED設置箇所の決定 ・撤去する防犯灯の決定	
4	1		和牛改良支援事業	H25 ～ H28	本村の畜産業の支援のため、付加価値の高い仔牛が生産できるよう県内外からの優良仔牛(母牛になる素牛)の導入を支援し、仔牛の付加価値を高めていくことで、畜産業の振興を図る。	・優良仔牛(母牛になる素牛)導入率60% (H25～H27累計)	・優良仔牛(母牛になる素牛)導入率76%(H25～H27累計)	
5	1		栗国村交通移動手段安定化対策事業	H27	離島交通ネットワーク手段を確保するため、定期航空路線が再開されるまでの間、チャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。	・定期航空路再開までの間の島民及び観光客の移動手段の確保	・定期航空路再開までの間の島民及び観光客の移動手段の確保	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

渡名喜村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	環境保全・美化推進事業	H24 ~ H34	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物(ギンネム等)の駆除及び在来植物の保全育成を図る。	緑化及び美化活動実施箇所:28箇所 外来植物駆除実施箇所:8箇所 在来植物保全育成実施箇所:14箇所	緑化及び美化活動実施箇所:28箇所 外来植物駆除実施箇所:8箇所 在来植物保全育成実施箇所:14箇所		
2	1	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ~ H33	離島観光の利便性及び離島住民の交通基盤の向上を図るため、フェリーが悪天候などにより欠航し沖縄本島と本村間におけるチャーターヘリを利用した場合、事業所に対し利用者の運賃の一部を支援する。	渡名喜村ヘリポート~那覇空港間フライト回数:50回	渡名喜村ヘリポート~那覇空港間フライト回数:19回	未	
3	1	渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ~ H28	村民の子育て環境の整備、健康増進、観光振興に加え、村民や観光客を自然災害から守るため、子ども預り所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。	平成29年4月1日の供用開始に向けた事業の着実な実施(実施設計書の完成、解体工事の完了、資料収納倉庫の建設完了)		繰	
4	1	地域行事継承事業	H27	地域の伝統文化の継承と観光地としての評価される魅力ある地域づくりに向け「海神祭」、「水上運動会」等で使用するハーリー船を新造する。	・ハーリー船の新造などによる地域文化の継承に向けた体制の構築	・ハーリー船の新造などによる地域文化の継承に向けた体制の構築		
5	1	児童・生徒の教育活動助成事業	H26 ~ H33	離島のハンディを克服するため、児童生徒の村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習への派遣費用等を支援する。	・スポーツ大会参加(小学生26名、中学生56名) ・文化発表会等(小学生16名、中学生17名) ・交流学習(小学生13名、中学生9名)	・スポーツ大会参加(小学生18名、中学生30名) ・文化発表会等(小学生21名、中学生17名) ・交流学習(小学生18名、中学生2名)		
6	1	パークゴルフ場整備事業	H27	観光客の誘致促進・受け入れの強化と地域住民の体力増進及び高齢者の生きがいの場の創設のため、新たなスポーツレクリエーション施設としてのパークゴルフ場を整備する。	パークゴルフ場の運営体制の構築完了	パークゴルフ場の運営体制の構築完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

渡名喜村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	1	多目的活動施設機能強化整備事業	H27	多目的活動施設は、本村唯一の社会教育施設として、映画や講演会等各種イベントを年間を通して利用されている。近年のOA機器の発達に伴い、現在の音響機器では、対応できないことが多々あり各種イベントの開催に支障をきたしていることから音響機器の機能強化を図る。また、照明機器が旧式のため、舞台やホールが薄暗くイベントの開催に支障がある。舞台の照明点灯時には、電球から熱が発生し出演者に負担をかけている。会場内も薄暗く観客が舞台に集中できるよう照明機器の機能強化を図る。	音響設備機能強化完了 照明機器の機能強化完了	音響設備機能強化完了 照明機器の機能強化完了		
8	1	観光振興整備事業	H27	村内には、施設や観光スポットがいくつかあるが施設の整備や観光ルートの整備等が進んでなく観光客への対応が不十分である。年々増えつつある観光客が安心・安全・快適に観光できるよう観光ルート(案内板等)や観光施設(トイレ等)を整備するための基本設計を実施する。	観光ルートや観光施設の整備等に関する基本設計の完了	観光ルートや観光施設の整備等に関する基本設計の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	健康診査用機材搬送事業	H24 ~ H33	特定健診等の集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃及び荷役料、検査技師等の来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診が安定的に実施できる環境を整えることにより定住促進を図る。	集団健診受診者数:360人(41.0%)	523人(91.7%)		
1	2	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ~ H33	沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を支援する。	専門病院受診渡航費助成の実施 専門病院受診者 155人 付添人 45人	306人 69人		
1	3	南大東村多目的交流拠点施設整備事業	H25 ~ H28	村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には、村民及び観光客の避難施設として活用するため、村の多目的拠点施設を整備する。	建築工事を完了し、多目的拠点整備を推進する。		繰	
1	4	屋根付相撲場整備事業	H27 ~ H28	南大東島は、八丈島出身の方によって、開拓が始まり、しばらくたって、大東島の境内で豊年祭のときには、江戸相撲と沖縄角力の奉納相撲が行われてきた。平成26年には、奉納相撲が行われてから100周年を迎えた。このように伝統ある江戸相撲、沖縄相撲をこれからも伝承していく必要がある。その為に、練習場及び試合場を整備し、雨天でも常時使用できる屋根付場を設置し、伝統文化継承を図ることにより南大東村振興を推進する。	委託設計を実施し建設整備の条件を整える。	委託設計を実施し建設整備の条件を整えた。		
2	1	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ~ H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	・観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上 ・観光施設の清掃による利用度の向上	景観の向上 利用度の向上		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

南大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	大池地区水辺環境保全事業	H24 ~ H28	本村最大規模のカルスト湖である大池は、水草が繁茂し景観を損なうだけでなく、生態系への影響が懸念されるなど、観光分野や環境保全の点から課題となっている。その課題を解決するために、水草除去、水路浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。	水草の除去によるカヌーの安全航路の確保 水路汚泥浚渫による水流の再生 浚渫区間L=80m水草除去L=1.5km面積A=29,520㎡	安全確保 水流再生 水草除去		
2	3	シュガートレイン復活夢実現事業	H25 ~ H29	島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った“さとうきび列車”は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン(100万人)等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。	・実施設計の完了	実施設計の完了		
3	1	生きがいづくり安心安全強化対策事業	H26 ~ H27	介護・福祉サービスの拠点である高齢者福祉センターのバリアフリー化と緊急災害時の避難誘導路を整備して高齢者、要介護者の安心安全と福祉サービスの充実を確保し、生きがいある社会福祉づくりをめざす。	高齢者福祉センター機能強化により、福祉サービスの充実を図る。	高齢者福祉センター機能強化により、福祉サービスの充実が図られた。		
4	1	人材育成派遣事業	H26 ~ H33	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	・各大会等派遣(95名)で練習の成果を発揮し、多くの生徒と交流を図り文武両道の精神を養う。	・各大会等派遣(95名)で練習の成果を発揮し、多くの生徒と交流を図り文武両道の精神を養えた。		
4	2	人材育成環境強化事業	H27 ~ H33	村営学習支援塾に講師を配置して、細かな学習支援を行い、質の高い確かな学習を習得させて、情報化社会に対応できる人材育成と学ぶ環境を整備する。	支援センターで学習している児童生徒が、自己学習能力を身につけ、自ら課題に取り組み、学力の向上を図る。	支援センターで学習している児童生徒が、自己学習能力を身につけ、自ら課題に取り組み、学力の向上が図られた。		

平成 27 年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「 - 」

南大東村							
事業 番号	事業名	計画 期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価	
5	1	南大東村安らぎ空間整備 事業	H24 ~ H27	墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内(合葬墓)を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。	合葬墓施設の完成	合葬墓施設の完成	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1		地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24 ~ H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	・文化資源の担い手育成数:1人 ・文化交流のイベント演奏参加者数:40人(1回)	・文化資源の担い手育成数:1人 ・文化交流のイベント演奏参加者数:40人(1回)	
1	2		観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ~ H33	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の風景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m	・アクセス道路及び周回道路の美化実施:2,500m	
2	1		オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ~ H33	遠隔地である離島において、課題となっている教育環境格差を解消する為、都市部と同様の学習環境を提供できるオンライン双方向授業を行う。	・全国学力状況調査における全国平均との差正答率の差を縮小 小学校 (4ポイント改善) 北大東村 59点 全国平均 63点 中学校 (6ポイント改善) 北大東村 46点 全国平均 52点	・全国学力状況調査における全国平均との差正答率の差を縮小 小学校 (5.4ポイント改善) 中学校 (5.7ポイント改善)	
3	1		離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ~ H33	子育て基盤の構築に向け、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。また、村営塾を充実させるため、学習支援員を配置する。	・預かり保育を利用する園児数:10人 ・村営塾受講者数:50人	・預かり保育を利用する園児数:10人 ・村営塾受講者数:50人	
3	2		離島の児童の交流促進事業	H24 ~ H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進するため、スポーツや交流学習における渡航費の支援を行う。	・スポーツや交流学習等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	・スポーツや交流学習等の為に派遣する児童生徒数(延べ数):30人	
3	3		離島特別医療質確保推進事業	H24 ~ H33	離島の不利益を克服し、妊婦・特定重病患者等の健康を守るため、妊婦検診や島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の支援を行う。	・妊婦検診助成回数(延べ数):50回 H26年度:6回/1人 ・特定重病患者(延べ数):16回	・妊婦検診助成回数(延べ数):61回 H26年度:6回/1人 ・特定重病患者(延べ数):35回	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

北大東村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	1	北大東村景観形成事業	H26 ~ H33	北大東村特有の地域性にあった景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行う。	・村一周海岸道路の植樹環境整備 監理・工事の完了:400m(進捗率 4.4%(全長9,000m)) 雑木伐採等の完了:400m(進捗率 4.4%(全長9,000m))	・村一周海岸道路の植樹環境整備 監理・工事の完了:400m(進捗率 4.4%(全長9,000m)) 雑木伐採等の完了:400m(進捗率 4.4%(全長9,000m))		
5	1	北大東島内街路灯・歩道照明設置事業	H27	島を訪れる観光客や車両運転手・歩道歩行者等からの街路灯・歩道照明の不足や老朽化が指摘されており、防災・防犯・安全や景観整備の観点から街路灯・歩道照明の設置整備を行う。	・島内主要道路の街路灯・歩道照明設置の完了:26,000m	・島内主要道路の街路灯・歩道照明設置の完了:26,000m		
6	1	北大東島内観光案内板設置事業	H27	北大東島を観光で訪れる観光客への受入体制に向け、観光案内板の設置整備を行う。	・島内観光箇所への案内板の設置の完了:観光客誘致体制の構築(島内12箇所)	・島内観光箇所への案内板の設置の完了:観光客誘致体制の構築(島内12箇所)		
7	1	北大東村コミュニティ施設周辺整備事業	H27 ~ H29	北大東村内で毎年行われる祭り行事において、県内・県外から、多くの関係者や観光客が訪れている。水産・観光業の発展を図る近隣場所として、歴史継承や文化的景観の保全・活用の為、コミュニティ施設周辺の整備を行う。	・コミュニティ施設周辺の公衆トイレ、駐車場、行事観覧席の整備完了		繰	
8	1	墓地公園周辺環境整備事業	H27	本村の墓地公園や火葬施設は、村内唯一箇所にあり、村内・村外からの関係者・親族等の墓参りや火葬施設の利用者にとって必要不可欠な施設である。しかし、駐車場が狭隘で、公衆トイレの老朽化が指摘されている。そこで、祖先・親戚縁者と語らえる休憩所等も含め、墓地公園周辺の環境形成と機能強化を図り、住民負担の軽減と定住条件の向上に取り組む。	・墓地公園周辺の駐車場、公衆トイレ・休憩所の整備完了		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	1	商工観光産業支援事業	H24 ~ H28	伊平屋島の安住を支える重要な産業である観光を振興するため、島内サービス産業の支援強化や、各種イベントの開発能力の向上を図る。それにより、リピーター及び新規顧客の獲得による観光消費額の増大を目指す。	・旅館業取得民家の増加 11戸 平成27年3月 19戸 ・人材バンクの増加 3人 平成27年3月 7人	・旅館業取得民家の増加 10戸増 ・人材バンクの増加 3人増	
1	2	2	観光地イメージアップ推進事業	H24 ~ H33	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	観光アクセス道路の美化清掃:29.5km 観光関連施設の美化作業 5カ所	観光アクセス道路の美化清掃:29.5km 観光関連施設の美化作業 5カ所	
1	3	3	誘客イベント推進事業	H24 ~ H28	村のメインイベントである「いへやまつり」「伊平屋ムーンライトマラソン」や村の自然資源等を活用した、イベント並びに、島外において「伊平屋村」をPRするイベントを開催することにより、伊平屋村の認知度を高め、入域観光客数の増加を目指す。	「対象イベント等誘客数 平成27年度 7,589名」 (平成26年度7,514名 入域観光客数2,4,5,7,10月入域観光客数より算出) 「キャンプツアーを含む誘客受入体制の構築」	対象イベント等誘客数 平成27年度 8,026名 キャンプツアーを含む誘客受入体制の構築完了	
1	4	4	観光マップ入りイメージアップ手提げ袋制作事業	H27	村内の観光マップを掲載した手提げ袋を制作し、お土産袋により村の情報発信を行う。同時に、村内においては、エコバックを制作し、情報の共有・発信を図る	・土産袋、エコバックの全配布	・土産袋、エコバックの全配布完了	
1	5	5	海浜公園植栽及び緑化体制整備事業	H24 ~ H28	村のキャンプ場として位置づけられる米崎海浜公園の利便性、快適性の向上や良好な景観形成に向け、公園内の植栽をおこなうと共に島内の緑化推進に向け、中核となる人材の育成を図り、村民参画による島内緑化推進体制の整備を行う。	・植栽木の成長により、緑陰機能の回復が図られ、利便性、快適性の向上 ・村民参画による緑化推進体制の整備		繰

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6	集落散策マップ「おさんばいへや」制作事業	H27	各集落別の名所・旧跡の概要を網羅したマップ(ペーパーベース、スマホデータベース)を作成し、「車から降りた観光」に活用できるようなアイテムを観光客に提供し、伊平屋村で観光客が、独自のプランで、散策できるような仕組みを構築する	・集落内の散策基盤の構築 ・外国人観光客への島内案内、集落案内の充実	・集落内の散策基盤の構築完了 ・外国人観光客への島内案内、集落案内の充実完了		
1	7	伊平屋村スマホでスタンプラリー	H27	観光スポットにQRコードを設置し、スマートフォンでのスタンプラリーを実施できる仕組みを作り、観光客が個々で、散策しながら観光地を周遊する仕組みを構築する。	携帯端末を活用した観光案内等による観光客へ取り込み促進	携帯端末を活用した観光案内等による観光客の取り込みを促進できた		
2	1	病害虫防除事業	H24 ~ H27	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	・病害虫の防除等によるサトウキビ生産環境整備を整え安定的な生産量の確保を図る。 H23年度 1,758t H27年度 4,000t	・病害虫の防除等によるサトウキビ生産環境整備を整え安定的な生産量の確保が図られた。(4,361t)		
2	2	輪作・転作等促進農業用排水施設整備事業	H25 ~ H27	台風等の風災害により、減少した2期作農家を支援するため、輪作・転作が可能な水田排水施設の整備をする。この地区を農業モデルほ場とし若者等の参入を図ると共に農業生産性の向上を図る。	輪作・転作に対応できる基盤整備の完了		繰	
2	3	伊平屋村漁協活魚輸送機能強化事業	H27	平成12年に事業整備した活魚車が老朽化し、耐用年数も超えていることから活魚運搬中の事故等が懸念されている。一時期停滞していたヤイトハタ等の県内外への出荷も年々増え、今後も増加が見込めることから活魚車を新たに導入し併せて機能強化を図ることで、輸送中の酸素不足や水温上昇等による斃死を削減する。	活魚出荷体制の強化	活魚出荷体制の強化がなされた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「 - 」

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ~ H30	本村の畜産業の振興を図る為、計画的に優良繁殖雌牛を導入し、肉用牛繁殖農家へ導入費用の一部を助成することで肉用牛の増頭と飼育農家の経営安定化を図る。	優良繁殖雌牛の飼育頭数の増 H27年度(導入率40%) 184頭 194頭	優良繁殖雌牛の飼育頭数 196頭		
3	1	伝統文化継承支援事業	H24 ~ H28	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座の実施や保存会等の活動を支援する。	・伝統文化教室の参加者数:100名 ・地謡(三線)継承者の育成5名	・伝統文化教室の参加者数:167名 ・地謡(三線)継承者の育成5名		
3	2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ H33	村立幼稚園での特別支援が必要な園児に対し特別支援員を配置するとともに、中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象に学習支援員を配置し、授業のサポートや課外学習として、中学3年生を対象に村営塾を開講し個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	・学力テストにおける無回答率の減少(5教科平均無回答率) H26年度10.1% H27年度8.0% ・特別支援学級における個々の学習環境の充実	・学力テストにおける無回答率の減少(5教科平均無回答率) H26年度10.1% H27年度11.7% ・特別支援学級における個々の学習環境の充実がなされた		
3	3	英語学習支援事業	H25 ~ H33	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	・英語検定合格者の増加 H25年度25名 H27年度30名 ・留学終了後のムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 ・島外英語スピーチコンテストへの派遣:3名	・英語検定合格者の増加 H27年度30名 ・留学終了後のムーンライトマラソン等のボランティア協力及び実践発表会開催 1回(23名参加) ・島外英語スピーチコンテストへの派遣:3名		
3	4	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ~ H33	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では経験できない他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会、交流等による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	補助の実施による保護者の経済的負担の軽減	経済的負担の軽減		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「 - 」

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	5	学校ICT推進事業	H27 ~ H28	小・中学校の教育用パソコン、電子黒板等のICT環境を整備し、児童生徒の情報活用能力を育成するとともに「分かりやすい授業」を実践し「確かな学力」を定着させ、将来を担う人材育成を図っていく。	・パソコン検定合格者の増加 H25年度:1名 H27年度3名	0名	未	
3	6	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ~ H30	本村は離島村という地理的条件下、中学を卒業すると高校進学等もあり、子供達は村外へと巣立っていくという必然的な状況がある。また、島の将来を担う子供達の多数は帰郷すること無く島外、県外での就職等で島の産業等を活性化させる人材が少ない状況となっている。そのため、島の活性化に欠かせない人材育成を中学卒業までの間に実践及び経験等を交え、島での産業発掘をテーマに起業する力を身につけさせる。	・プレゼン力の向上 パワーポイント活用者中学1,2年生徒39名 発表会開催(生徒による、パワーポイントを活用した発表)	パワーポイント活用者中学1,2年生徒39名		
3	7	学校環境整備事業	H27	小・中学校の普通教室及び特別教室における学習環境の改善を図るため、空調設備を整備する。	空調設備の整備により、学習環境の改善を図る。	空調設備の整備により、学習環境の改善が図られた。		
4	1	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ~ H28	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	共働き世帯の負担軽減、園児の健全育成の推進	共働き世帯の負担軽減、園児の健全育成の推進がなされた。		
4	2	慢性疾患児童等通院時渡航費助成事業	H25 ~ H33	専門医療健診の受診促進のため、通院に要する船賃、宿泊費等を助成。	専門医通院治療に係る住民負担の軽減	専門医通院治療に係る住民負担の軽減がなされた。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	3	ウェルネスいへや推進事業	H27 ~ H33	高齢化社会や地理的要因から生ずる医療格差に対応するためには、病気にかからない予防対策が非常に重要である。 そこで、健康づくりは自ら行い、地域で支え合う環境を整備するため、各字公民館にフィットネスプログラム映像機器設置(CG映像を活用した運動メニューの提供)や、各地域ウォーキングコース等を設置する。	・住民健診の受診率の向上 H26年度 59.9% H27年度 65.0% ・1人当たりの運動習慣の向上 H26年度 41% H27年度 50%	・住民健診の受診率 62.5% ・1人当たりの運動習慣の向上 未確認	未	
4	4	住民健診フォローアップ推進事業	H27 ~ H33	住民健診の結果により、がん検診等において要精密検査となった者やメタボリック・シンドローム及びその予備軍を対象とした二次健診の受診に掛かる渡航費を支援。	精査等未受診率の減 H26年度 未受診率 51% 平成27年度 30%	精査等未受診率 30%		
4	5	地域自立支援推進事業	H24 ~ H27	行政と住民が協働して行う島づくりの体制の構築に向けて平成26年度に策定した行動計画を着実に実施していくための地域活動を支援する。	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化 作成した行動計画の着実な実施	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化がなされ、作成した行動計画の着実に実施した		
4	6	集落環境整備事業	H25 ~ H29	地域住民による自助、共助、公助の仕組みづくりを推進するため、集落環境整備計画の策定と協働による主体的な取り組みについて助成を行う。	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化 作成した行動計画の着実な実施	行政と住民が協働で行う島づくり体制の強化がなされ、作成した行動計画の着実に実施した		
4	7	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ~ H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。	車両航送運賃の補助による定住環境の改善	車両航送運賃の補助による定住環境の改善がなされた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊平屋村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	8	高齢者福祉施設整備事業	H24 ~ H27	島内に一箇所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイサービス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の改修を行う。また、ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築により、8名分の増床を行うとともに事務所及び相談室を新たに増設する。	・効率的な給湯システムの構築完了 ・施設の安全性及び利便性の向上(沖縄県福祉のまちづくり条例に適合)	・効率的な給湯システムの構築が完了し、施設の安全性及び利便性の向上がなされ沖縄県福祉のまちづくり条例に適合できた。		
4	9	伊平屋村火葬場機能強化事業	H26 ~ H28	本村の火葬場は整備後24年が経過し老朽化が進んでおり、斎場としてのスペースが無く、トイレ・待合室などもバリアフリーとなっていない。そのため、葬儀に係る住民負担の軽減と定住条件の向上に向け、火葬場の機能強化の為に改修及び増築を行う。	・葬祭場建築工事管理業務委託の完了 ・葬祭場建築工事の完了 ・備品一式の購入完了		繰	
4	10	伊平屋村スポーツコンベンション拠点施設整備事業	H26 ~ H27	村民の健康増進や生涯スポーツの拠点のみならず、ムーンライトマラソンのメイン会場や県内アマチュア団体の合宿、各プロスポーツ団体との交流イベント、講習会の開催場所として活用している友愛と健康の広場を本村のスポーツコンベンション推進拠点施設と位置づけ、さらに取り組みを強化するため、施設の機能強化を行う。	・磁気探査の完了 ・照明施設改修工事の完了 ・グラウンド等改修工事の完了 ・附帯施設整備工事の完了 ・外構改修工事の完了		繰	
4	11	障がい者自立支援事業	H25 ~ H29	本村の障害者活動団体の支援を月8回程度行いながら、就労支援に向けた信頼関係を深め、絆を構築しながら年間活動を行っていく。又、就労支援施設整備に向けた障がい者拠点施設基本計画を策定する。	・サービス管理責任者の人材育成 1名 ・障がい者拠点施設基本計画策定の完了	・サービス管理責任者の人材育成 1名 ・障がい者拠点施設基本計画策定の完了		
5	1	伊平屋島災害時避難施設整備事業	H26 ~ H28	地震や津波、台風などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する避難指定場所のライフライン等の機能強化により、避難者が安全に安心して避難できる施設の整備を図る。	地震や津波、台風などの自然災害に強いむらづくりを推進する	地震や津波、台風などの自然災害に強いむらづくりを推進した		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	観光地等クリーンアップ事業	H24 ~ H33	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等と併せて草刈作業や花壇等の環境整備を行いながら花木の植栽など美化活動を強化する。さらに島全体を観光地として環境整備を行い緑化活動を推進する。	美化緑化(15カ所)により観光客受入態勢を整備する。	美化緑化(15カ所)		
1	3	いげな88トライアスロン大会支援事業	H25 ~ H33	いげな88トライアスロン大会については大会選手・関係者をあわせて1,000名あまりが来島し大会を盛り上げているが受入体制の強化、さらなるイメージアップをめざして通年をとおして安定的な観光誘客の促進を図る。	・トライアスロン参加選手:600名 ・ボランティア・関係者及び観戦者:400名	・トライアスロン参加選手:555名 ・ボランティア・関係者及び観戦者:305名		
1	4	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ~ H28	本村は、第一尚氏王統の元祖及び第二尚氏王統の始祖尚円王生誕の地であり、数々の王家ゆかりの史跡・文化遺産が多く残されている。平成27年度に尚円王生誕600年を迎えるため、尚円王に関する史跡等の整備・復元や「いげな尚円王まつり」等の関連行事を開催し、本村から琉球の歴史及びいげな島の魅力を県内外へ発信することで更なる誘客による観光振興を図る。	「-尚円王生誕600年記念-いげな尚円王まつり」の来場者数:延べ2,000名 また、観光ガイド、インストラクター等養成講座実施により観光人材を育成する(5人)。	「-尚円王生誕600年記念-いげな尚円王まつり」の来場者数:延べ2,814名 また、観光ガイド、インストラクター等養成講座実施により観光人材を育成する(5人)。		
1	5	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ~ H33	場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を誘致し、選手をはじめそのサポーターや観光客の誘致を促進するため、モータースポーツ大会開催を支援する。	・ドラックレース大会来場者数:200名(2回) ・スーパードリフト大会来場者数:400名(4回) ・エキサイティング・ジムカーナ大会 来場者数:100名(1回)	・ドラックレース大会来場者数:150名(1回) ・スーパードリフト大会来場者数:640名(4回) ・エキサイティング・ジムカーナ大会 来場者数:100名(1回)		
1	6	いいな運天港いちゃり場まつり支援事業	H26 ~ H33	伊是名村・伊平屋村・今帰仁村の三村交流事業である「いいな運天港いちゃり場まつり」を支援する。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の実施による三村の交流。	「いいな運天港いちゃり場まつり」の実施による三村の交流。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	7	沖縄らしい風景づくり推進事業	H26 ~ H33	本村の魅力ある自然や文化・景観等を保全・活用による人と自然が共生するむらづくりを推進し、地域と一体となった魅力的な景観形成を推進するため、個人が実施する外観形成に有効な赤瓦屋根の新設または葺き替え、サンゴ石垣による敷地囲い等に要する経費を支援する。また、地域での景観形成活動を行う団体にも活動費の一部を支援する。	景観形成への支援 ・団体支援 5団体	景観形成への支援 ・団体支援 5団体		
1	8	観光情報発信事業	H26 ~ H33	観光振興を図ることを目的に、お土産袋、観光カレンダー等を制作し観光情報発信の推進を図り、受入体制を強化する。	・お土産袋制作・配布(配布率100%) ・観光カレンダー制作・配布(配布率100%)	・お土産袋制作・配布(配布率100%) ・観光カレンダー制作・配布(配布率100%)		
2	1	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ~ H33	離島の定住条件の向上を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。	自動車航送運賃助成による定住条件確保: 5,000台	自動車航送運賃助成による定住条件確保: 5,755台		
2	2	妊婦健診渡航費助成事業	H24 ~ H33	14回の妊婦健康診査時の渡航費等及び宿泊料や36週以降の滞在時の宿泊料の一部を支援する。	妊婦健診に要する経費の支援 ・渡航費・交通費支援…168件 ・滞在費支援…2人	妊婦健診に要する経費の支援 ・渡航費・交通費支援…102件 ・滞在費支援…3人		
2	3	人工透析医療受給者助成事業	H24 ~ H33	本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな支障となっている。村内の人工透析医療受給者が医療受診のための通院等に要する本島移動費及び宿泊費の支援を行うことで、定住条件を改善を図っていく。	人工透析に係る交通費・宿泊費の支援件数: 2人 事業の実施によって、受診者の経済的・精神的不安の解消を行い、住み慣れた地域で生活することができ、治療に専念することができる。	人工透析に係る交通費・宿泊費の支援件数: 3人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	4	伊是名らしい古民家修復・復元事業	H25 ～ H29	本村における貴重な資源である古民家の修復や、古民家が消失し空き屋敷となっている敷地に古民家(赤瓦屋根・サンゴ石垣・屋敷林)を復元し、Uターン・Iターン者向け定住住宅として定住促進を図るとともに観光地としてのイメージアップを図る。	・古民家修復をおこない、Uターン・Iターン者向け定住住宅1世帯を提供	・古民家修復をおこない、Uターン・Iターン者向け定住住宅1世帯を提供		
2	5	火葬場整備事業	H27 ～ H28	島内に一カ所しかない火葬場であるが、昭和58年度に建設されてから30年が経過し、火葬炉の老朽化が著しいため、既存施設を利用しながら火葬炉棟の機能強化を図る。	火葬炉の老朽化に伴う機能強化を図り、安心して暮らせる島を提供することで、定住条件に大きく寄与する。	火葬炉の老朽化に伴う機能強化を図り、安心して暮らせる島を提供することで、定住条件に大きく寄与するには至らなかった。	未	
2	6	地域活動拠点活性化事業	H27 ～ H30	地域との連携の下、地域住民に拠点地域活動・地域行事(芸能祭)等伝統文化・芸能の場や食文化を利用した都市及び観光客との交流と体験を提供する地域活動拠点施設の整備に向け、施設整備の基本的な考え方、施設建設の方針、運営体制などの基本計画を定める。	施設整備の基本的な考え方、施設建設の方針、運営体制などの基本的な考え方をまとめることにより、充実した施設利用の計画が策定できる。 (基本計画策定完了)	施設整備の基本的な考え方、施設建設の方針、運営体制などの基本的な考え方をまとめることにより、充実した施設利用の計画が策定できる。 (基本計画策定完了)		
3	1	人材育成事業(日高小との交流事業)	H24 ～ H33	沖縄と北海道という異なる生活圏で暮らす子ども達が、それぞれの地域を訪れ、その地域の自然や歴史、生活に触れ、体験学習・交流学習を通して友情を育むことで、広い視野と協調の精神を養う。	児童:12人 引率者:5人	児童:11人 引率者:5人		
3	2	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ H33	離島である本村から、児童生徒の島外での諸教育活動への派遣費を支援し、本村から本島への移動をスムーズに行えるよう実施する。	島外教育活動への派遣 児童生徒数:90名	島外教育活動への派遣 児童生徒数:78名		
3	3	学習支援員配置事業	H24 ～ H33	本村の未来を担う児童の人材の育成を図る観点から、小学校における教育活動の支援及び学習に遅れのある児童生徒への学習支援を実施する。	充実した学習支援体制の確保	充実した学習支援体制の確保2人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

伊是名村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	4	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ~ H33	離島である本村では、学童保育所がないため保護者が安心して仕事ができる環境整備として教育課程に係る教育時間終了後に幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を配置する。	預かり保育を利用する幼児数:16人	預かり保育を利用する幼児数:15人		
3	5	学校外学習支援事業	H25 ~ H33	高校受験対策の一環として、生徒の学校外での学習を支援することにより、学校の授業でカバーできないきめ細かい学習を支援するため、村営の学習塾を開設する。	学習塾利用生徒数:55人	学習塾利用生徒数:55人		
3	6	グッジョブ連携推進事業	H27 ~ H33	小中学校において、児童生徒に自己理解・自己実現を図る意欲を向上させ、目的意識の高揚や就業意識の向上を高める必要がある。そのためには、学校と体験学習受入事業所、経済団体といった関係機関との連携・協力体制を構築して活動を効果的に推進していく。また、家庭・地域・行政が互いに連携し地域資源を活用し、学校支援活動の強化につなげることを目的に、小学校ではジョブシャドウイング、中学校では職場体験などキャリア教育を実施する。	・キャリア教育の実施人数 小学校5年生:11人 中学校2年生:16人 ・関係機関との連携協力体制の構築	・キャリア教育の実施人数 小学校5年生:11人 中学校2年生:16人 ・関係機関との連携協力体制の構築完了		
4	1	伊是名村土づくり支援事業	H24 ~ H33	肉用繁殖牛の減少に伴う堆肥の原料不足を補うため、沖縄本島からの堆肥原料購入費用及び輸送費用を支援することにより、安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。	堆肥導入数量:2,000t さとうきびの反収増 目標年度:平成29年度 現状:3.6t/10a 目標:6.0t/10a	堆肥導入数量:2,000t		
4	2	分蜜糖製糖施設近代化事業	H27	本村の基幹作物であるさとうきびは、台風等の自然災害等の影響を受けやすいため原料の安定確保が困難なことや、離島地域であり地理的に不利な状況であること等により製糖業の経営状況は厳しい状況である。そこで、製糖事業者が行う経営体質強化のための製造コストの低減、品質向上及び衛生管理の徹底等のため施設整備を支援し、安定操業を確保することにより、「さとうきび・糖業」の振興を図る。	食の安全確保のため侵入防止策の設置及び原料等搬入搬出ゲートの設置を行う。 製糖工場進入路及び周辺雨水側溝を整備し、衛生環境を改善する。 風による異物混入の低減を図るため、工場敷地内の舗装を行い、衛生的な環境を整備する。	食の安全確保のため侵入防止策の設置及び原料等搬入搬出ゲートの設置を行った。 製糖工場進入路及び周辺雨水側溝を整備し、衛生環境を改善した。 風による異物混入の低減を図るため、工場敷地内の舗装を行い、衛生的な環境を整備した。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	1	海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	H24 ～ H27	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行う。	10アール当たりの収穫量把握 生産コスト等の課題抽出	6.6a当たりの収穫量把握 生産コスト等の課題抽出	
1	2	2	漁港施設機能強化事業	H25 ～ H30	本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要漁港に製氷施設及び漁船巻揚機(ウインチ)を設置するを行う団体へ支援を行う。	製氷施設整備率100% 巻き上げ機整備率(全体12基)50%	製氷施設整備率100% 巻き上げ機整備率(全体12基)50%	
1	3	3	久米島町循環型農業促進事業	H25 ～ H28	本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築するため、町営堆肥センターの生産性の向上を図り、堆肥活用促進の機能強化を行う。	農業機械導入(2台)による堆肥活用促進体制の確立		繰
1	4	4	優良雌牛導入事業	H26 ～ H33	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。	・優良雌牛導入率:35% (導入予定:240頭)	・優良雌牛導入率:40%	
1	5	5	くめじま山羊振興活性化事業	H25 ～ H27	本町の山羊食文化及び山羊肉の地産地消の推進を図るため、優良品種山羊の導入と普及、山羊牧場の建設、「くめじま山羊」のブランド化を確立し全町的な肉用山羊生産供給体制の整備を行う。	優良品種導入率:100%	優良品種導入率:93%	
1	6	6	農産物出荷貯蔵施設整備事業	H26 ～ H27	本町の露地野菜の生産体制強化を図るためプレハブ冷蔵庫の設置を行う。	・出荷商品の品質保持体制の確立	・出荷商品の品質保持体制の確立	
2	1	1	久米島紬販売促進事業	H24 ～ H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。	・反物売上額 7,000万円 ・小物売上額 1,000万円	・反物売上額 6,600万円 ・小物売上額 1,200万円	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	海洋深層水全国展開事業	H24 ~ H28	海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行う。	・商談会面談者数 200人 ・商談(取引)成立数 3件	・商談会面談者数 80人 ・商談(取引)成立数 2件	未	
2	3	久米島特産品販路開拓事業	H24 ~ H33	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発のコーディネーターを配置する他、既存商品の改良や知名度向上のため県内・県外で開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会を実施する。	・物産展等における販売額 2,500万円 ・ビジネス戦略・マーケティング戦略勉強会 7社受講 ・既存商品改良数 4点 ・ブラッシュアップ商品数 5点 ・アンテナショップ販売額(久米島関連商品) 1,200万円	・物産展等における販売額 2,430万円 ・ビジネス戦略・マーケティング戦略勉強会 6社受講 ・既存商品改良数 2点 ・ブラッシュアップ商品数 3点 ・アンテナショップ販売額(久米島関連商品) 891万円		
3	1	久米島観光誘客支援事業	H24 ~ H33	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動、閑散期対策として団体ツアー商品造成等を実施し、観光産業の振興を図る。	観光情報案内及びニーズを把握し、観光満足度向上を図る。 ・入域観光客数 H26年92,721人(基準年) 今年度99,000人 ・イベント参加人数 H26年度758人(基準年) 今年度880人 ・広報推進事業 広報活動 7件/久米島の認知度向上	観光情報案内及びニーズを把握し、観光満足度向上を図る。 ・入域観光客数 H27年 104,304人 ・イベント参加人数 H27年度 862名 ・広報推進事業 広報活動 4件		
3	2	久米島観光プロモーション事業	H25 ~ H33	本町の観光誘客の課題である知名度不足の解消を図るため、大手IT企業を活用した観光プロモーションを実施する。	・WEBプロモーション件数:2社 ・テレビ番組県外放映:1件	・WEBプロモーション件数:2社 ・テレビ番組県外放映:2件		
3	3	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ~ H28	本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。	・修学旅行入域者数 800人 ・体験プログラム利用者数 1,200人	・修学旅行入域者数 668人 ・体験プログラム利用者数 1,287人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	4	スポーツ合宿誘致事業	H26 ~ H33	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。	陸上合宿 4件 パークゴルフ大会 1件(島外参加者数100人)	陸上合宿 4件 パークゴルフ大会 2件(島外参加者数180人)		
3	5	航空路線拡充対策事業	H26 ~ H33	伸び悩む観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。	チャーター便運航数:38便 要請及び調査活動:4回 新規航空会社誘致体制の確立	チャーター便運航数:14便 要請及び調査活動:4回 新規航空会社誘致体制の確立ができた		
4	1	スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24 ~ H27	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場関連施設の整備を実施する。	久米島野球場施設使用 6団体	久米島野球場施設使用 6団体		
4	2	安心安全な観光まちづくり事業	H25 ~ H28	安心安全な観光まちづくりを目指し、主要避難場所である具志川農村改善センターに非常用電源を整備する。	避難所の防災体制強化	避難所の防災体制強化完了		
4	3	バス停上屋整備事業	H26 ~ H28	快適な観光地づくりを目指し、観光施設周辺のバス停の雨天及び直射日光の強い日差し対策としてバス停上屋の整備を行う。	バス停上屋整備率:83% (整備予定:6カ所)	バス停上屋整備率:66%		
5	1	球美の島エコアイランド化推進事業	H24 ~ H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	・LED防犯灯整備率:70% (導入予定:1,650灯)		緑	
5	2	球美の島緑化推進事業	H24 ~ H27	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	ツツジゾーン、ツバキゾーン造成及び植栽工事の完了 ・品種登録を行い園芸振興による知名度向上を図る。		緑	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
6	1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ H33	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を支援する。	・景観活動団体の支援 ・景観形成の推進	・景観活動団体の支援実施 ・景観形成の推進できた		
6	2	個性豊かな文化の振興事業	H24 ～ H33	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行なっている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	・3団体(山里、仲村渠、兼城)の強化 ・出演者130名、来場者600名 ・民俗芸能団体の交流事業(八重山)27名	・3団体(山里、仲村渠、兼城)の強化 ・出演者139名、来場者400名 ・民俗芸能団体の交流事業(八重山)25名		
6	3	文化遺産保存活用事業	H24 ～ H33	豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復及び貴重生物のはく製の制作を行う。	・古文書の修復、翻刻、口語訳した割合28% (1625件中455件(累計)の修復) ・写真資料デジタル化率:100%	・古文書の修復、翻刻、口語訳した割合20.5% ・写真資料デジタル化率:90%		
6	4	久米島現代版組踊り創作事業	H24 ～ H28	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。	・ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信していく ・新たな歴史的・文化観光資源を創出する。	観光資源を創出できた		
7	1	英語指導員配置事業	H24 ～ H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力向上を図る。	英語指導員の配置 小学校:1名 コミュニケーション力の向上が図られた		
7	2	基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ～ H33	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。	基礎学力向上学習支援員を小学校へ2名配置し、県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の生徒の数を減少させる。	小3:4.8%(昨年度に比べて減) 小5:14%(昨年度に比べて増加)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	3	特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ H33	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	小学生:6.7%(昨年度に比べて増加) 中学生:27.5%(昨年度に比べて増加)	未	
7	4	児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ~ H33	児童・生徒の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、課外活動として島外で開催される各種大会への派遣旅費について支援を行う。	生徒派遣(876名)により多様な能力と心身の発達や育成を図る。	生徒派遣(630名)により多様な能力と心身の発達や育成を図った。		
7	5	教育ソフト導入事業	H27 ~ H28	小学校において主要教科のデジタル教科書及び操作性に優れたノートPCを購入し、デジタルテレビや電子黒板を利活用し、児童の理解度を高め、わかる授業で学習意欲を高め学力向上を図る。	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。沖縄県到達度調査の正答率過去3年間平均値との差。 国語(過去平均)66.4 (目標値)67.0 算数(過去平均)67.1 (目標値)67.5	国語:60.35 算数:59.45		
7	6	久米島町地域支援交流学習センター整備事業	H27	将来を担う人材育成、地域活性化、人口増及び生徒の学力向上を目的とした久米島町地域支援交流学習センターを整備し、島外から多くの留学生を受入ること地元出身の生徒及び地域との交流を通じてお互いに刺激し合う環境を構築する。	整備により 島留学生受入体制の確保 人材育成拠点施設の確保	整備により 島留学生受入体制の確保 人材育成拠点施設の確保 がなされた		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	八重瀬町外国語指導強化事業	H24 ~ H33	小学校・幼稚園において国際化に柔軟に対応できる力を養うため、通常の授業とは別に、夏休みや冬休みを利用した特別英語教室を開催する。	・H26年度受講者数 4幼稚園269人、4小学校(5・6年生)646人、及び2中学校938人受講。 ・英語検定受験者中8割合格目標	・H27年度受講者数 4幼稚園292人、4小学校(5・6年生)641人、及び2中学校942人受講。 ・英語検定受験者中 合格率62.6%合格		
1	2	八重瀬町パソコン指導強化事業	H24 ~ H33	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を義務教育で強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。	・H26年度受講者数 4小学校1,940人、2中学校938人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中8割合格を目標	・H27年度受講者数 4小学校2,007人、2中学校942人受講。 ・ワープロ検定等、受験者中 76.1% 合格		
1	3	八重瀬町学力向上支援事業	H25 ~ H33	小・中学校に児童生徒の学力向上のために、学習支援員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで学校及び学級の運営を円滑に行い教育環境の充実を図る。	・各小学校:年間の授業及び補習時間:980時間(年間平均値) ・各中学校:年間の授業及び補習時間:1,077時間(年間平均値)	・各小学校:年間の授業及び補習時間:980時間(年間平均値) ・各中学校:年間の授業及び補習時間:1,077時間(年間平均値)		
1	4	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	H24 ~ H33	中学校において、伝統芸能の特別授業を行い八重瀬町の伝統文化の継承を図るため、組踊、三線、エイサー等の講演会を開催する。	特別授業終了後の発表会参加生徒数:642人	特別授業終了後の発表会参加生徒数:724人		
1	5	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24 ~ H33	教育・文化・歴史・産業などの視察研修や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外に派遣する。	・現地での研修を体験することにより、国際的視野を広めると共に、コミュニケーション能力の向上と国際化意識の醸成、国際性豊かな人材の育成。 ・事後報告書:英文・日本語での感想等を掲載した冊子(50冊)	・現地での研修を体験することにより、国際的視野を広めると共に、コミュニケーション能力の向上と国際化意識の醸成、国際性豊かな人材の育成。 ・事後報告書:英文・日本語での感想等を掲載した冊子(100冊)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	6	八重瀬町少年少女人材育成交流事業	H26 ~ H33	風土、文化の違う他県の子どもたちと交流することにより、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活を通して、規律・協調・友愛・奉仕等の精神を身につけ、心身ともに健やかな少年少女の健全育成を図る。	生徒派遣者数 58人 (高知:12人、山梨46人) 事後報告会を開催し、報告書(100冊)を作成する。	生徒派遣者数 49人 (高知:12人、山形37人) 事後報告会を開催し、報告書(100冊)を作成		
1	7	切磋琢磨学力パワーアップ事業	H26 ~ H28	県教育委員会の学力向上の主要施策「にぬいっ星プラン」のもと推進されてきたが、未だ全国学力・学習状況調査では全国と大きな差がある。そこで教育委員会は学力向上の下支えとなる中学生の補習補中心に本事業を行い学力向上を図る。	土曜講座 東風平地区120人 具志頭地区40人 長期休業中 東風平地区120人 具志頭地区40人 定期テスト前対策 東風平地区120人 具志頭地区40人	土曜講座 東風平地区718人 具志頭地区259人 長期休業中 東風平地区226人 具志頭地区77人 定期テスト前対策 東風平地区248人 具志頭地区190人		
1	8	渡嘉敷リーダー研修事業	H26 ~ H33	風土、文化の異なる、多文化圏での活動を通し、幅広い視野を育み、自然の中での体験活動や集団生活により規律・協調・友愛・奉仕等の精神を養い、心身ともにすこやかな少年少女の健全育成を図る。	研修を通し、親元を離れ自立を促し、これからの沖縄を牽引する人材育成に寄与する。	研修を通し、親元を離れ自立を促し、これからの沖縄を牽引する人材育成に寄与した。		
1	9	ICT教育強化事業	H26 ~ H27	H26年度に小中学校へ電子黒板を配置したが、クラス増分、特別教室に設置するPC11台及び電子黒板を設置する。また各校に児童生徒発表用1台を追加する。ICT活用状況のレベルアップを図りさらなる学力向上を目指す。	電子黒板及び黒板用PC設置 (11台) 生徒発表用PC 各校1台設置 (計6台)	電子黒板及び黒板用PC設置 (13台) 生徒発表用PC 各校1台設置 (計6台)		
1	10	八重瀬町特別支援員配置事業	H27 ~ H33	小学校において心身に障害を持つ児童生徒に対し、適切な支援並びに発達障害(ADHD等)のための個別支援の必要な児童生徒への支援を行うため、各小中学校に特別支援員を配置し支援体制の充実を図る。	支援員を確実に配置し、日常生活の介助、学習活動上の支援を行うとともに、学校及び学級運営のサポート体制を強化し学習環境の構築する	支援員を確実に配置し、日常生活の介助、学習活動上の支援を行うとともに、学校及び学級運営のサポート体制を強化し学習環境の構築した。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	1	八重瀬町イベント事業	H24 ~ H33	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。	・八重瀬桜祭り来場者数 5,000人 ・こいのぼりあしび来場者数 2,500人 ・青年エイサー祭り来場者数 10,000人	・八重瀬桜祭り来場者数 5,000人 ・こいのぼりあしび来場者数 3,000人 ・青年エイサー祭り来場者数 10,000人		
2	2	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ~ H33	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設及び観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	・観光地 : 8箇所 ・アクセス道路 : 40路線	・観光地 : 8箇所 ・アクセス道路 : 40路線		
2	3	八重瀬さくらのまち整備事業	H25 ~ H33	八重瀬公園を主として、町内各施設のさくらの整備、重点的な維持管理を行い、南部のさくらの名所としてアピールすることで地域の知名度向上と観光地としての魅力向上をはかる。	八重瀬公園内傾斜地に生育しているさくらの、根本土流出保護のため、土留め壁工事を行う。また、それと並行して全体の施肥・枝打ち等の育生保全を進める。	八重瀬公園内傾斜地に生育しているさくらの、根本土流出保護のため、土留め壁工事を行った。また、それと並行して全体の施肥・枝打ち等の育生保全を行った。		
2	4	玻名城の郷整備事業	H24 ~ H28	玻名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜で自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、遊歩道整備工事及び遊歩道用地取得を行う	遊歩道の整備進捗率 80% L=420m (全体計画 L=520m) 用地取得率 75% 平成27年度 6筆取得予定1,290㎡ (全体計画 8筆取得予定)	遊歩道の整備進捗率 80% L=420m (全体計画 L=520m) 用地取得率 50% 平成27年度 4筆取得予定1,078㎡ (全体計画 8筆取得予定)		
2	5	八重瀬町戦跡整備事業	H25 ~ H27	八重瀬町の地域資源を活用するため、町内で確認されている戦争遺跡を整備し歴史・平和学習等へ活用する。	遊歩道及び休憩所の整備完了	遊歩道及び休憩所の整備未完了	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	6	運動公園施設等整備事業	H24 ~ H28	スポーツキャンプを誘致、開催するため、サッカー場の芝について、高い品質を確保し、また、ピッチングブルペンカバーを配備し、スポーツキャンプの受け入れ体制を確保する。また、施設案内サイン(看板)の整備を行う。	県外からの野球チーム(2チーム)、サッカーチーム(3チーム)のスポーツキャンプを受入案内板設置の完了	県外からの野球チーム(3チーム)、サッカーチーム(3チーム)のスポーツキャンプを受入案内板設置の完了		
2	7	資料館観光活用事業	H24 ~ H27	既存資料館を教育的な観光施設として活用を図るため、パンフレット、ワークシートなどを作成し展示を活かした観光客の誘致を図る。	具志頭資料館入館者数の増 3,313人(過去5年平均) 4,000人	具志頭資料館入館者数の増 3,313人(過去5年平均) 3,701人		
2	8	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ~ H29	町内から出土した「港川人」を含む更新世化石人骨は東アジアでも発見されているが、保存がよく全体の形態がわかるのは港川人だけであり、貴重な資料として位置づけられている。町では出土地の「港川フィッシャー遺跡」を整備し、公開することで、教育や観光資源としての活用を図る。	・公園整備に向けて現状、課題の把握 ・公園整備設計に向けてボーリング調査と測量調査の完了	・公園整備に向けて現状、課題の把握 ・公園整備設計に向けてボーリング調査と測量調査の完了		
2	9	八重瀬町コンビニAED設置事業	H26 ~ H28	災害時等において、住民や本町を訪れる観光客等に重篤な傷病者が発生した場合に、その場に居合わせた方がAEDを利用して救急措置が行えるようにするため、町内で24時間営業しているコンビニエンスストアへAEDを設置する。	H27AED設置予定箇所新設2店舗(2台) AED予備機 1台 町内コンビニ数:12店舗 (設置済店舗数10店舗)設置率83.3% 目標設置率 100%	H27AED設置予定箇所新設2店舗(2台) AED予備機 1台 町内コンビニ数:12店舗 (設置済店舗数10店舗)設置率83.3% 目標設置率 100%		
2	10	八重瀬町観光拠点施設整備事業	H27	八重瀬町観光振興基本計画に基づき、本町の観光を推進する拠点機能としての観光インフォメーション施設、特産品等の販売施設、体験型・交流型観光推進施設等の観光振興機能の導入を検討すると共に、沖縄南部観光における中継地点として、道路休憩施設等の設計を実施する。	観光拠点施設建設基本設計の策定 観光拠点施設建築設計の策定 観光拠点施設造成測量設計の策定	観光拠点施設建設基本設計の策定 観光拠点施設建築設計の策定 観光拠点施設造成測量設計の策定		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	11	八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ~ H30	観光事業が落ち込む冬場に注目度の高いリーグ加盟のサッカーチームキャンプを誘致し、観光誘客を図る。	・Jチーム3チーム以上の誘致 ・地域交流: サッカースクール町内小学生50名 ・イベント: ファン感謝まつり等開催 ・キャンプ来客数: 8,000人(H24~H26年度平均来客数5,000人)	・Jチーム3チーム以上の誘致 ・地域交流: サッカースクール町内小学生330名 ・イベント: ファン感謝まつり等開催 ・キャンプ来客数: 3,000人(H24~H26年度平均来客数5,000人)		
2	12	富盛石彫大獅子(勢理城)周辺整備事業	H24 ~ H27	沖縄県指定有形民俗文化財で県の村落獅子として最大で最古である富盛の石彫大獅子が鎮座する勢理城(ジリグスク)の観光に対し、安全で利便性を高める目的で、富盛の石彫大獅子及び石獅子の立地する勢理城公園の整備工事を行う。	周辺整備工事完了		繰	
3	1	八重瀬町観光ブランド魅力創出事業	H24 ~ H33	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の調査・ブラッシュアップを実施し、魅力を伝えるためのプロモーション、体験観光イベントの開催、地域との協働による受け入れ体制の仕組み創り、まち歩き等観光資源の商品プログラム作成を行う。また修学旅行等の受入にむけて体験滞在型プログラムの作成やその仕組みづくりを構築する。	体験観光の実証イベント 来客数 500人 まちあるきプログラムモニタリング 3回 体験滞在型観光プログラムの作成 3個 観光プロモーション 3回	体験観光の実証イベント 来客数 5,000人 まちあるきプログラムモニタリング 2回 体験滞在型観光プログラムの作成 4個 観光プロモーション 9回		
3	2	八重瀬ブランド販路構築支援事業	H24 ~ H33	販路拡大及び地域活性化を図るため、地域ブランドとして「八重瀬カラベジブランド」を用いた販路構築の取り組みを支援する。併せて、八重瀬ブランドの全体的な底上げに向けて、専門家によるハンズオン支援を通して、商品開発等を実施し、八重瀬町の新たなリーディング事業者を育成する。	参画事業者のハンズオン育成 1件 参画事業者のフォローアップ 2件 販路構築支援講習会 4回 新規商品の開発 3件	参画事業者のハンズオン育成 1件 参画事業者のフォローアップ 1件 販路構築支援講習会 4回 新規商品の開発 8件		
3	3	八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ~ H33	八重瀬町の観光振興を推進するにあたり、観光施策を構築し積極的な観光プロモーションを実施するため、観光プロモーションの管理業務支援員の配置、発地への観光プロモーション等の旅費、観光パンフレットの作成及びやえせのシーちゃんの着ぐるみの製作及び地域情報発信映画の制作を行う。	観光パンフレットの設置 県内30か所 八重瀬町プロモーションの企画提案実施 5回 県外観光客誘客プロモーション 3回 地域情報発信映画上映会の開催 1回 出演予定回数 40回	観光パンフレットの設置 県内86か所 八重瀬町プロモーションの企画提案実施 5回 県外観光客誘客プロモーション 2回 地域情報発信映画上映会の開催 1回 出演予定回数 64回		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	4	体験観光受入施設強化事業	H26 ~ H27	八重瀬町には2万2000年前の港川人をはじめ、沖縄県最大最古の村落獅子 富盛の石彫大獅子、平和教育に活用できるガマ等、観光資源が豊富な地域である。しかし、それらを活用するための人材育成の研修施設及び宿泊施設を兼ね備えた拠点施設が無い。ため、これまでセミナーハウスとして活用していた施設を新たに観光及び人材育成研修拠点施設としてリニューアルする。	観光及び人材育成の拠点施設供用開始により、体験交流及び研修の受入体制の確保	観光及び人材育成の拠点施設供用開始により、体験交流及び研修の受入体制の確保		
4	1	八重瀬町地産地消フェア事業	H26 ~ H30	本町にて拠点産地に指定されている農作物等や畜産物・水産物及びそれらを使用した加工品等について、イベント開催を通じて地場産業の情報発信や展示販売等を実施し、農林水産業の振興を図る。	・地産地消フェア来場者数:2,000人	・地産地消フェア来場者数:3,900人		
4	2	八重瀬町和牛改良支援事業	H26 ~ H30	農家の経営安定化・質の高い食用牛の改良を進めるため、優良母牛導入に向けて支援を行う。 種雄牛の育種価の脂肪交雑がAランク以上の産肉能力があり、導入時の体高が平均値以上または登録審査時の審査得点が80点以上を見込める雌牛の導入の実施。	優良母牛導入率:40%	優良母牛導入率:42%		
4	3	ぐしちゃんいい菜栽培体系実証事業	H27 ~ H28	八重瀬町で栽培されている島野菜(カンダバー:ぐしちゃんいい菜)の施設栽培実証実験を行うことにより、施設栽培体系の確立や有効性を明らかにして、施設整備事業の導入を検討し、安定生産及び産地化並びに農業経営の安定化を図る。	施設栽培体系実証実験施設整備の完了	施設栽培体系実証実験施設整備の完了		
4	4	八重瀬町「農と緑」地域活性化推進事業	H26 ~ H28	亜熱帯に適する花、観葉植物、果樹等の苗を種苗ハウス内で育成し、公共施設や住民に配布し、農業の普及・担い手の育成を図る。また、地域農業の活性化に体験農場や農業塾・教室を開き農業体験を通じて農業後継者や新規就農者の育成を図る。	・用地購入取得率:100% ・造成工事竣工		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1	救助艇・牽引車両整備事業	H27	海や川に関する事故・災害等が起こった場合に、迅速かつ確実に対応するため必要な整備を整備し、消防力の強化に繋げ住民や観光客の安心安全を確保する。	水難救助体制の機能強化	水難救助体制の機能強化		
5	2	八重瀬町地域防災計画策定事業	H26 ~ H27	本町には海岸、河川沿いに面した集落があるが、本町地域防災計画において津波に対する考えが十分ではなく、想定外の被害をもたらした東日本大震災のような大規模災害に備え、住民と本町を訪れる観光客の安心・安全を確保するため、国の防災基本計画や沖縄県地域防災計画を踏まえ、災害対応「初動マニュアル」及び「災害対応時マニュアル」を作成し地域防災計画の強化を図る。	八重瀬町地域防災計画の策定 (各種災害マニュアル作成)	八重瀬町地域防災計画の策定 (各種災害マニュアル作成)		
5	3	防災備蓄品整備事業	H26 ~ H28	亜熱帯気候である沖縄県では毎年大きな台風が接近・襲来しており、平成26年度にいたっては、特別警報が発表されるほどの猛烈な台風が襲来している。また島しょ県である沖縄は、大規模災害時には物資の補給が困難となり、孤立してしまう恐れがあります。そのため、町独自で災害に備え、避難所へ避難してきた住民に対し災害用トイレ袋、トイレトイレットペーパー、毛布等の備蓄品を供給できるようにする。	目標備蓄数に対する達成率(平成27年度) 災害用トイレ袋 : 66% トイレトイレットペーパー : 68% 毛布 : 67%	目標備蓄数に対する達成率(平成27年度) 災害用トイレ袋 : 66% トイレトイレットペーパー : 68% 毛布 : 67%		
6	1	ハーレー振興事業	H26 ~ H27	毎年、旧暦の5月4日(ユッカヌヒー)に行われる港川ハーレー(爬竜船競争)は、海人(ウミンチュ)の豊漁と航海の安全、集落の安泰を祈願して行われています。しかし、ハーレー舟の老朽化や保管場所がないため、新たにハーレー舟の造舟、ハーレー舟保管の格納庫を整備する。	ハーレー舟の新造船 3隻 ハーレー舟保管格納庫整備	ハーレー舟の新造船 3隻 ハーレー舟保管格納庫整備		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	1	沖縄戦関係資料公開活用事業	H27	本町は沖縄戦末期、近くに日本軍の司令部が置かれ、激戦地となったことで、町は壊滅状態となり人口の5割近くが犠牲になった。戦中は、日本軍によって町内に陣地が構築され、白梅学徒隊が動員された野戦病院も置かれた。町では既存の資料館に、これまで収集した白梅学徒隊の資料をパネルにし公開する。また、元郵便局長の戦前から戦後までの日記資料の冊子を作成し公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の悲惨さ、平和の尊さへの意識の向上を図る ・仲本日記資料の県内教育機関、町内教育機関への配布 200部 ・白梅学徒隊関連資料のパネルを既存資料館への設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争の悲惨さ、平和の尊さへの意識の向上を図る ・仲本日記資料の県内教育機関、町内教育機関への配布 200部 ・白梅学徒隊関連資料のパネルを既存資料館への設置 		
8	1	謝花昇顕彰事業	H27 ~ H32	八重瀬町の偉人である自由民権運動の父「謝花昇」の生誕150周年の節目でありこの機会に町民にその功績を広め偉人顕彰に対する気運を高める。また全国的に謝花昇先生の認知度を高めることにより八重瀬町のPRにもなる。	<ul style="list-style-type: none"> ・墓前祭の実施 約50名 ・謝花昇演劇上演 (町内中学校×2校、小学校×4校 約3,800名) ・謝花昇関連シンポジウムの開催 約200名 	<ul style="list-style-type: none"> ・墓前祭の実施 約0名 ・謝花昇演劇上演 (町内中学校×2校、小学校×4校 約3,800名) ・謝花昇関連シンポジウムの開催 約0名 		
8	2	謝花昇関係資料活用事業	H27	本町出身の謝花昇は自由民権運動の父と呼ばれ、明治時代、沖縄で参政権運動を行い活躍した。謝花昇関連資料をととして沖縄近代史を学ぶ取り組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・謝花昇ガイドブック制作 10,000部 ・謝花昇資料展の開催 600名 ・「謝花昇ゆかりの地を歩く」の開催 25名 	<ul style="list-style-type: none"> ・謝花昇ガイドブック制作 10,000部 ・謝花昇資料展の開催 1,028名 ・「謝花昇ゆかりの地を歩く」の開催 9名 		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
9	1	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ H29	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の活躍を支援する。	トップアスリート「夢・未来」サッカースクールの開催 競技力向上メンタルトレーニング講習会の開催 児童生徒の県外派遣費用に関する派遣支援によるスポーツ促進 教室参加者数 100名 講習会参加者数 200名	トップアスリート「夢・未来」サッカースクールの開催 競技力向上メンタルトレーニング講習会の開催 児童生徒の県外派遣費用に関する派遣支援によるスポーツ促進 教室参加者数 125名 講習会参加者数 300名		
10	1	子育て世代ゆいまーる支援事業	H27 ～ H33	低所得故に共働き世代が多い沖縄県においては、待機児童も多く、この受皿となる保育施設の充実や子育て支援の充実は特に必要であるため、これに関連する各種施策を実施する。	指導員が保育業務向上を図れる環境整備。 各学童クラブの施設情報・空き状況の情報管理及び窓口での情報提供。	指導員が保育業務向上を図れる環境整備。 各学童クラブの施設情報・空き状況の情報管理及び窓口での情報提供。		
11	1	教育施設省エネ化推進事業	H25 ～ H27	環境にやさしい教育施設を推進するため、照明設備をLED化し省エネ化を図る。公立学校施設の照明設備LED取替工事を行う。	東風平小 改修後CO2排出量 11,618kg (改修前CO2排出量 22,704kg) 具志頭中 改修後CO2排出量 9,055kg (改修前CO2排出量 15,076kg)	東風平小 改修後CO2排出量 11,618kg (改修前CO2排出量 22,704kg) 具志頭中 改修後CO2排出量 9,055kg (改修前CO2排出量 15,076kg)		
11	2	公立学校環境整備事業	H27	各小中学校のプールへ、紫外線対策の日除けネットを設置する。	小学校 2校 中学校 2校 設置率 100%	小学校 2校 中学校 2校 設置率 100%		
11	3	八重瀬町中央公民館耐震診断事業	H27	自然災害や人為的災害から守るための災害時に住民等が避難する場所である当施設が老朽化しており、安全性の確保が必要であるため当施設の耐震診断調査を実施する。	耐震診断結果の検証	耐力診断結果の検証	未	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

八重瀬町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
11	4	幼稚園環境整備事業	H27	具志頭幼稚園と具志頭小学校の間にある法面は、崩落の危険性があることやハブの生息地となっていることから、園児や児童の安全を確保するため整備を行う。	法面整備工事の完了	法面整備工事の完了		
12	1	浮魚礁設置補助事業	H27	新たに中層浮魚礁を設置することによってマグロ、カツオ等の水揚げ量も増え漁業者、遊漁船の経営の安定化を図るため、中層浮魚礁を設置する。	既存の表層浮魚礁は、台風等で流失の確立が高く漁獲に支障をきたす為、流失の確立が低い中層浮魚礁を設置して漁業、遊漁等の安定した操業を目指す。		繰	
13	1	健康いきいきウォーキングマップ作成事業	H26 ~ H30	ウォーキングは「歩く」という誰にでも参加しやすい運動で町民のスポーツ参加のきっかけを促進し、また内外から多くの参加者を集めることができ、観光面や経済効果といった波及の側面も持ち合わせている。ウォーキングマップを作成し、楽しさを実感、習慣化させることで「健康長寿沖縄県・八重瀬町」を復活させ、また、八重瀬町を健康スポーツ活動拠点として内外に発信し、地域活性化を図る。	ウォーキングコースを設定し、マップの作成・配布をすることでウォーキングに取り組みやすい環境を整える。	ウォーキングコースを設定し、マップの作成・配布をすることでウォーキングに取り組みやすい環境を整えた。		
14	1	やえせのシーちゃん広場整備事業	H27 ~ H28	八重瀬町では土地区画整理事業による総合的な魅力を備えた交流拠点としての整備により、新たな中心市街地の形成を目指しており、新しい中心地に「やえせのシーちゃん広場」を整備することで、にぎわいを創出し本町の活性化を図る。	シーちゃん広場設計書作成の完了	シーちゃん広場設計書作成の完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	観光関連施設整備事業(東屋等)	H25 ~ H27	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光関連施設等に東屋等を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	観光関連施設に東屋等を整備する。 ミッジ公園:1棟 前泊地区:1棟	観光関連施設に東屋等を一部整備した。 ミッジ公園:未整備 前泊地区:1棟		
1	2	美化緑化推進事業	H25 ~ H33	観光地形成に向け、公園・道路等の主要施設の環境美化を行い、観光関連施設の緑化推進を図る。	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化の実施 農村公園、ふるさと海浜公園、八重山遠見台、ミッジ公園等8箇所	観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を実施した。 農村公園、ふるさと海浜公園、八重山遠見台、ミッジ公園等8箇所(各年3回)		
1	3	観光関連施設整備事業(食事・土産品施設)	H27 ~ H29	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、観光客への食事・お土産品の提供の場を整備し快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	食事・土産品施設の基本計画の策定の完了	食事・土産品施設の基本計画の策定の完了		
1	4	八重山遠見台展望塔機能強化事業	H27	本村の地域資源を活かした観光産業の振興を図るため、八重山遠見台展望塔の機能強化を行い、観光客等利用者の利便性の向上及び安全確保を図り、快適な環境づくりによる観光地形成を推進する。	八重山遠見台展望塔の機能強化のための実施設計及び整備の完了		緑	
2	1	多良間村観光振興基本計画策定事業	H27 ~ H28	多良間村は、農業を中心とする村であるが、これからの若者の定住を図るためには、観光産業の振興は不可欠である。その柱となる振興計画を策定する。	村の観光振興にかかる課題の把握及び指針の整理 ・計画に基づく新たな観光メニューの開発 ・計画に基づく、ハード、ソフト事業の整備 ・計画に基づく、地域資源の把握と利活用	村の観光振興にかかる課題の把握及び指針の整理を実施した。 ・計画に基づく新たな観光メニューの開発 ・計画に基づく、ハード、ソフト事業の整備 ・計画に基づく、地域資源の把握と利活用		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	1	イネヨトウかく乱法防除事業(フェロモンチュウブ)	H25 ~ H29	さとうきび生産安定と品質向上を図るため、フェロモンチュウブを設置し、雌を探す雄の行動を阻害し、交尾率をていかささせることにより、イネヨトウの次世代密度低下を図る。	イネヨトウを防除することで、さとうきびの生産安定と品質向上を図ることで、地域の農業振興の発展に繋がる。	イネヨトウを防除し、さとうきびの生産安定と品質向上を図ることで、地域の農業振興の発展に繋げた。		
3	2	多良間新製糖工場整備事業	H27 ~ H28	当村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制の確立をはかるため、農家の生産意欲を高め製糖事業者の製糖コストの軽減、製品の品質向上及び安心・安全な製品の確保を図るため、含みつ糖製糖施設を整備する。	不発弾事前探査委託業務、用地造成工事調査測量設計委託業務、用地造成工事の完了		繰	
4	1	小学校空調設備設置事業	H27	亜熱帯気候である沖縄県は、年間をとおして高温多湿な状況が長期間続くことから、児童の学習環境を改善し、学習に集中できる環境を整備するため空調設備を整備する。	小学校空調設備の完了 普通教室3年生から6年生の4教室に各1台づつ設置する。	小学校空調設備の完了		
4	2	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ~ H33	島外で実施されるスポーツ大会、文化交流会等、各種教育活動に積極的に参加し、離島の小規模校では体験できない他地域の児童生徒との交流で意識の高揚、スポーツの技術力向上等、未来を拓く子ども達の能力向上を図る。	児童生徒の派遣による交流推進と意識高揚	児童生徒の派遣による交流推進と意識高揚が図られた		
4	3	ふるさと文化担い手継承事業	H27	学校教育において、児童生徒に対応した教育プログラムを充実し、生涯学習機会の提供などの学べる環境づくりを図るため副読本を作成する。	副読本の活用による地域の産業・文化等を学べる環境づくりを確保 地域社会を学ぶ教材として活用しながら、地域住民も学べる資料と位置づけて作成する。	副読本の活用による地域の産業・文化等を学べる環境づくりを確保した。 地域社会を学ぶ教材として活用しながら、地域住民も学べる資料と位置づけて作成できた。		
4	4	学力向上推進ALT活用事業	H27 ~ H33	学校教育において、国際化社会に対応できる児童生徒の学力向上を図るため、ALTを招聘し国際感覚を養いながら児童生徒の英語力の向上を図る。	ALTを招聘して児童生徒の英語力向上を図り、国際化社会に対応できる人材を育成する。	ALTを招聘して児童生徒の英語力向上が図られた。		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

多良間村		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
5	1	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ~ H31	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。優良繁殖雌牛を導入する際に購入費の税抜き価格の1/2以内で最高30万円までを支援する。それにより母牛の更新及び改良の推進を図る。	H27~H31の5年間で75頭 H27優良繁殖雌牛導入率:20%	H27優良繁殖雌牛導入率:2.6%	未	
6	1	定住環境促進事業	H27	急激な人口減少と少子高齢化対策として、多様な担い手・後継者・Uターン者等の住まいを確保するための多用途住宅を整備する。	定住促進住宅整備の完了		繰	
7	1	多良間村自動車航送コスト負担軽減事業	H27 ~ H33	離島住民の利便性向上を確保するため、高額である宮古島-多良間島間のフェリー自動車航送に係る運賃補助を実施し、自動車航送運賃コストを軽減を図る。	自動車航送コスト負担軽減による、定住環境の改善	自動車航送コスト負担軽減による、定住環境の改善が図られた		
8	1	資源循環型農業推進事業	H27	流木、家庭から出る剪定樹木、基盤整備促進事業、防風林施設整備事業等により発生する雑木等を利用して木材破砕機でチップ化し、肥料の副資材として活用することで資源循環型農業を推進するため、木材破砕機、関連機械を整備する。	堆肥施設の機能拡充		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	子育て支援事業	H24 ~ H27	育児サポーターを養成し、地域の中で子どもを預けられる仕組みを支援し、安心して子育てできる環境を整備する。	・養成講座修了者数:6名 ・会員相互の技術向上を図る研修会/交流会の参加10名	・養成講座修了者数:12名 ・会員相互の技術向上を図る研修会/交流会の参加14名		
1	2	妊婦支援事業	H24 ~ H33	妊婦が安心して出産が迎えられるよう妊娠出産にかかる経済的負担軽減を図るため、妊婦が船舶及び航空機を利用した場合における運賃並びに出産待機宿泊費について支援する。	・妊娠中に母子共に健やかに過ごせる環境及び安心して出産できる環境の確保	・妊娠中に母子共に健やかに過ごせる環境及び安心して出産できる環境の確保実施		
1	3	健康診査用機材搬送事業	H26 ~ H33	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。	・3検診の総受診者数 1,600名	・3検診の総受診者数 2,070名		
1	4	竹富町お出かけサポートモデル事業	H26 ~ H27	高齢者や障害者等の外出機会の増加による自立生活の助長を図るためのお出かけサポート事業を西表西部地区を対象に実施する。また利用実績等を基に、他地区への展開について検証する。	・年間利用者数見込み:延べ人数500人 ・本格運行に向けた利用料金及び利用状況の把握	・年間利用者数見込み:延べ人数372人 ・本格運行に向けた利用料金及び利用状況の把握		
1	5	黒島・大原間定期航路運行モデル事業	H27	定期航路のない島間を就航し、これをモデル事業として島間を往来する利用者の利便性向上・島間航路の確保を行い、交流人口の増加による地域振興を図る。	・本航路の島間移動の利用者の把握及び、島間航路の確保による利便性の向上。 ・利用者見込み数:年間1,600人	・本航路の島間移動の利用者の把握及び、島間航路の確保による利便性の向上。 ・利用者見込み数:年間1,148人		
1	6	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ~ H33	島々を結ぶ高速船の船賃をJR料金並みにすることで、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減すると共に、生活の利便性を高める。	・対象航路の利用客数の増加 74,700人(基準年度H25) 93,400人(25%増)	・対象航路の利用客数 95,762人		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	7	複合型福祉施設整備事業	H27 ~ H33	本町での、質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業と、各地区の高齢者等を対象とした介護予防等の活動拠点となる福祉施設を、地域に即した「複合型福祉施設」として整備するための基本計画を策定し、それに基づいた各地区の拠点整備を実施する。	・複合型福祉施設整備を目指す本町7地区のうち、3地区(波照間島・小浜島・西表島上原)での基本計画の策定完了。	・複合型福祉施設整備を目指す本町7地区のうち、3地区(波照間島・小浜島・西表島上原)での基本計画の策定完了。		
2	1	うなり崎公園整備事業	H24 ~ H27	旧太陽の村(観光施設)跡地の公園整備を図り、優れた景観を活かし新たな観光スポットとして利活用を図る。	・公園等整備工事完了(整備率:100%)	・公園等整備工事完了(整備率:100%)		
2	2	観光誘客・受入対策事業	H26 ~ H29	本町の滞在型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動及び受け入れ体制強化・整備する。	・宿泊システムを導入した民宿等の宿泊者(各宿の平成26年度実績を基準)5%増 ・観光客誘致活動(イベント等)での来場者数8万人 ・竹富町入域観光客数115万人	・宿泊システムを導入した民宿等の宿泊者(各宿の平成26年度実績を基準)7%増 ・観光客誘致活動(イベント等)での来場者数4.3万人 ・竹富町入域観光客数115万人		
2	3	小浜島観光関連事業	H27 ~ H28	小浜島へ訪れる数多くの観光客に安心、安全で快適な観光誘客を図っていくために、西大岳展望所への遊歩道の整備と大型バス対応の駐車場の整備を行う。	・H28整備に向けた遊歩道・駐車場の設計の完了	・H28整備に向けた遊歩道・駐車場の設計の完了		
2	4	波照間観光関連事業	H27 ~ H28	波照間島へ訪れる観光客の増加に伴い、観光スポットへの通行の利便性、新たな観光地の整備、観光客への印象向上を図るため、進入道路等の整備を行う。	・H28整備に向けた進入道路、駐車場の設計の完了	・H28整備に向けた進入道路、駐車場の設計の完了		
2	6	忘勿石進入道路等整備事業	H26 ~ H28	西表東部の南風見田海岸にある忘勿石之碑へ続く歩道は未整備であり、観光客が立ち寄りにくい現状にあるのでこれを改善するため、駐車場と進入路、遊歩道の整備を行う。	・用地取得および遊歩道89mの整備完了	・用地取得および遊歩道整備完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	7	竹富町フリーWi-Fi環境整備事業	H24 ~ H27	本町に訪れる観光客等の利便性向上と地域住民への新たな行政サービスの展開を図るため、平成25年度で整備した町内の公共施設、主要観光スポット等のフリーWi-Fiエリア拡充に向けた基盤整備を行う。	・新規フリーWi-Fi整備完了	・新規フリーWi-Fi整備完了		
2	8	竹富島観光関連事業	H27 ~ H28	竹富島には年間40万人余りの観光客が訪れ、その多くの方が、星砂で有名なカイジ浜にて観光を楽しんでいる。しかし、周辺には休憩施設等が無く、多くの方が不便をきたしている現状がある。ついては、安心、安全で快適な観光が出来、これまで以上に観光満足度を向上させ、さらなる誘客を図っていくためにもこのカイジ浜周辺に休憩施設等整備を行う。	・休憩施設等の設計完了	・休憩施設等の設計完了		
2	9	ムシャーマ公園整備事業	H27 ~ H28	波照間島の中央に位置するムシャーマ公園は、島の伝統行事「ムシャーマ」の会場として多くの地域住民及び観光客等が利用する。また、祭日以外の日においても波照間島を訪れる多くの観光客の立ち寄り場所でもある。しかし、周辺には公衆用トイレ及び休憩所等がなく、訪れる多くの方が不便をきたしている現状がある。そのため、さらなる観光満足度及び利便性向上を目指すためにムシャーマ公園内に公衆トイレ等を整備する。	・トイレ休憩所等の設計完了	・トイレ休憩所等の設計完了		
2	10	小浜島結願祭会場整備事業	H27 ~ H28	小浜島の結願祭は、国の重要無形民俗文化財の指定を受けている「小浜島の盆、結願祭、種子取祭の芸能」の一つで、その現地公開は嘉保根御嶽にて行われており、毎年多くの人々が参加している。しかし、会場にあるトイレの老朽化により、地域住民及び観光客等に不便をきたしている。祭事へ参加する地域住民及び見学に訪れる観光客の利便性等を向上を目指すためにも、会場内にトイレの整備を行う。	・トイレの設計完了	・トイレの設計完了		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	11	竹富町観光受入施設安全対策推進事業	H27	広範囲に点在する16の有人・無人の島々からなる島嶼型自治体の竹富町では、島々の玄関口である港湾等を利用し多くの観光客及び地域住民が行き来しており、入域客数は年間115万人を突破している。こうした多くの人々が往来する本町において、安心・安全な観光地形成及び暮らしを維持するため、島々の玄関口である港湾等の主要なカ所に防犯カメラを整備する。	・防犯カメラ設置の完了	・防犯カメラ設置の完了		
3	1	読書支援事業	H24 ~ H33	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児、児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として学校図書館を地域へ開放する取り組みとして、学校図書館へ人員を配置し活発な読書支援を図る。	・読み聞かせ児童 100名/年 ・黒島 学校図書館利用人数(地域住民) 75人/年 ・小浜 学校図書館利用人数(地域住民) 100人/年	・読み聞かせ児童 177名/年 ・黒島 学校図書館利用人数(地域住民) 195人/年 ・小浜 学校図書館利用人数(地域住民) 177人/年		
3	2	児童生徒派遣費支援事業	H24 ~ H33	児童生徒のスポーツ等の各種大会等への派遣費を支援し、負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成等、沖縄本島との離島の格差是正を図る。	・児童生徒選手等派遣人数 : 470人	・児童生徒選手等派遣人数 : 498人		
3	3	学校ICT支援員派遣事業	H26 ~ H30	児童・生徒の学習意欲等の向上を目指し、教育用PC・電子黒板・タブレットPC等のICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を支援するため、各小中学校へICT支援員を派遣する。	・2日に1回以上授業でICT機器を使用する教職員数: 80%以上	・2日に1回以上授業でICT機器を使用する教職員数: 73%		
3	4	デジタル教科書整備事業	H27 ~ H28	ICT教育環境の向上を図り、児童の学習への興味関心を高めるため、デジタル教科書を各小学校へ整備する。	・デジタル教科書の導入完了(授業でのデジタル教科書の充足率100%) ・指導単元ごとの活用率100%	・デジタル教科書の導入完了 ・指導単元ごとの活用率80%		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	5	外国語指導助手派遣事業	H27 ~ H31	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。	児童のコミュニケーション能力向上について担当教諭へアンケート調査を行い、各学年80%以上を目指す。 幼稚園：初歩的な外国語を聞きまねることができる。 小低学年：初歩的な外国語を聞き理解することができる。 小中学年：初歩的な外国語を聞き理解し、答えることができる。 小高学年：初歩的な外国語の運用(質問したり、答えたり)ができる。	学級の在籍人数85%の児童が以下の目標を達成。 幼稚園：初歩的な外国語を聞きまねることができる。 小低学年：初歩的な外国語を聞き理解することができる。 小中学年：初歩的な外国語を聞き理解し、答えることができる。 小高学年：初歩的な外国語の運用(質問したり、答えたり)ができる。		
3	6	教育環境整備事業	H26 ~ H28	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、教育施設の空調設備の整備を行う。	・全体計画17校57教室のうち、H27末時点で整備目標：10校35教室 (全体計画の進捗率：約60%)	・全体計画17校57教室のうち、H27末時点で27教室 (全体計画の進捗率：65%) 35-27は校舎改築に併せ実施する学校が出たことから、全体計画数が減少したことによるもの。当該母数の減少を踏まえ、全体計画の65%が実施されている。		
3	7	芸術文化体験事業	H27 ~ H31	離島・へき地である竹富町においては、普段の生活圏ではクラシック音楽等を鑑賞する機会が極端に少ない。本町の各島にてクラシックコンサートを開催し、地域の子どもからお年寄りまでが体験することにより、生涯教育の推進と町民生活の質の向上を図る。	・西表島クラシックコンサート開催での参加者200名	・西表島クラシックコンサート開催での参加者394名		
4	1	竹富町和牛生産推進事業	H24 ~ H33	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以内上限30万円)及び口蹄疫の進入防止対策を実施し、本町の基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。	・口蹄疫等の侵入リスク低減 ・優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数142頭 (進捗率 69.8%) (H33年度迄導入目標750頭： H24~26年199頭導入)	・口蹄疫等の侵入リスク低減 ・優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数125頭		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	2	竹富町ペット適正飼養推進事業	H24 ~ H33	西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅危惧種であるイリオモテヤマネコの生息、生育を保全するため、西表島におけるペット適正飼養を推進する。	・各検査や適正飼養に関する啓蒙活動を展開し、逸出ペットの発生を年間10頭以内に抑制	逸出ペットの発生:15頭	未	
4	3	観光道路美化推進事業	H24 ~ H33	魅力的な観光地づくりの推進を図るため、観光客が特に往来する観光道路の美化清掃と植栽を実施する。	・魅力溢れる観光地の形成	・魅力溢れる観光地の形成実施		
4	4	文化財保全事業	H24 ~ H33	本町が有する文化財の美化保全を推進し、本町の特有の歴史文化や景観を観光資源として活用し観光産業の振興を図る。	・地域の歴史や文化にふれる事のできる環境の充実化	・美化作業の実施		
4	5	ピサダ道保存整備事業	H26 ~ H27	西表祖納集落に隣接するピサダ道は、高台に集落が位置していた時代に利用されていた歴史の道である。当該文化財の保存のために補修工事を行うとともに、津波災害時に高台に避難する道路としても利用できるよう整備を行う。	保存修理工事の完了 ・破損箇所の修復 ・排水施設の整備 ・手摺の整備	・破損箇所の修復完了 ・排水施設の整備完了 ・手摺の整備完了		
4	6	文化財説明板整備事業	H27 ~ H30	国内外から訪れる観光客等に町内に所在する指定文化財を分かりやすく説明するため、多言語(日本語、英語、中国語)による説明板を整備し、本町の文化財を活用する事によって観光振興を図る。	・文化財説明板2箇所の設置完了	遂行困難	-	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
1	1	地域振興対策事業	H24 ~ H33	「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」に、これまでの入賞者やゲスト等を招くことにより既存の観光イベントへの参加促進を図る。また、夜間のイベントとして、島内では滅多に行われない花火の打ち上げ、他の体験型観光メニューへの参加者の招待などの企画も行い、既に定着しているイベントとの連携を図る。このような複合かつ多様な「イベント」の連携を図り、かつ、内容の「情報発信」を行うことで、観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進し、地域振興に結び付けるための支援を行う。	イベント開催月入域観光客数 H27年度 カジキ釣り大会:2,400人(7月) 一周マラソン大会:3,000人(11月) 合計:5,400人	イベント開催月入域観光客数 H27年度 カジキ釣り大会:2,774人(7月) 一周マラソン大会:3,683人(11月) 合計:6,457人		
1	2	与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ~ H29	離島地区であり、日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為に、県内及び県外の物産展などの集客力を利用し出展を行い、特産品のPRを行って県内及び県外への販路開拓を図る。また、前年度に引き続き参加事業所には更なるレベルアップした店舗レイアウトや陳列方法、POPの作成方法などの専門家による事前講習を行い、より魅力を伝える事の出来る特産品のアピールを目指す。	販売促進及びPRの向上、物産展出展による特産品販路拡大 前年度とのレイアウト及びディスプレイ等での評価及び実績	出展事業者数 目標12 実績10		
2	1	与那国町農業用水対策事業	H24 ~ H27	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するため、かんがい排水施設を整備し生産効率の向上を図るため近代生産施設の導入を実施する。	稲作における生産高の伸び率 前年度比5パーセント増 H26年度玄米生産高:57,904kg H27年度玄米生産目標:60,799kg	H27年度玄米生産目標:44,437kg		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	2	与那国町さとうきびイネヨトウ防除事業	H25 ~ H29	さとうきびの安定生産を図ることを目的に、夏植え60ha、春植え10ha、株出し20haを対象に農薬購入に対し支援を行う。	農薬購入費の支援の実施 補助農家数:98農家 基準年(H24)平均単収:4t H27年度目標単収:6t	農薬購入費の支援の実施 補助農家数:39農家 H27年度単収:4.8t	未	
2	3	優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ~ H33	与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の拡充・強化を図り、改良を促進し、肉用牛の資質向上を図るために、与那国町の農業従事者団体に対して、優良繁殖雌牛購入費用の一部を支援し、購入費用の1/2以内、1頭当たり300千円を上限として助成するものとする。与那国町の繁殖雌牛頭数800頭の約10%で見込んだ80頭(年間20頭)を目標に4年計画で導入する。	優良牛繁殖雌牛を、20頭以上導入	優良牛繁殖雌牛を、16頭導入		
2	4	水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ~ H33	与那国町は、離島のさらに離島であるが為、地理的不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、与那国町漁業協同組合が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送料に対し支援を行う。	生鮮水産物の出荷量 27年度2.6トン(25年度2.4トン)	生鮮水産物の出荷量 27年度6.1トン		
2	5	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ~ H33	小規模離島である与那国町では漁業は重要な産業の一つである。しかし、近年漁業従事者の高齢化が進むとともに、過疎化も進んでいることから、島内外から次世代の担い手を積極的に育成することが極めて重要である。そのために、与那国町の漁業従事者団体に支援を行い、新規・既存漁業者に漁業設備の貸出をすることで漁業経営の安定化を図る。	漁業経営の安定確保 既存漁業従事者数の維持確保:32人		繰	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
2	6	与那国新製糖工場整備事業	H27	沖縄県含みつ糖製糖施設近代化事業を活用し、与那国製糖工場を新工場へと建て替えを計画している。しかし、沖縄県含みつ糖製糖施設近代化事業では、本体のみの工事となるため、事業敷地工事として必要な敷地内整備に係る工事(敷地内の舗装、排水、擁壁等の工事)を本事業にて実施する。	安全・安心で高品質な黒糖の生産 現状処理量 100t/日量 施設整備後処理量 50t/日量		緑	
3	1	家庭学習支援モデル事業	H24 ~ H33	本事業では、小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。授業は現役東大生を講師とし、日本最高峰の学びを与那国の子供たちへ提供することにより、単に知識のみでなく、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につける場を提供し、教育環境格差の大きい離島の地において、中央と同じ授業を受けることが可能な環境を整備する。これにより、U・I・ターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図る。	・各種学力テスト等において全国平均値の達成を目指す ・平成26年度小学校全国学力学習状況調査結果(国語A「本町63.6 全国72.9 数学本町71全国78.1) ・平成26年度中学校全国学力学習状況調査結果(国語A「本町81.7 全国79.4 数学本町65全国67.4)	・各種学力テスト等において全国平均値を上回った (小学校) 国語 全国70% 本町78% 数学 全国75.2% 本町81.7% (中学校) 国語 全国75.8% 本町80.7% 数学 全国64.4% 本町74.5%		
3	2	教育諸活動助成事業	H24 ~ H33	本事業は、町内の児童生徒の各種大会派遣費(航空運賃等)を助成することにより、与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会児童・生徒派遣費助成実施 ・小学校150人(延べ数) ・中学校180人(延べ数)	各種大会児童・生徒派遣費助成実施 ・小学校215人(延べ数) ・中学校199人(延べ数)		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覽

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
3	3	地域国際交流事業	H24 ~ H33	本事業では、本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う青少年に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 派遣語、アンケートによる意識調査。(小6年生14名) 学力向上推進実践報告会:ホームステイ報告 異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成 アンケート調査等の実施により意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣語、アンケートによる意識調査未実施 学力向上推進実践報告会:ホームステイ報告 異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成を実施 		
3	4	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	H24 ~ H33	本事業は、町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修(短期ホームステイ)の支援を行う。ジュニア期の語学研修は、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することになり、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成、及び町の将来を担う人材の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 派遣語、アンケートによる意識調査。進路先調査の実施(中学生4名派遣) 異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣語、アンケートによる意識調査。進路先調査の実施(中学生4名派遣) 異文化に対する理解力、適応力、外国人とのコミュニケーション能力を備えた人材の育成 		
4	1	与那国方言保存継承支援事業	H24 ~ H29	本事業は、2009年UNESCOに消滅危機言語として登録された与那国語の記録保存と伝承、再活性化を目的とし、主として辞書作成を行う。並行して、保存継承のための企画を展開して衰退しつつある言語の使用を推奨する。	<ul style="list-style-type: none"> 方言資料の集約 方言イベント200人(100人×2回) 基準年度:H26年度40人(方言カルタ大会) 講座(講演会)180人(30×6回) 基準年度:H26年度120人(講演会、ワークショップ) 	<ul style="list-style-type: none"> 方言資料の集約実施 方言イベント:未実施 講座(講演会)65人 		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
4	2	与那国島歴史文化交流支援事業	H25 ~ H27	台湾花蓮市との様々な交流の歩みを記録まとめ、現存している与那国島の明治時代から現代までの記録写真を展示するなど、与那国島に関する多種多様な資料を島内外へアピールすることを目的とする資料館及び観光の拠点施設として「与那国島歴史・文化交流資料館」(仮称)を整備する。	前年度に引き続き整備工事を実施しH27年度末の供用開始を目指し新たな観光交流資料館としてスタートする。 ・施設整備工事の継続実施 ・年度内に供用開始 ・ラボ体験スタッフの育成 ・与那国島歴史文化交流資料館の建設工事:1棟 ・与那国島歴史文化交流資料館の完成:1棟 ・建築工事、電気設備工事、機械設備工事、展示設備、備品購入完了 ・27年度中に供用開始		繰	
5	1	安心・安全のまちづくり支援事業	H25 ~ H33	就学前児童及び生徒を対象として、教育課程に係る教育時間終了後に公共施設の一室を利用して、子どもにとって安心・安全な場所を設け、遊びの場を提供し、保護者の子育て支援する。	・預かり人数 27名以上 (平成26年度 25名~27名)	・預かり人数 32名		
6	1	少子高齢化対策事業	H24 ~ H33	本町唯一の医療機関である与那国診療所には、各専門医がないため、出産または専門医療を受けるためには、海で離れた石垣島の病院へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等の費用について支援を行う。	・支援人数 20名 (平成26年度 19名)	・支援人数 10名	未	
7	1	公共交通路線支援事業	H24 ~ H33	本事業は、地方バス運営に必要な費用を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するための必要な条件整備すると共に、来島者の利便性向上を図る。	公共交通路線バス運行便数:2,555便/8,000人/年 H25年度2,540便/7,867人	公共交通路線バス運行便数:2,531便/8,111人/年		

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H27成果目標(指標)	H27成果実績(指標)	総合評価
7	2	与那国町古民家活用型定住促進事業	H26 ~ H29	平成26年度与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画の成果に基づき、古民家解体並びに解体古材資源活用マニュアルの作成を実施し、町内建設事業者の関与を促進すべく、技能研修機会を事業に盛り込む。古材を重視した耐震補強、部材修理等を含め、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた設計監理業務、定住促進住宅整備工事を実施する。	・本年度は、実施計画に沿って古民家解体マニュアル作成、設計管理業務、促進住宅整備工事を完成する。 ・古民家活用型定住促進体験住宅を完成させ次年度の実施に向けて整備をつなげる。	解体マニュアル・解体工事の実施	未	
8	1	与那国町緊急車両(消防車)導入事業	H27	町内で発生する災害への町消防団の対応力を強化し、被害状況の解消、または拡大抑制のため当町の実情に合わせた装備を整備すると共に、在住者・来島者の災害時の不安解消を図る。	緊急車両(消防車)導入完了:1台		繰	
8	2	与那国町災害時非常用発電装置導入事業	H27	台風接近等の災害警戒時又は災害発生時の長期停電に対する電源確保。災害警戒(対策)本部の設置される庁舎と住民への災害情報伝達に最も使用される町防災無線設備に非常用発電機を整備する。	非常用発電装置の導入完了 ・与那国町役場庁舎内:1基 ・久部良岳町防災無線設備:1基		繰	